

## 第 2 部

### 地域別の調査結果

## **第1章**

# **地域別の子育て家庭を取り巻く環境**

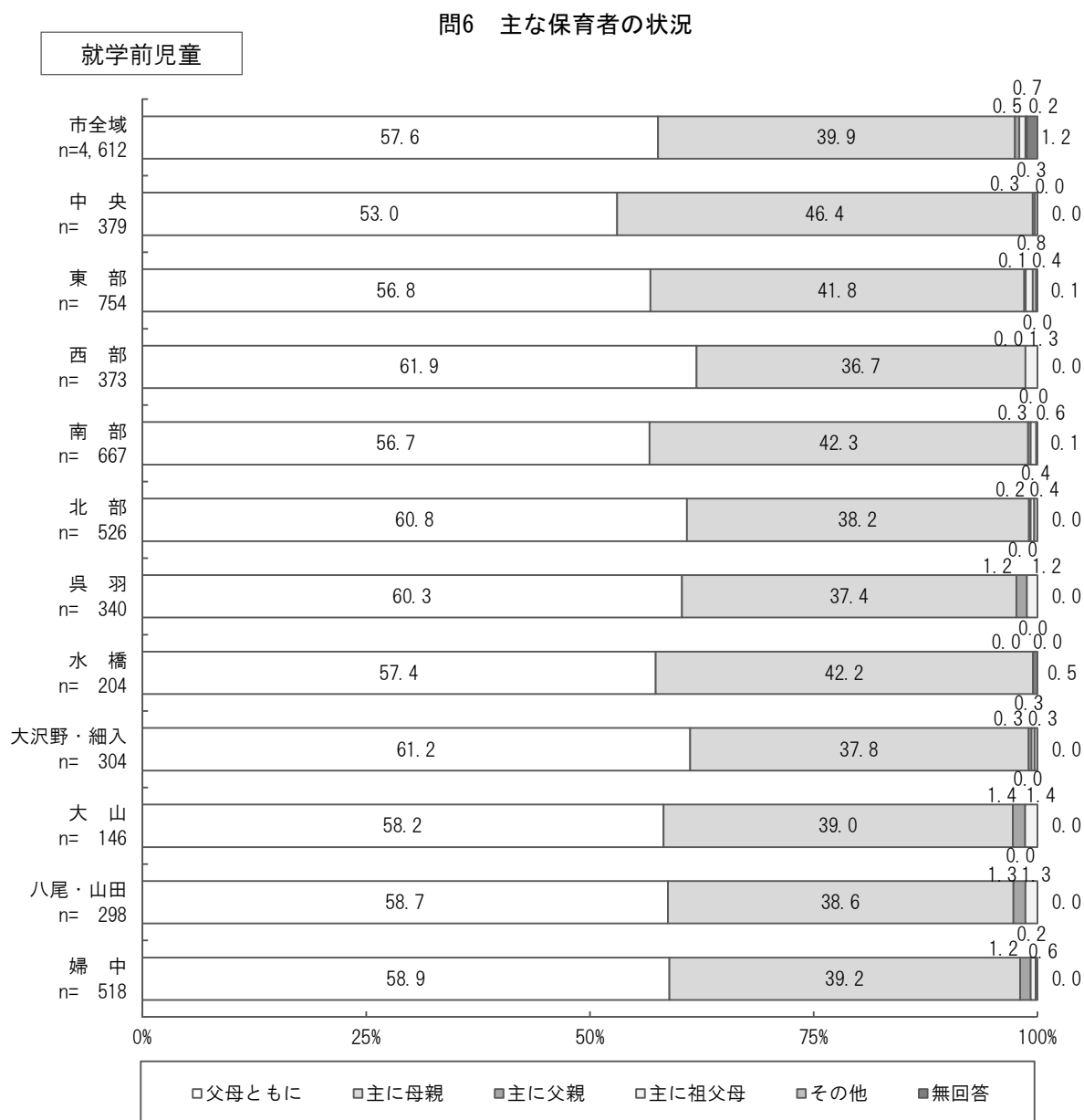


## 第1章 地域別の子育て家庭を取り巻く環境

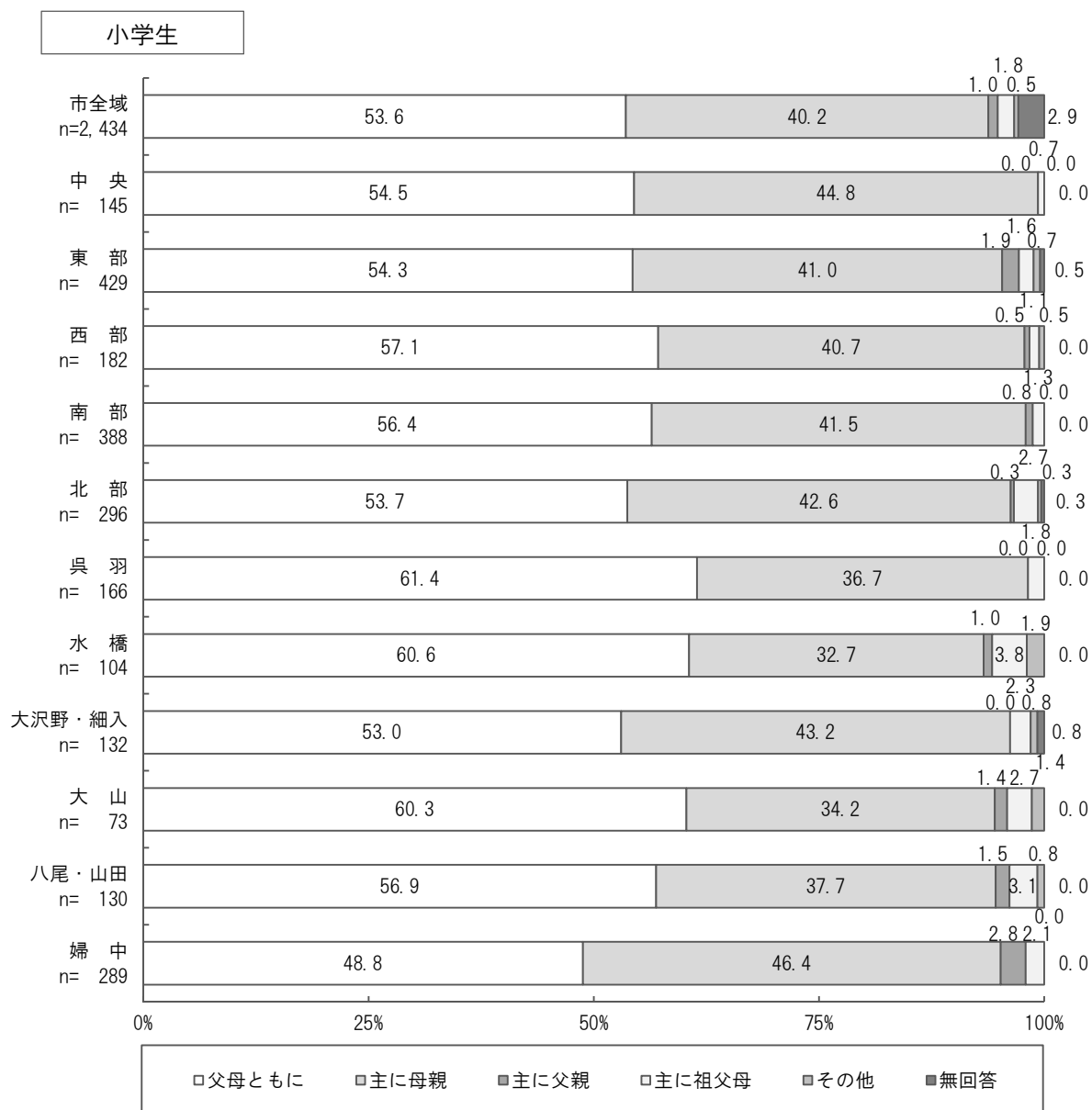
### 1 子育ての環境について

#### (1) 主な保育者と親族等協力者の状況

○主な保育者の状況について、就学前児童、小学生ともに各地域で「父母ともに」と「主に母親」の回答が1・2位となっています。就学前児童では地域別にみると、「父母ともに」は西部地域（61.9%）、「主に母親」は中央地域（46.4%）の割合が高くなっています。小学生では、「父母ともに」は呉羽地域（61.4%）、「主に母親」は婦中地域（46.4%）の割合が高くなっています。

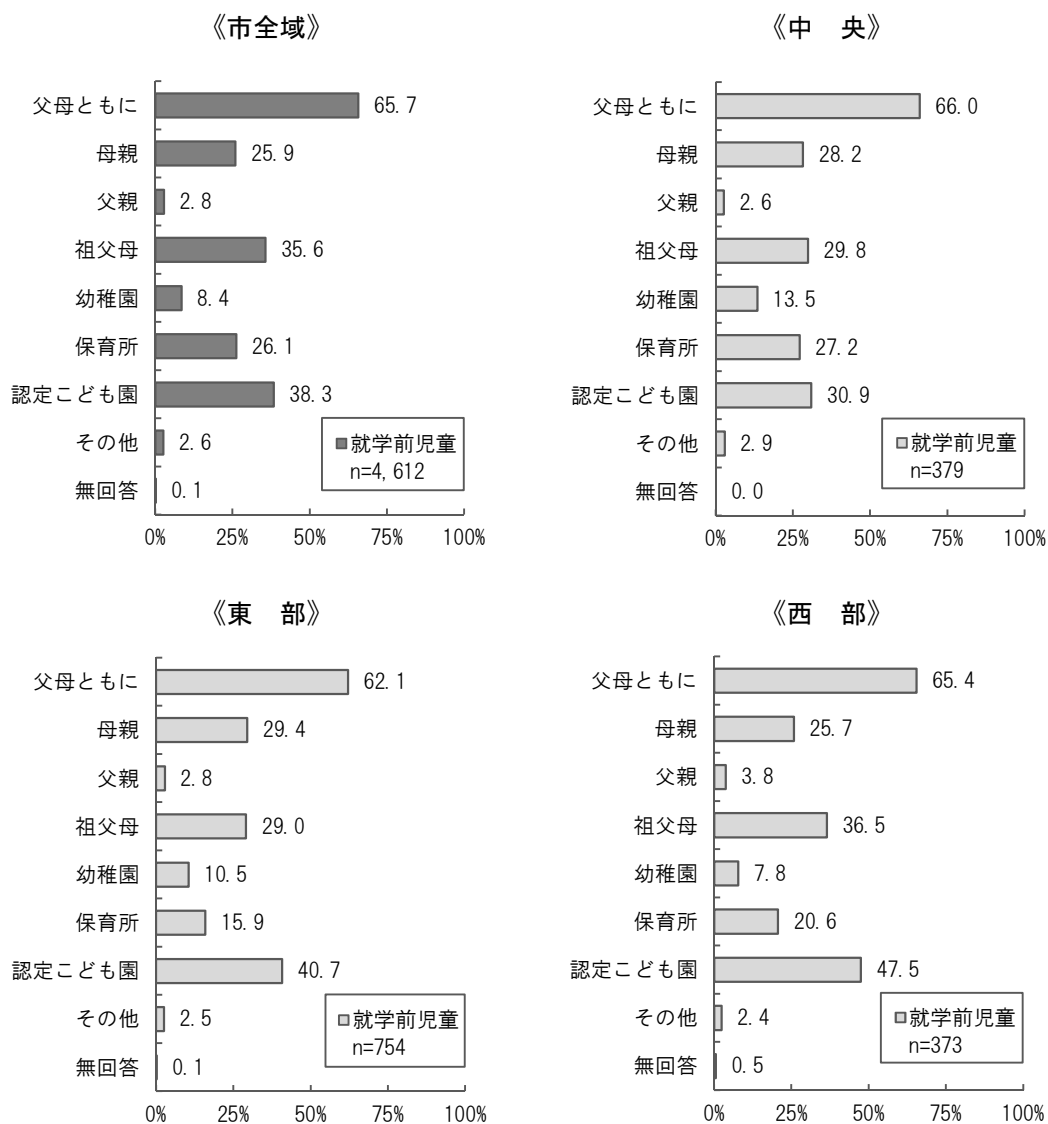


[問6] 主な保育者の状況

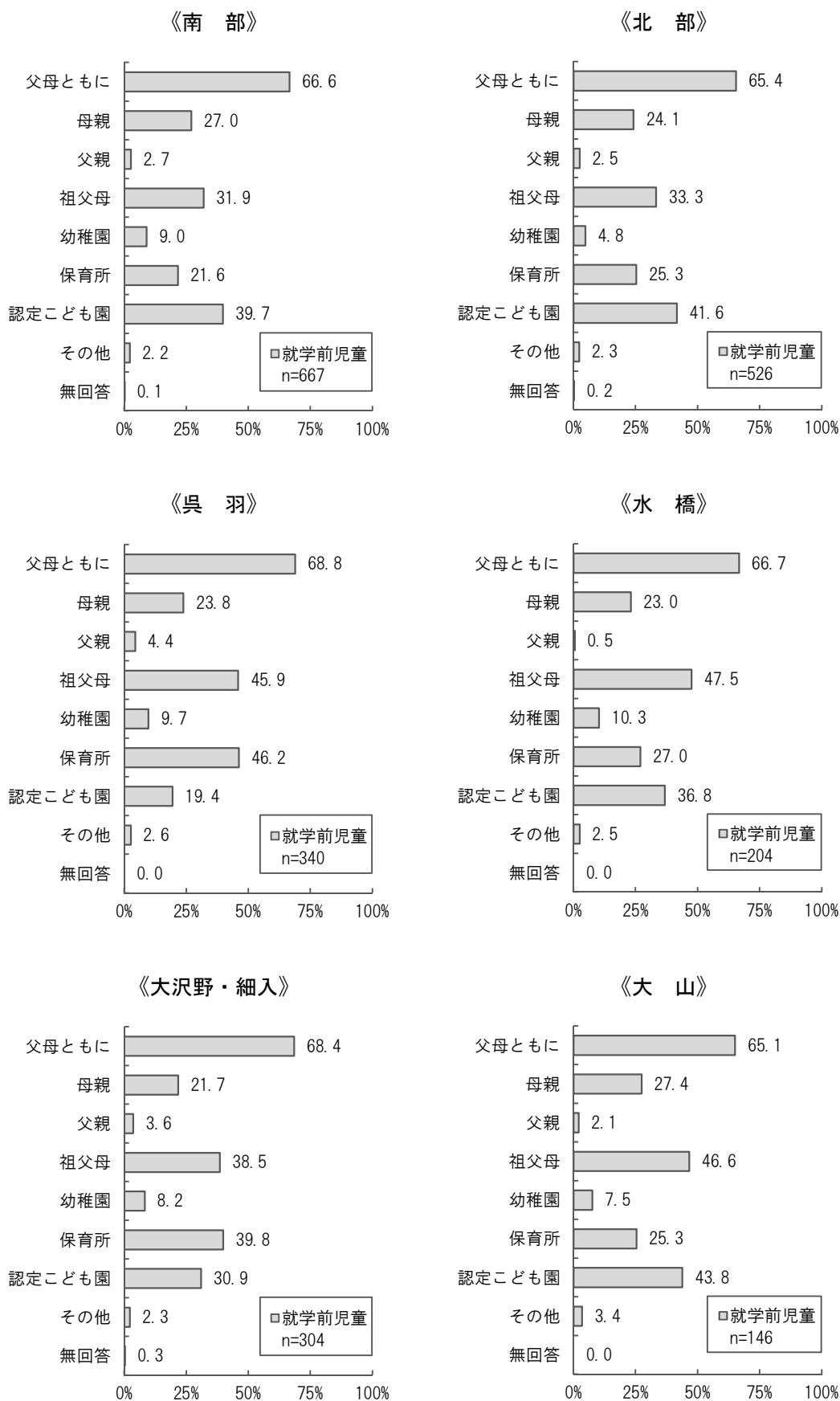


○日常的に子育てに関わっている方（施設含む）について、各地域ともに「父母ともに」（62.1～68.8%）が最も高い割合となっています。2位は大半の地域で「認定こども園」（30.9～47.5%）となっていますが、大山地域と水橋地域と八尾・山田地域では「祖父母」（46.6%～50.7%）、大沢野・細入地域と呉羽地域では「保育所」（39.8%・46.2%）となっています。

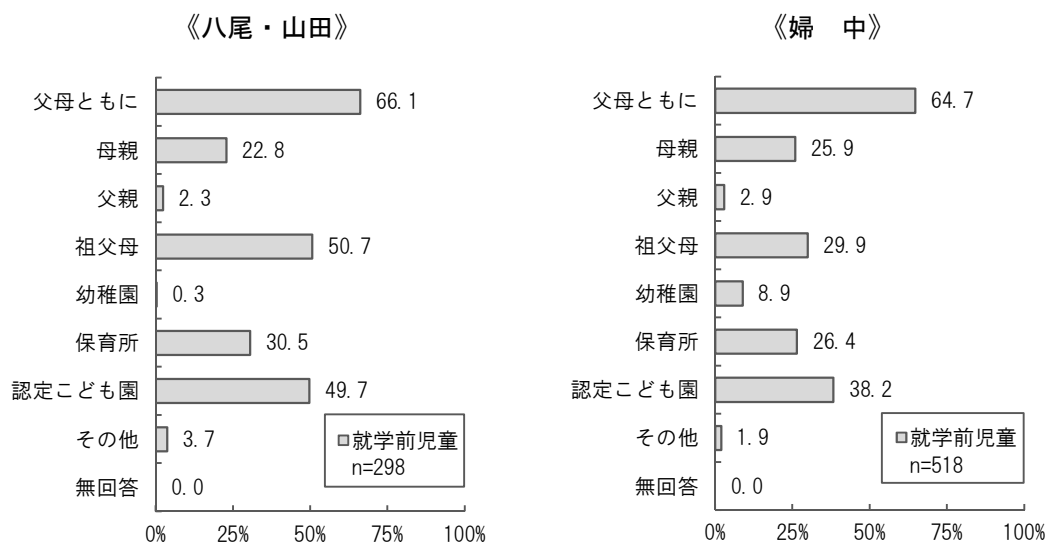
問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）

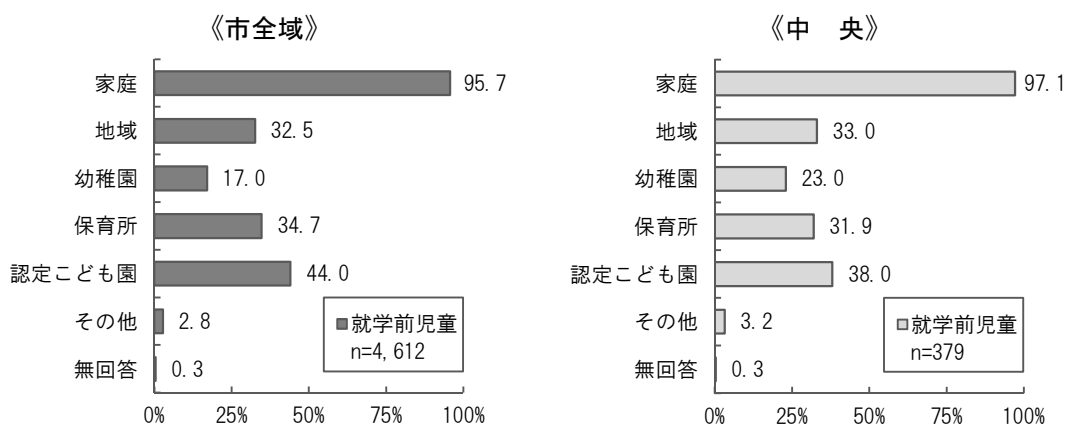


問7 日常的に子育てに関わっている方（施設含む）



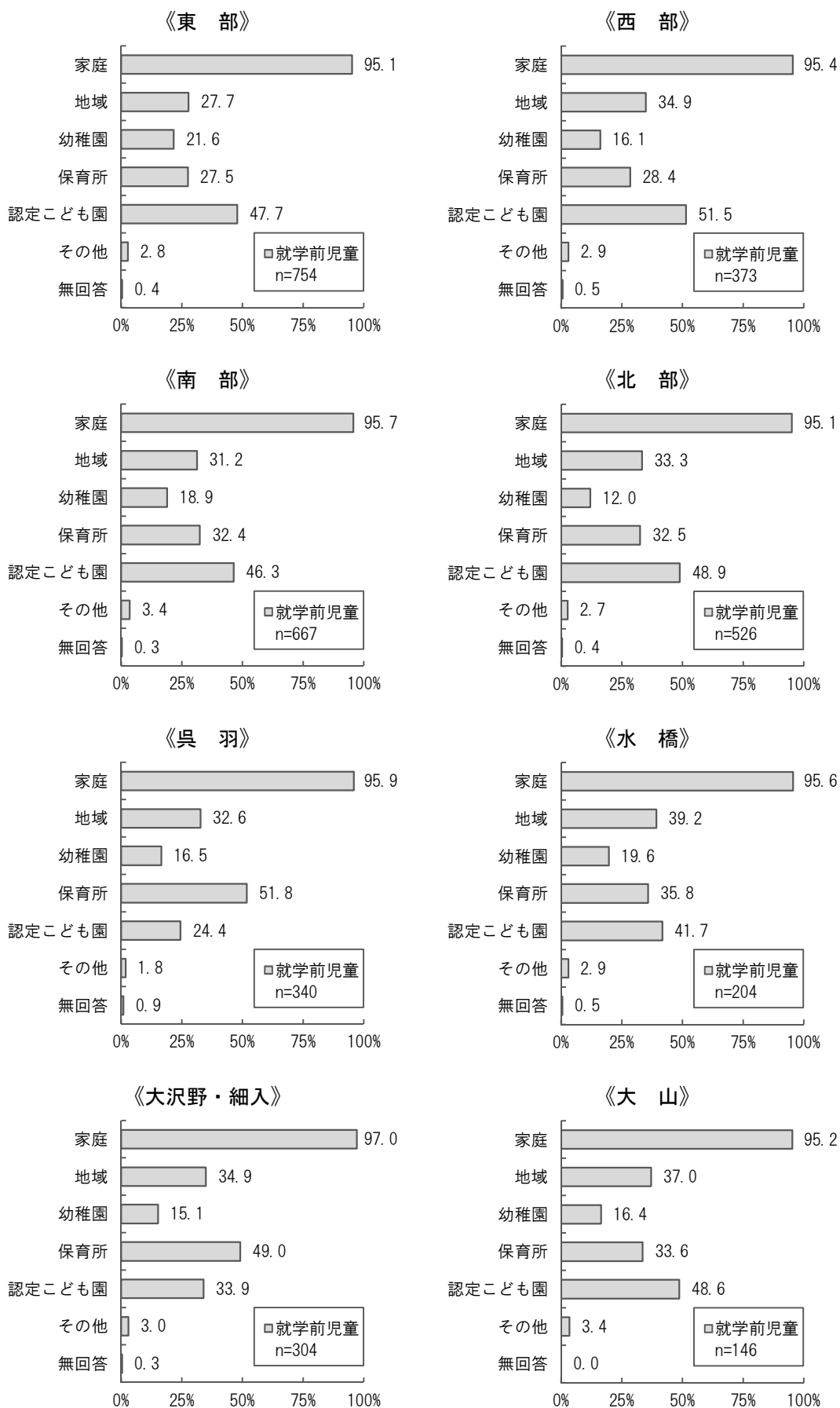
○子育てに影響すると思う環境について、就学前児童では各地域ともに「家庭」（95.1～97.1%）が最も高い割合となっています。2位は大半の地域で「認定こども園」（38.0～53.7%）となっていますが、大沢野・細入地域と呉羽地域では「保育所」（49.0%・51.8%）となっています。

問8 子育てに影響すると思う環境

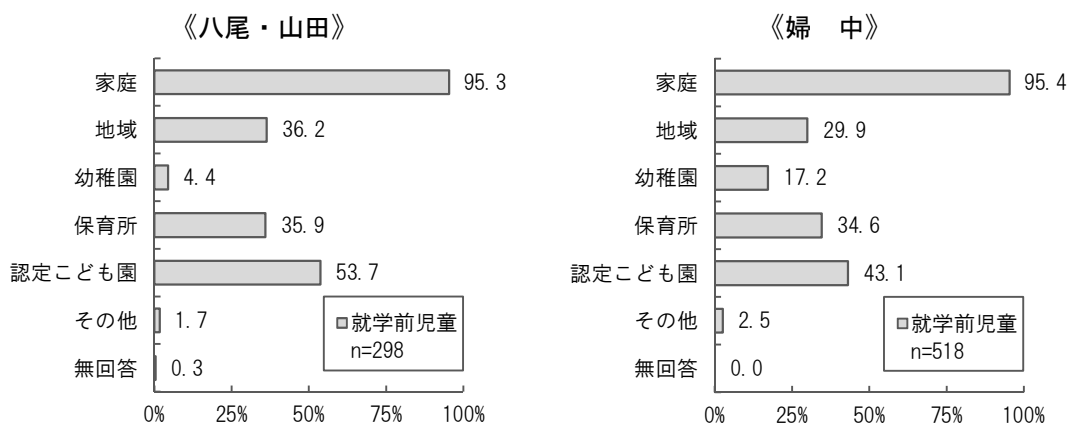




問8 子育てに影響すると思う環境

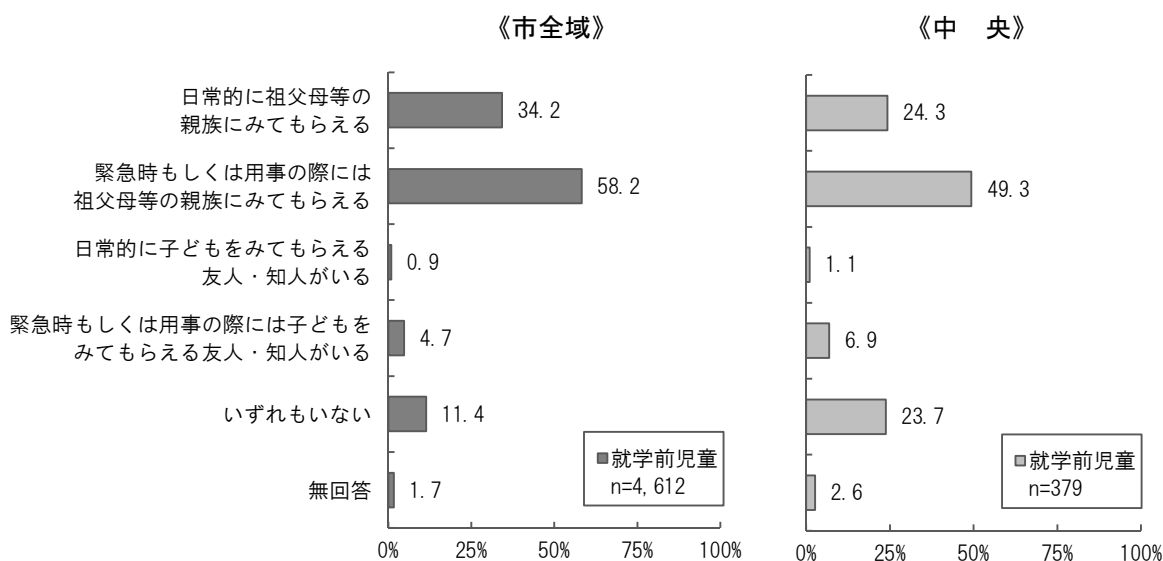


問8 子育てに影響すると思う環境

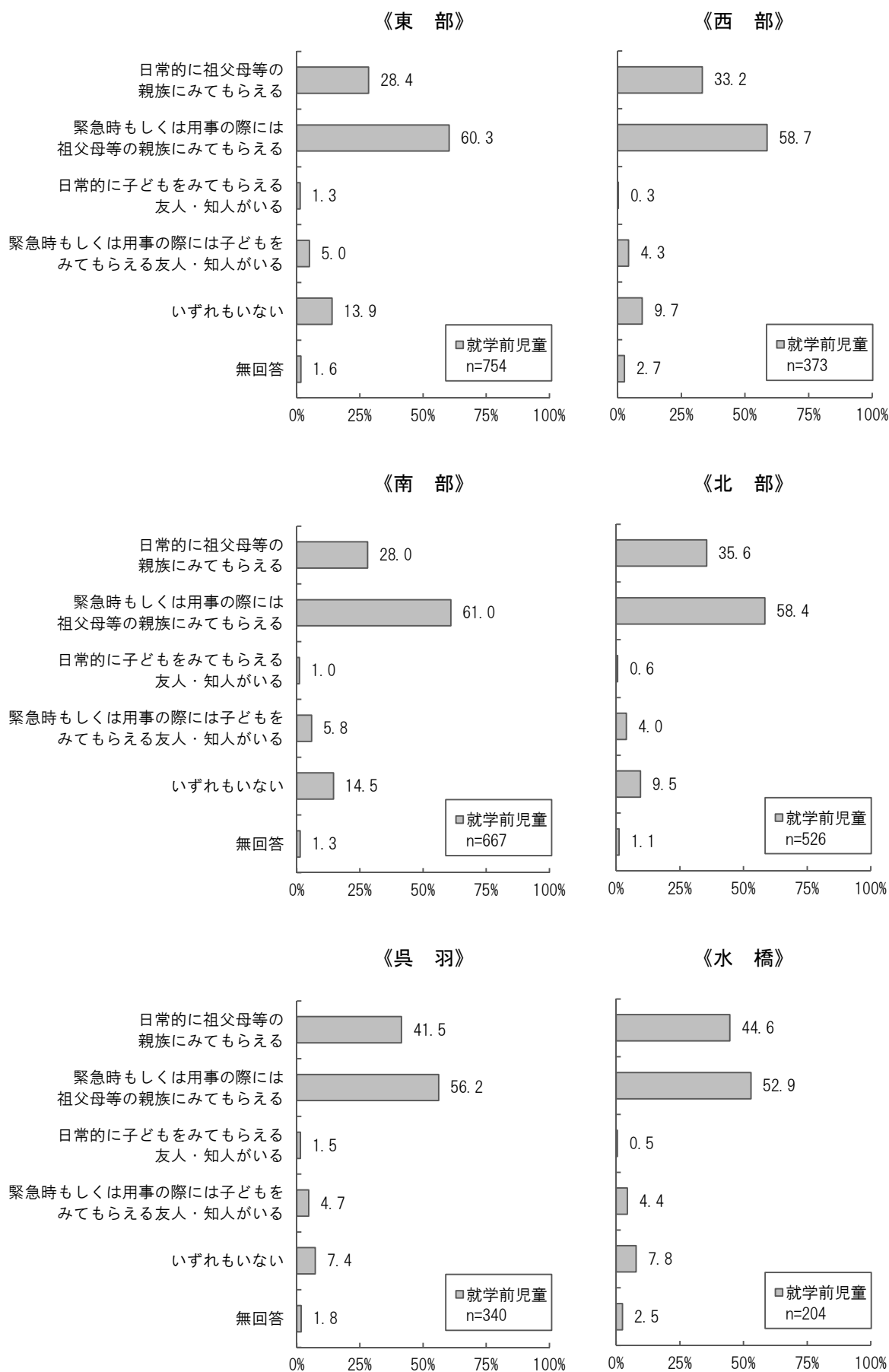


○親族・知人等協力者の状況について、ほとんどの地域で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(49.3~66.2%)が最も高い割合となっていますが、八尾・山田地域は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(54.4%)が高い割合を示しています。

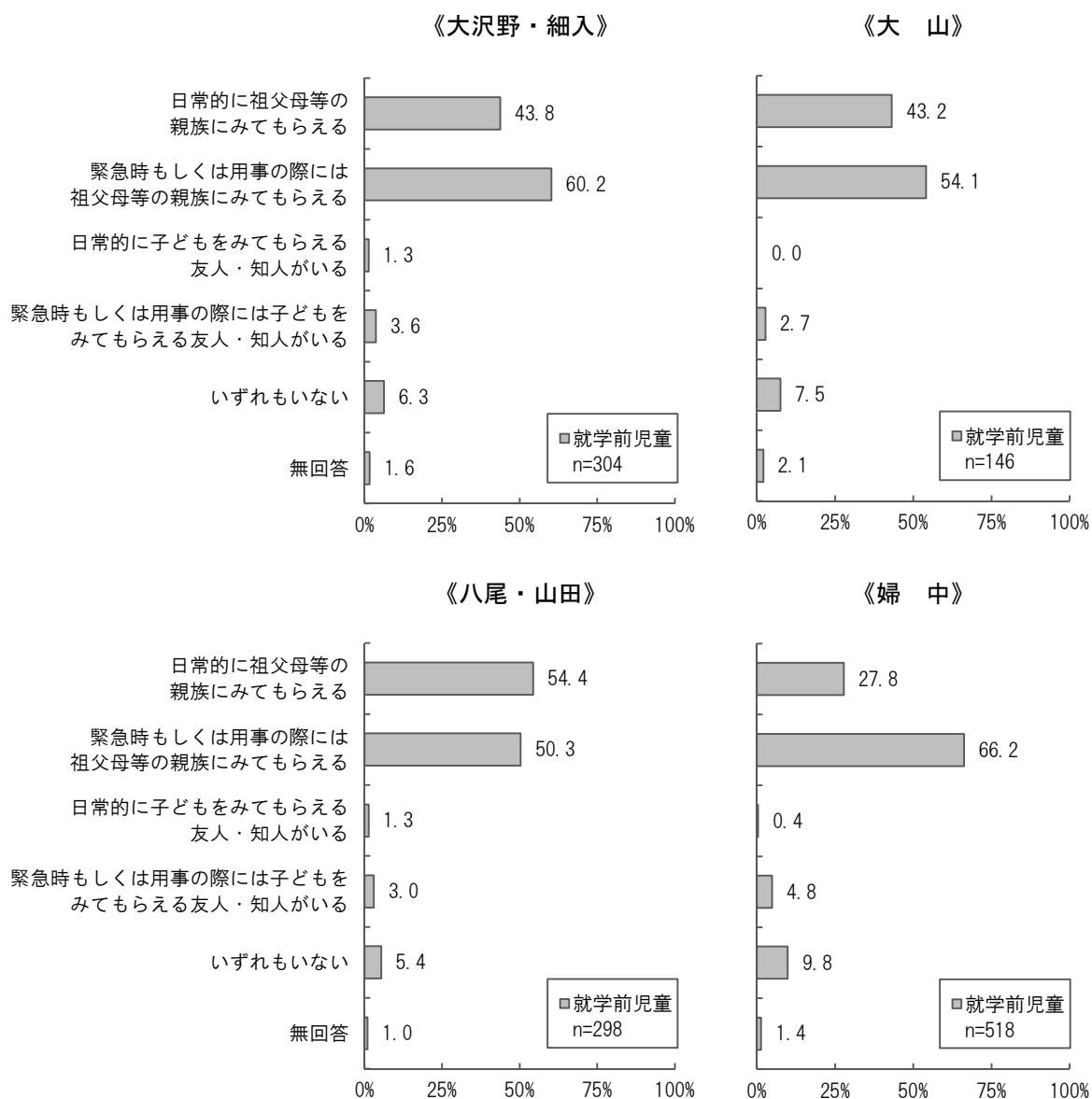
問9 親族・知人等協力者の状況



問9 親族・知人等協力者の状況



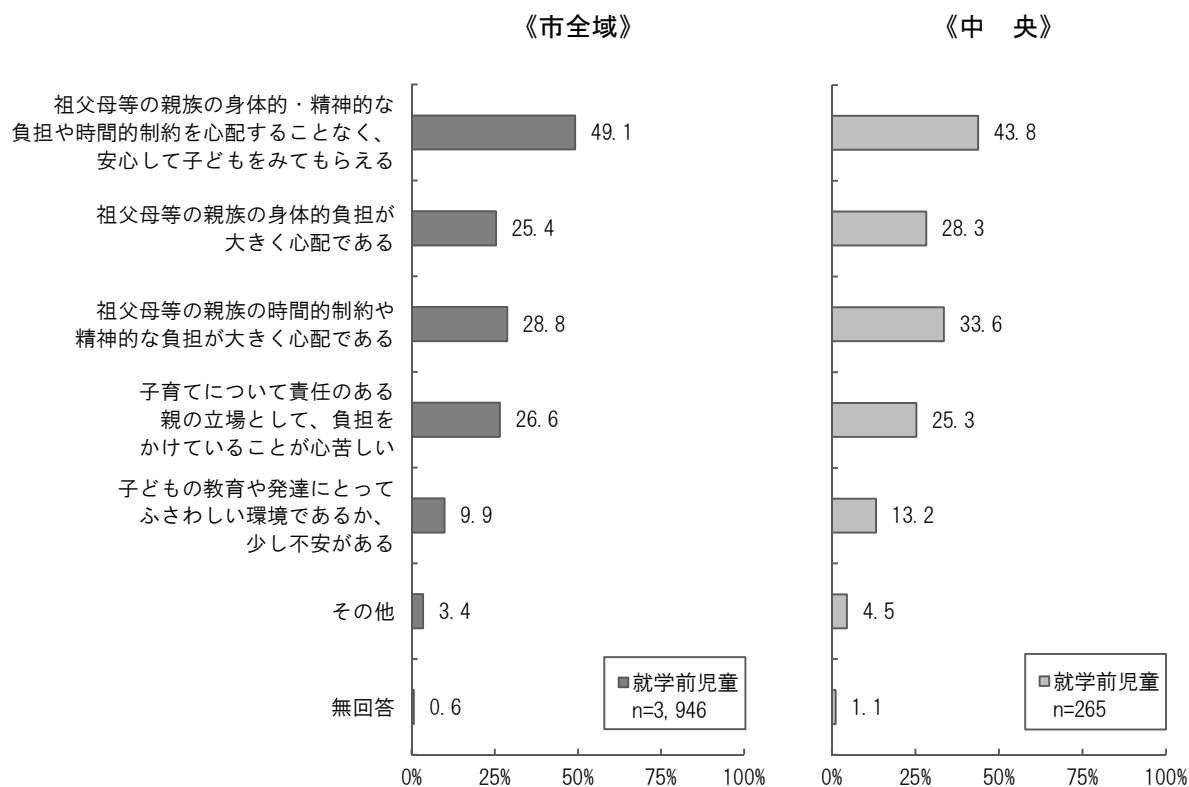
問9 親族・知人等協力者の状況



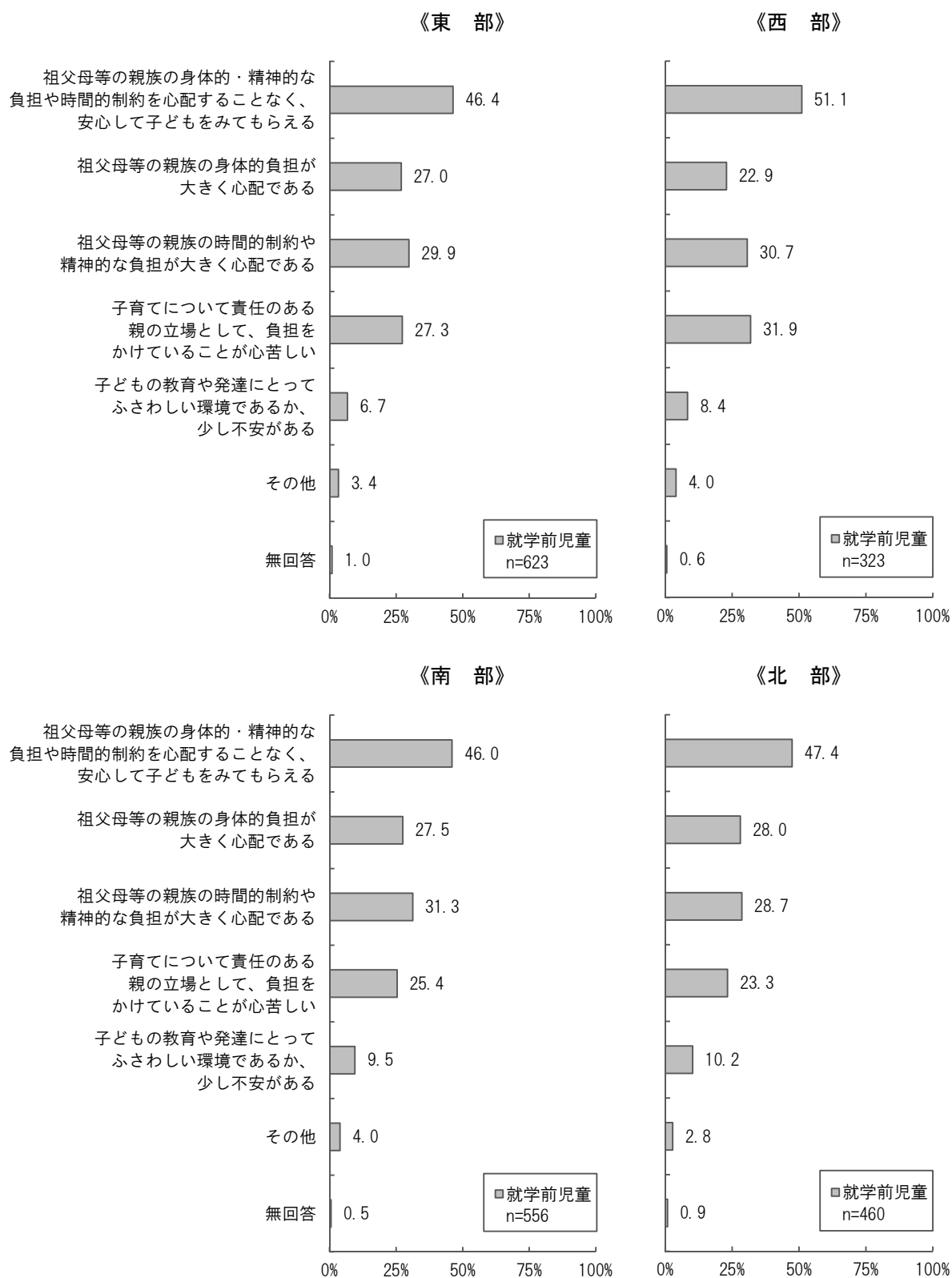
○祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えについては、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(40.6~60.6%)が最も高い割合となっています。2位はほとんどの地域で「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(21.6~34.6%)となっていますが、西部地域と大沢野・細入地域と婦中地域では「子育てについて責任のある親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(31.9%・29.1%・27.1%)、八尾・山田地域では「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」(25.3%)が高い割合を示しています。

○また、「子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」と回答した方の割合は、中央地域(13.2%)、呉羽地域(13.1%)、婦中地域(11.7%)、水橋地域(10.4%)、北部地域(10.2%)で市全域よりも高くなっています。

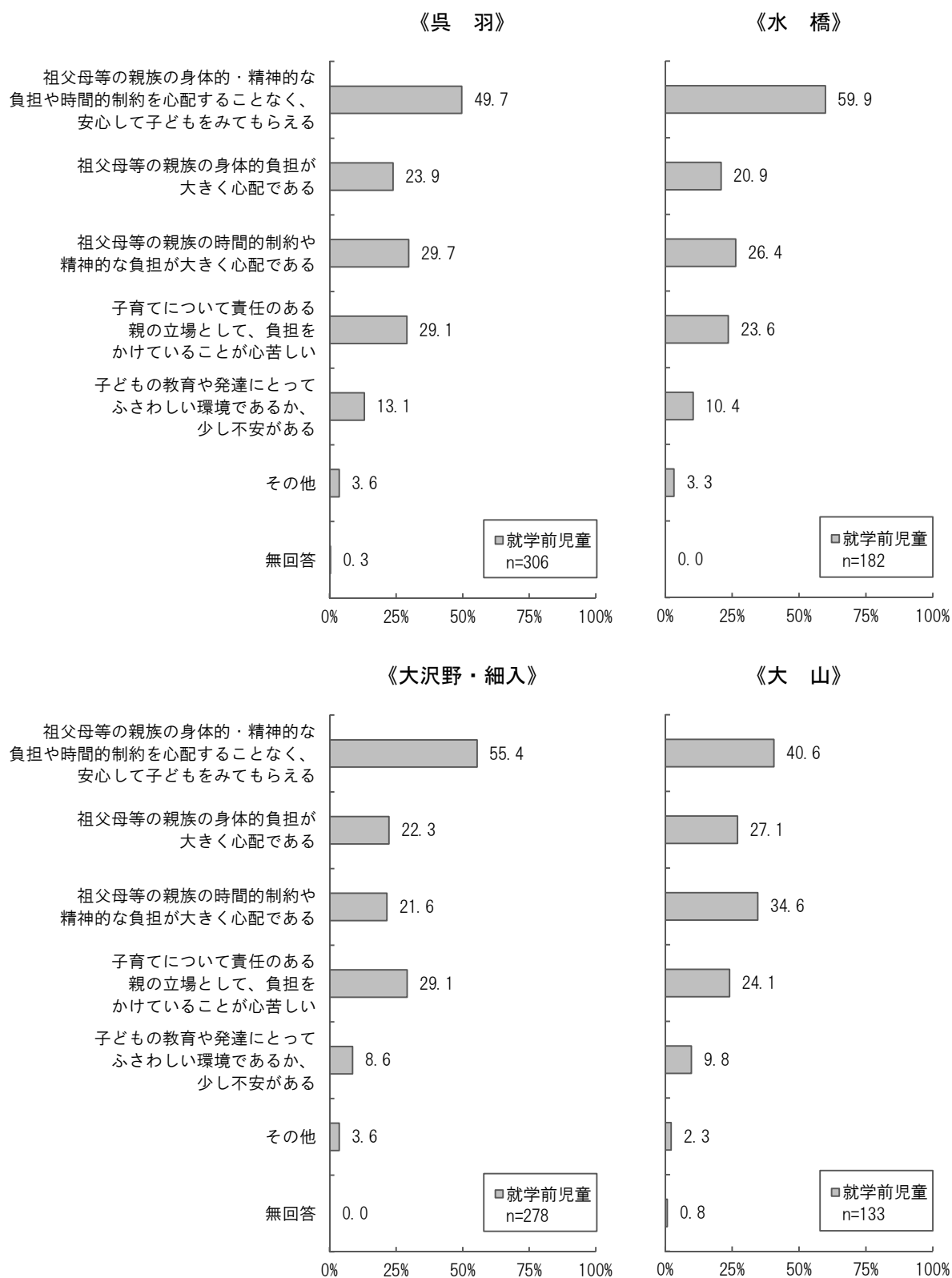
問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



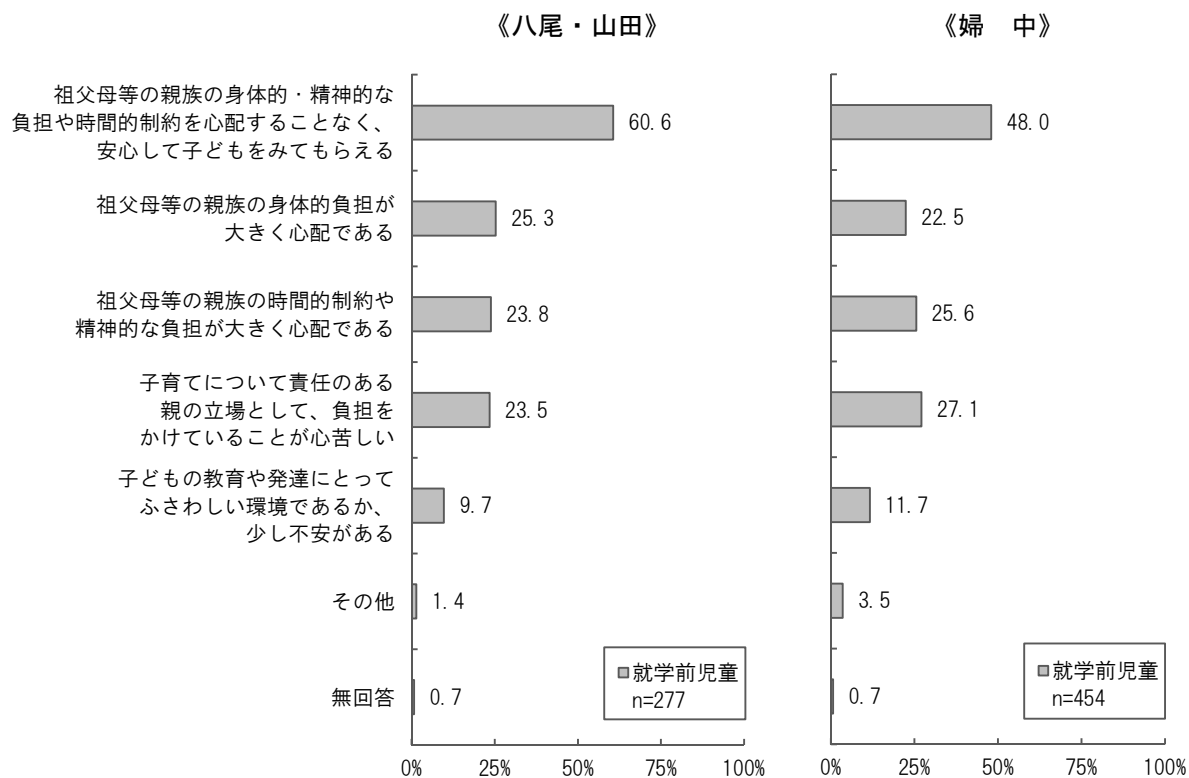
問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



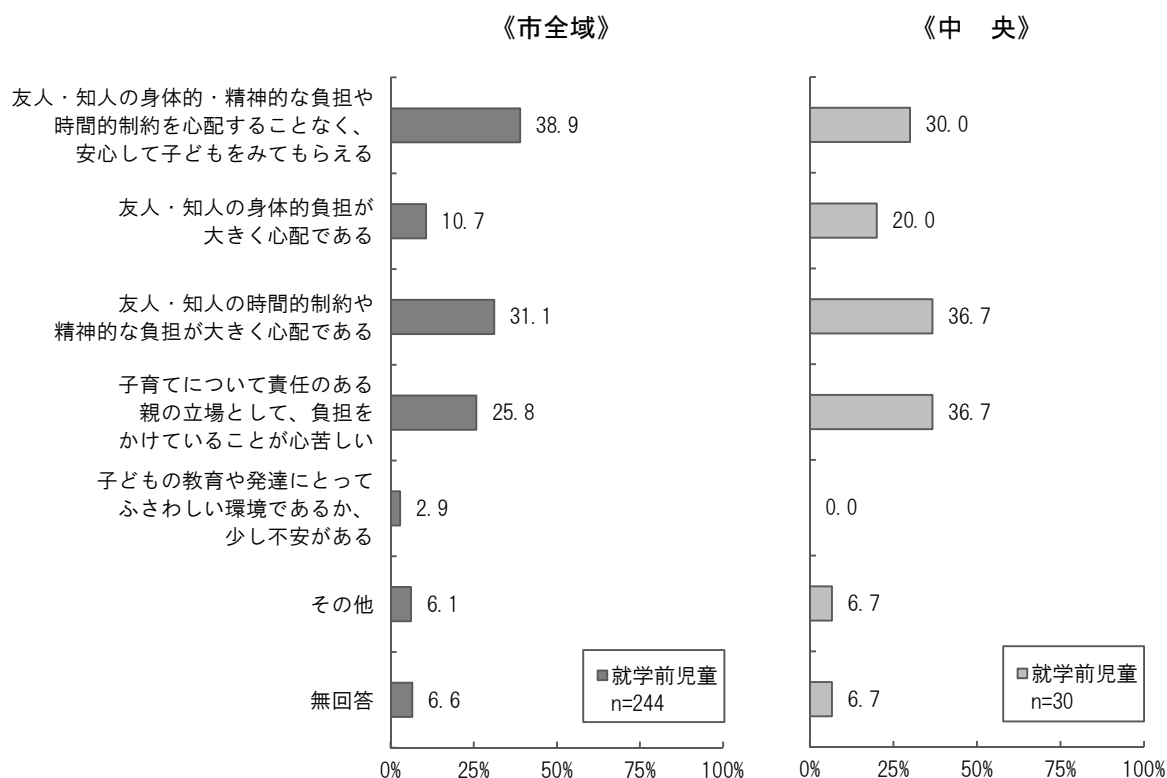
問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



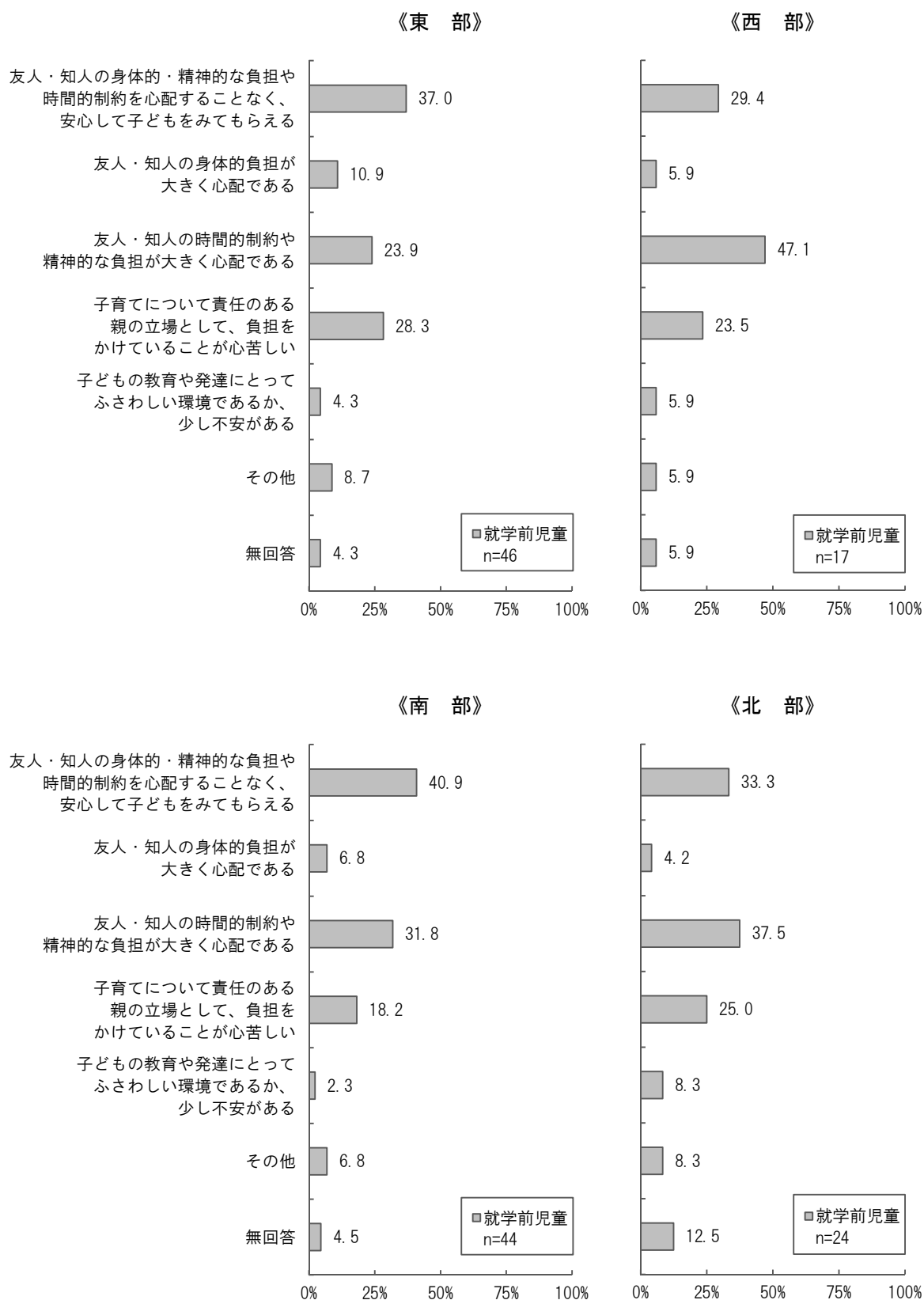


○友人・知人に預かってもらうことへの考えについては、回答者数が少ないための確かな分析ができない地域がありますが、大山地域を除いたすべての地域で上位3項目は「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(29.4~66.7%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(20.0~47.1%)、「子育てについて責任のある親の立場として負担をかけていることが心苦しい」(10.0~36.7%)となっています。

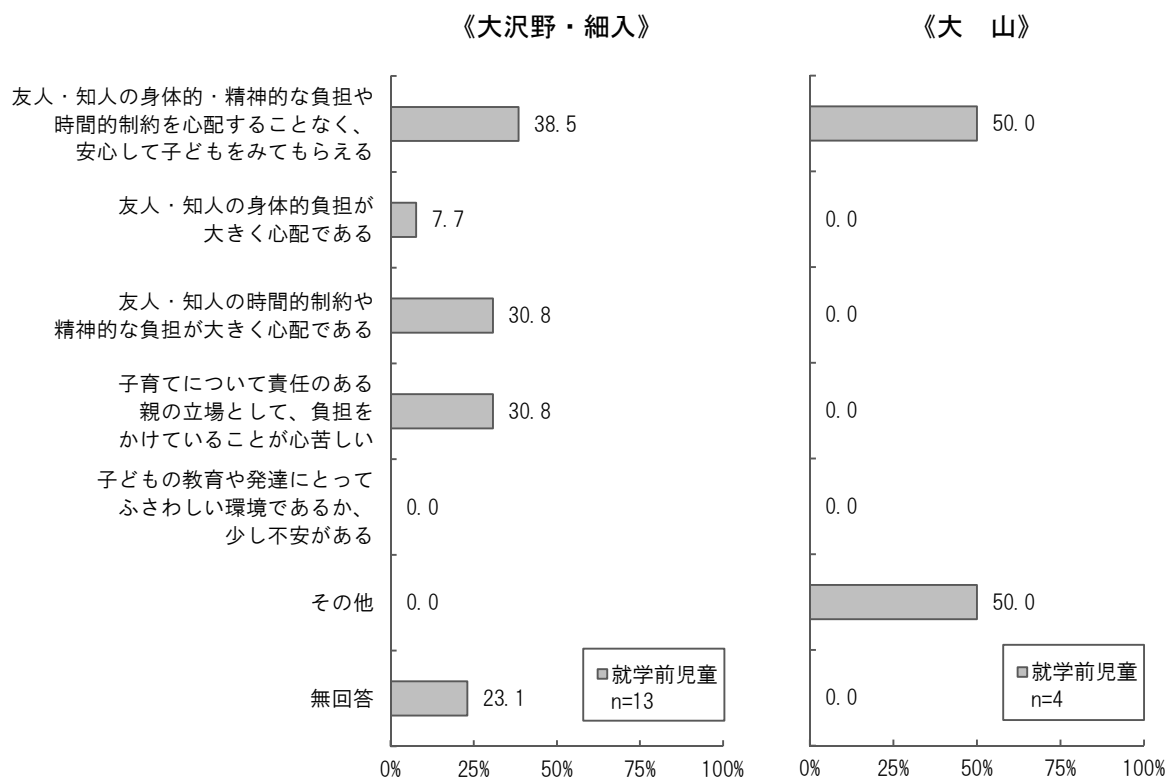
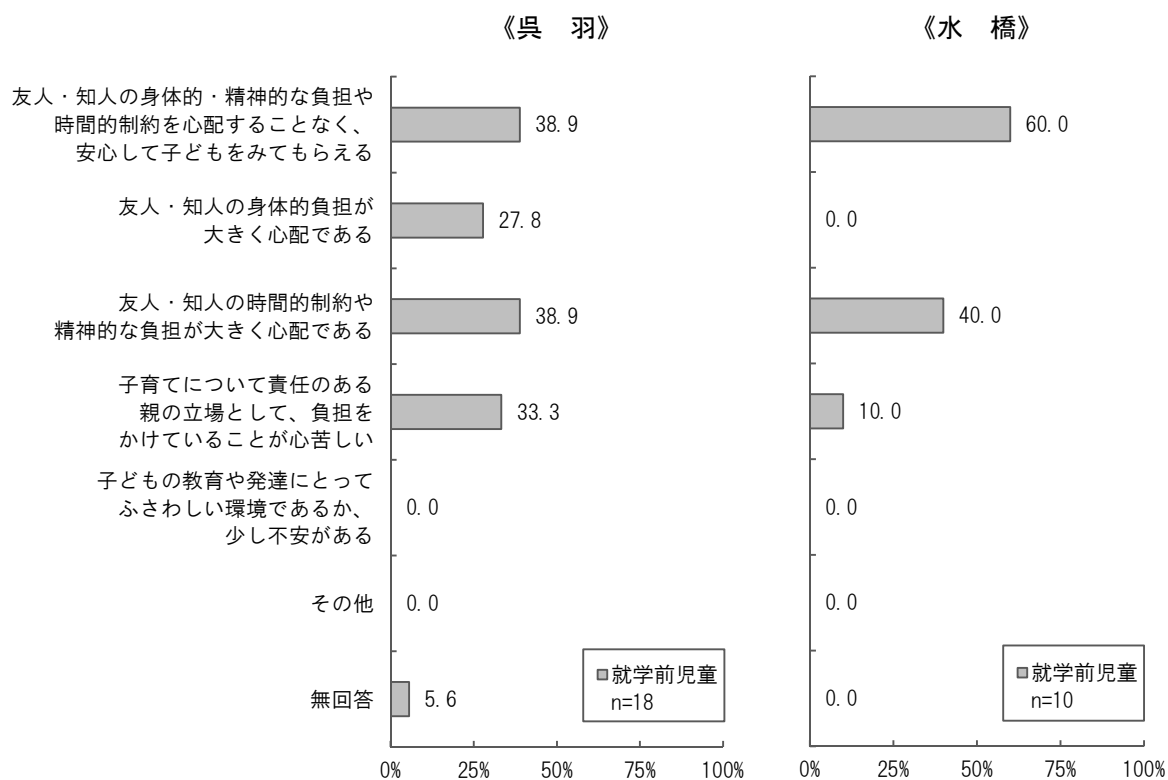
問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



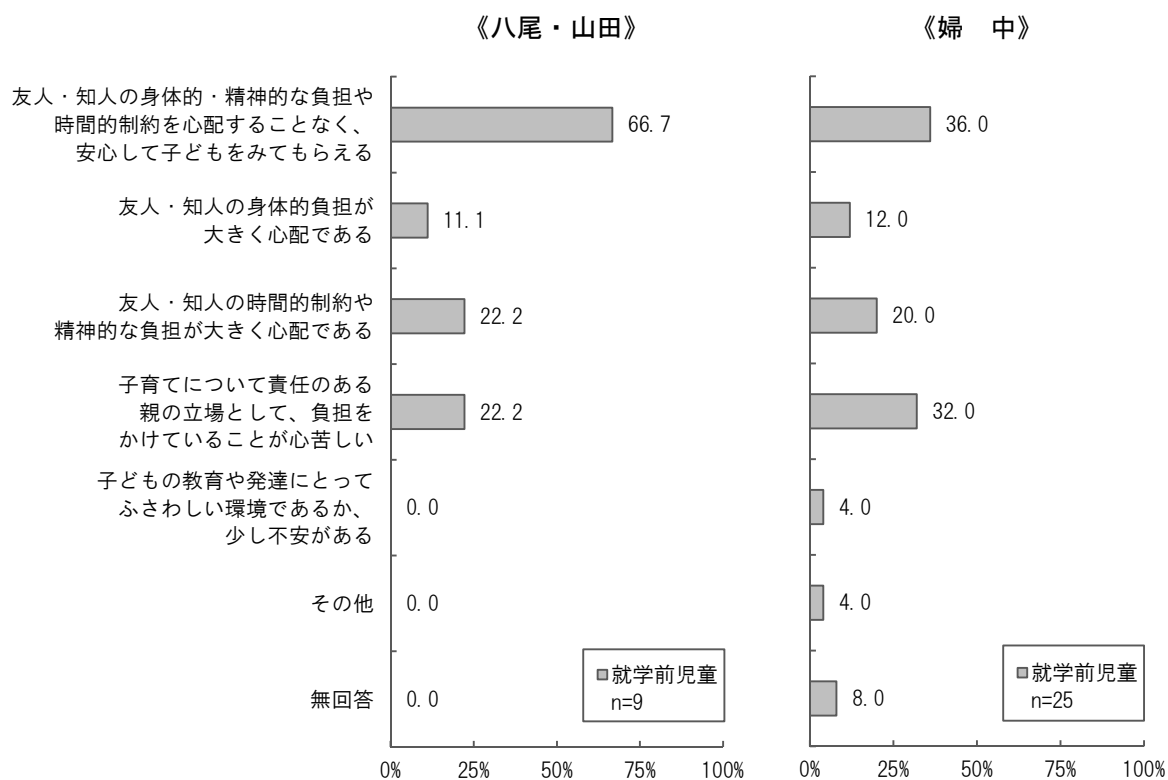
問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



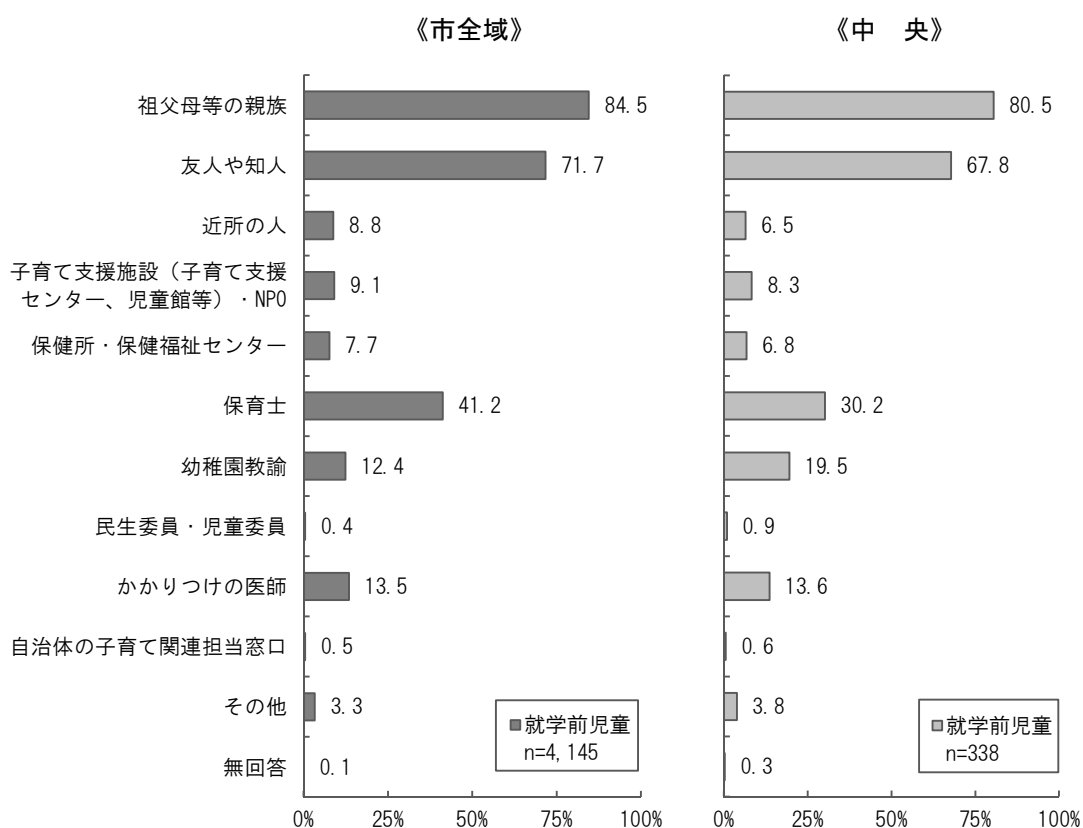
問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



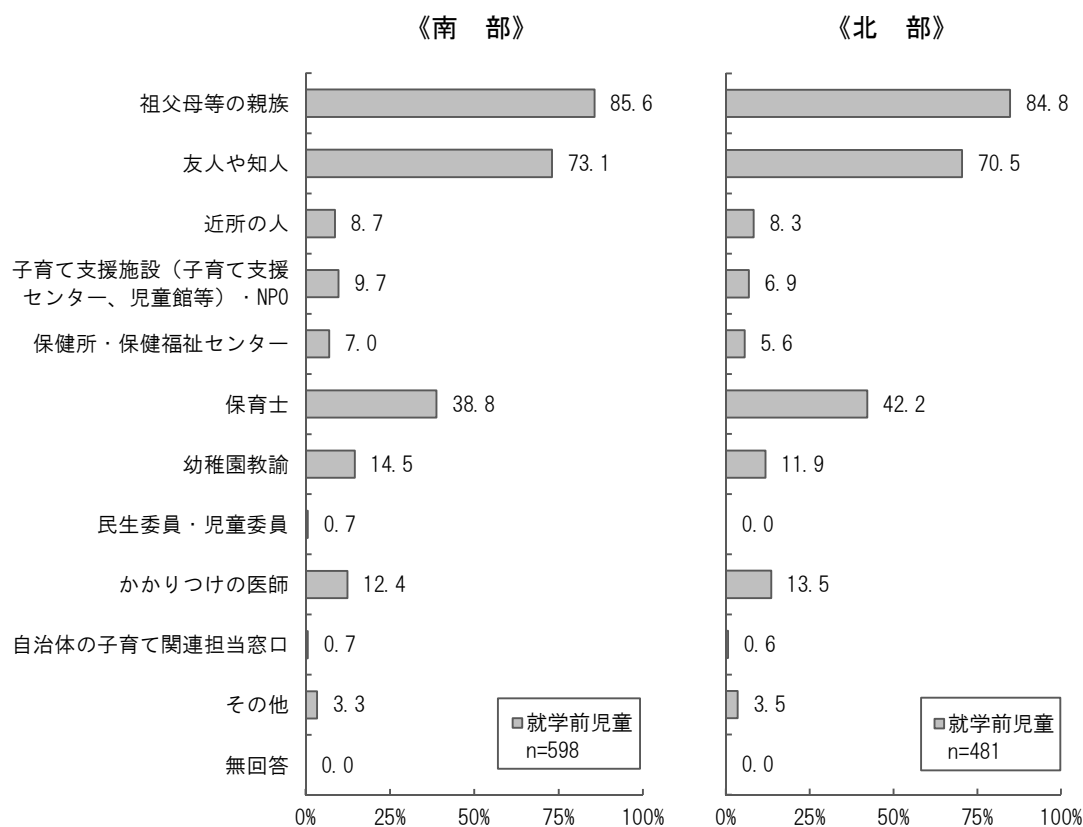
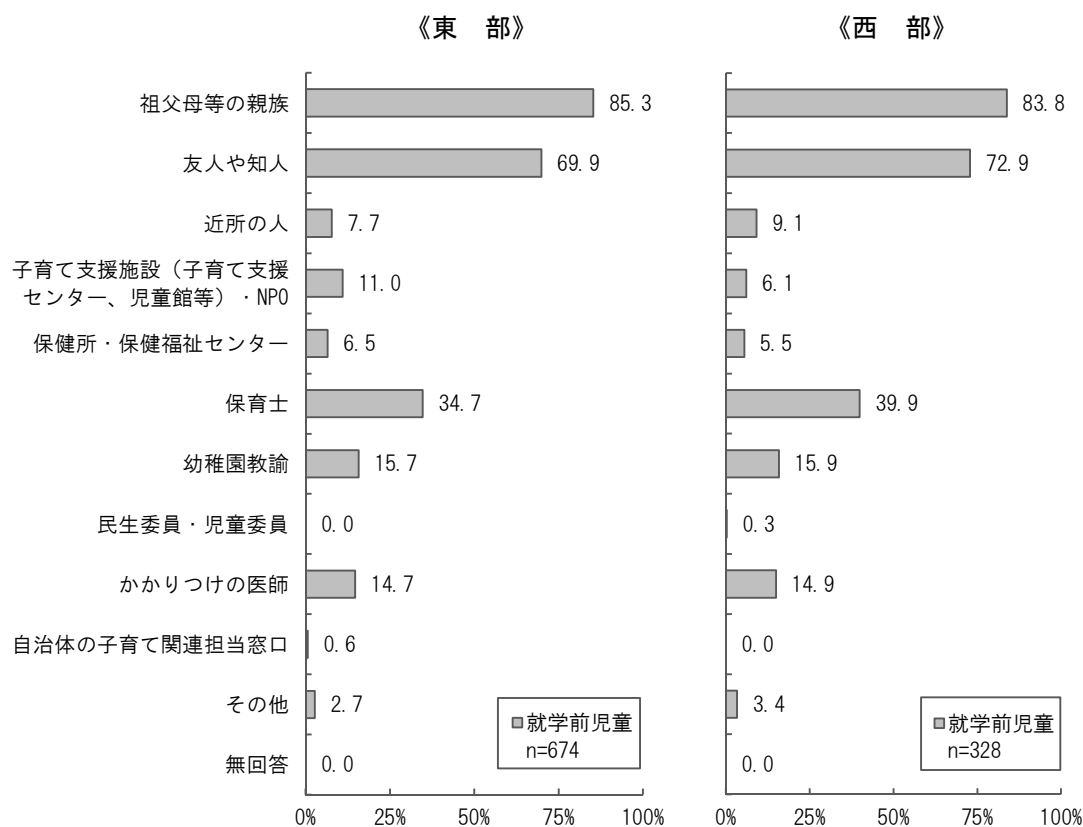
## (2) 子育てに関する相談者の状況

○子育てに関して気軽に相談できる相手を見ると、各地域とも「祖父母等の親族」(80.5～88.6%) が最も高い割合となり、次いで「友人や知人」(67.2～76.0%)、「保育士」(30.2～57.1%) となっています。

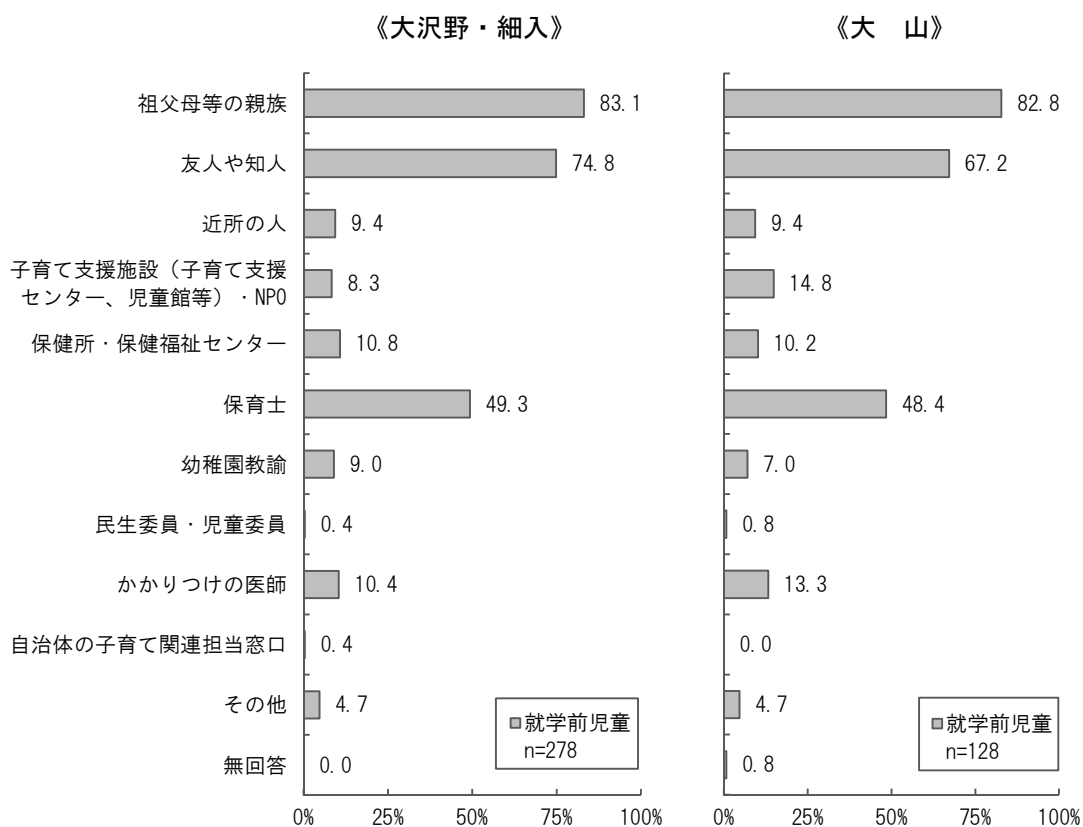
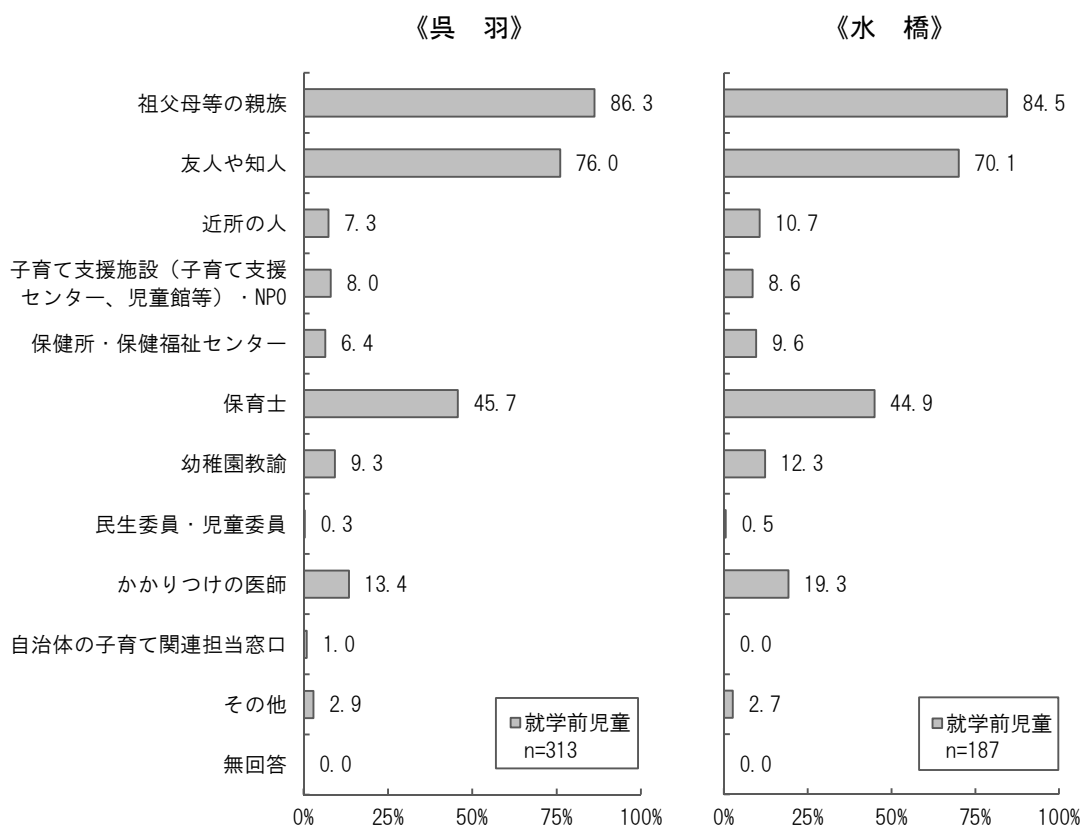
問10-1 気軽に相談できる相手



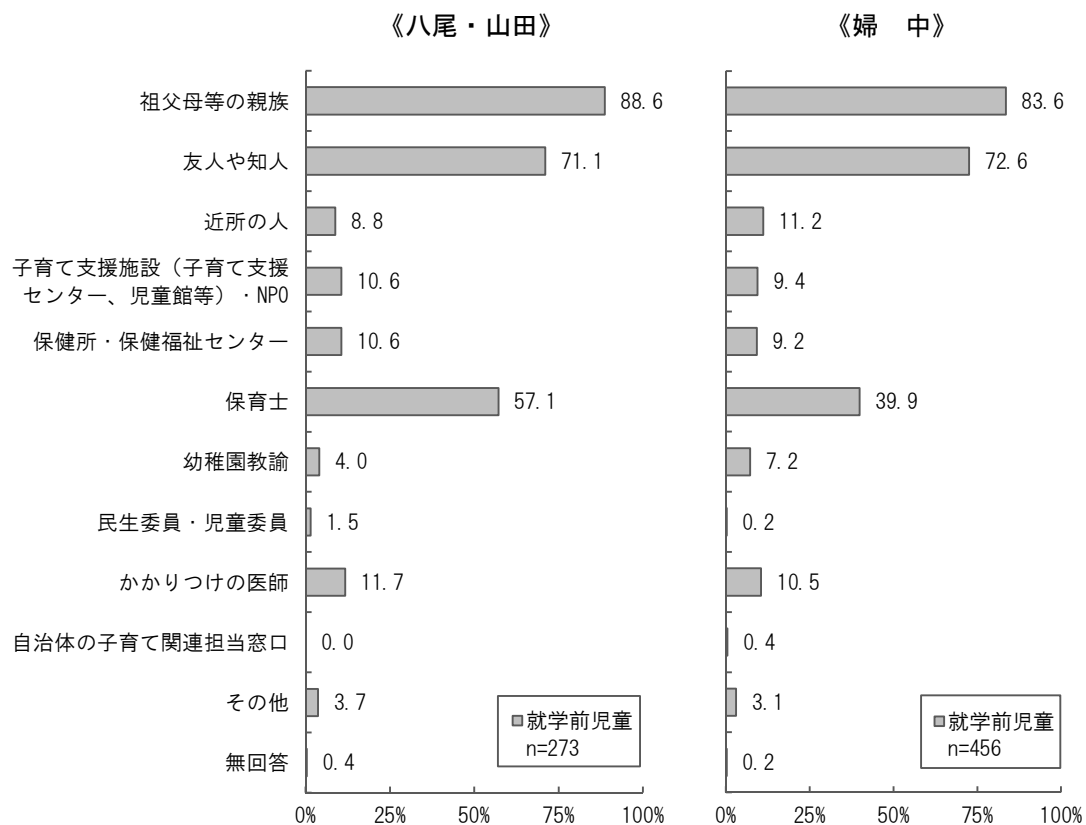
問10-1 気軽に相談できる相手



問10-1 気軽に相談できる相手



問10-1 気軽に相談できる相手



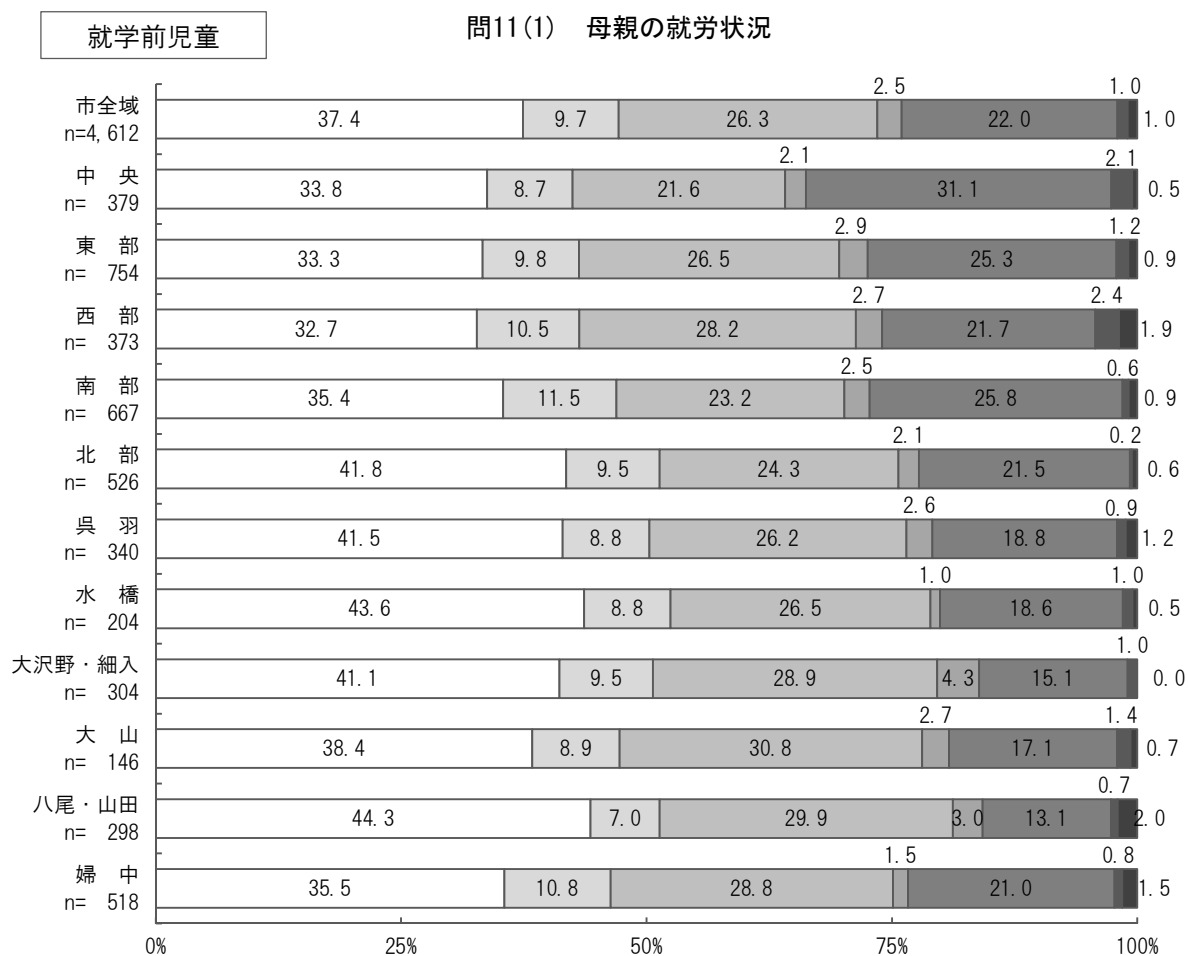


## 2 保護者の就労状況

### (1) 母親の就労状況

○就学前児童の母親の就労状況を地域別にみると、八尾・山田地域（84.2%）が最も高く、次いで大沢野・細入地域（83.8%）、大山地域（80.8%）となっています。

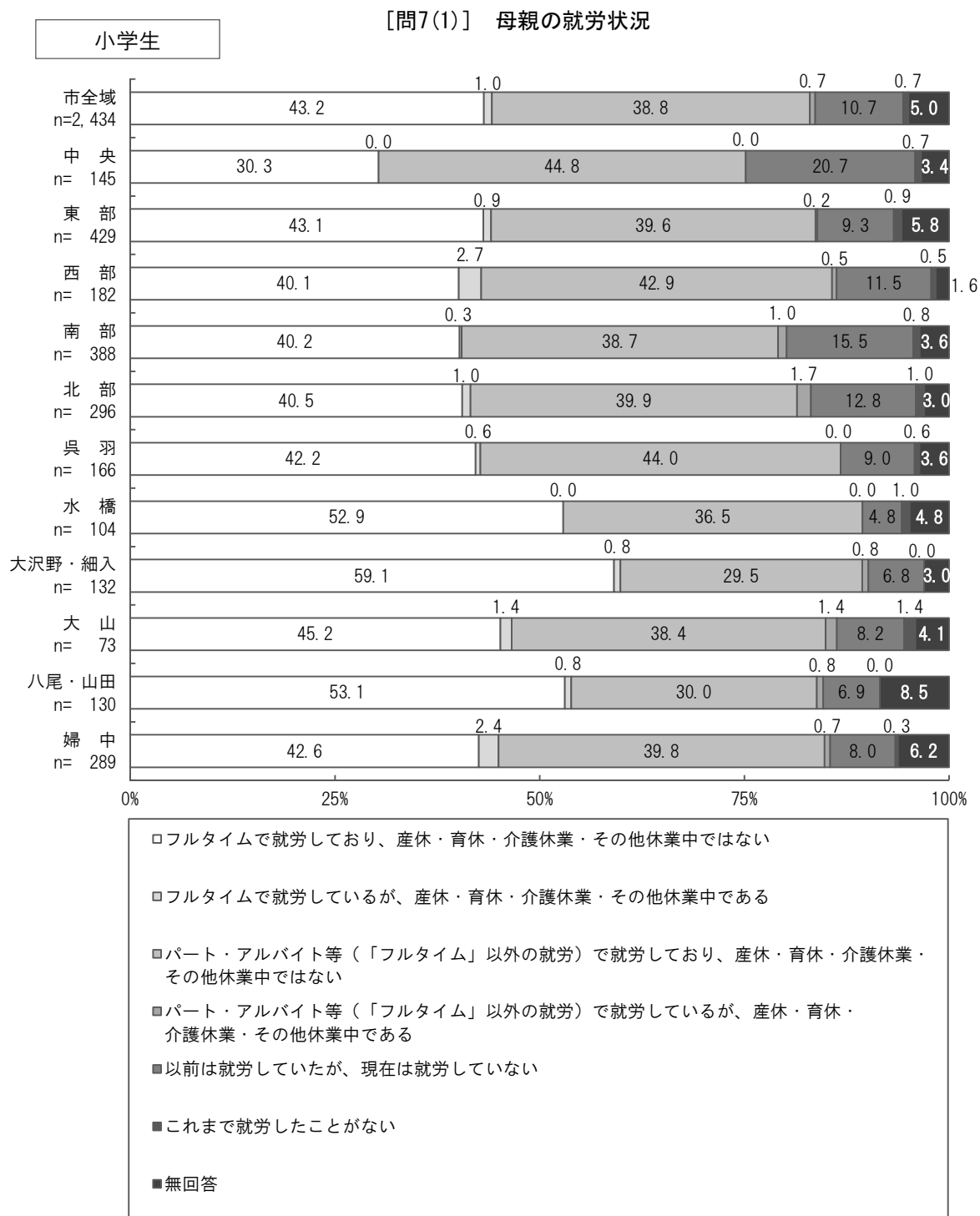
○現在フルタイムで就労している方は、八尾・山田地域（44.3%）が最も高く、次いで水橋地域（43.6%）、北部地域（41.8%）となっています。



- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

○小学生の母親の就労状況を地域別にみると、大沢野・細入地域（90.2%）が最も高く、次いで水橋地域（89.4%）、呉羽地域（86.8%）となっています。

○現在フルタイムで就労している方は、大沢野・細入地域（59.1%）が最も高く、次いで八尾・山田地域（53.1%）、水橋地域（52.9%）となっています。

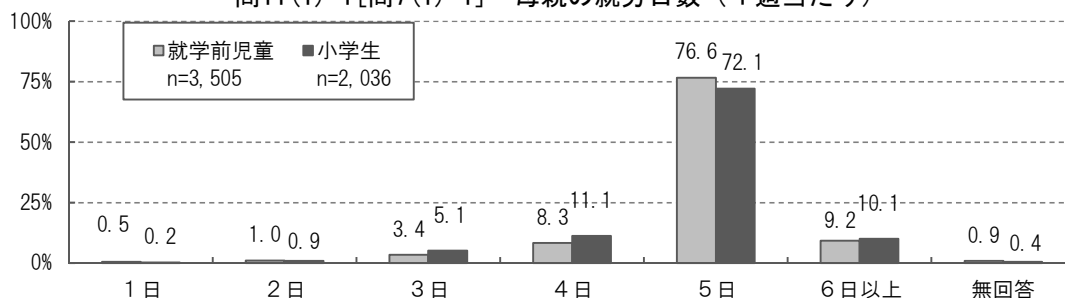


○母親の就労日数・就労時間について、就学前児童では「5日」(73.7~82.2%)、「8~9時間」(37.5~49.2%)が最も高い割合となっています。小学生では就労日数は「5日」(64.2~86.6%)、就労時間は「8~9時間」(38.2~51.8%)が最も高い割合となっていますが、中央地域のみ「6~7時間」(31.2%)が最も高い割合となっています。

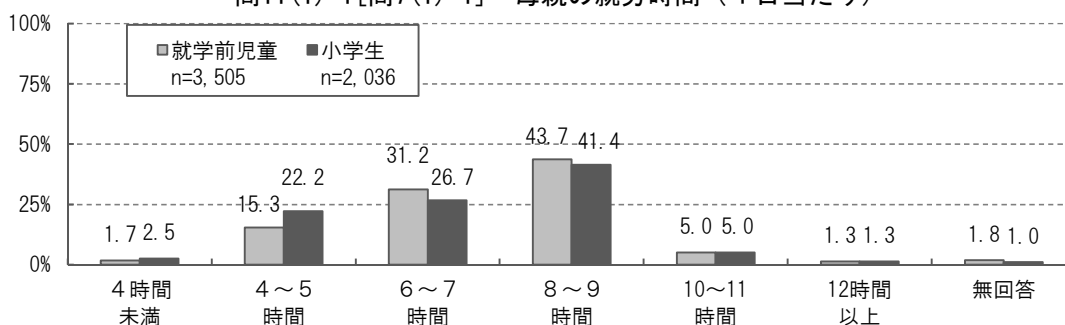
○就労日数が「6日以上」と回答した方をみると、就学前児童は大沢野・細入地域で11.0%、小学生では東部地域で13.3%が最も高い割合となっています。

《市全域》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数(1週当たり)

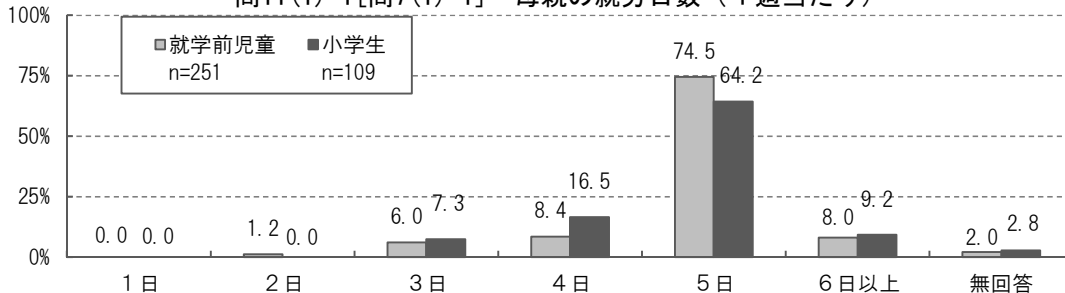


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間(1日当たり)

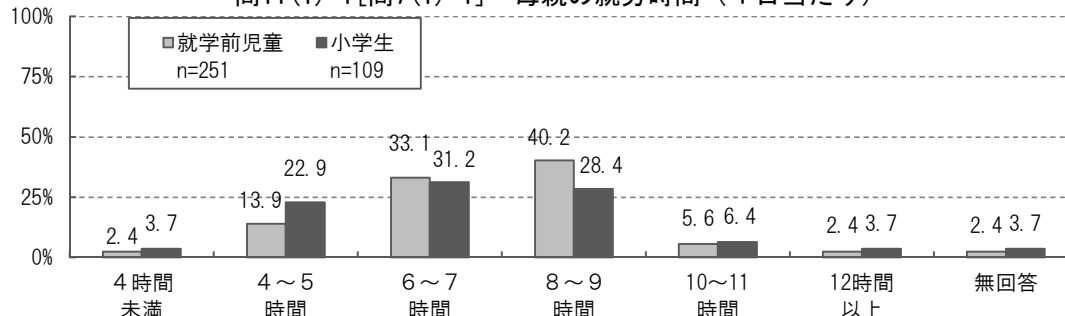


《中央》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数(1週当たり)

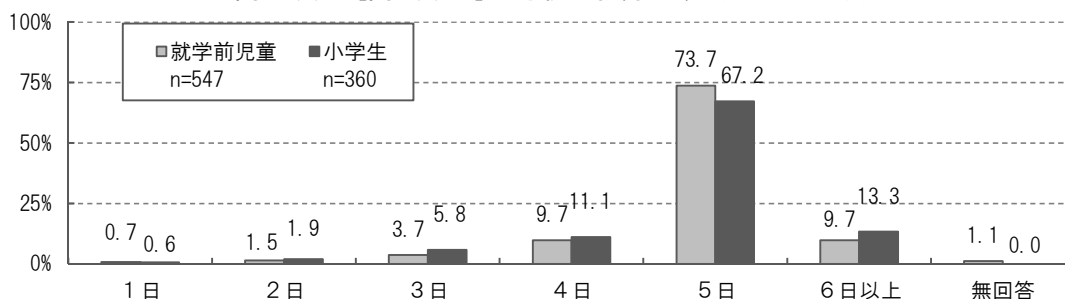


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間(1日当たり)

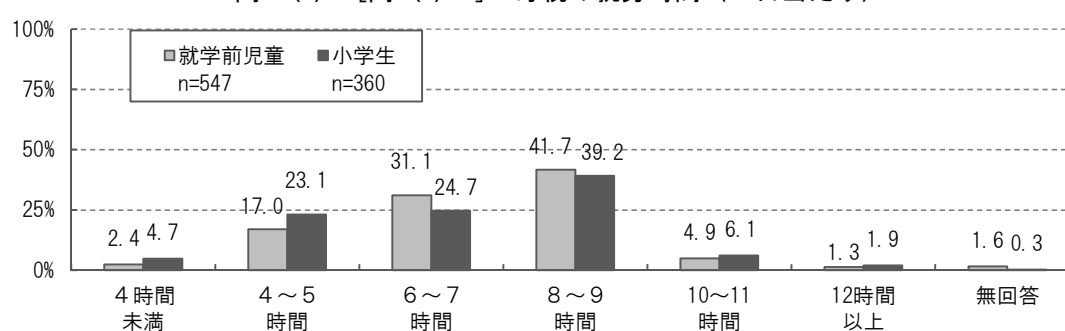


《東部》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

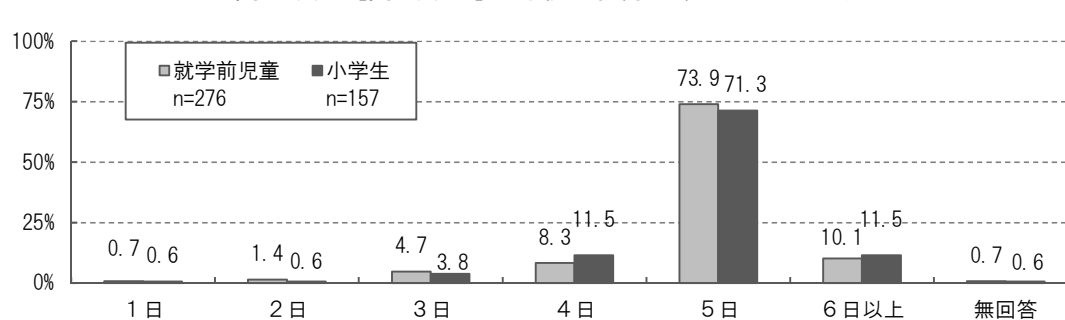


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

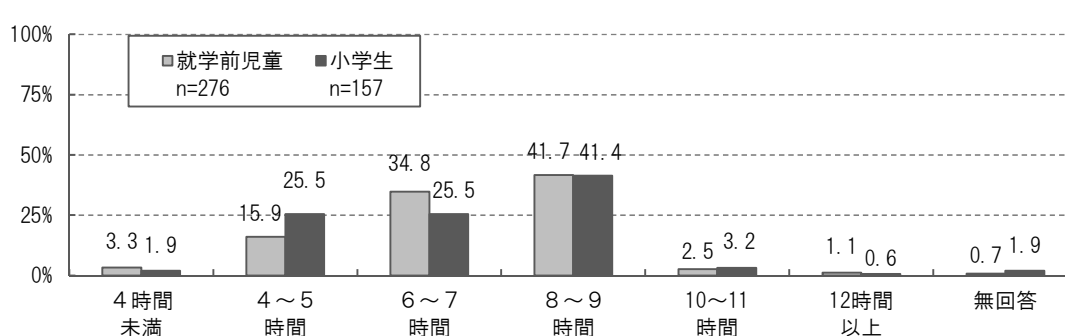


《西部》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

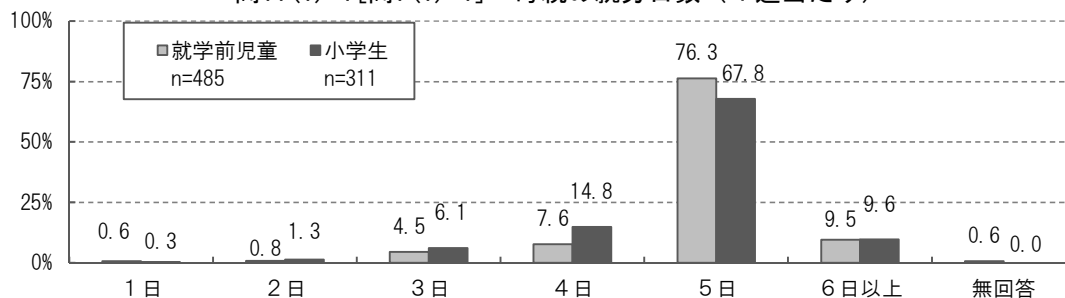


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

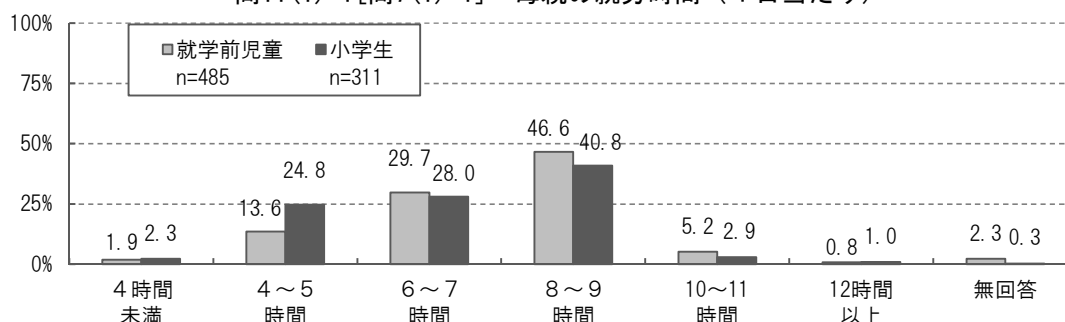


《南部》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

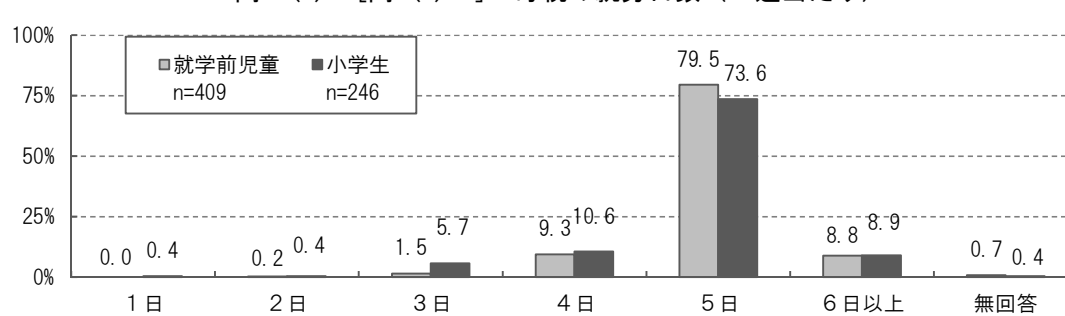


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

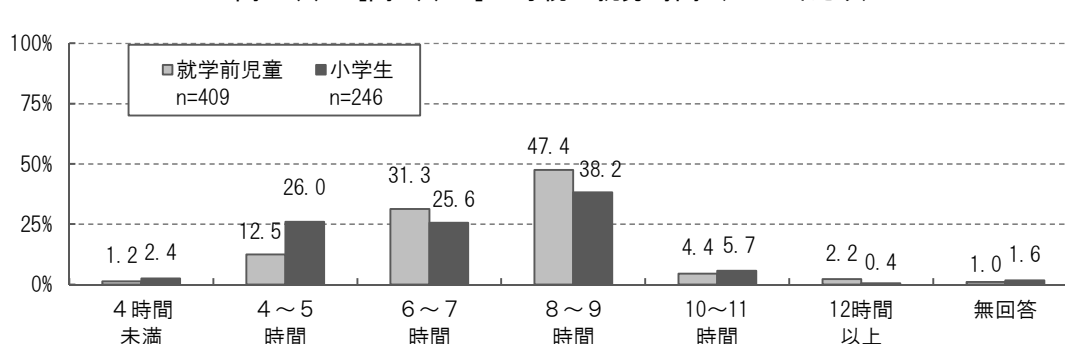


《北部》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

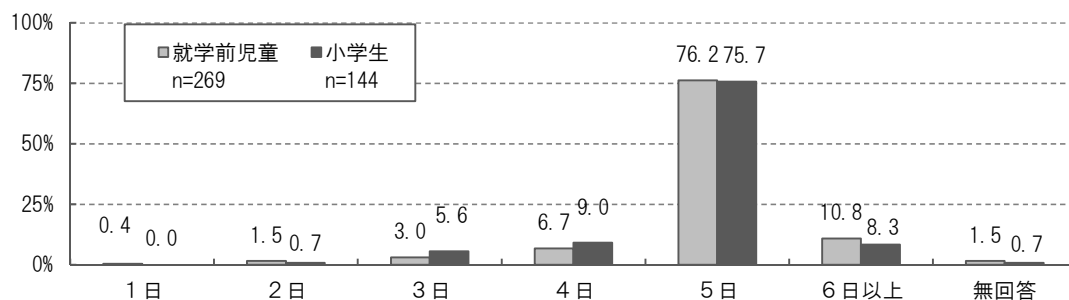


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

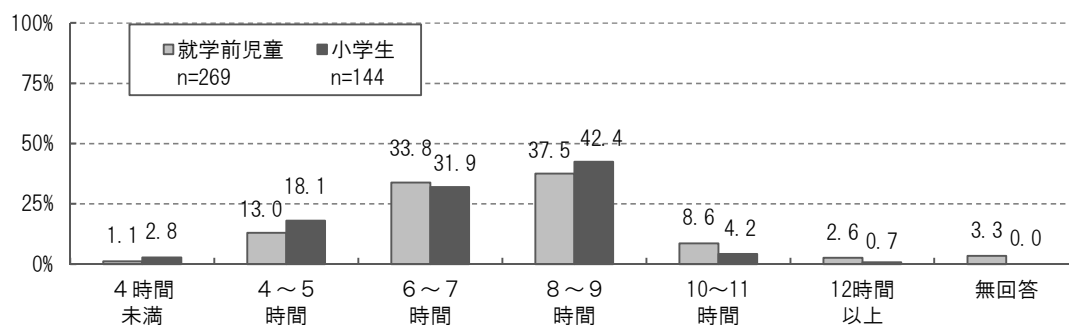


《呉羽》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

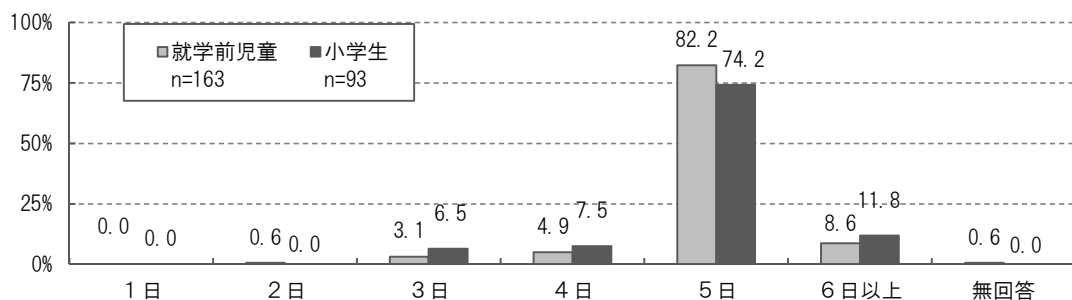


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

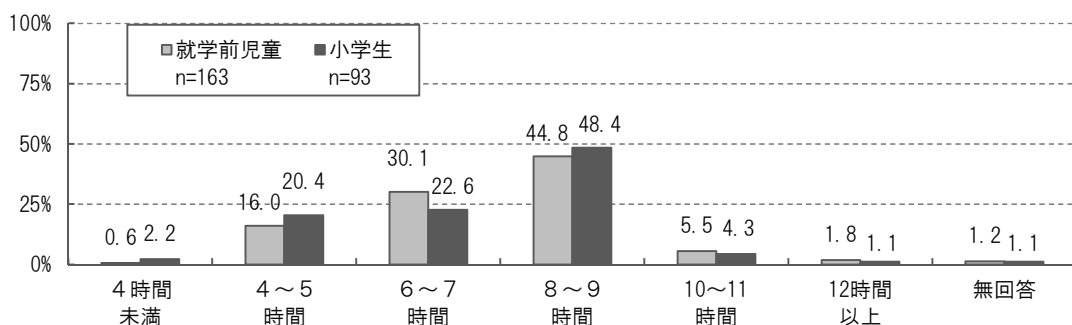


《水橋》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

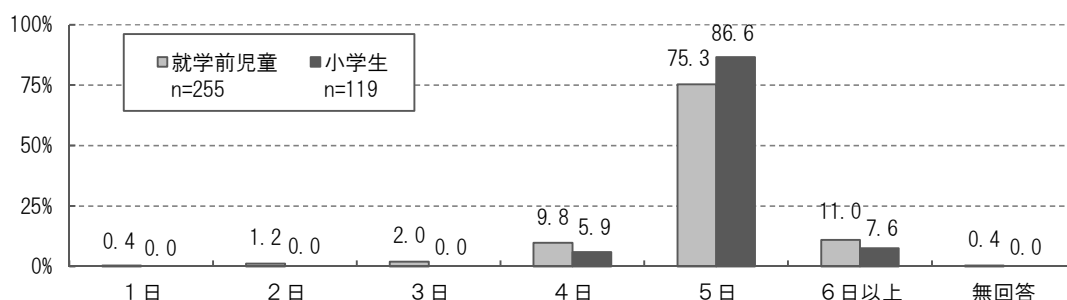


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

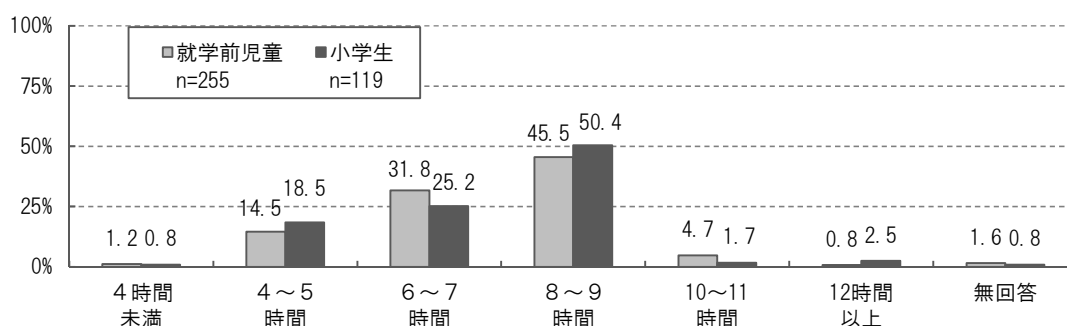


《大沢野・細入》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

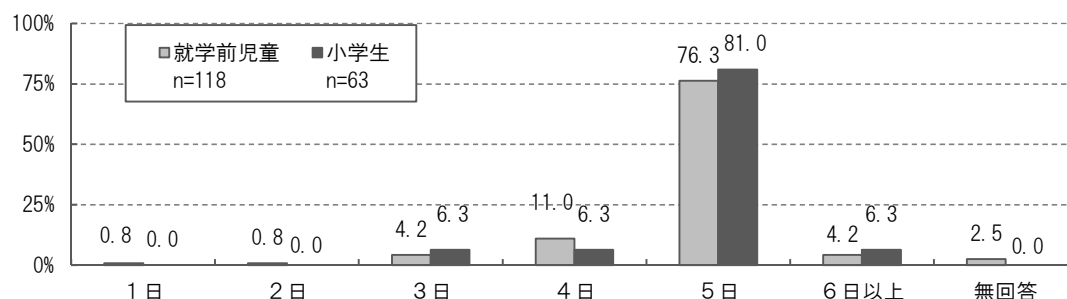


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

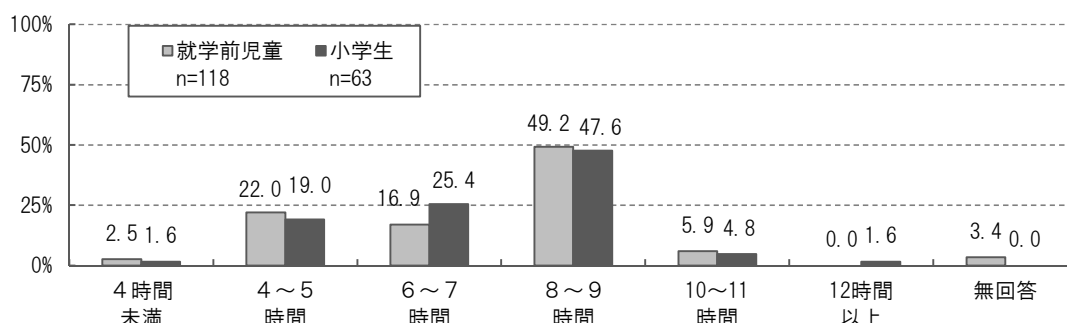


《大山》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

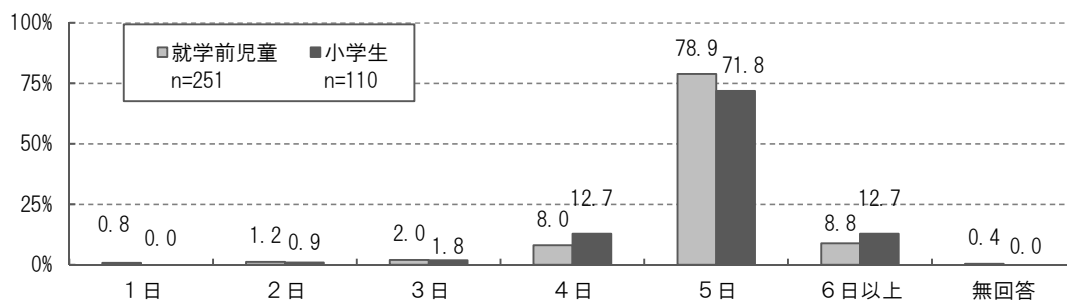


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

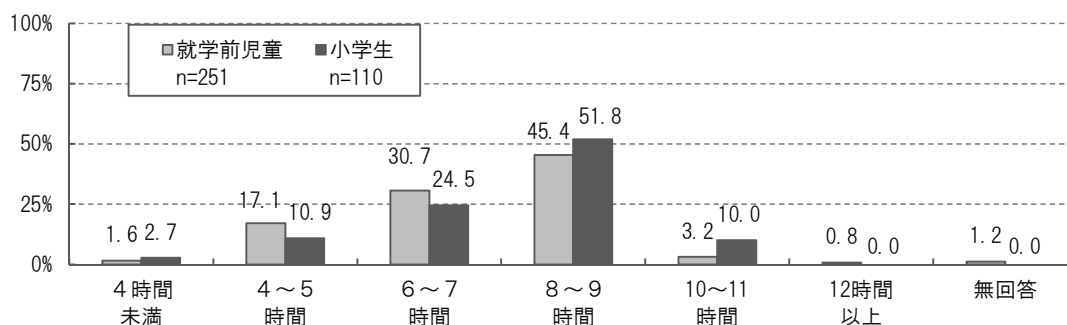


《八尾・山田》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）

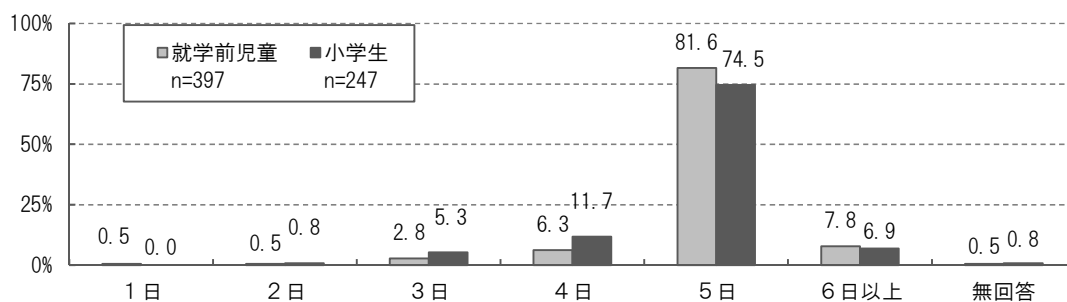


問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）

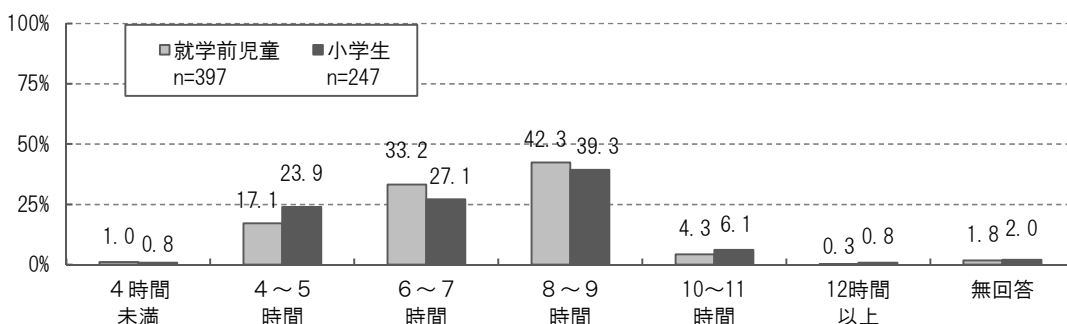


《婦中》

問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労日数（1週当たり）



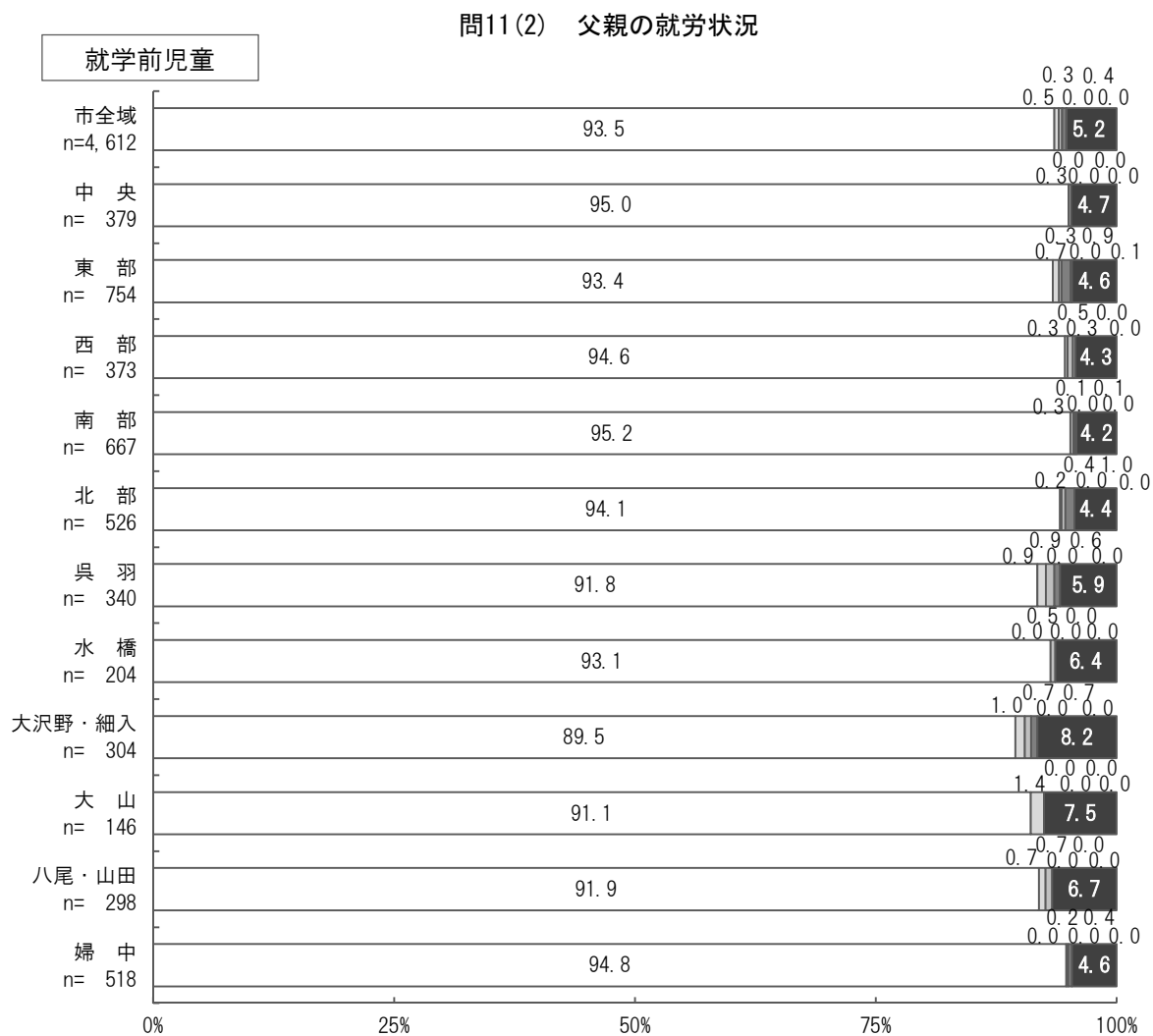
問11(1)-1[問7(1)-1] 母親の就労時間（1日当たり）





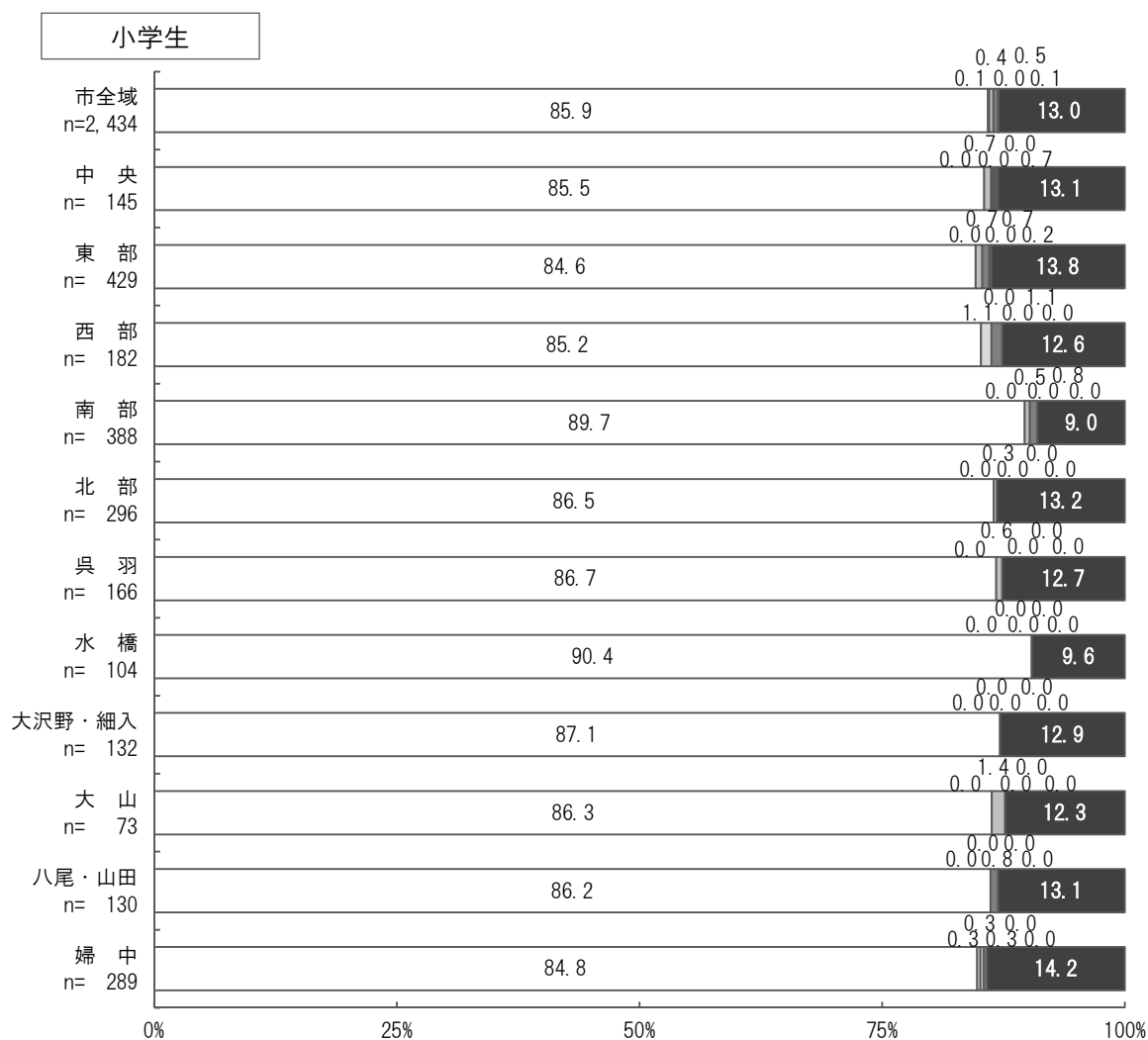
## (2) 父親の就労状況

○父親の就労状況ついて、就学前児童・小学生ともに「フルタイムで就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない」(89.5~95.2%・84.6~90.4%)が最も高い割合となっています。



- フルタイムで就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- ▣パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- ▣パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

[問7(2)] 父親の就労状況

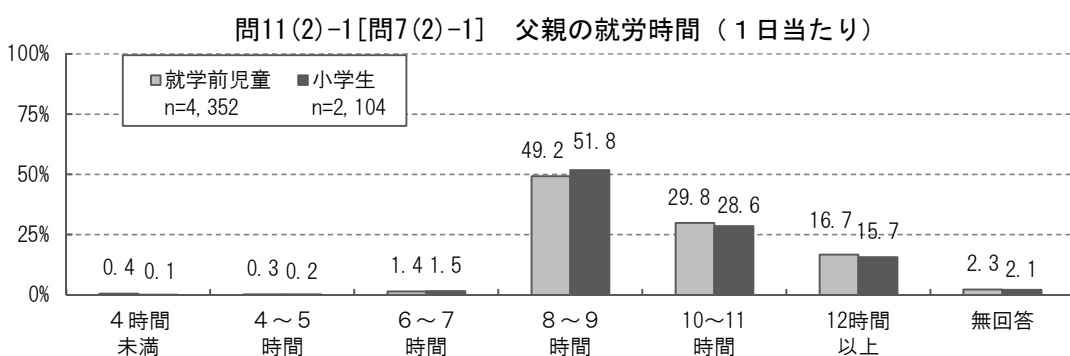
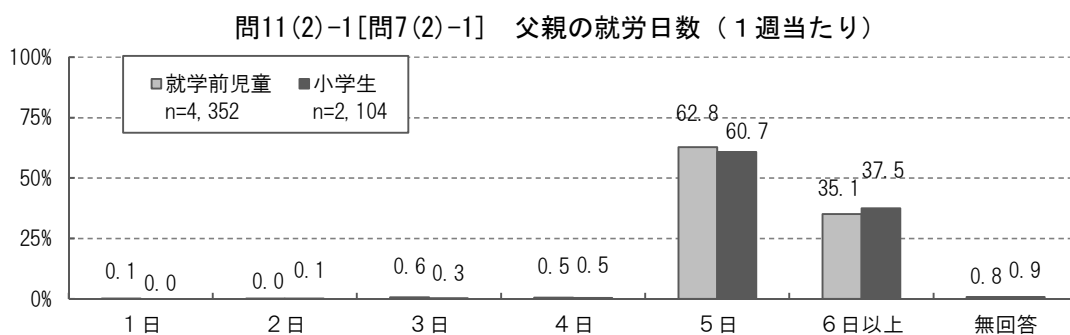


- フルタイムで就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業・その他休業中ではない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業・その他休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- これまで就労したことがない
- 無回答

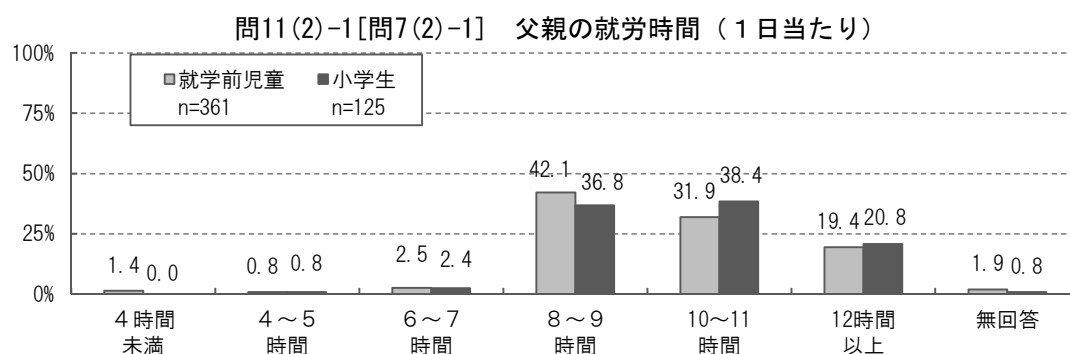
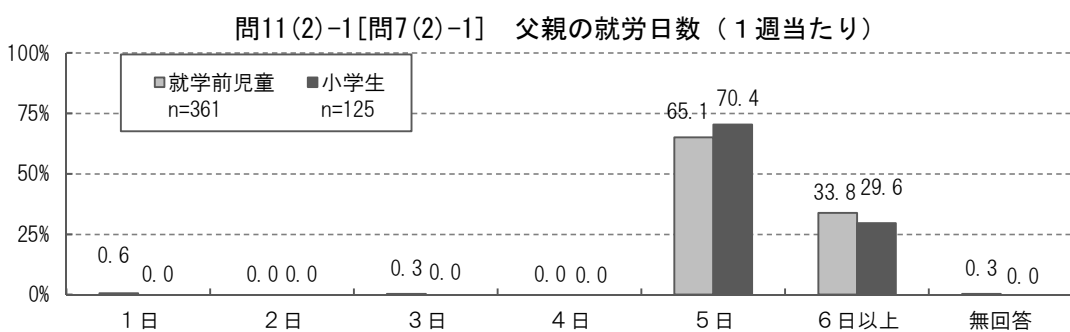
○父親の就労日数・就労時間について、就学前児童では「5日」(55.3~67.6%)、「8~9時間」(42.1~61.7%)、小学生でも「5日」(46.9~70.4%)、「8~9時間」(36.8~60.0%)で最も高くなっています。

○就労日数が「6日以上」と回答した方をみると、就学前児童は呉羽地域で40.9%、小学生では大山地域で48.4%が最も高い割合となっています。

《市全域》

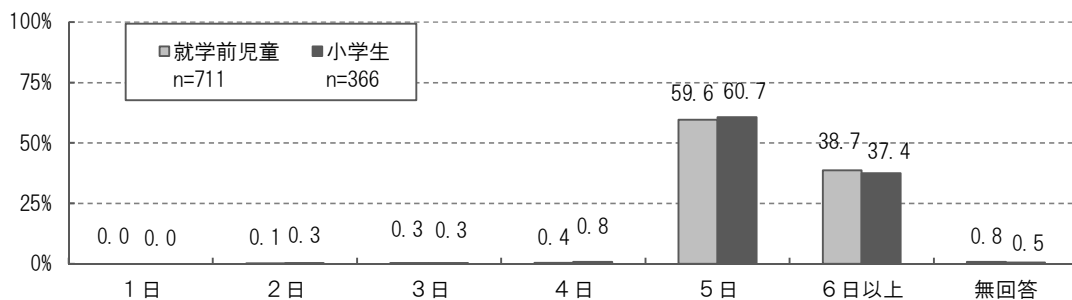


《中央》

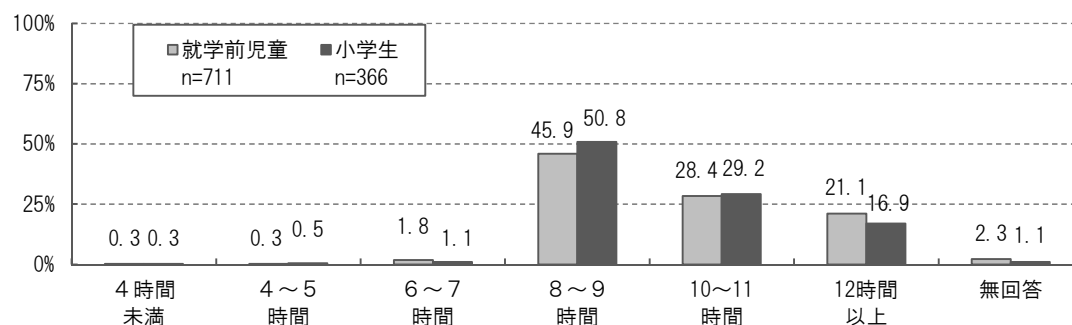


《東部》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

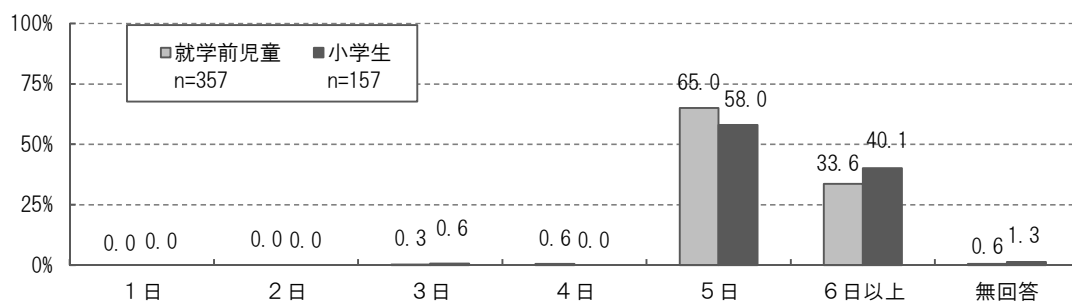


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

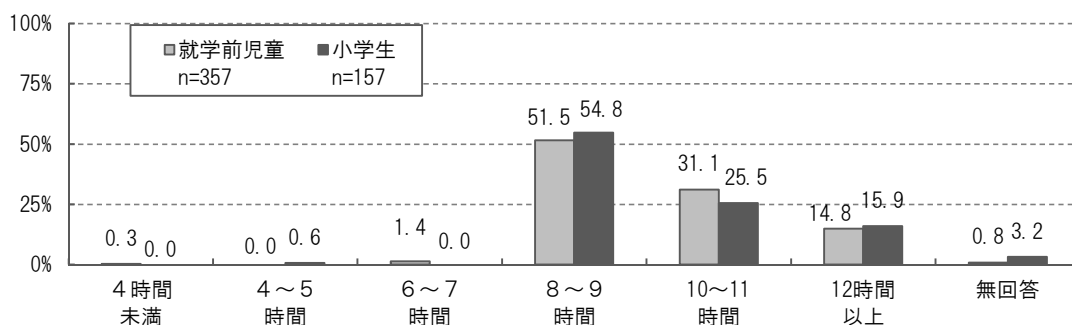


《西部》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

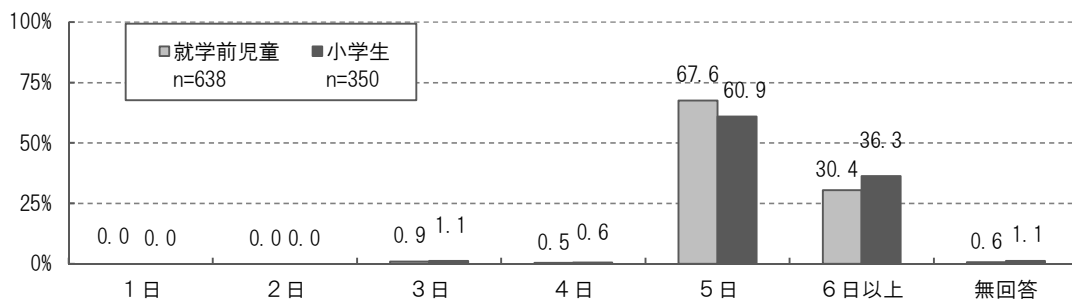


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

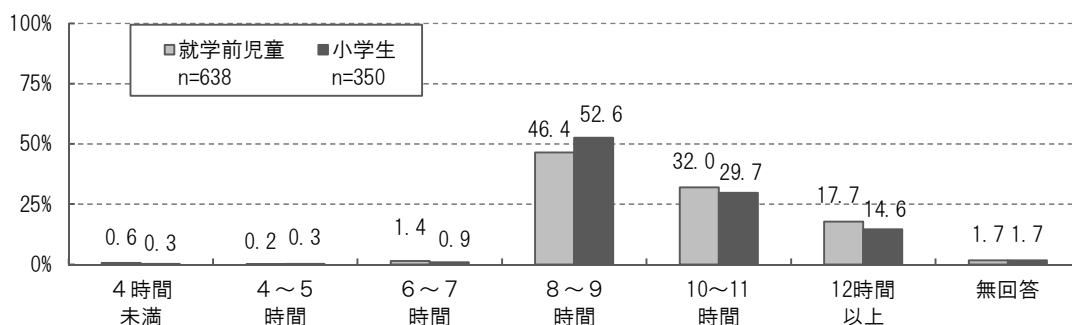


《南部》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

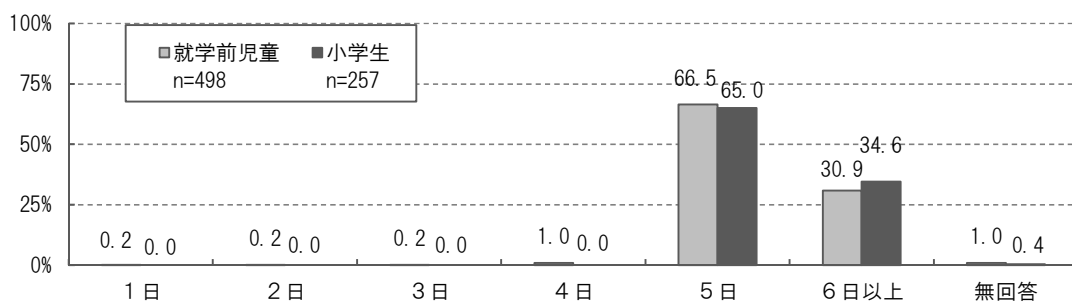


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

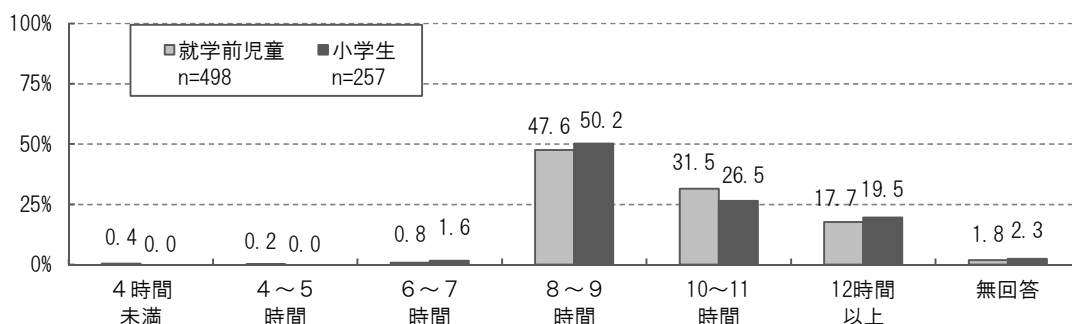


《北部》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

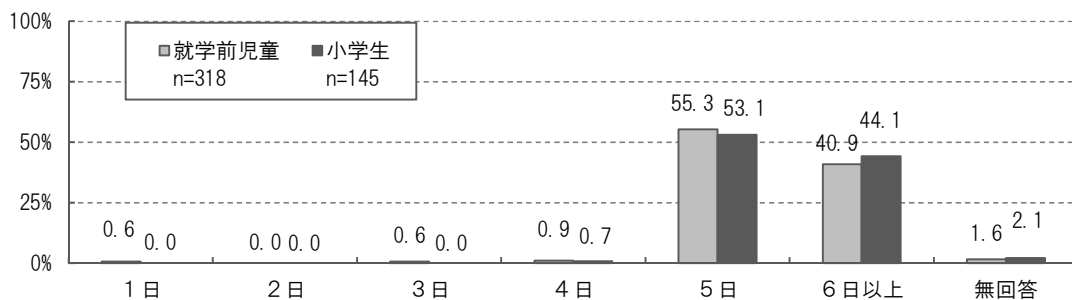


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

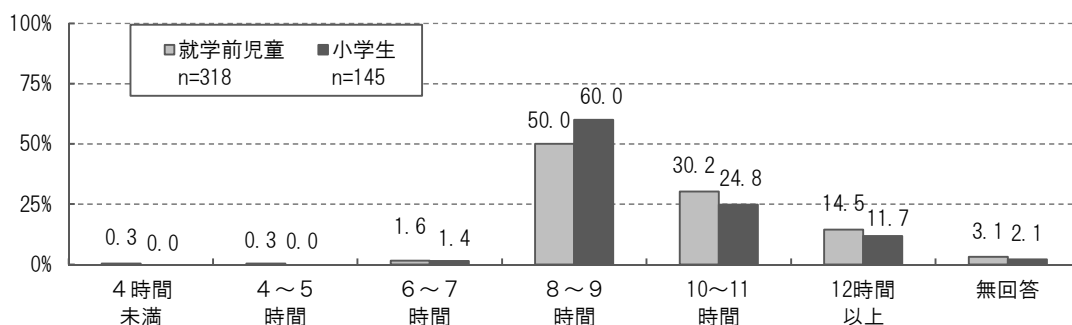


《呉羽》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

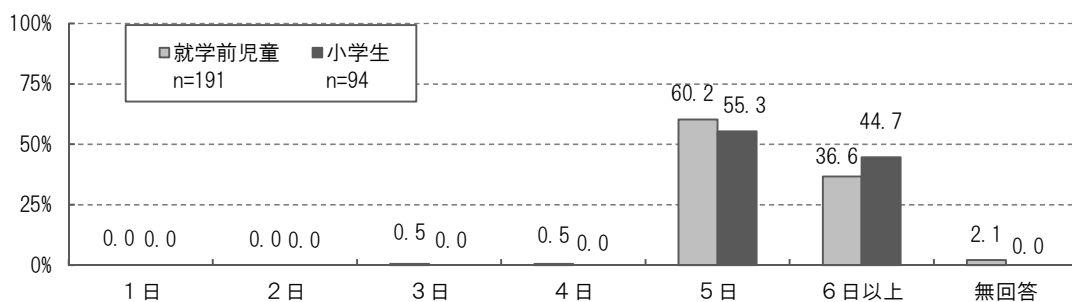


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

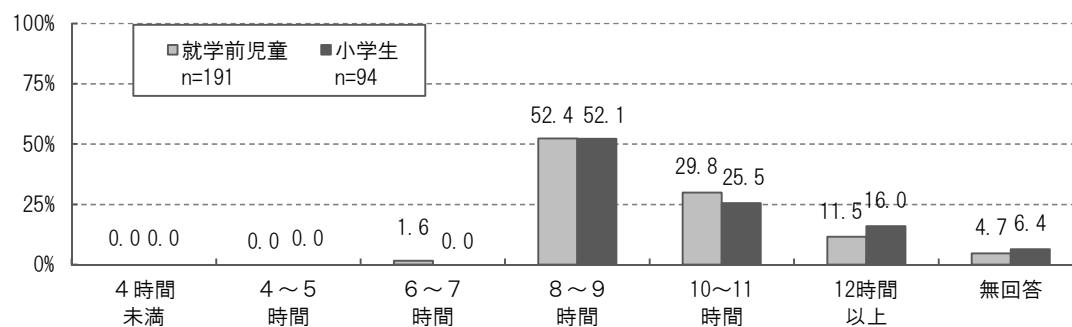


《水橋》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

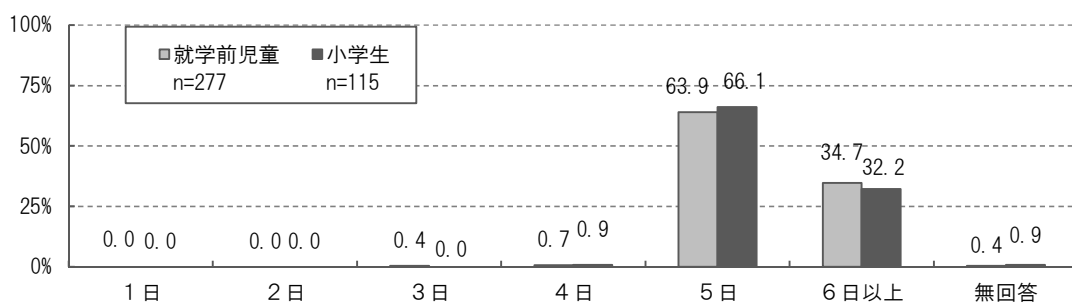


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

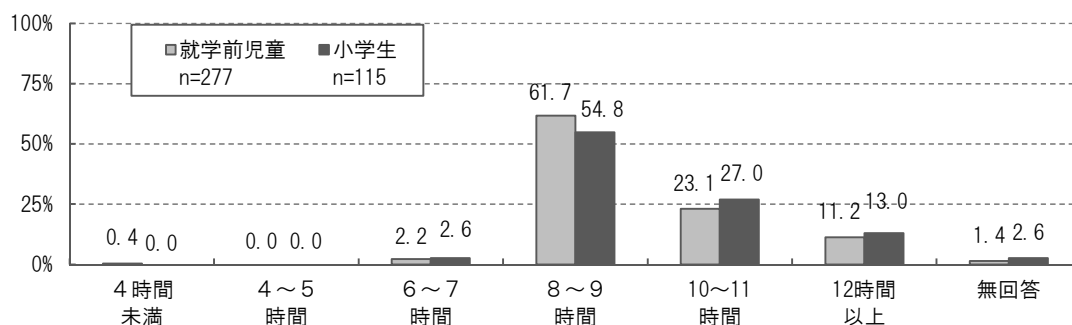


《大沢野・細入》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

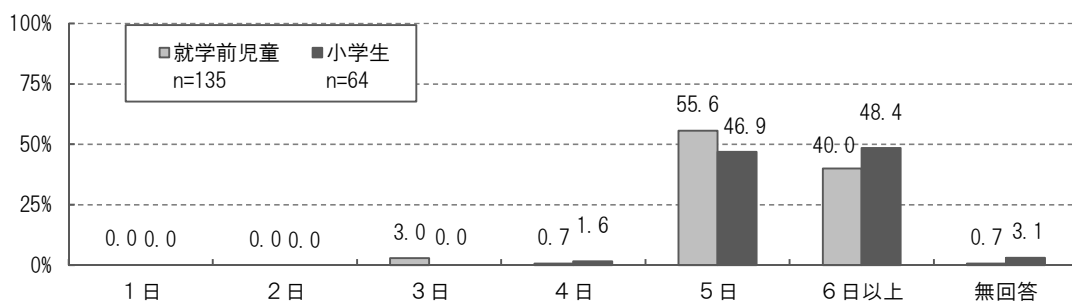


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

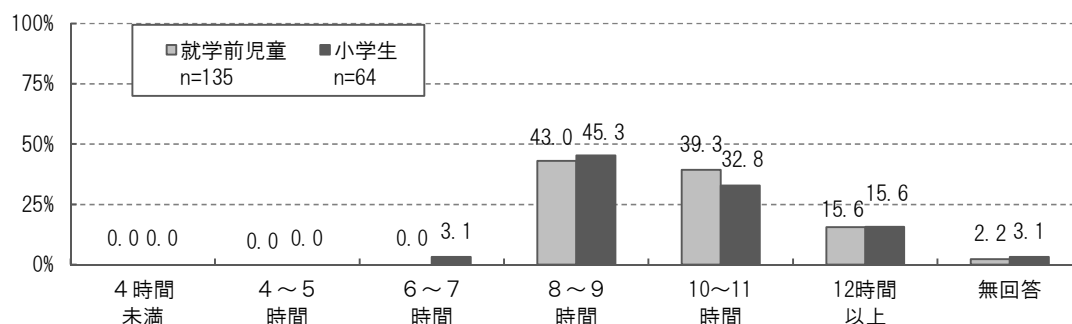


《大山》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

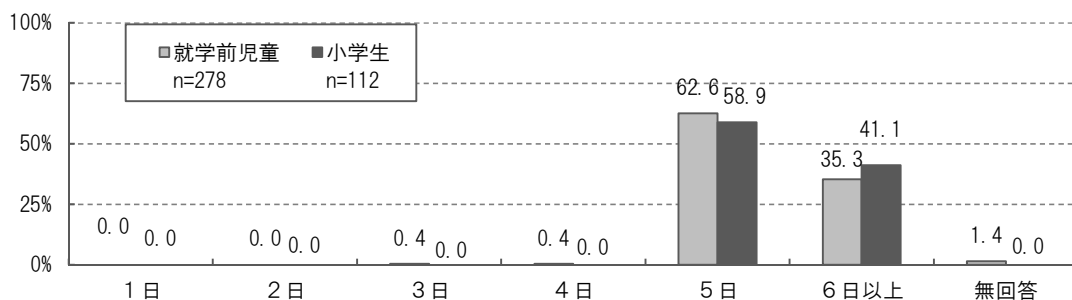


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

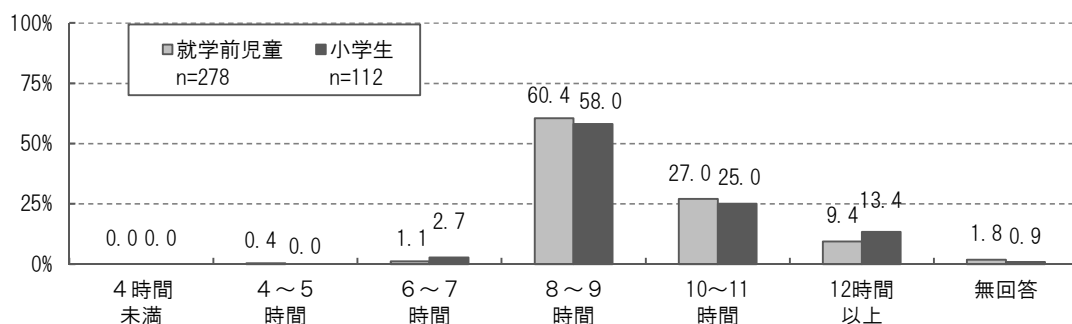


《八尾・山田》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）

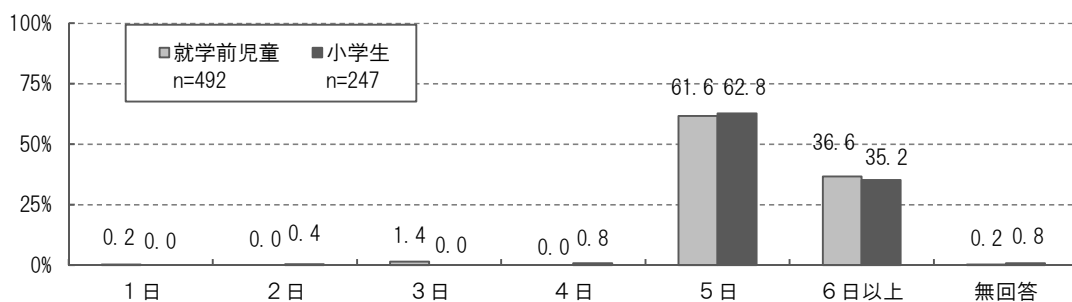


問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）

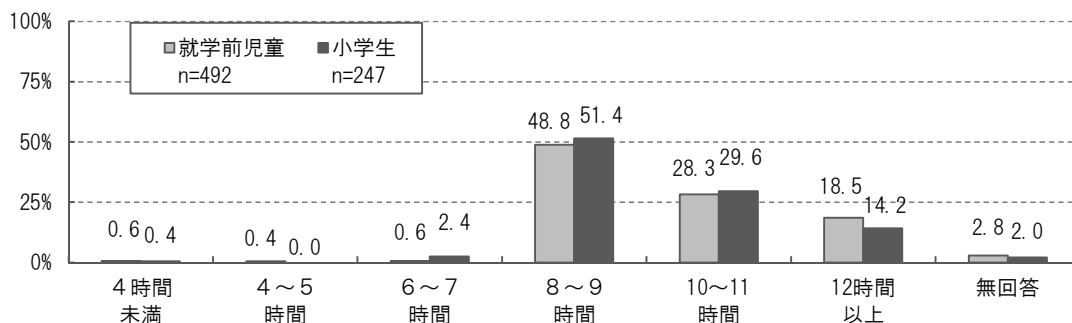


《婦中》

問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労日数（1週当たり）



問11(2)-1[問7(2)-1] 父親の就労時間（1日当たり）





## **第2章**

# **地域別の子育て支援サービスの 現状と今後の利用希望**

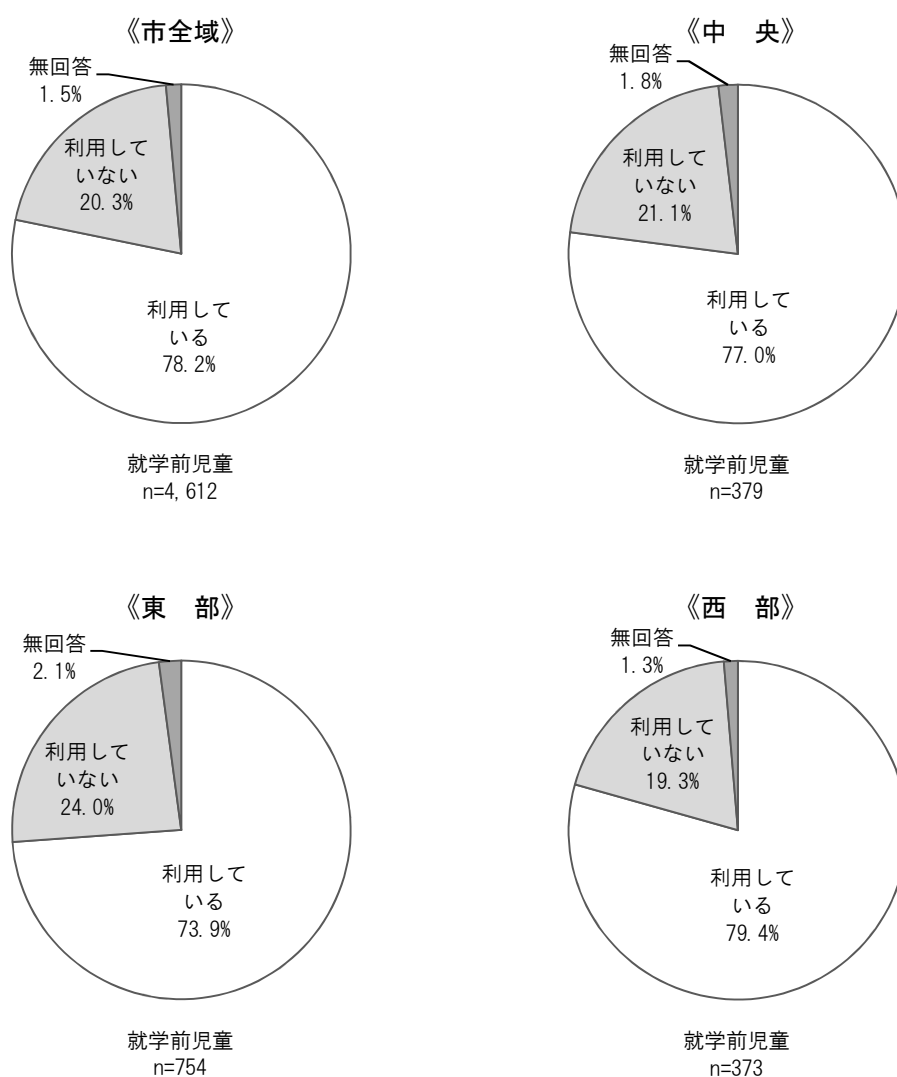
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

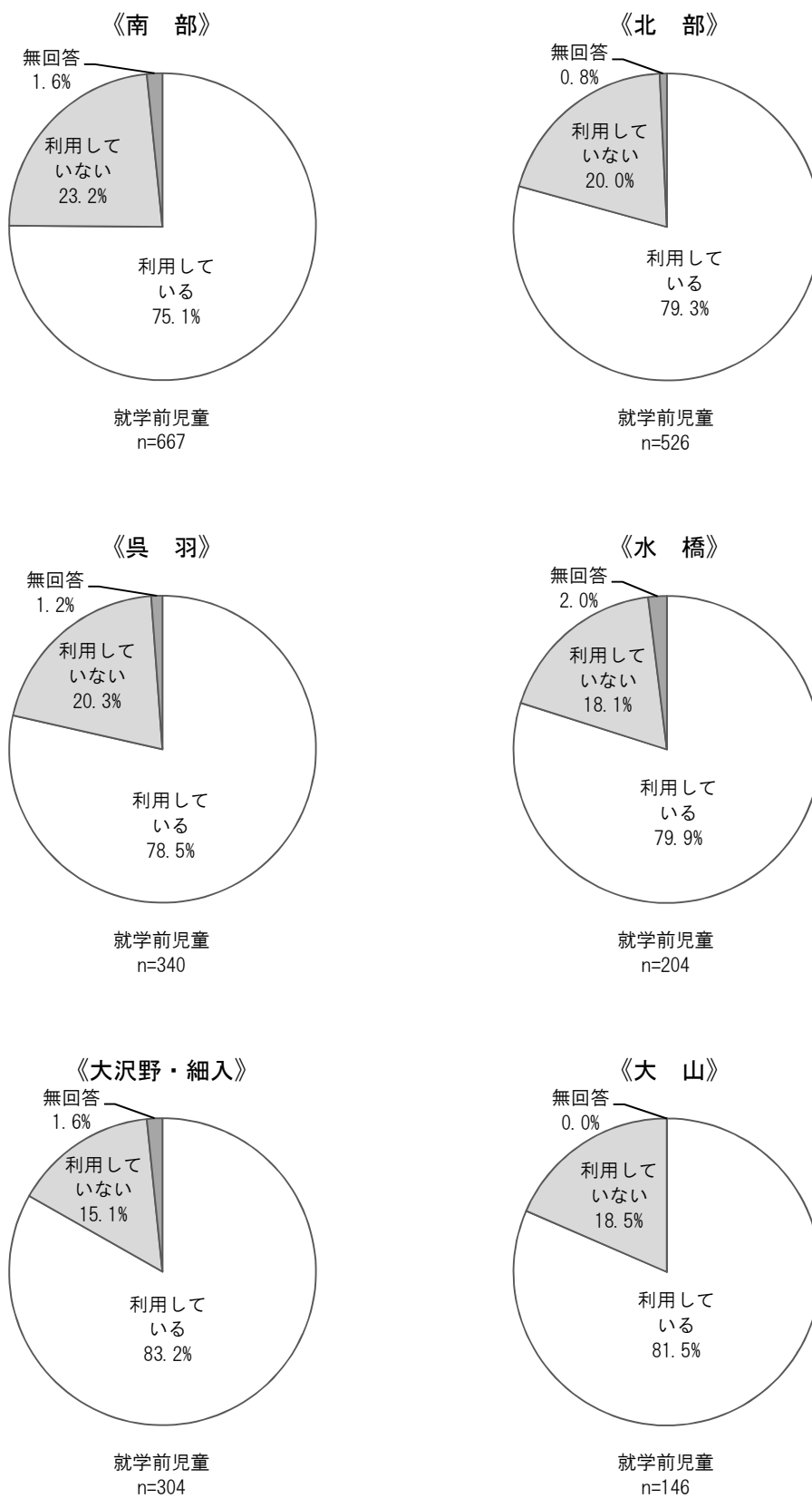
#### (1) 平日の定期的な教育・保育事業

○就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用状況について、「利用している」割合は《八尾・山田》(83.6%)、《大沢野・細入》(83.2%)、《大山》(81.5%)で利用が多く、その他の地域で7割台の利用があり、《東部》(73.9%)で最も低くなっています。

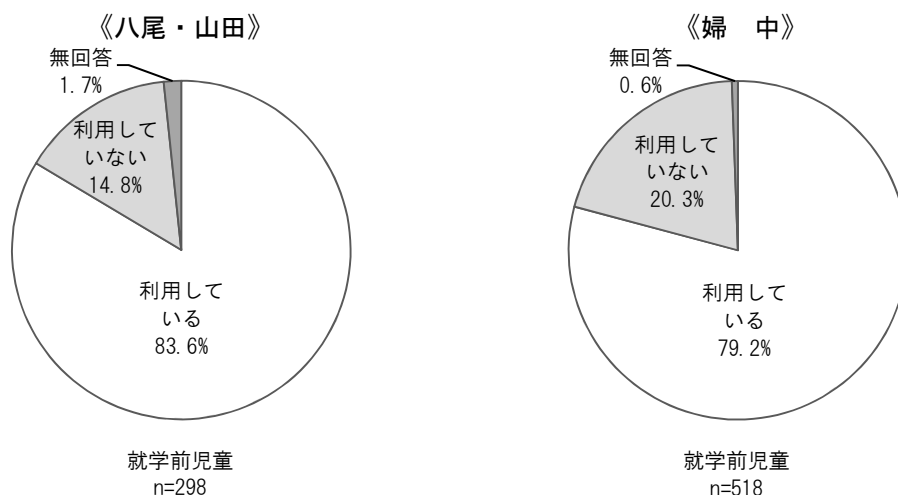
問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



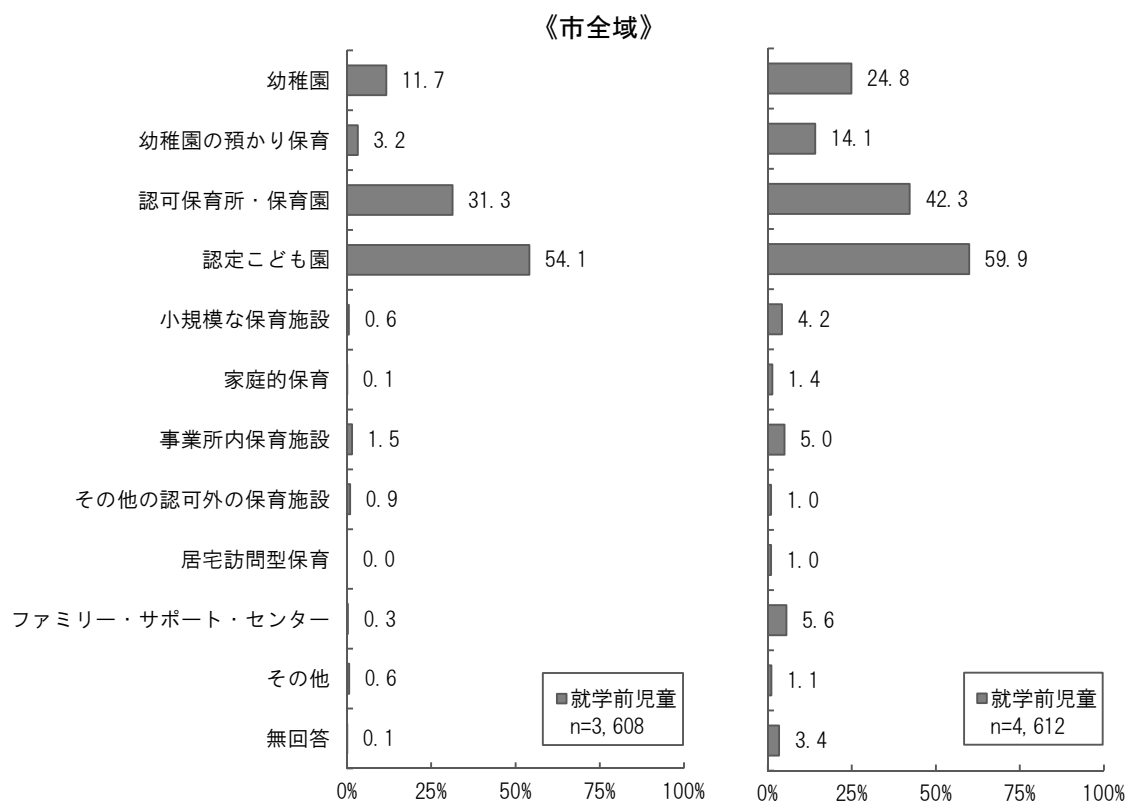
問14 定期的な教育・保育事業の利用状況



○利用中の事業を地域別にみると、《呉羽》《大沢野・細入》では「認可保育所・保育園」(順に57.3%・46.6%)の割合が最も高く、次いで「認定こども園」(順に27.3%・40.3%)、その他の地域では「認定こども園」(45.2~64.9%)の割合が最も高く、次いで「認可保育所・保育園」(20.3~38.2%)となっています。

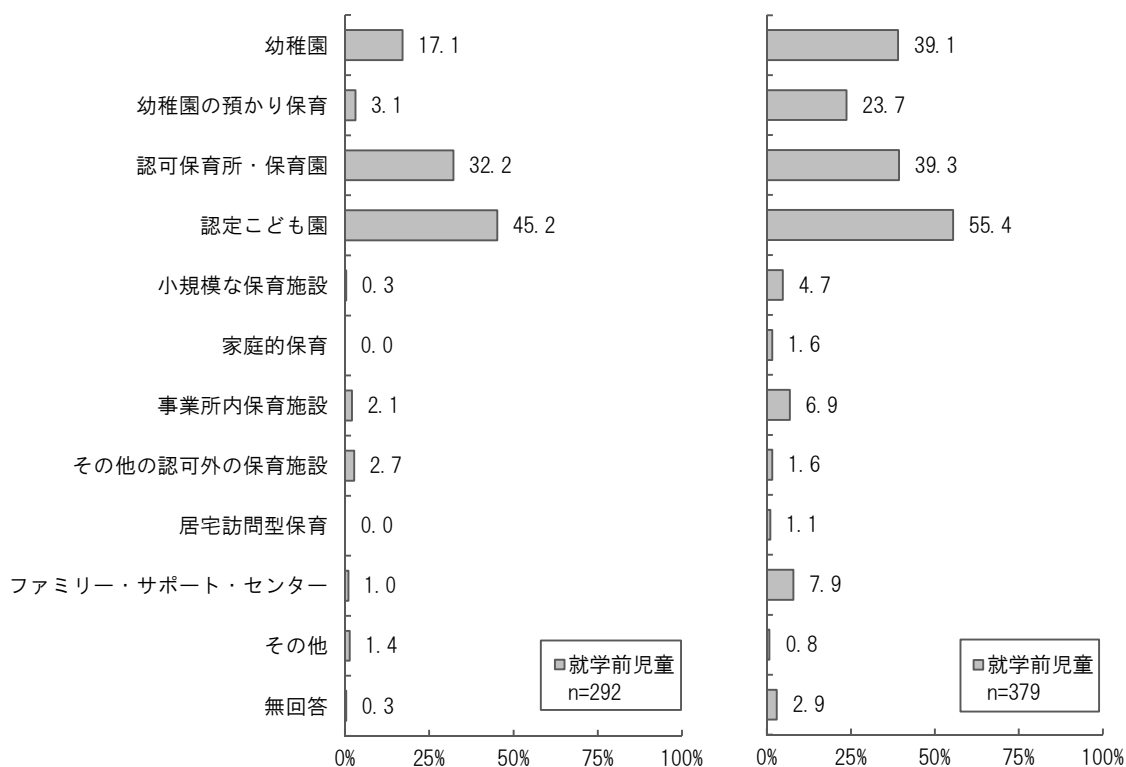
○一方、今後の利用希望をみると、《呉羽》《大沢野・細入》では「認可保育所・保育園」(順に57.6%・55.3%)の割合が最も高く、次いで「認定こども園」(順に41.8%・47.4%)、その他の地域では「認定こども園」(55.4~68.1%)の割合が最も高く、次いで「認可保育所・保育園」(33.5~46.0%)となっています。

問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況      問15 希望する定期的な教育・保育事業

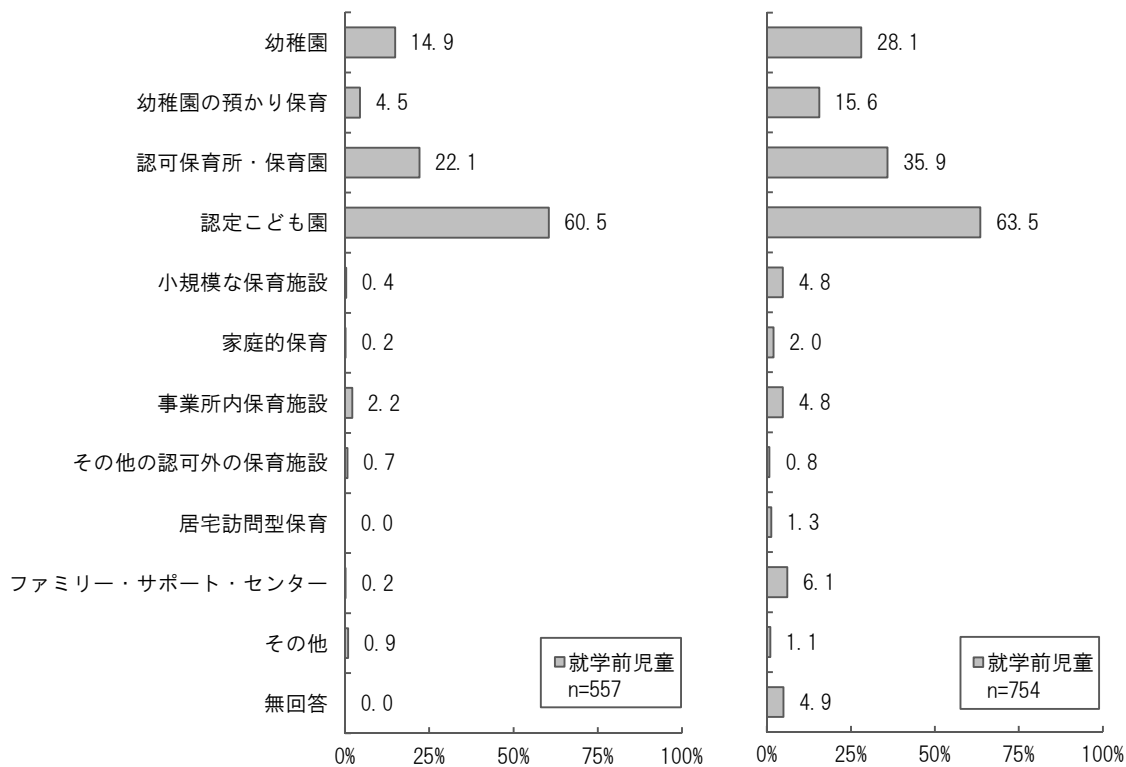


問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況 問15 希望する定期的な教育・保育事業

《中央》



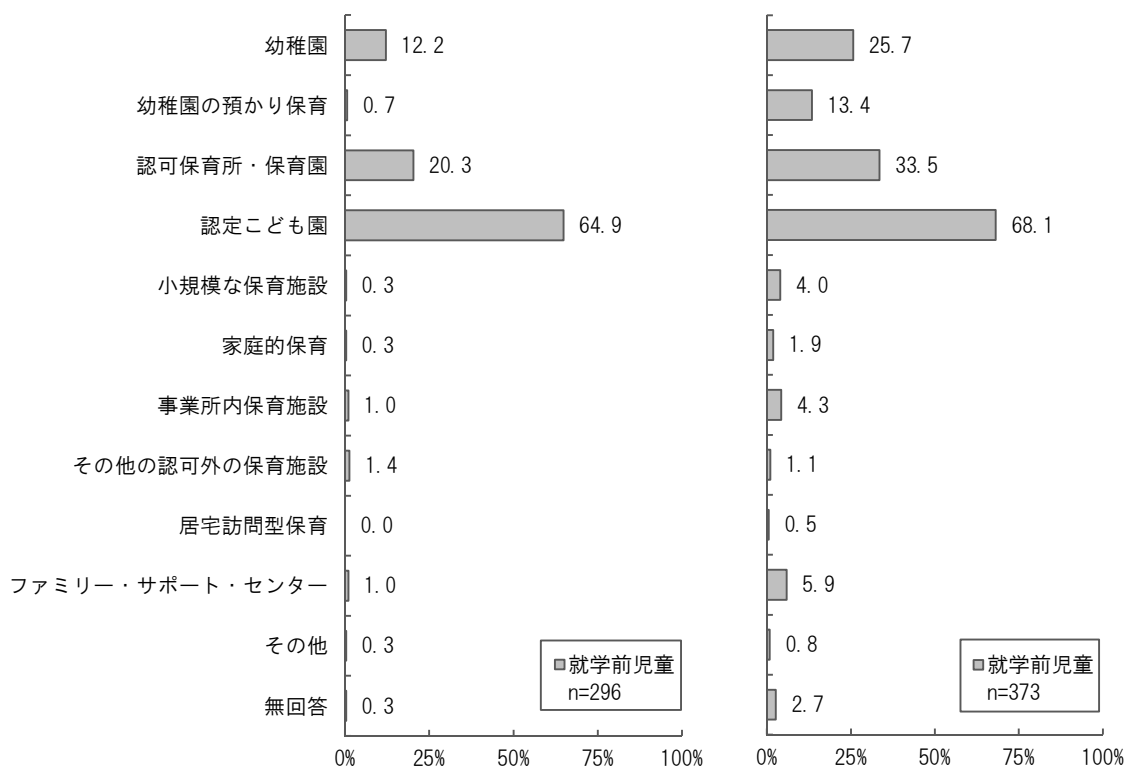
《東 部》



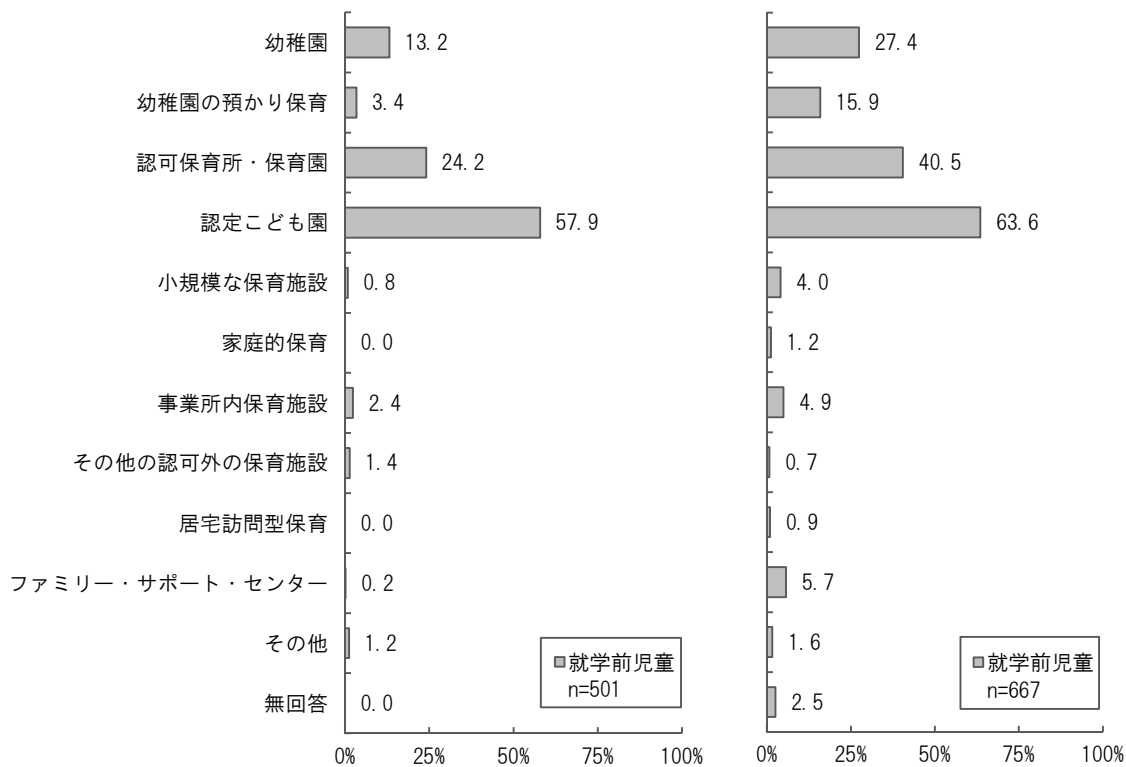
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《西部》



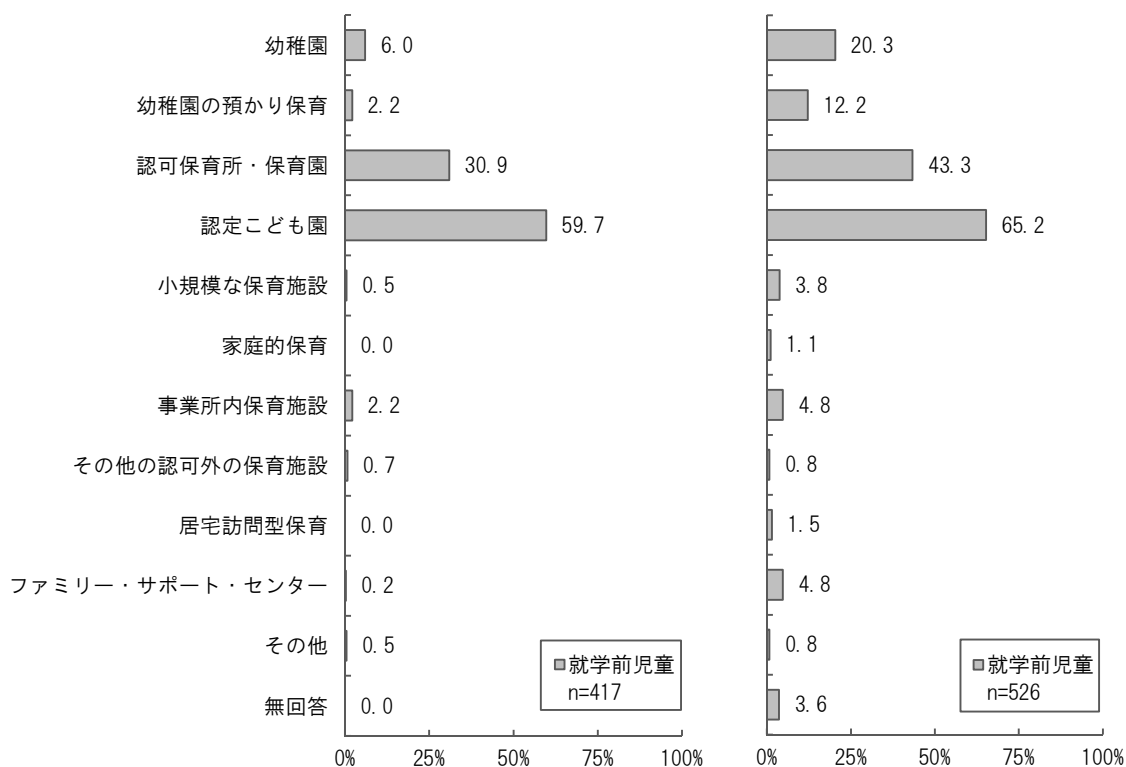
《南部》



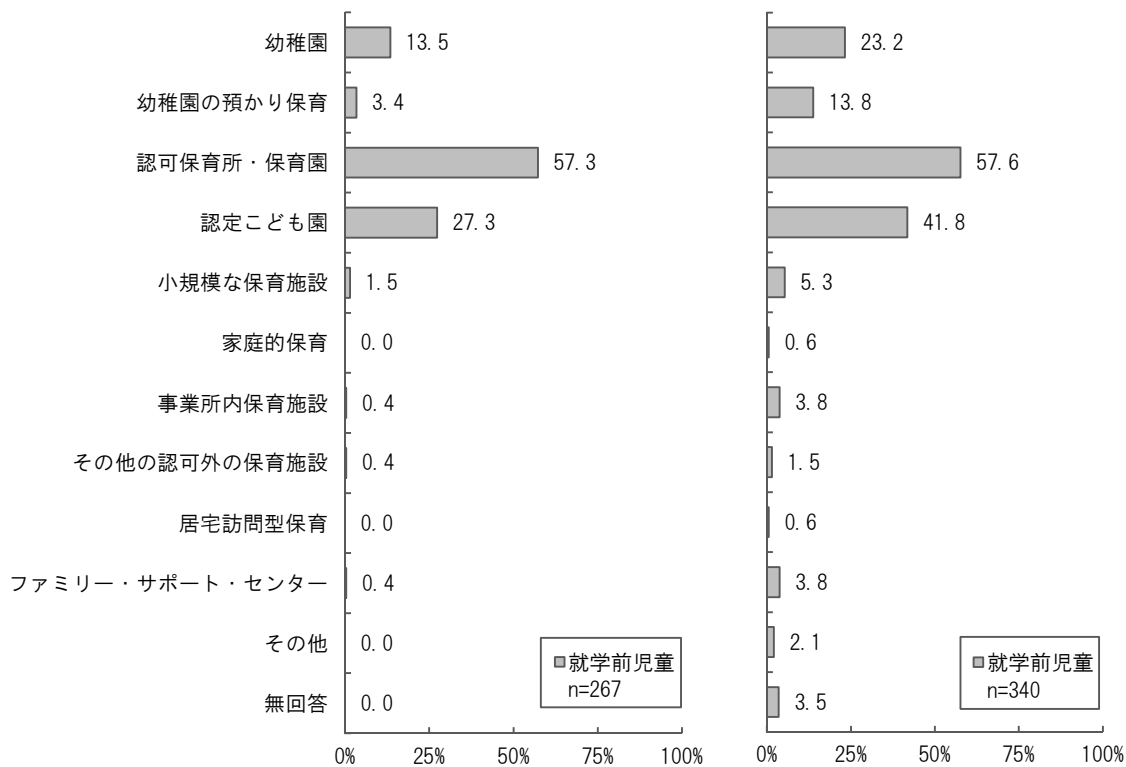
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《北 部》



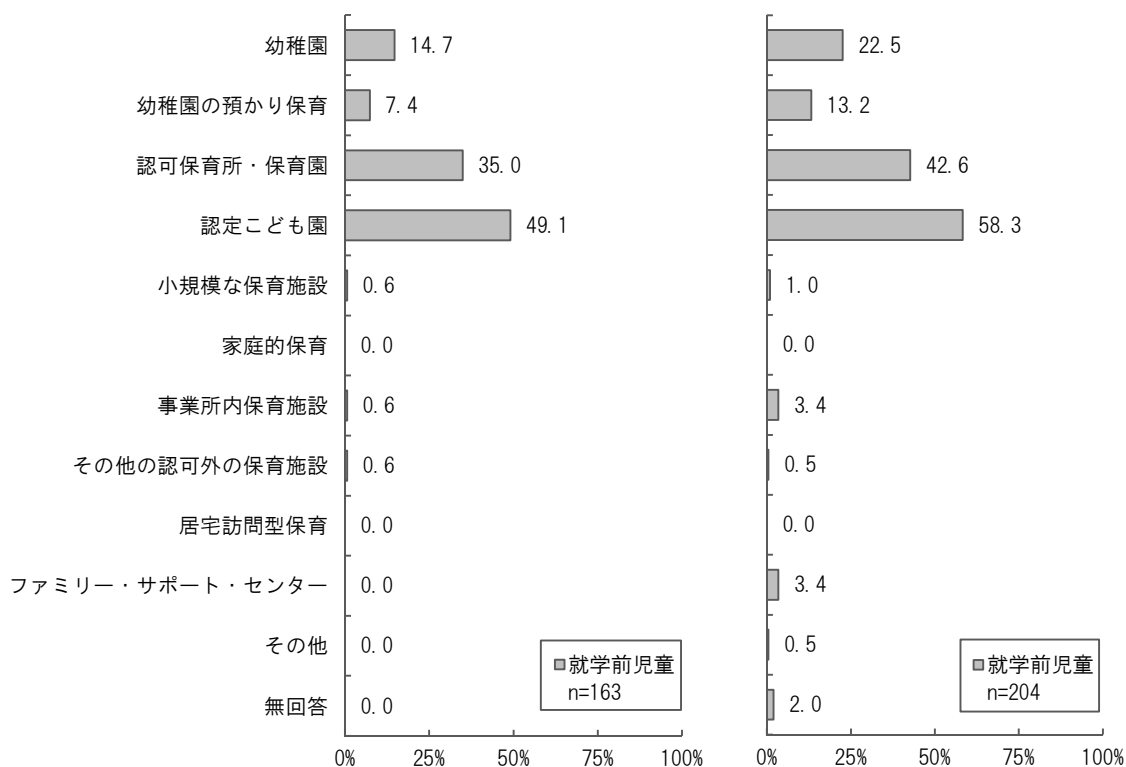
《呉 羽》



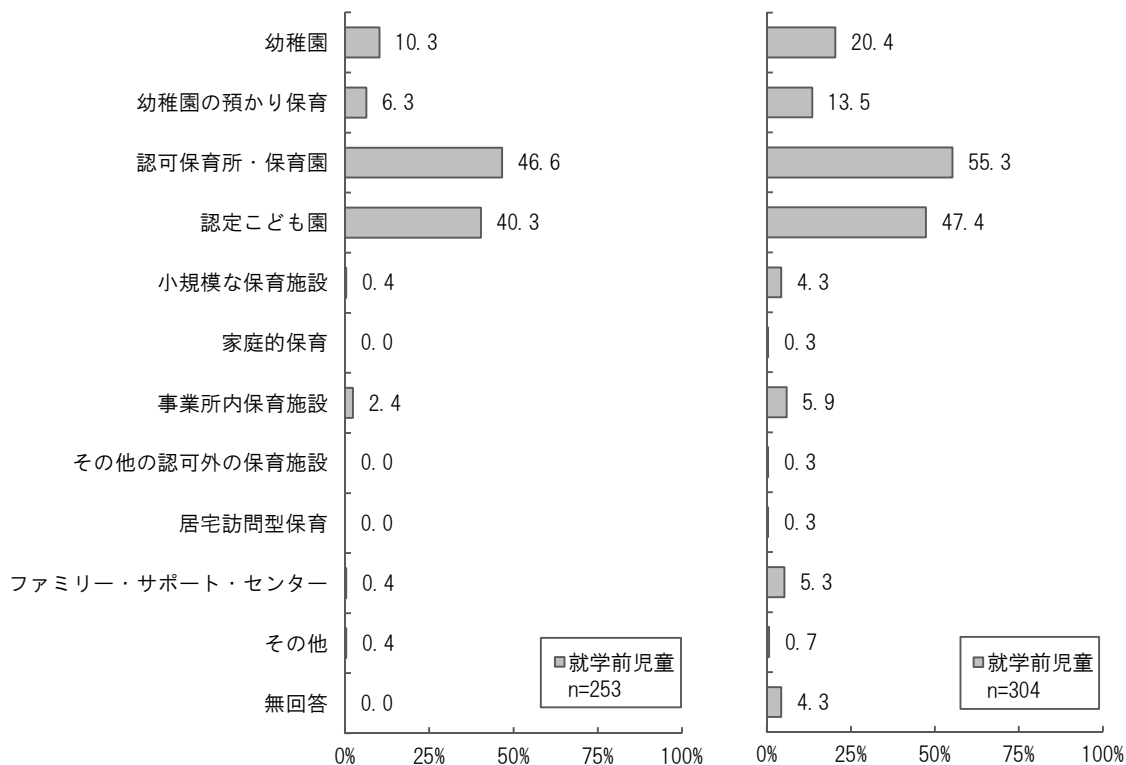
問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《水 橋》



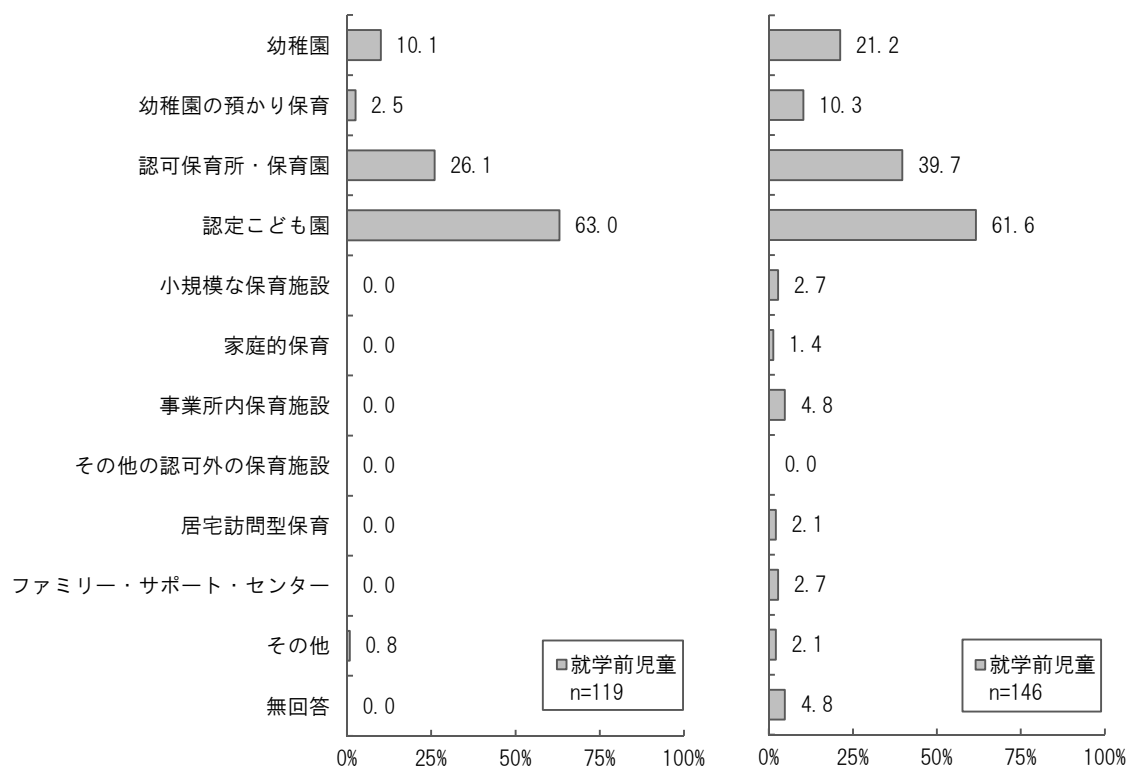
《大沢野・細入》



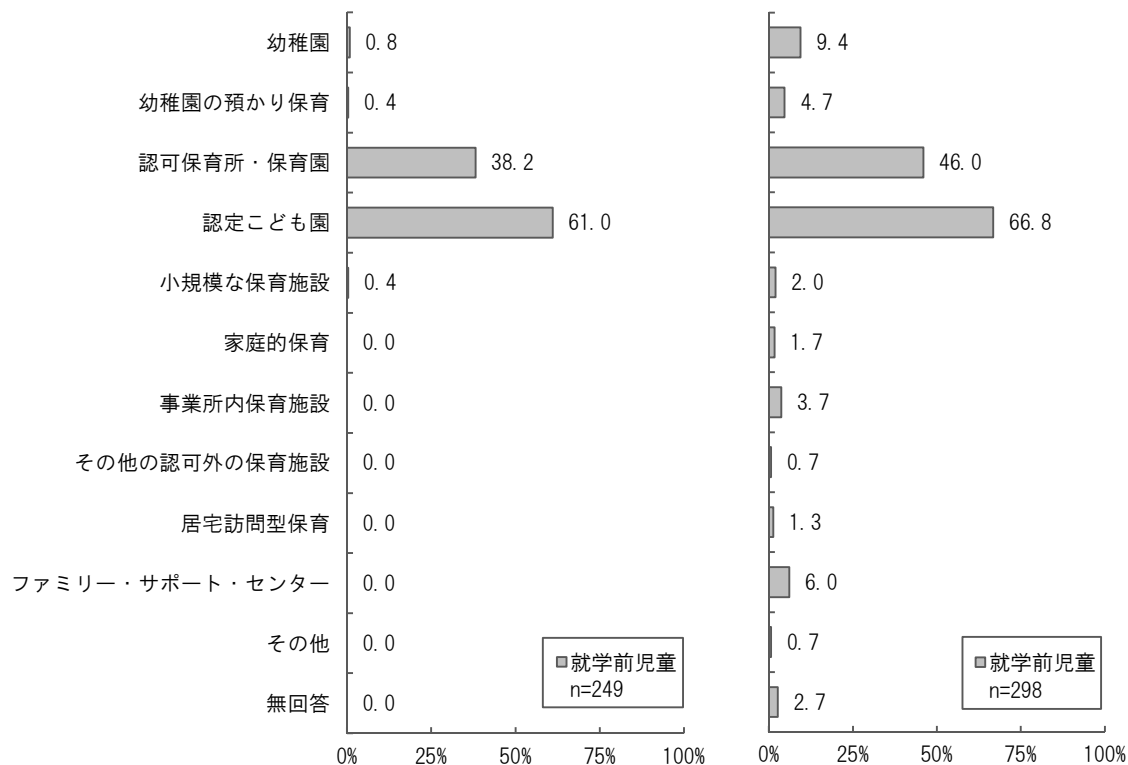


問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況 問15 希望する定期的な教育・保育事業

《大 山》



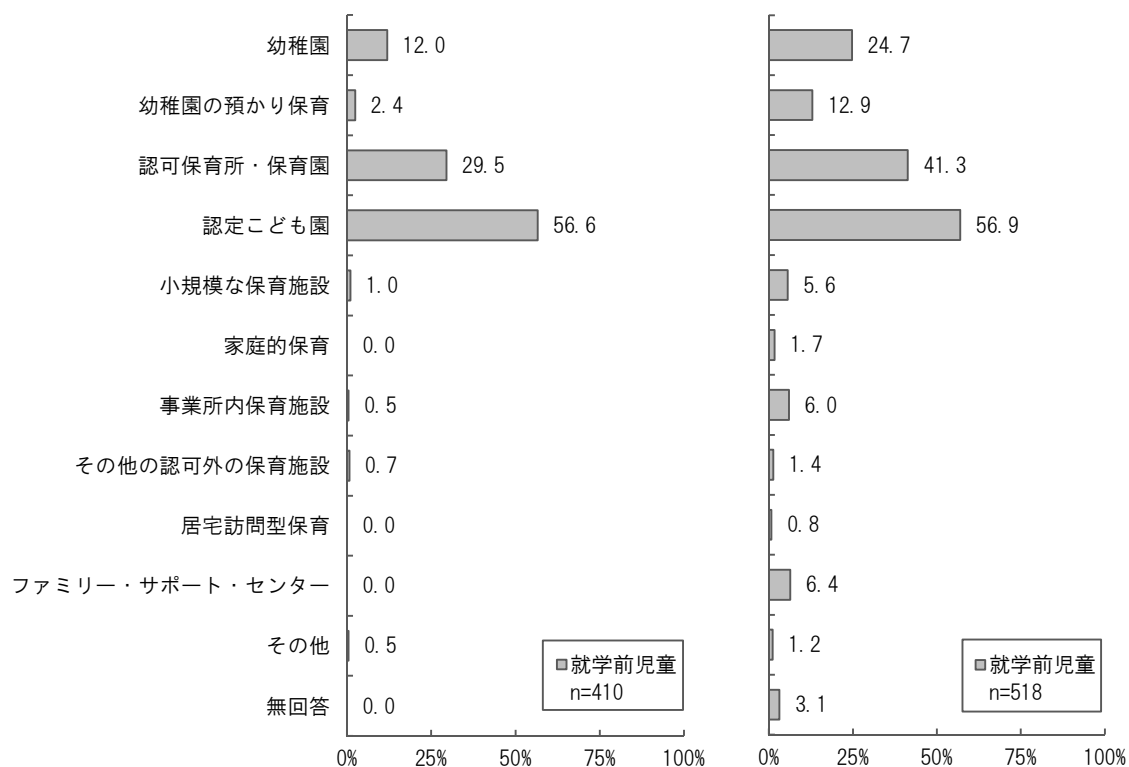
《八尾・山田》



問14-1 定期的な教育・保育事業の利用状況

問15 希望する定期的な教育・保育事業

《婦 中》

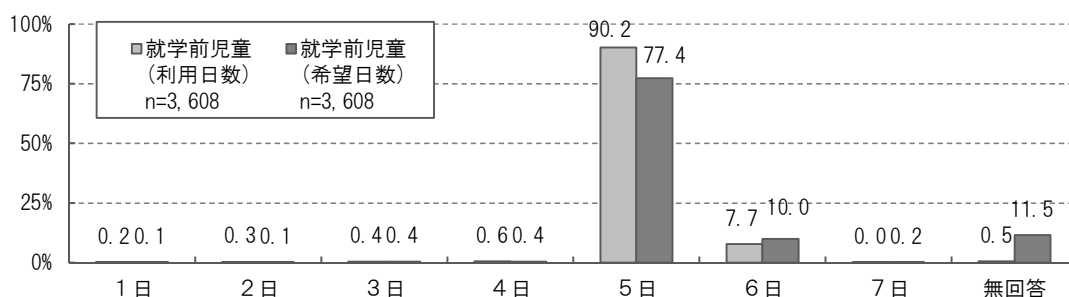


○地域別にみると、すべての地域で利用日数・希望日数ともに「5日」(利用日数86.5～95.8%・希望日数71.2～82.4%)の割合が最も高く、次いで「6日」(利用日数2.5～11.2%・希望日数7.6～16.1%)となります。

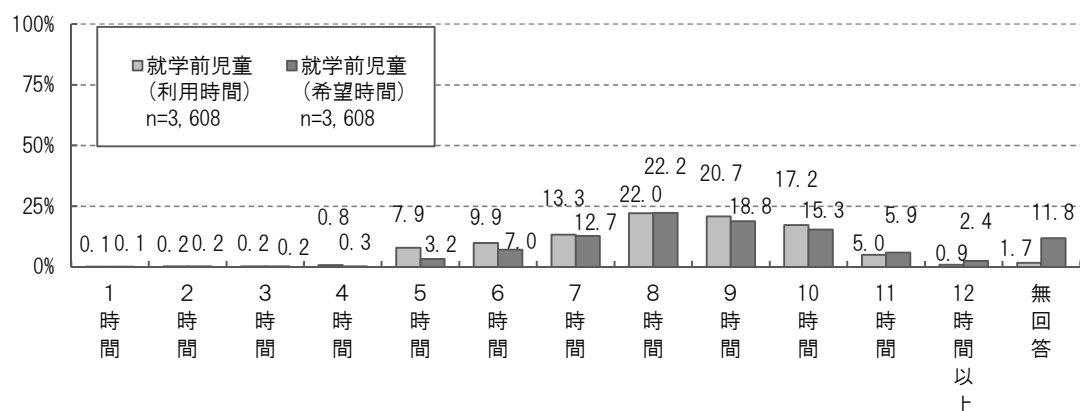
○利用時間・希望時間(1日当たり)について、すべての地域で「7～10時間」に占める割合が高く、利用時間(61.3～86.8%)、希望時間(62.3～76.4%)はそれぞれ6割～8割台となっています。

《市全域》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)

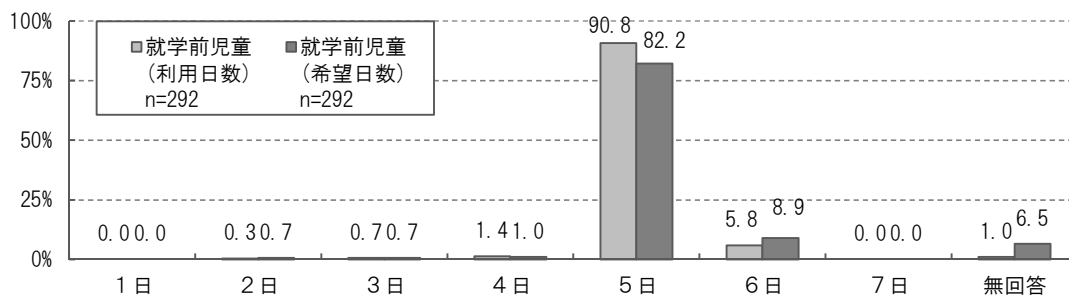


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)

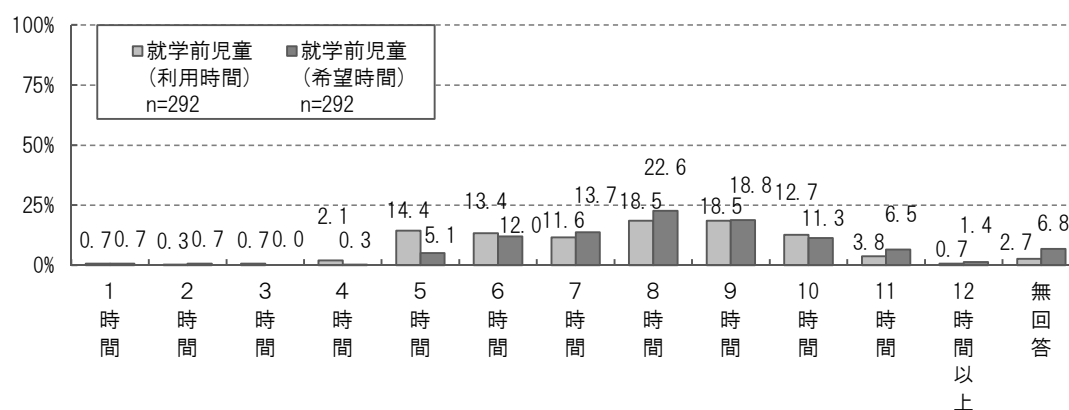


《中央》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

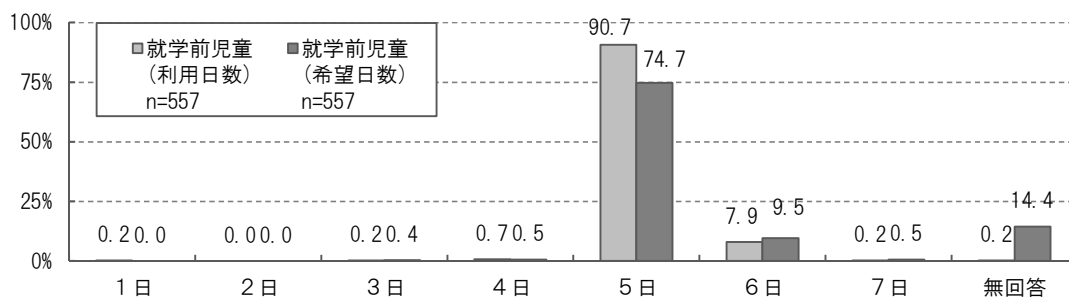


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

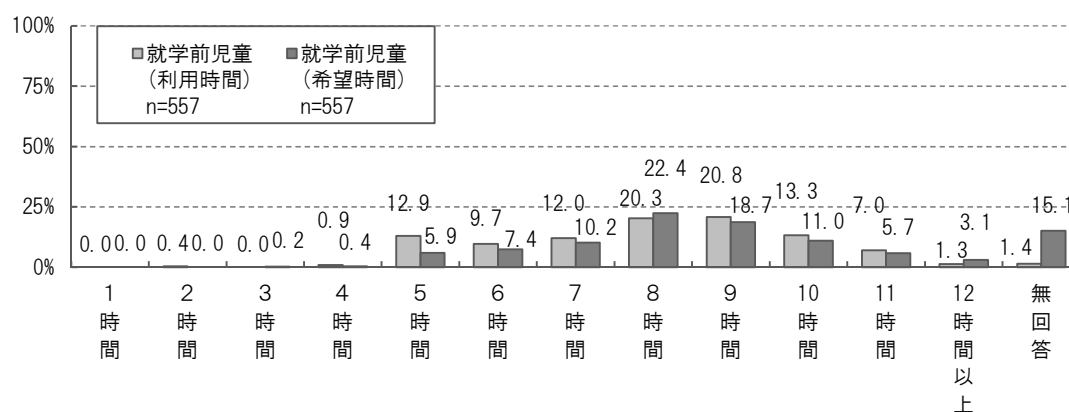


《東 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

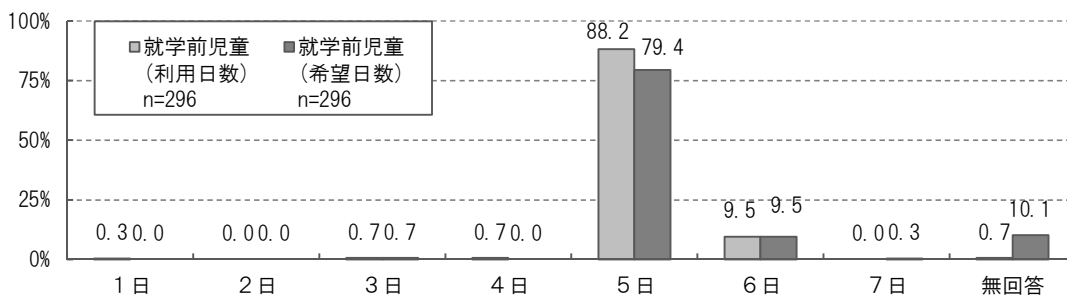


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

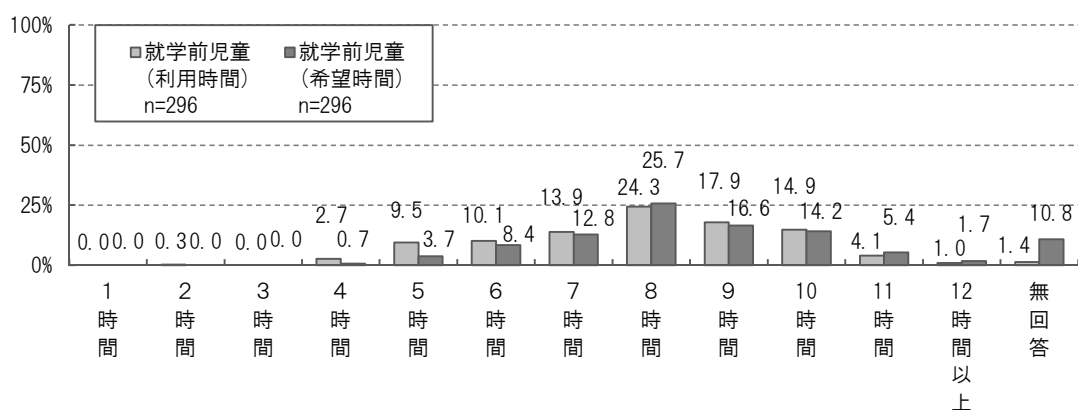


《西 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

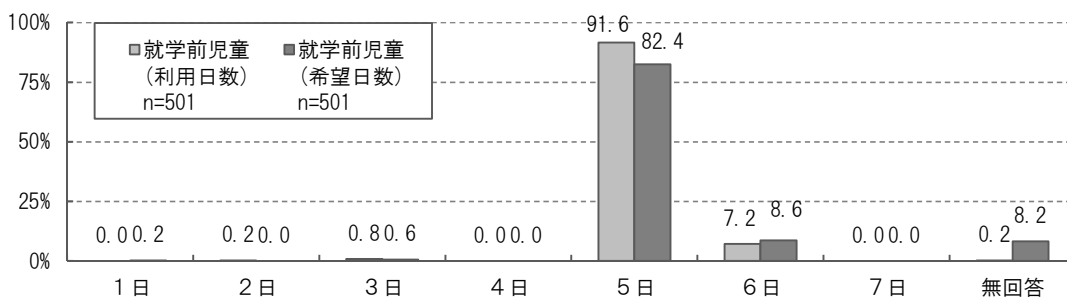


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

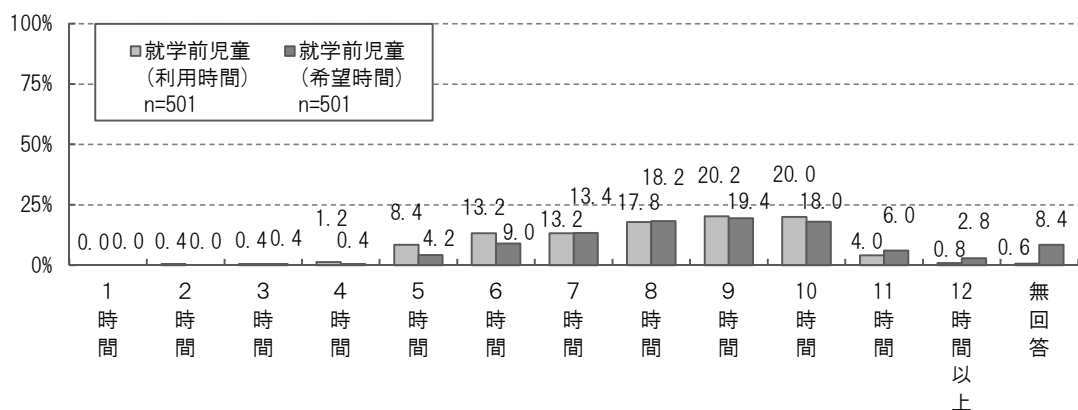


《南 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

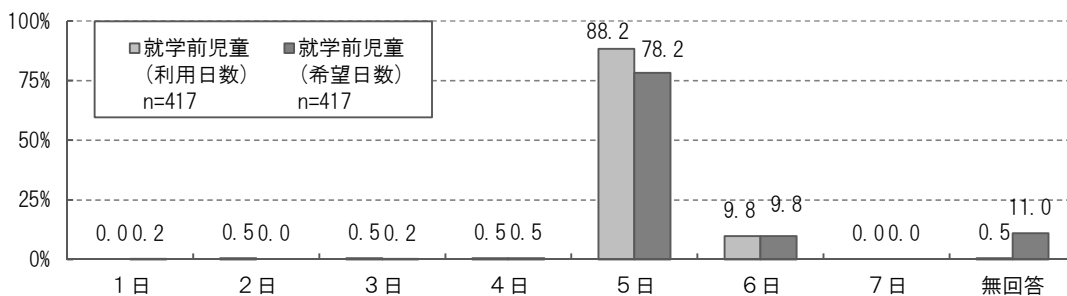


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

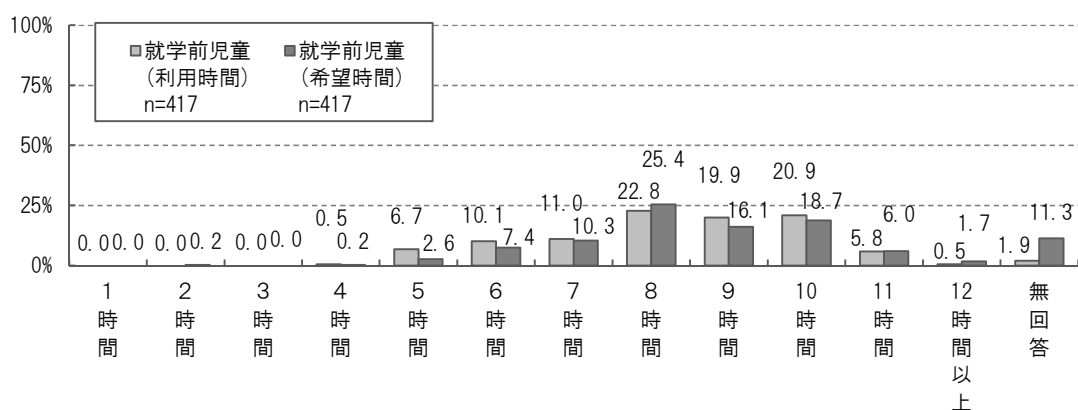


《北 部》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

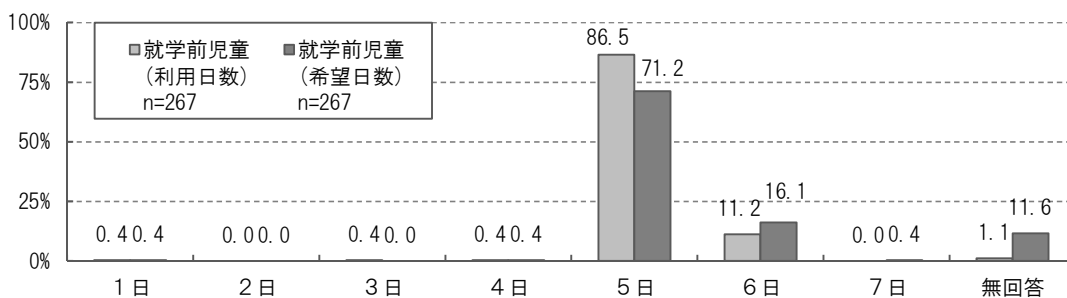


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

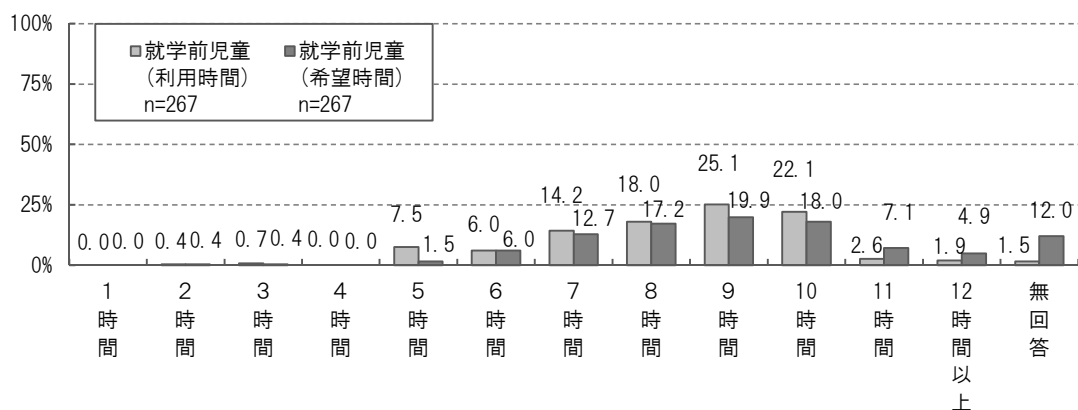


《呉 羽》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

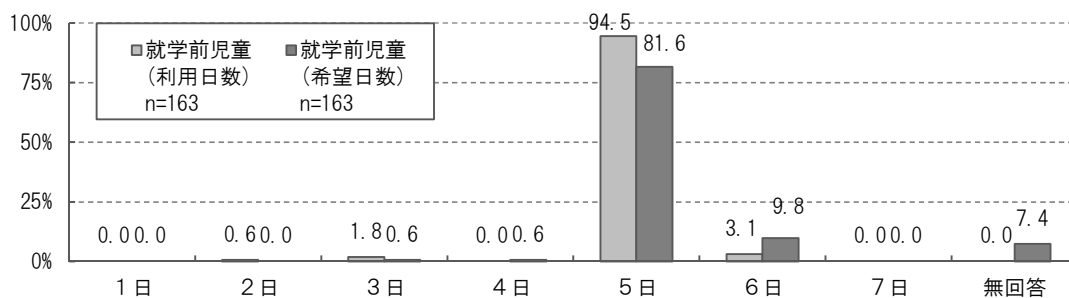


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

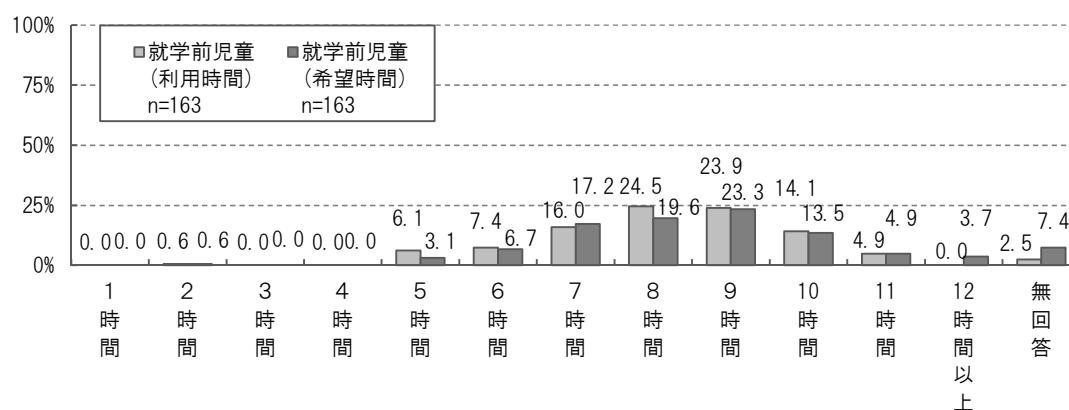


《水 橋》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

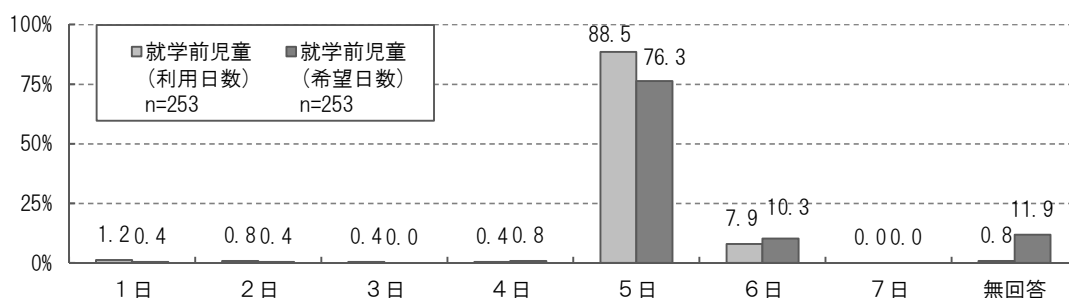


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

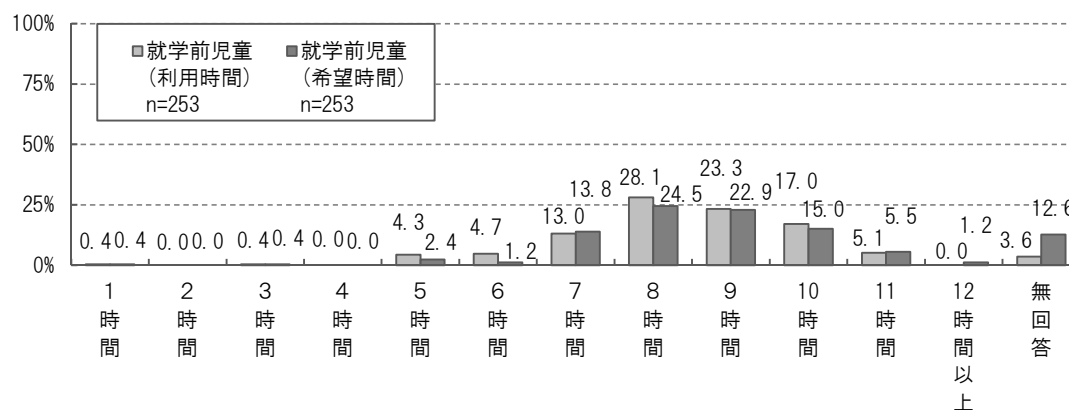


《大沢野・細入》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

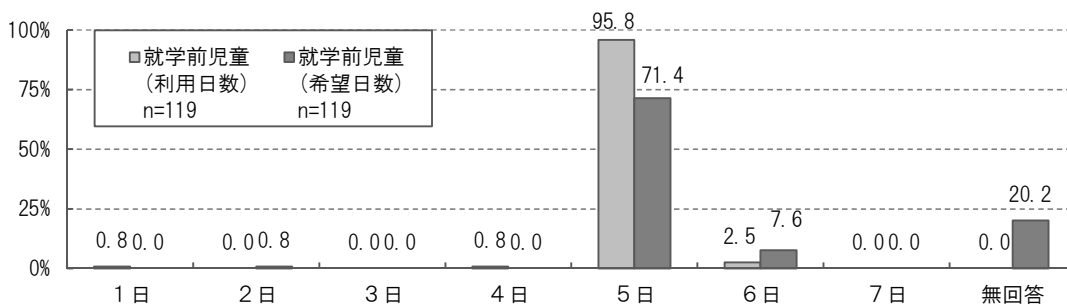


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

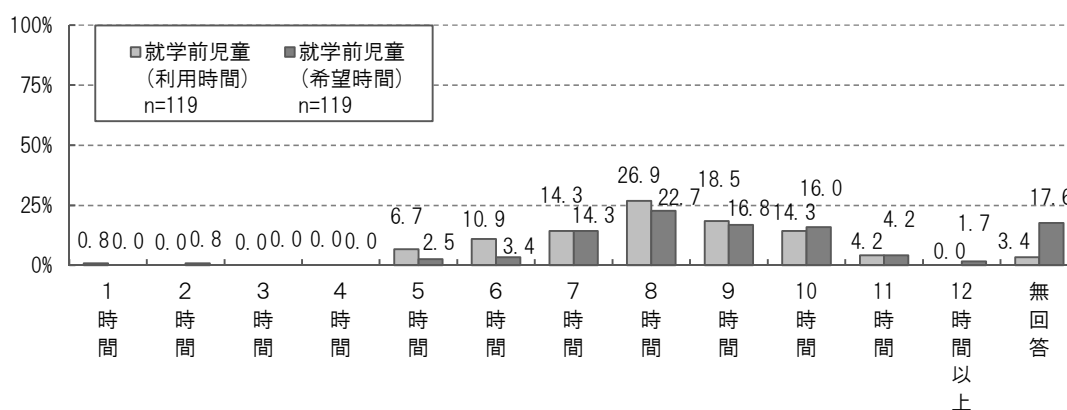


《大 山》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）

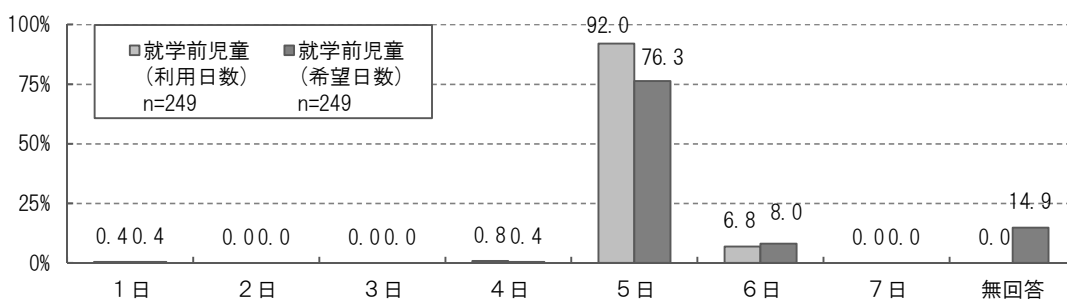


問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）

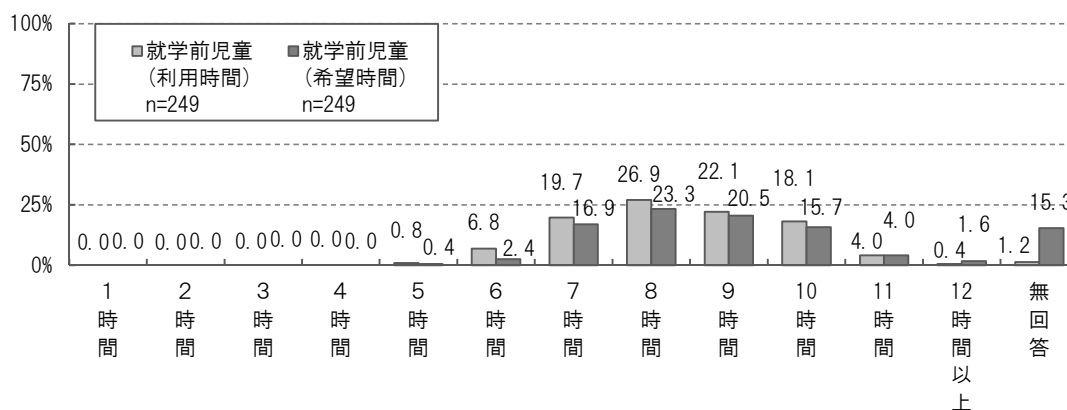


《八尾・山田》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）



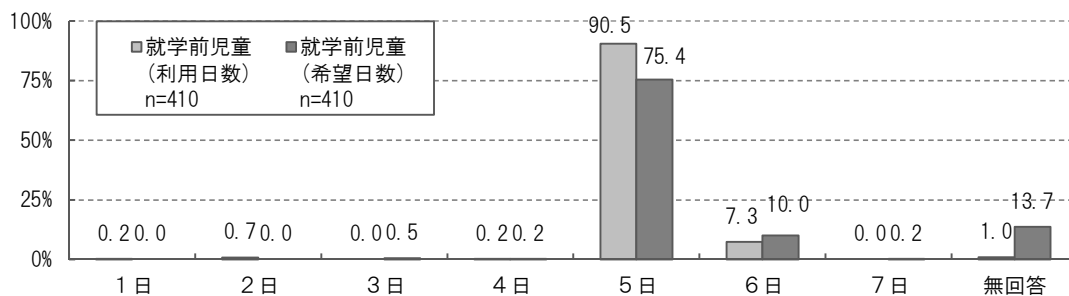
問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



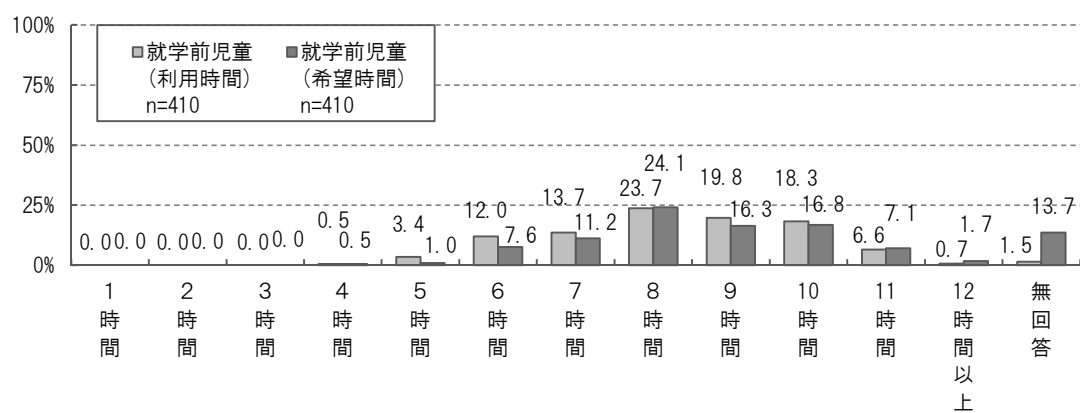


《婦 中》

問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数（1週当たり）



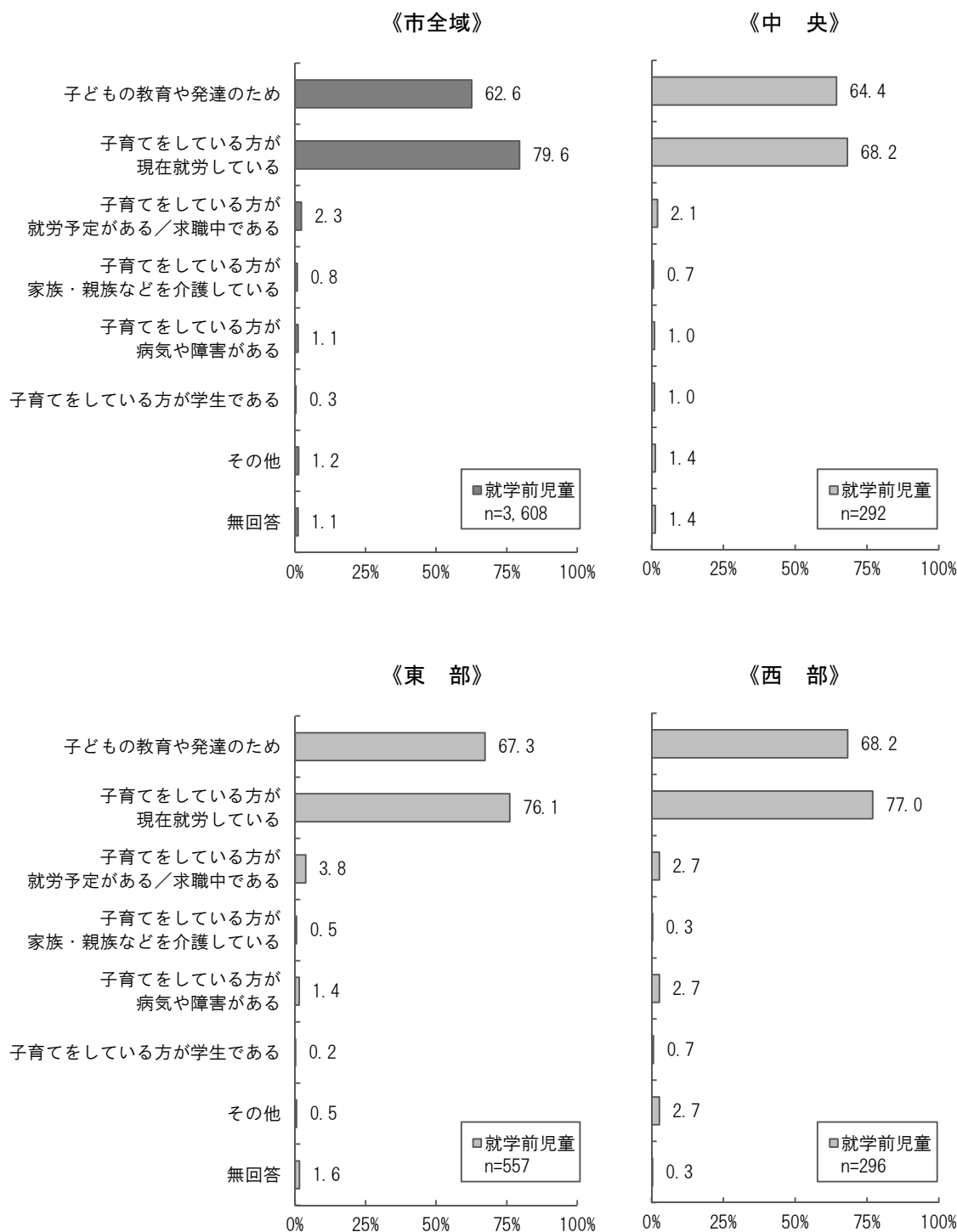
問14-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間（1日当たり）



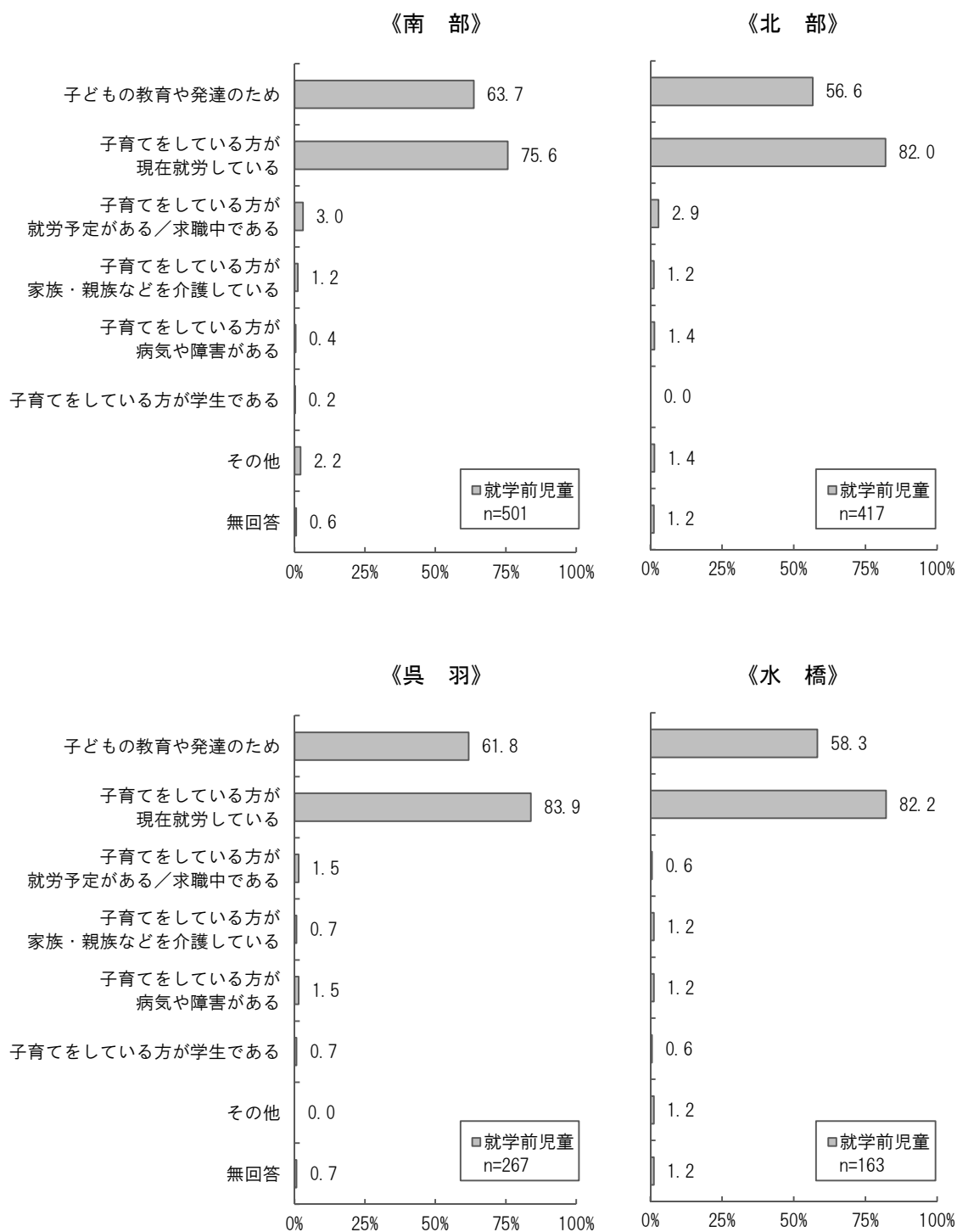
(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由は、全ての地域で「子育てをしている方が現在就労している」(68.2~89.6%)で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(52.1~68.2%)となり、その他の理由はわずかな割合となっています。

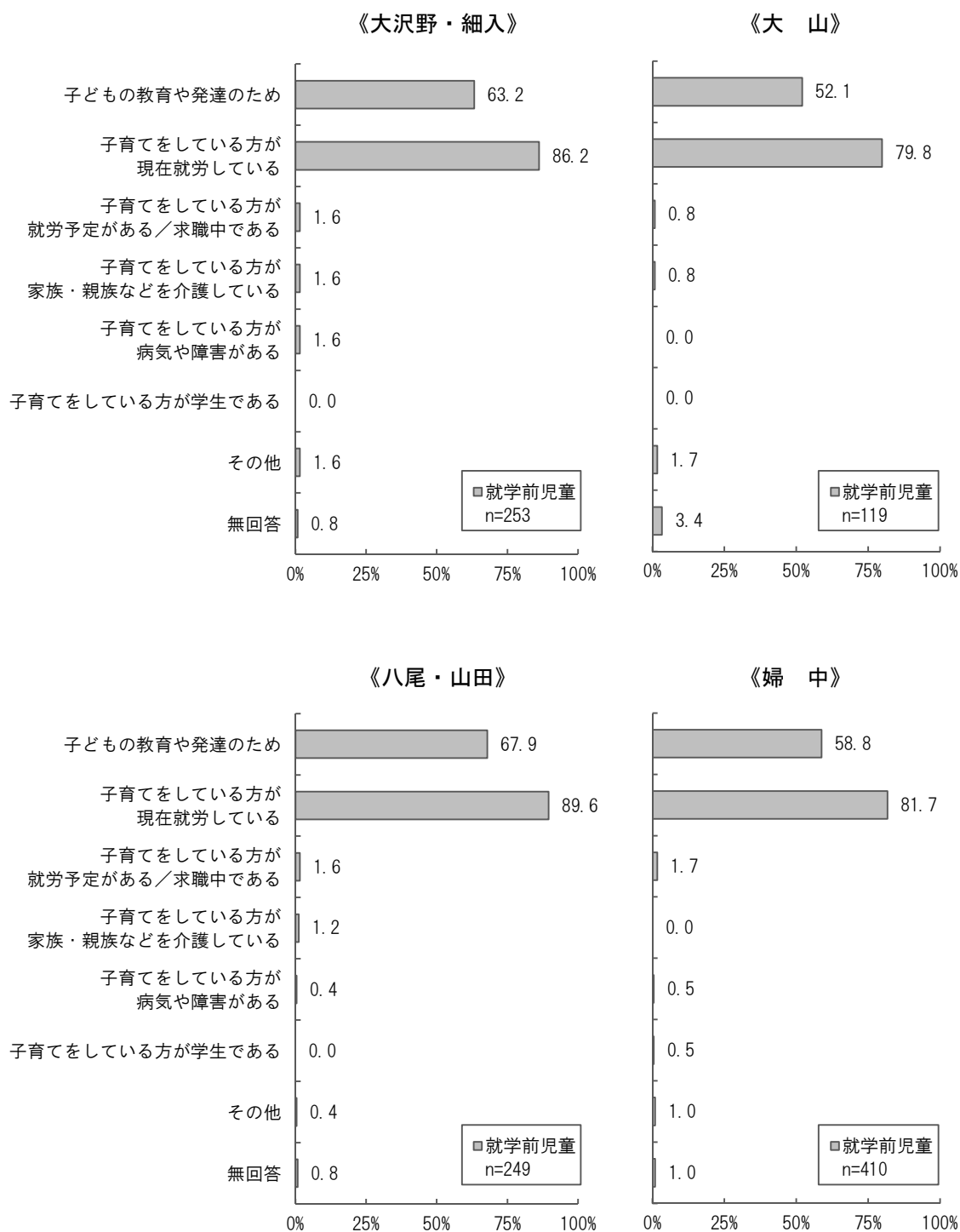
問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由



問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由



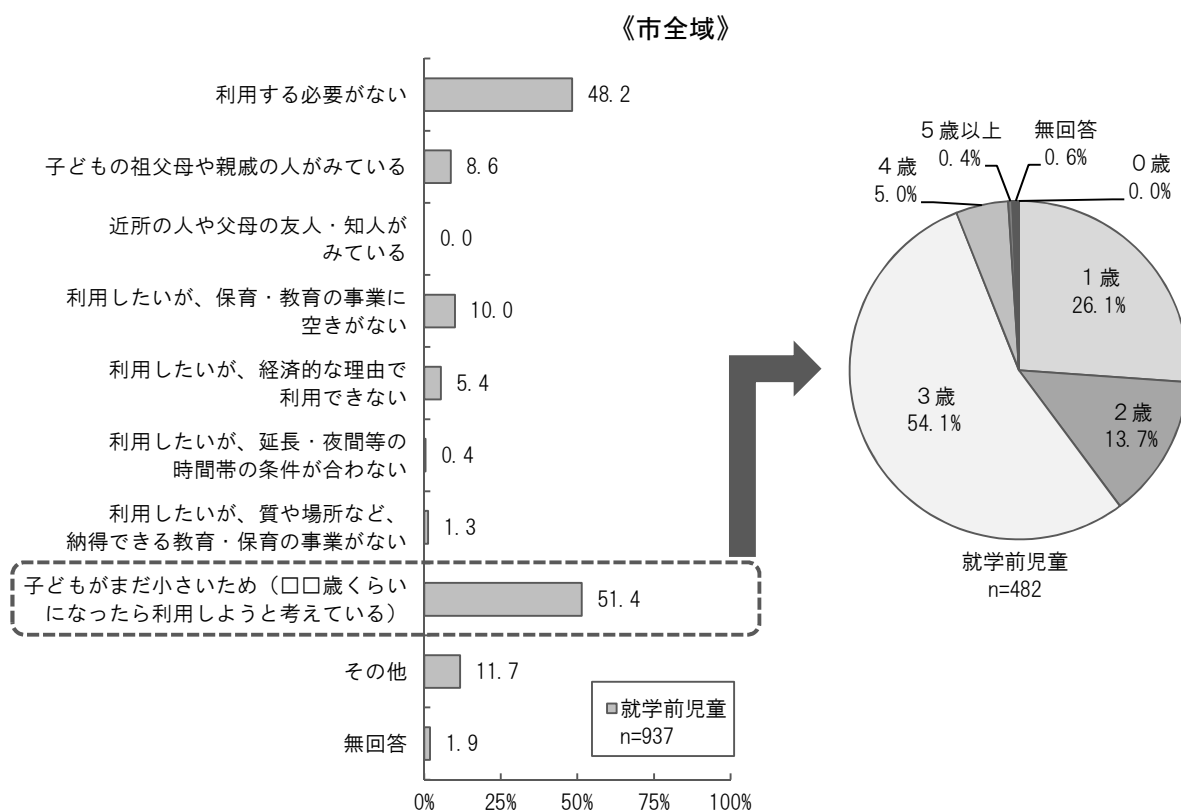
問14-4 平日に教育・保育事業を利用している理由



- 平日に教育・保育事業を利用していない理由について、地域別にみると、《大山》では「利用する必要がない」「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（各48.1%）、《北部》《婦中》では「利用する必要がない」（57.1%・52.4%）、その他の地域では「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（47.5～62.2%）で最も高くなっています。
- 「子どもがまだ小さいため（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子供の年齢は、全ての地域で「0～3歳」（87.8～100.0%）、「4～5歳」（0.0～12.2%）となっています。

問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

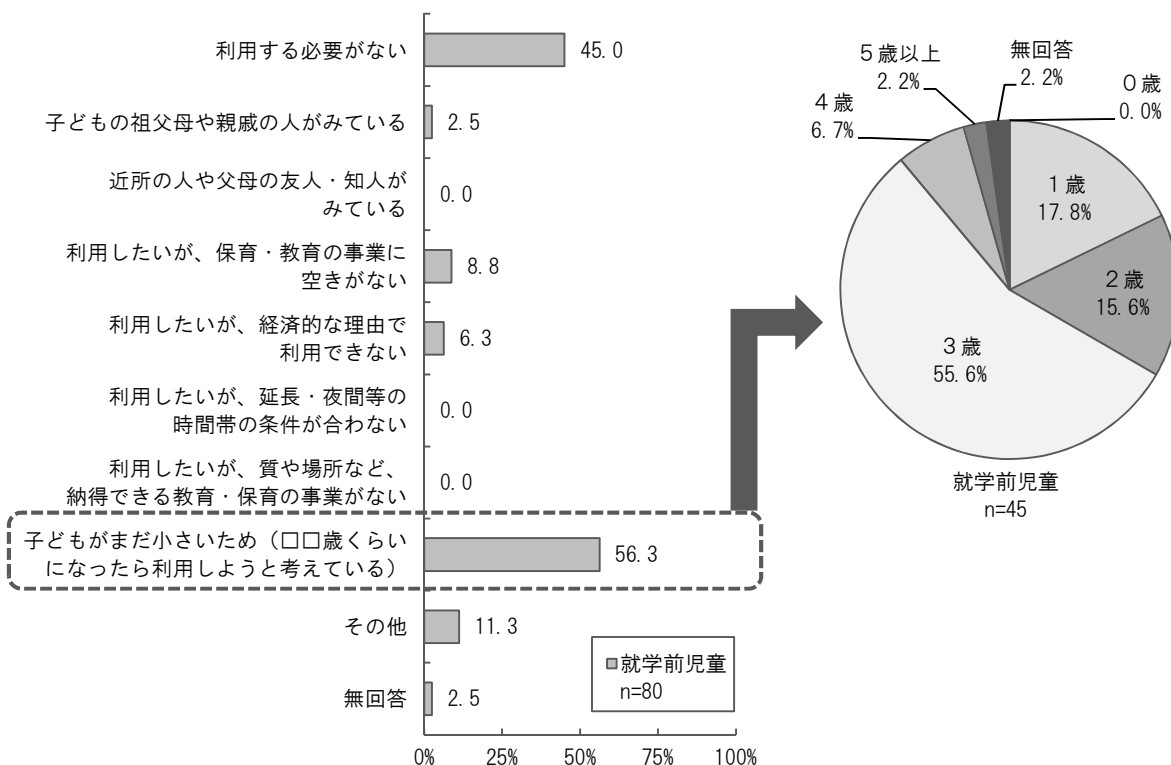
問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢



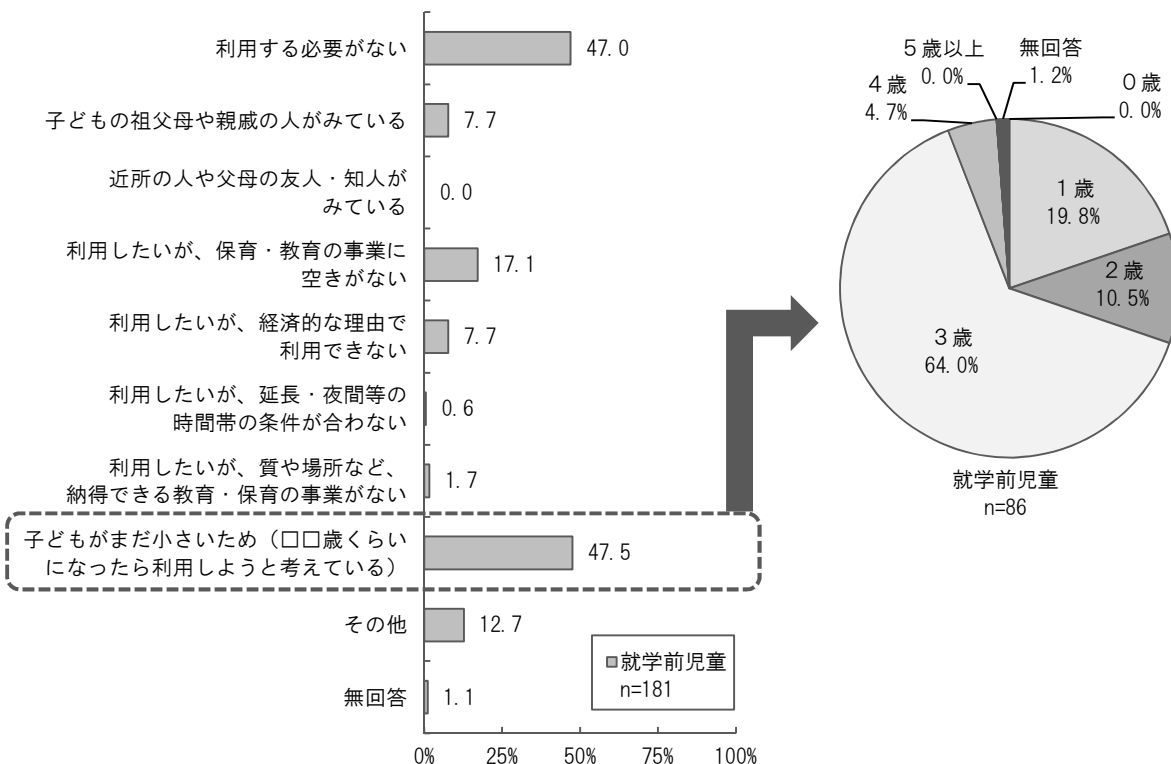
問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《中央》



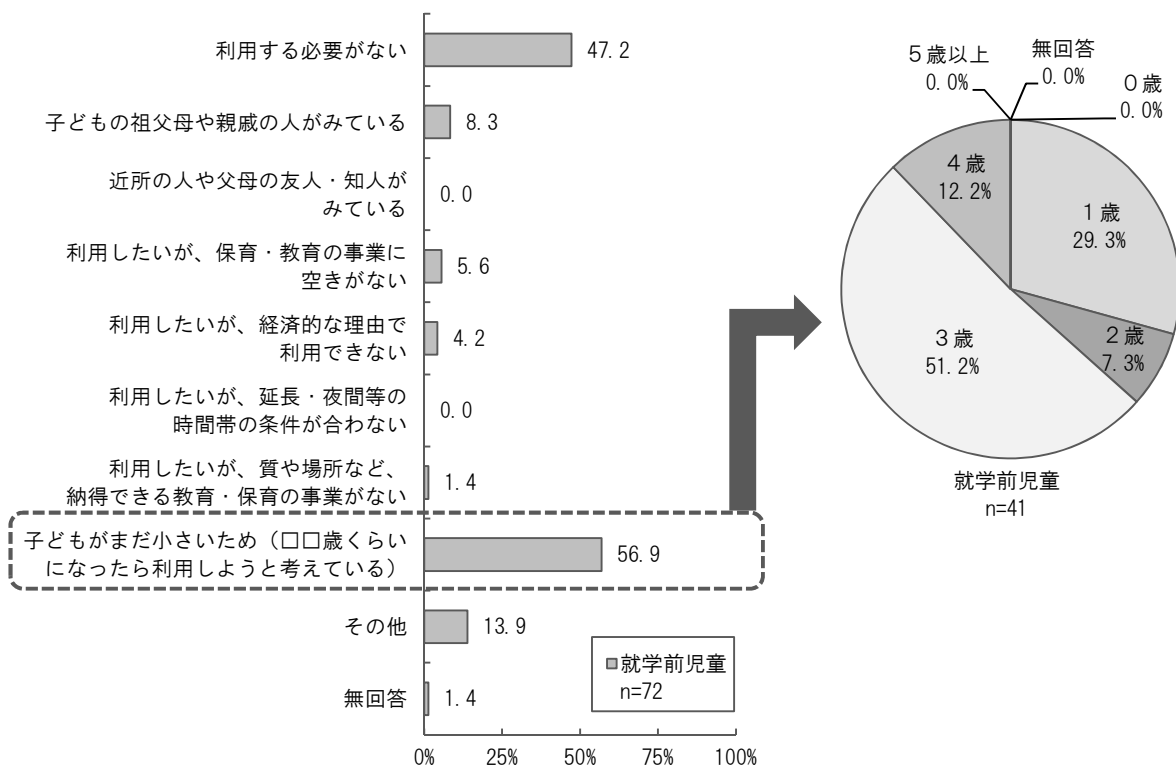
《東 部》



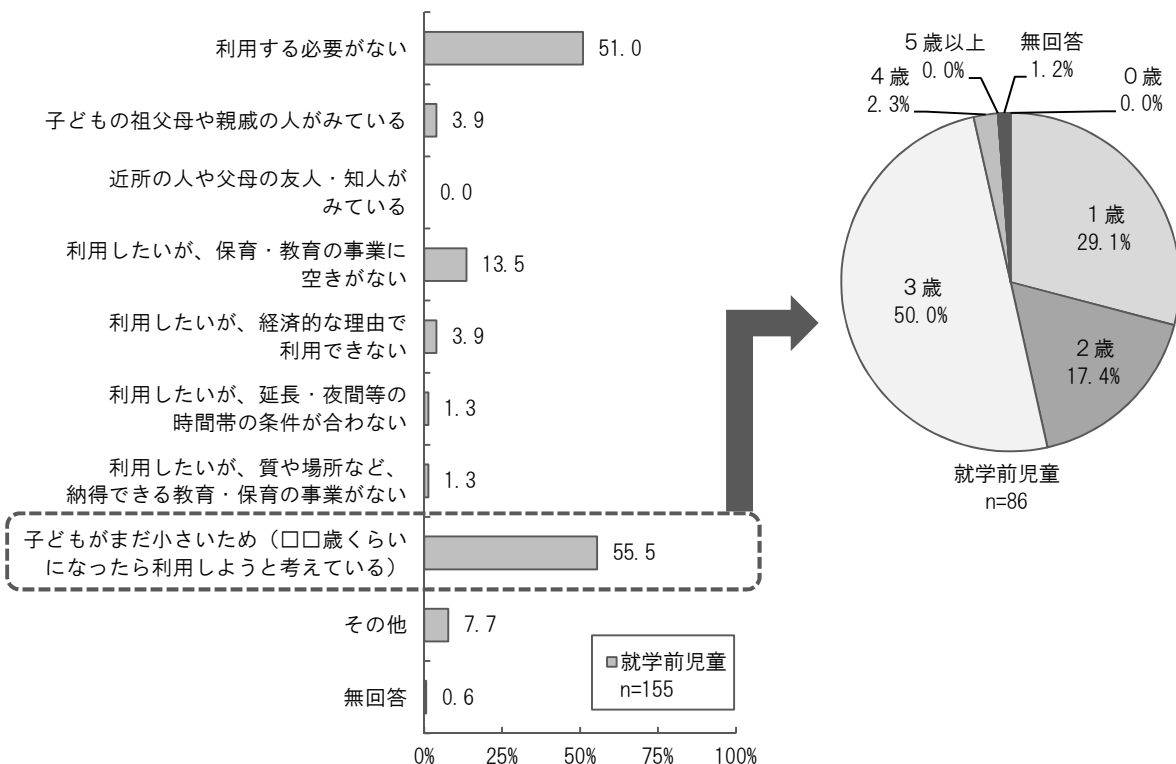
問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《西部》



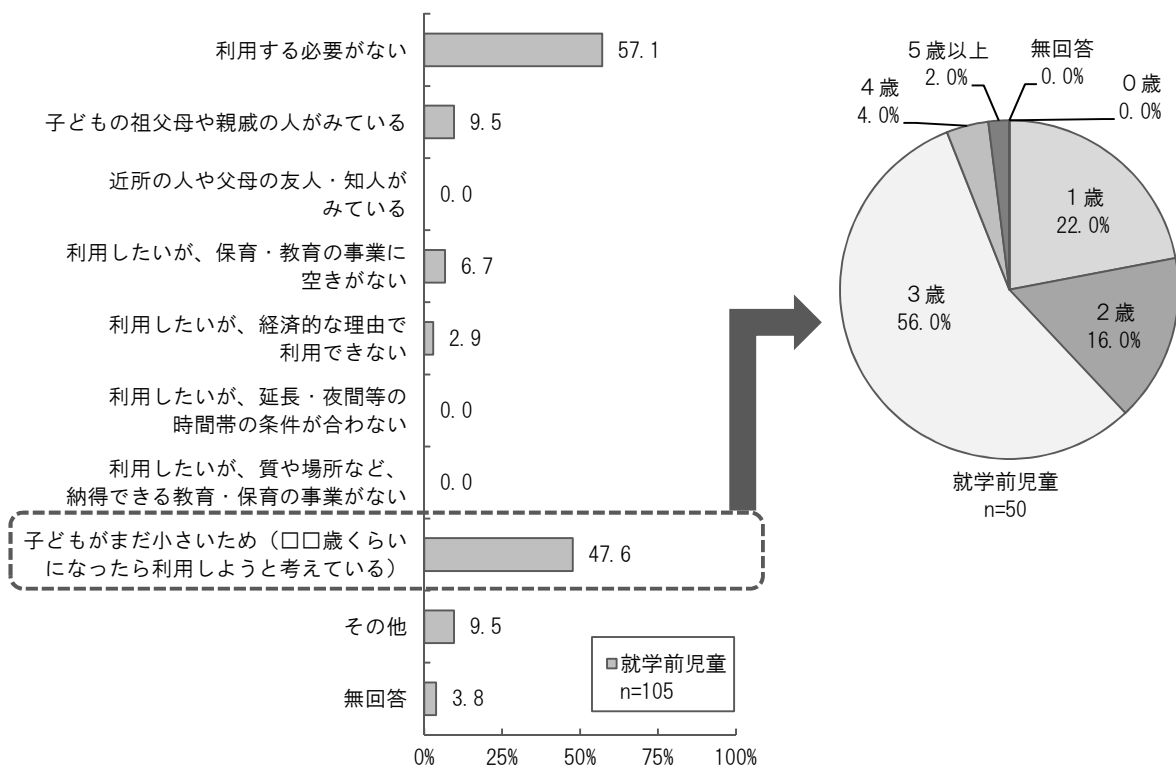
《南部》



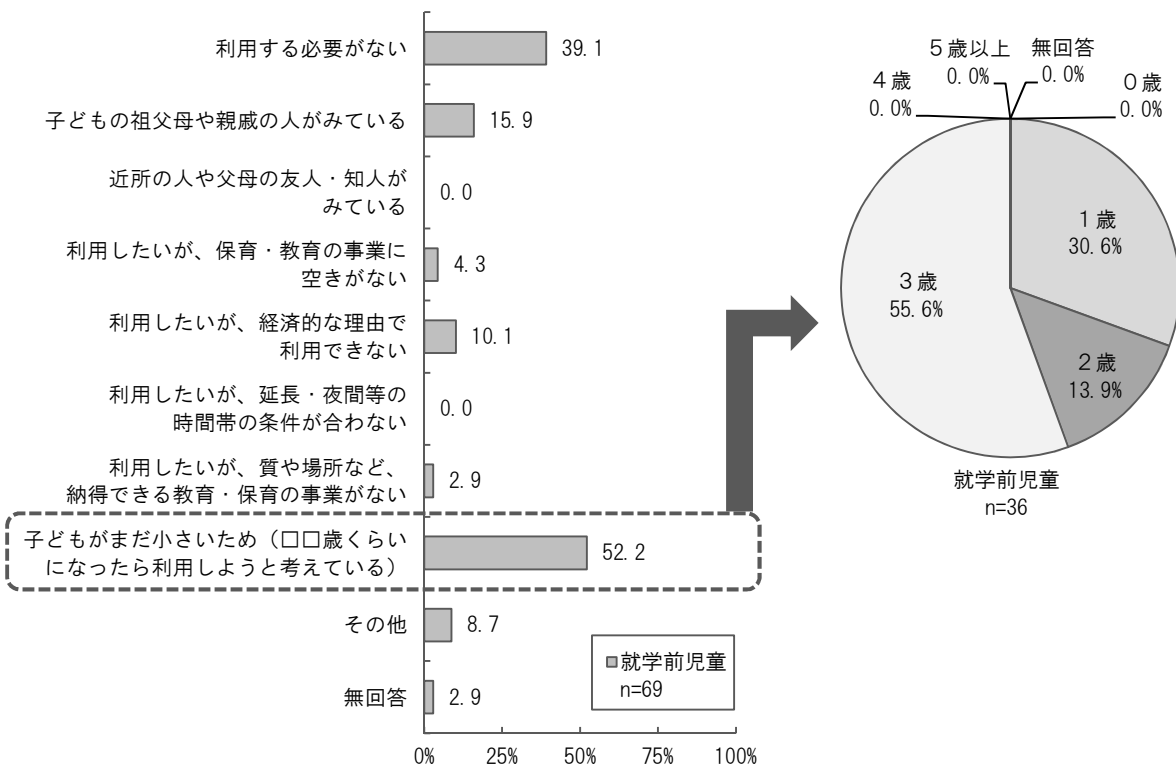
問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《北 部》



《吳 羽》

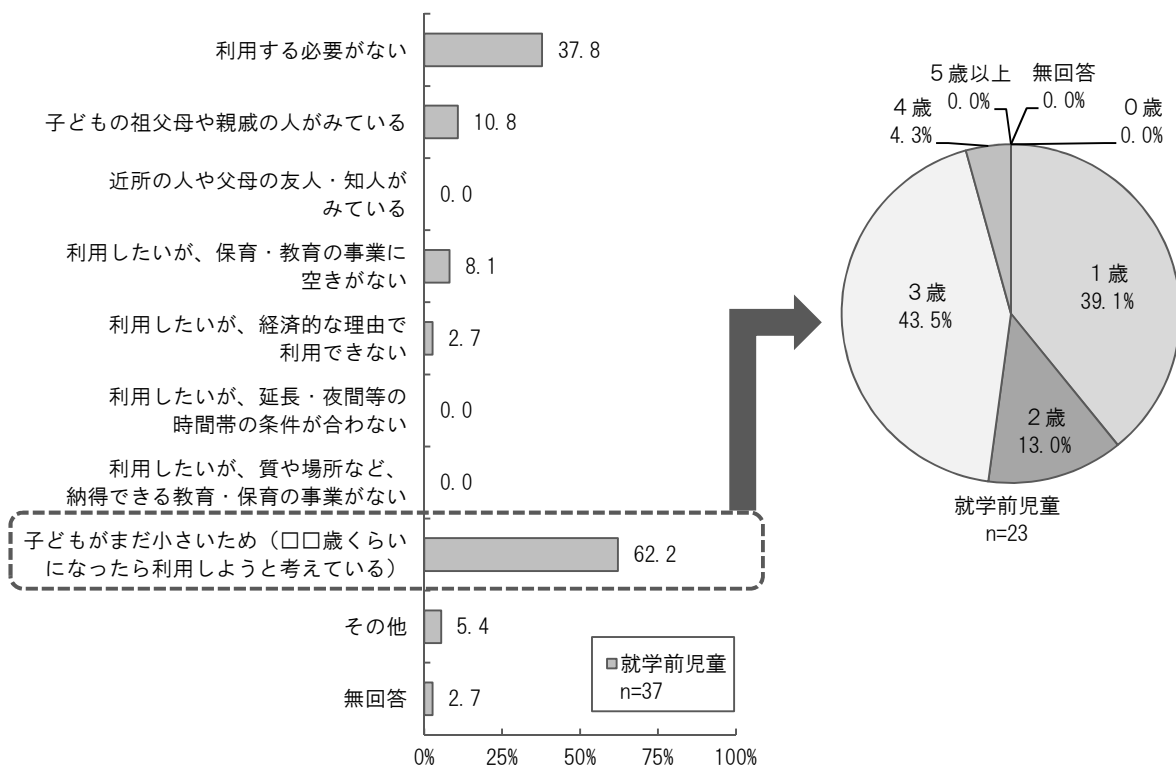




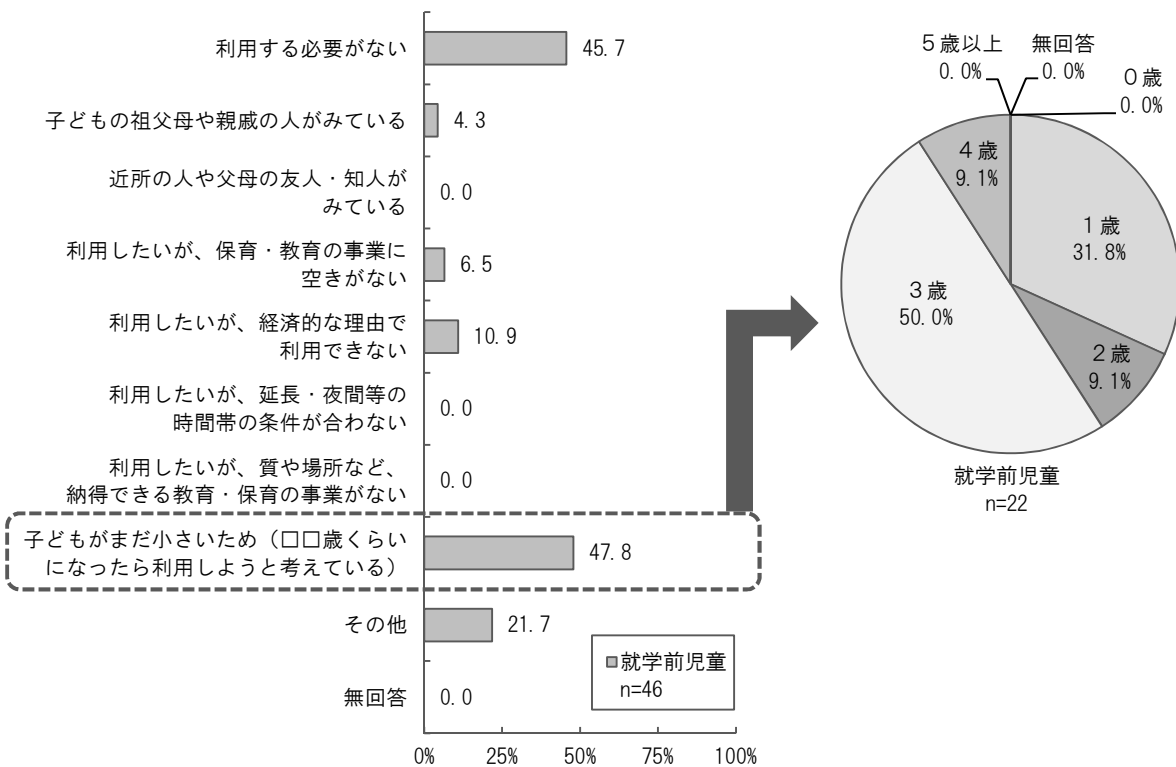
問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《水 橋》



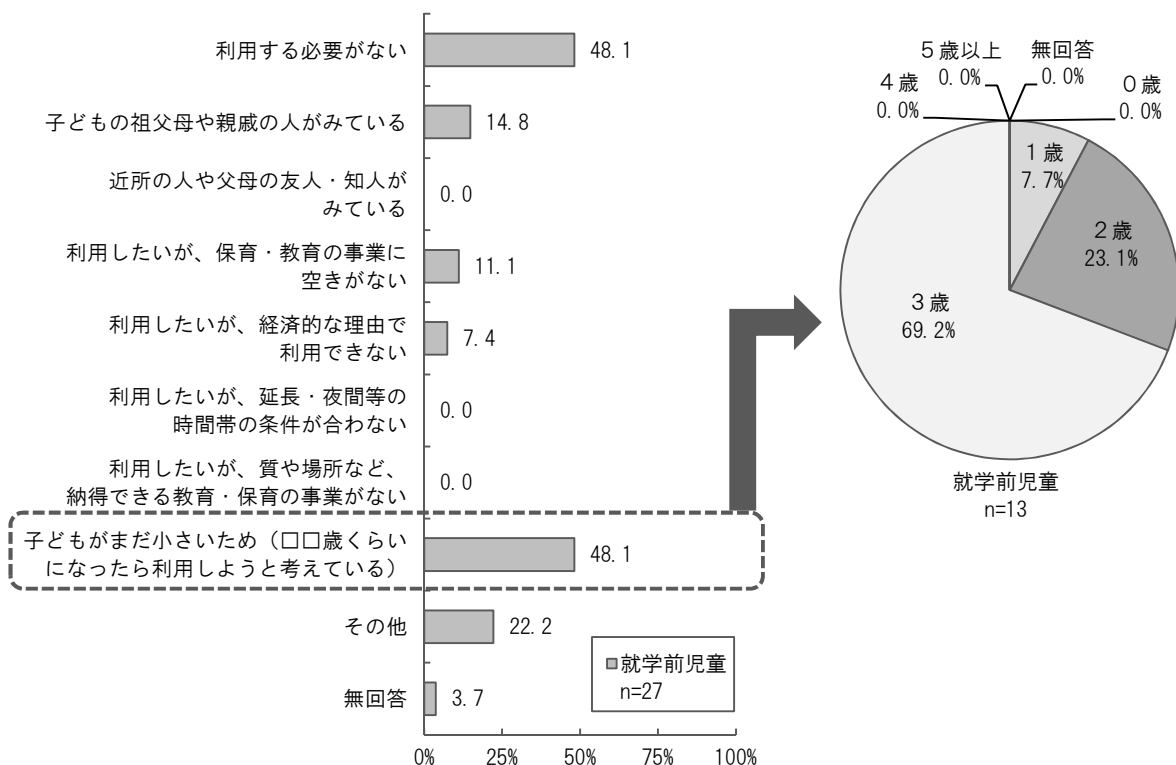
《大沢野・細入》



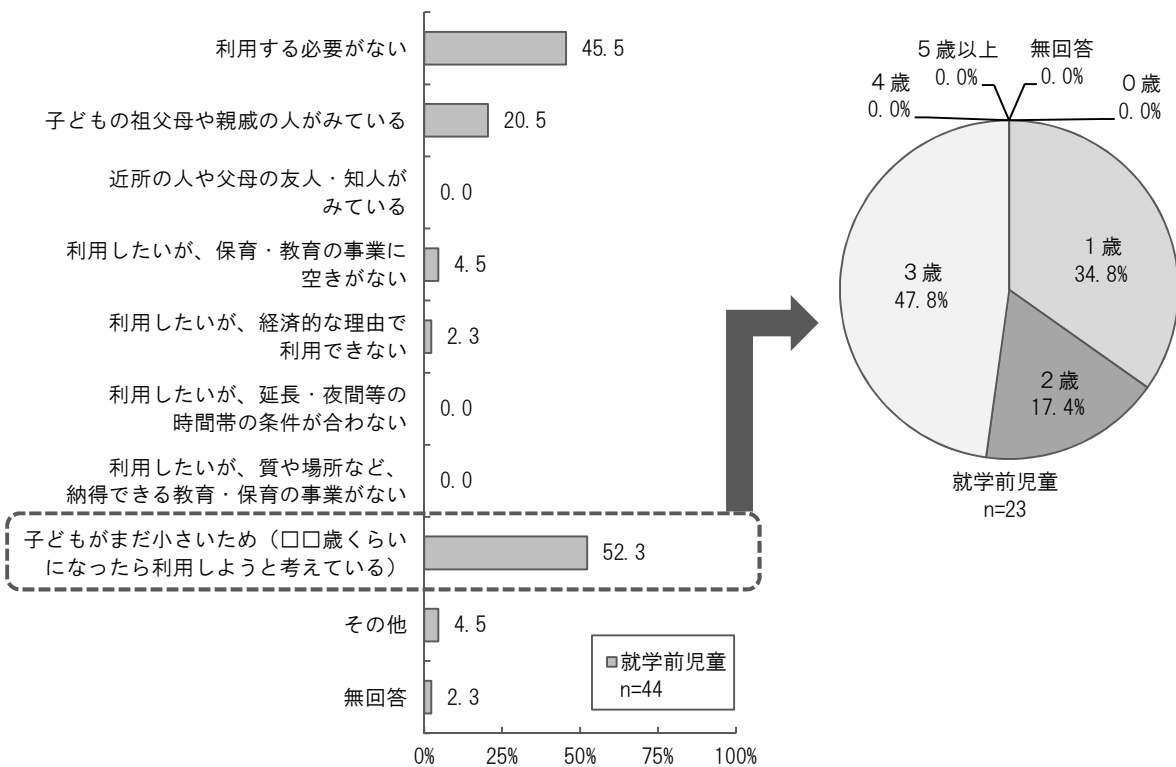
問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《大 山》



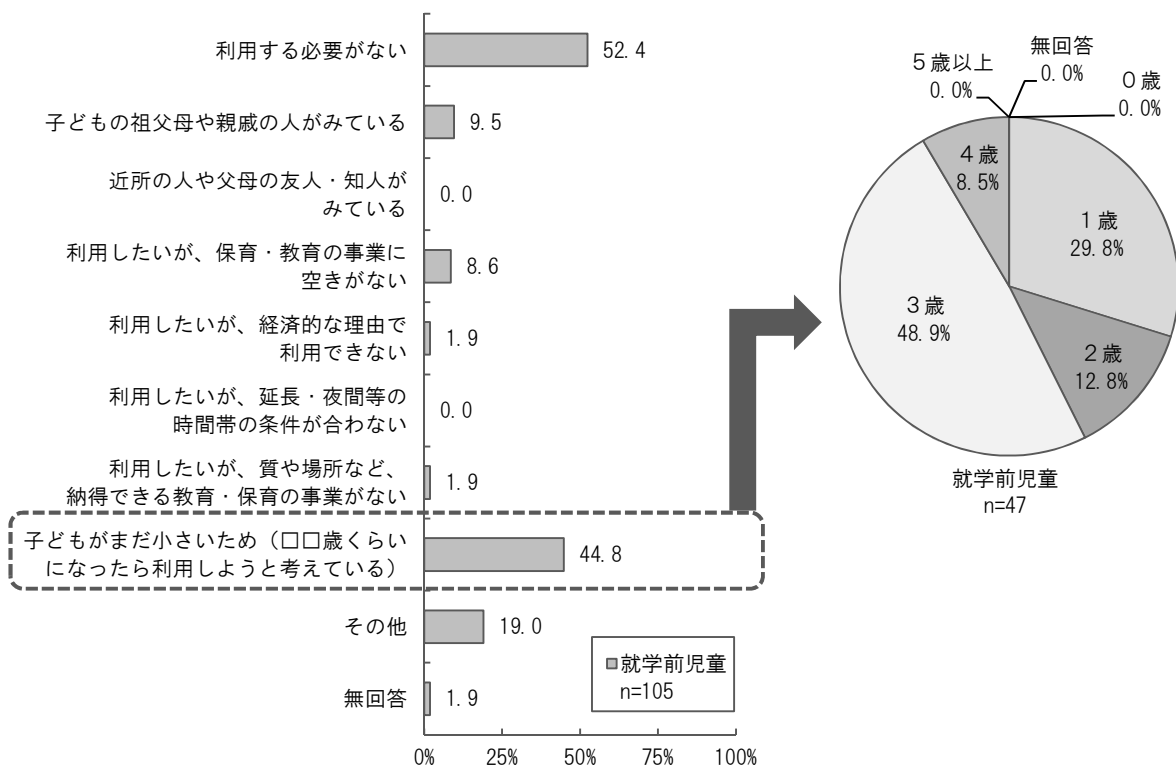
《八尾・山田》



問14-5 教育・保育事業を利用していない理由

問14-5.8 利用を希望する子どもの年齢

《婦 中》

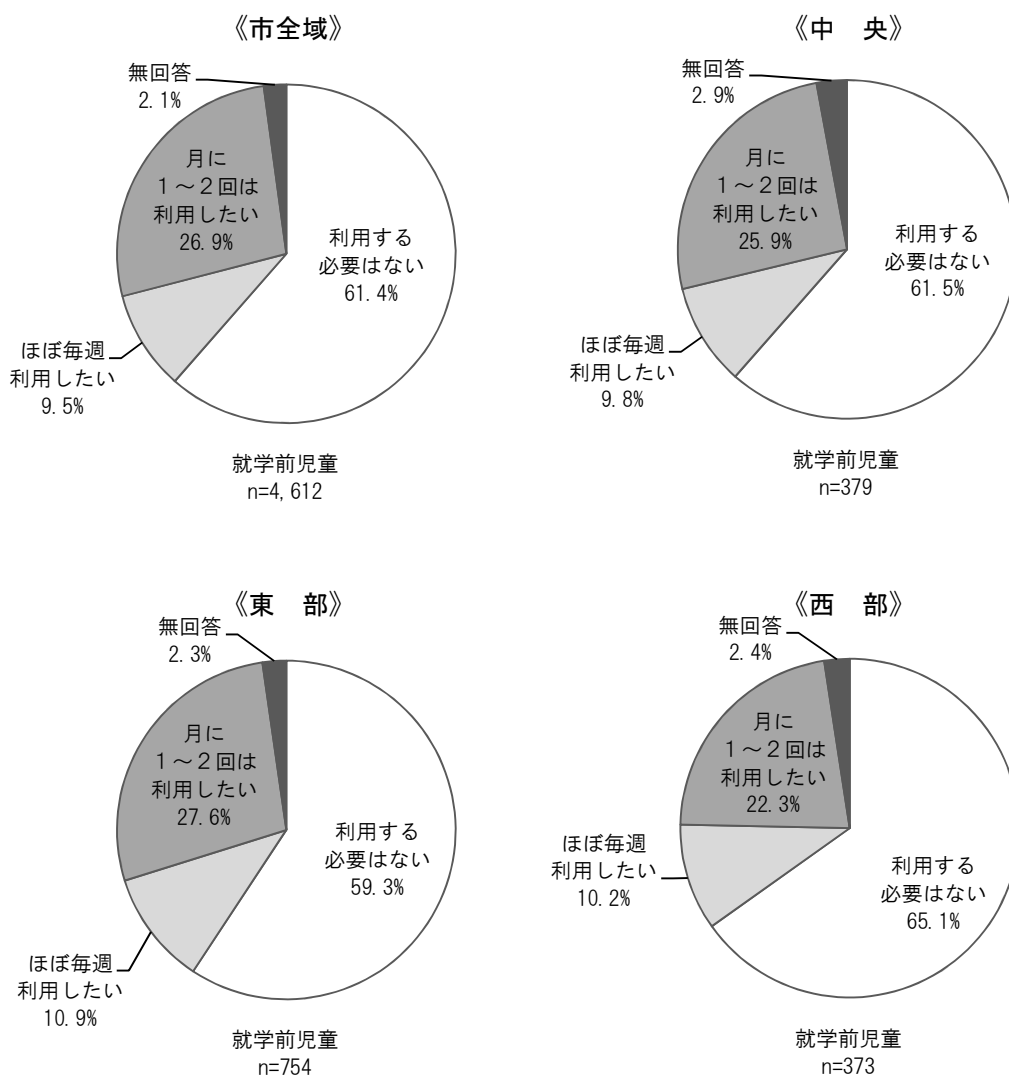


## 2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

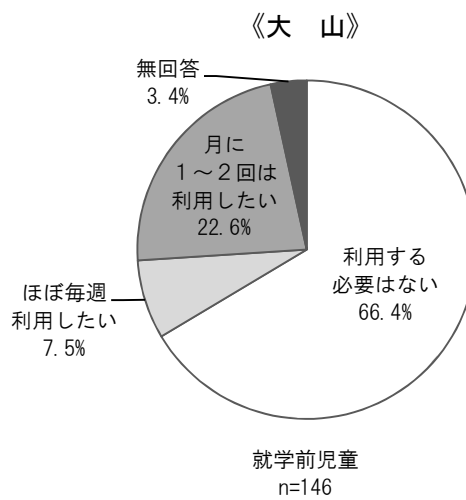
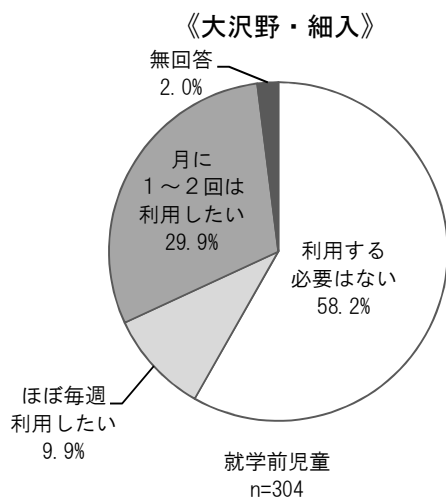
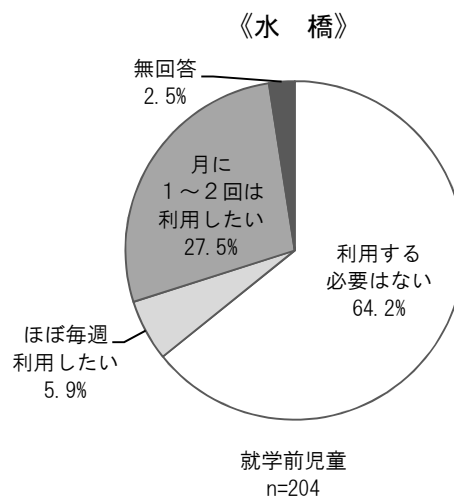
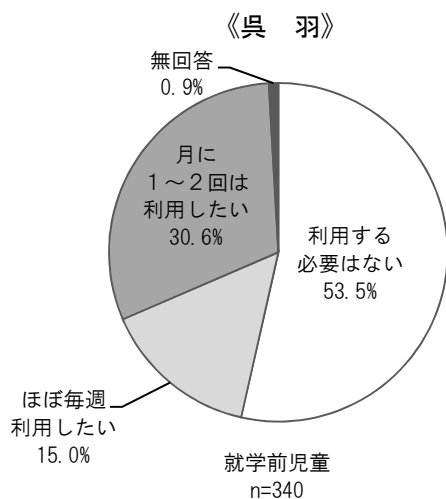
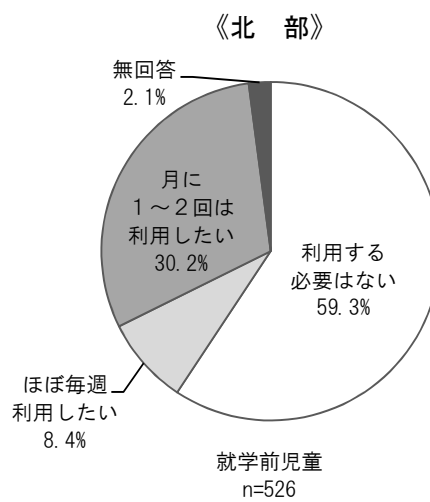
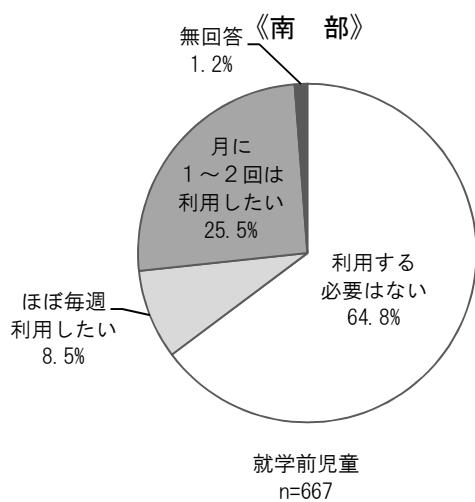
### (1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

○土曜日の教育・保育事業の利用希望を地域別にみると、全ての地域で「利用する必要はない」(53.5~66.4%)が6割前後で最も高くなっていますが、「月に1~2回は利用したい」(22.3~30.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(5.9~15.0%)となり、《呉羽》では「月に1~2回は利用したい」(30.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(15.0%)で割合が最も高くなっています。

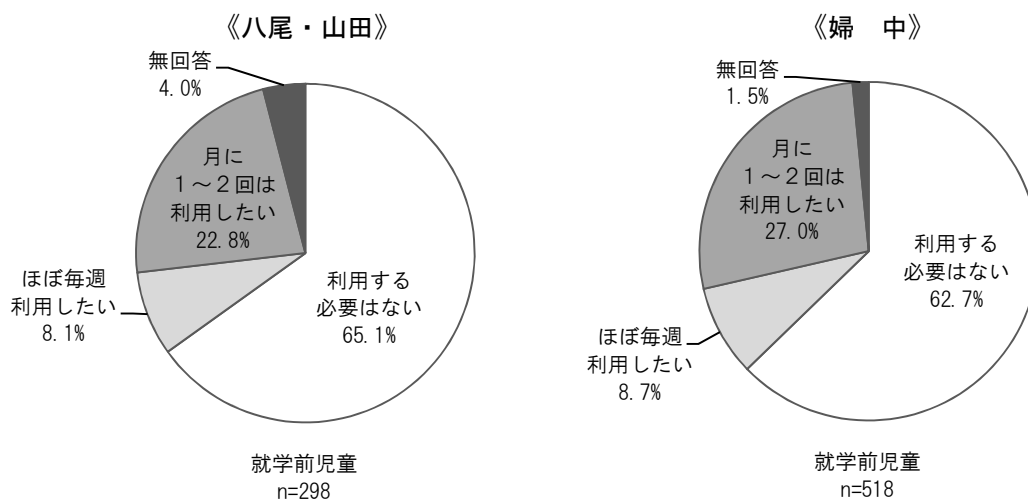
問20(1) 土曜日の利用希望



問20(1) 土曜日の利用希望

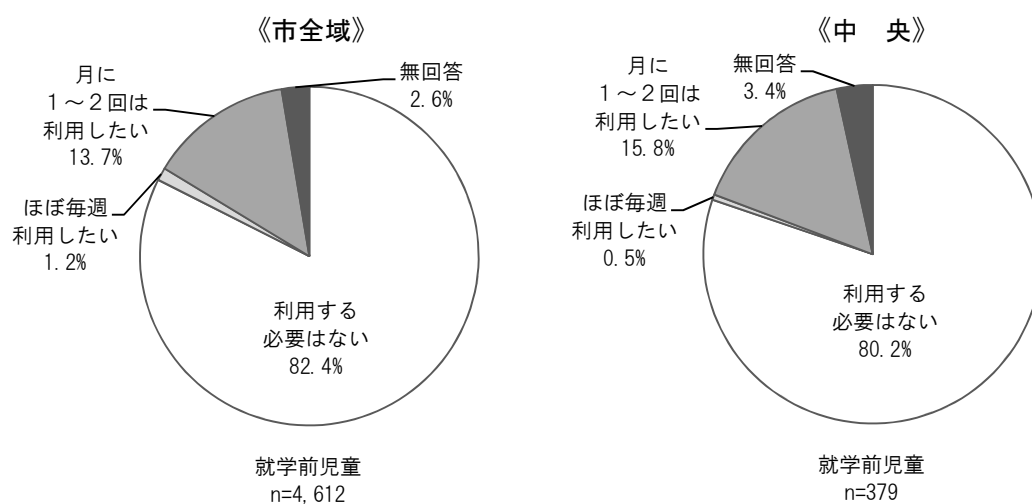


問20(1) 土曜日の利用希望

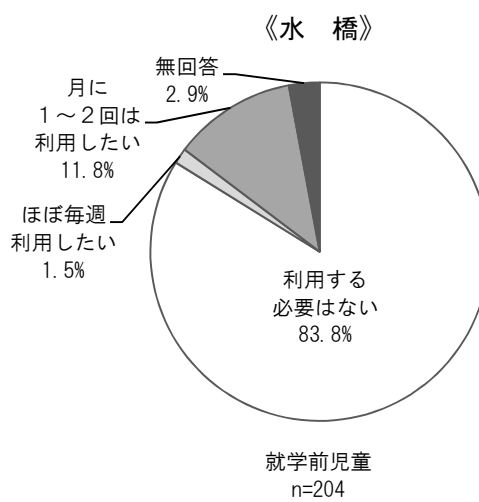
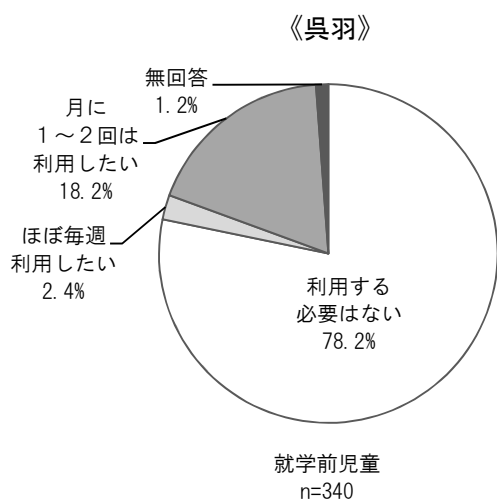
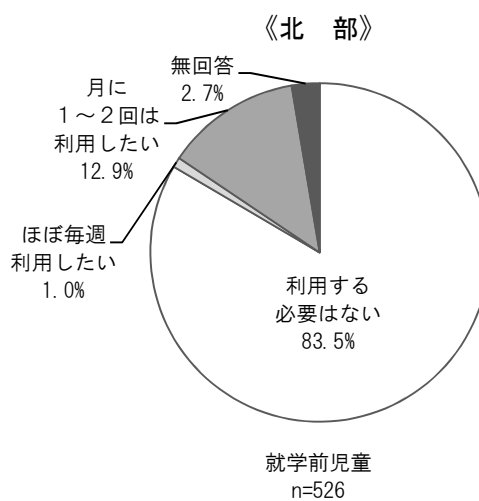
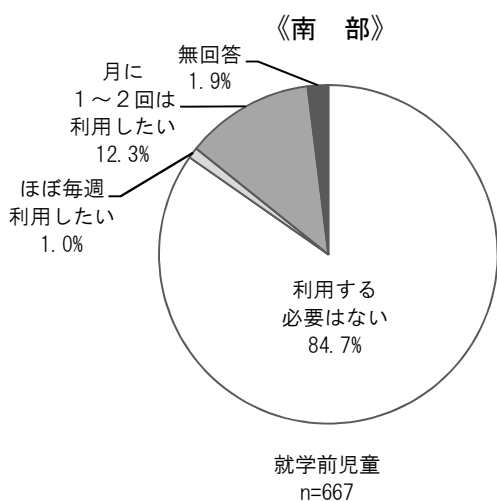
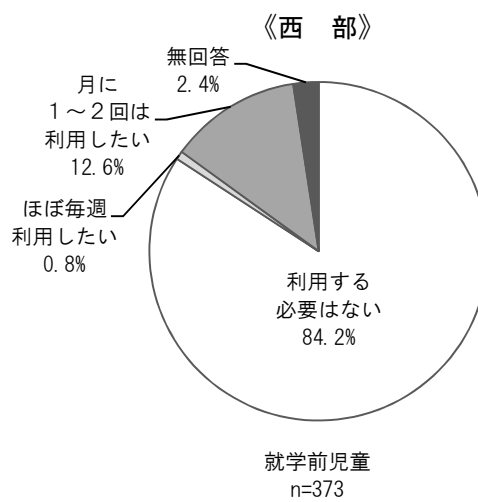
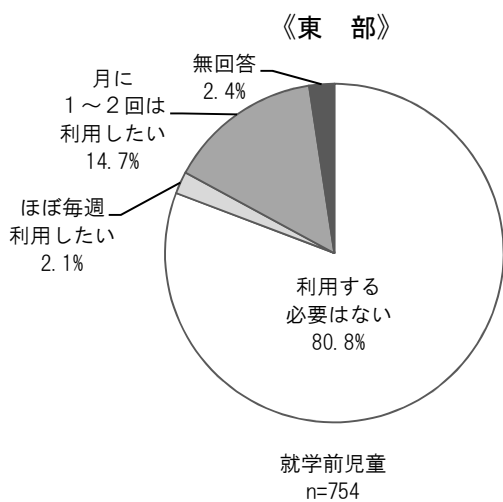


○日曜・祝日の利用希望を地域別にみると、全ての地域で「利用する必要はない」(78.2～84.7%)が8割前後で最も高くなっていますが、「月に1～2回は利用したい」(9.6～18.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.3～2.4%)となり、土曜日の利用希望と同様に《呉羽》では「月に1～2回は利用したい」(18.2%)、「ほぼ毎週利用したい」(2.4%)で割合が最も高くなっています。

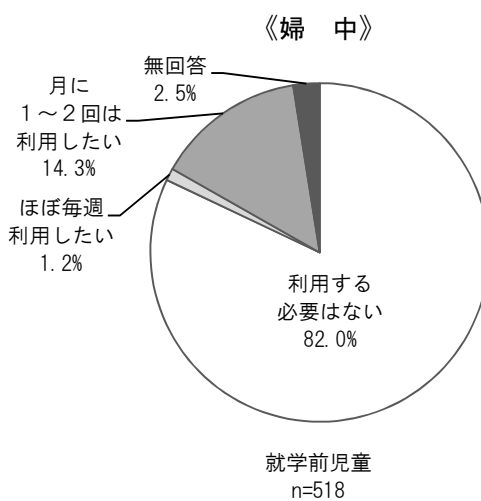
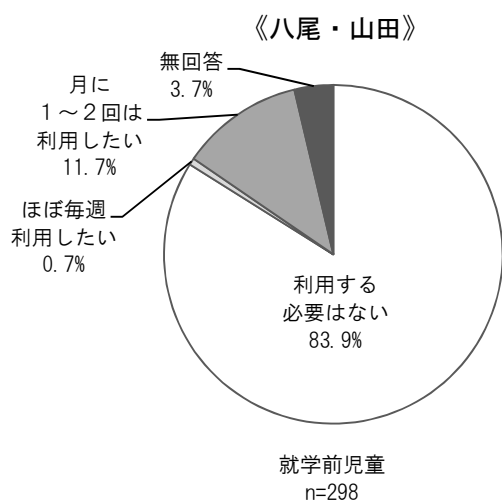
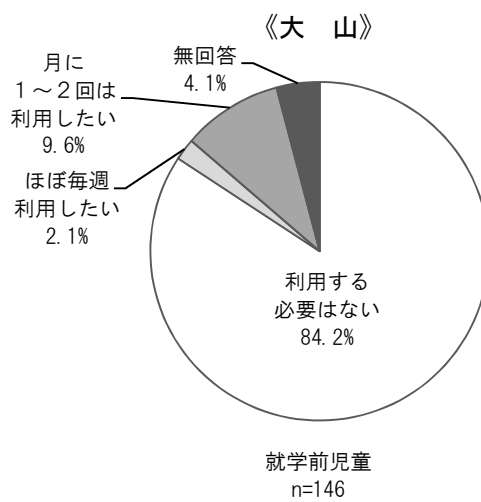
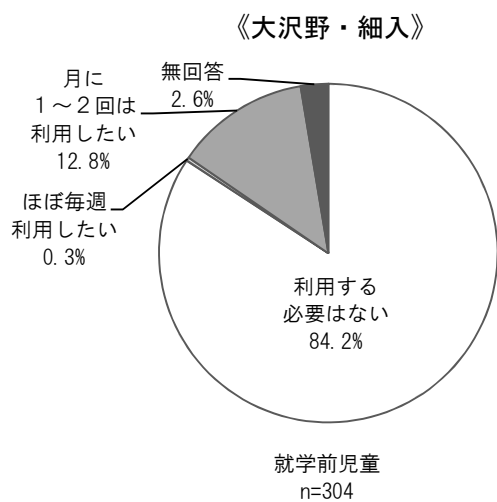
問20(2) 日曜・祝日の利用希望



問20(2) 日曜・祝日の利用希望



問20(2) 日曜・祝日の利用希望

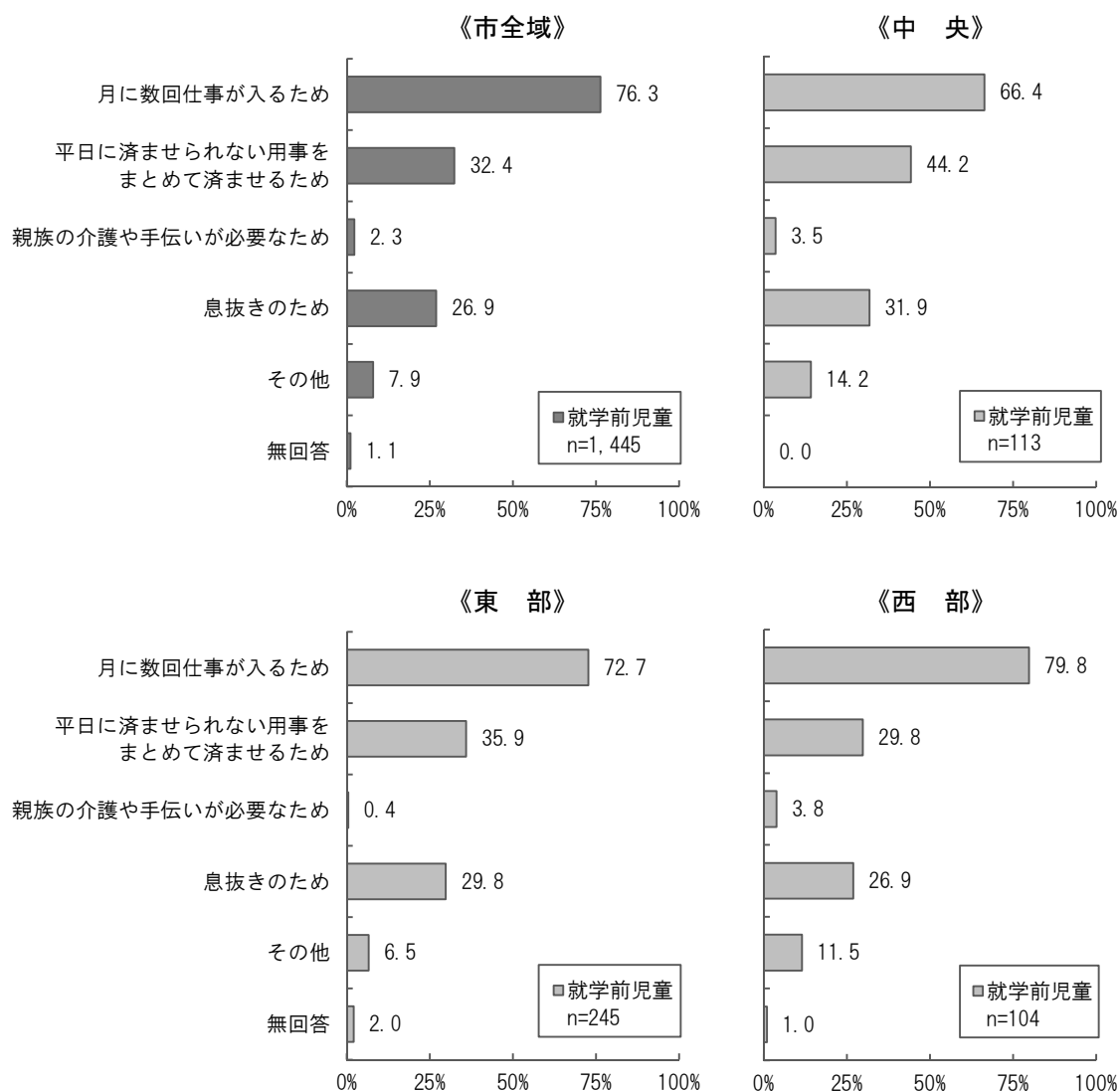




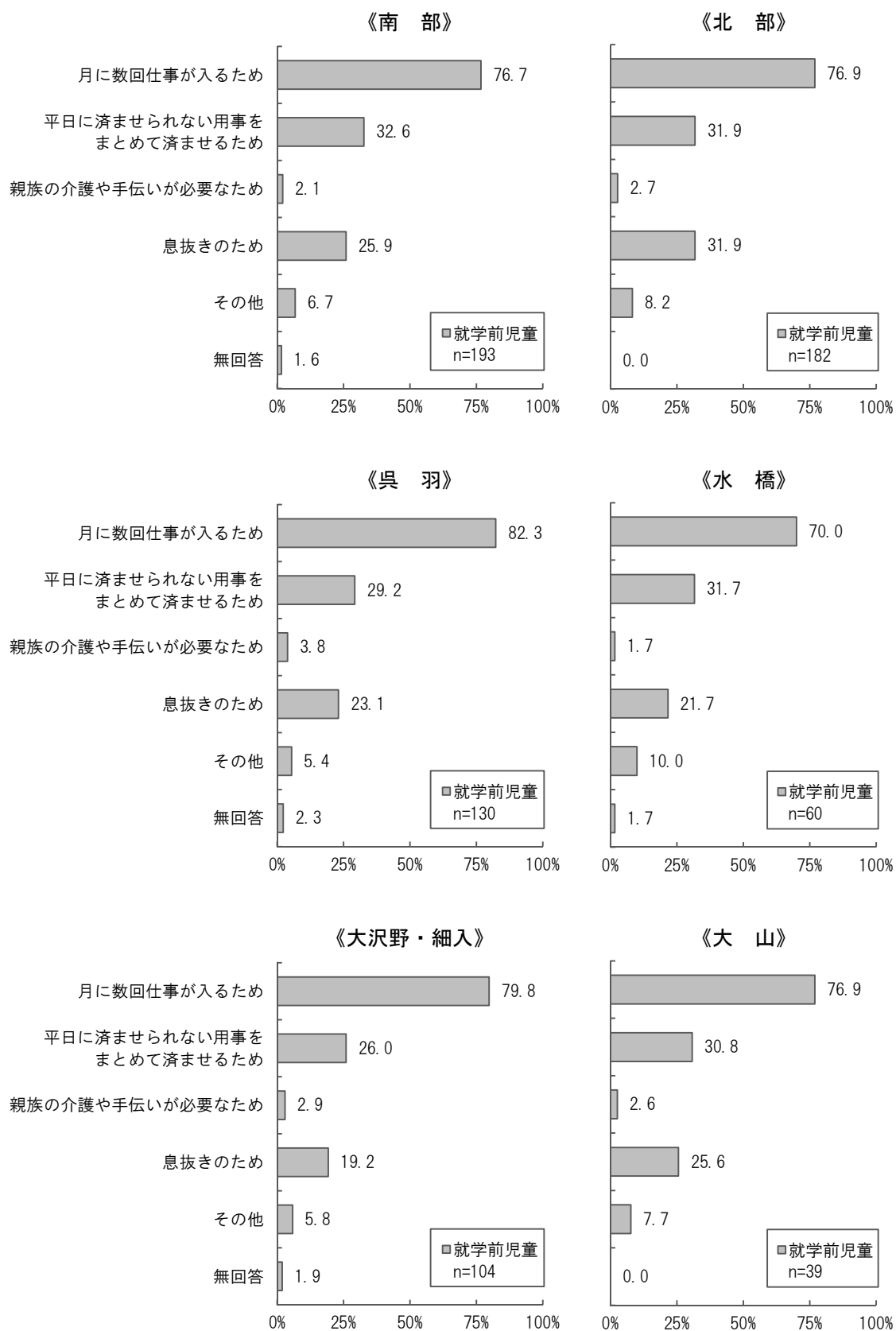
○土曜日、日曜・祝日において、毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由を地域別にみると、全ての地域で「月に数回仕事が入るため」(66.4～82.3%)が最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(26.0～44.2%)、「息抜きのため」(19.2～31.9%)で割合が高くなっています。

○「月に数回仕事が入るため」の割合が高い地域は、《呉羽》(82.3%)、《西部》《大沢野・細入》(各79.8%)、《八尾・山田》(78.3%)となっています。

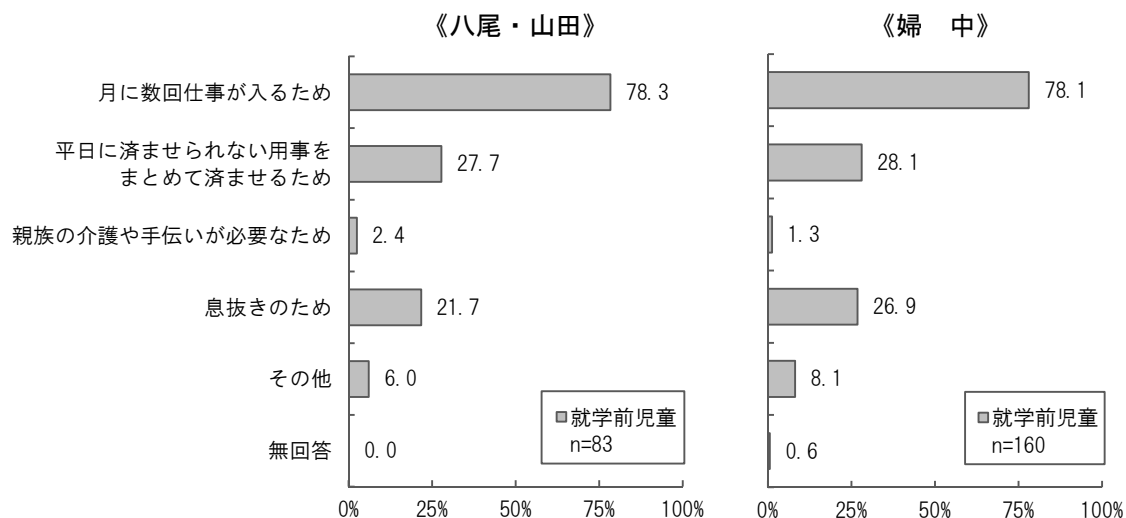
問20-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



問20-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



問20-1 毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由



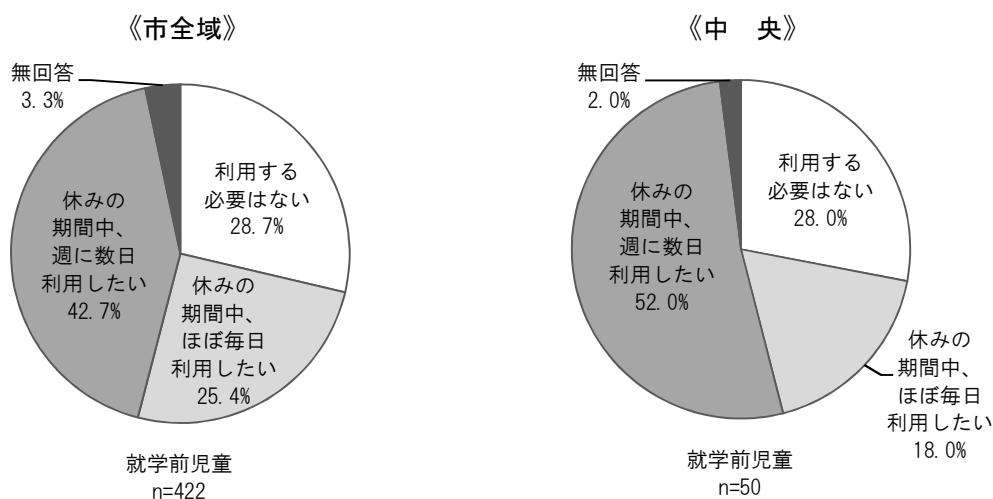
## (2) 長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望を地域別にみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」は《中央》《大山》(52.0%・58.3%)が5割台、《南部》《北部》《西部》《大沢野・細入》《婦中》(43.9~46.9%)が4割台となり、市全域より高くなっています。

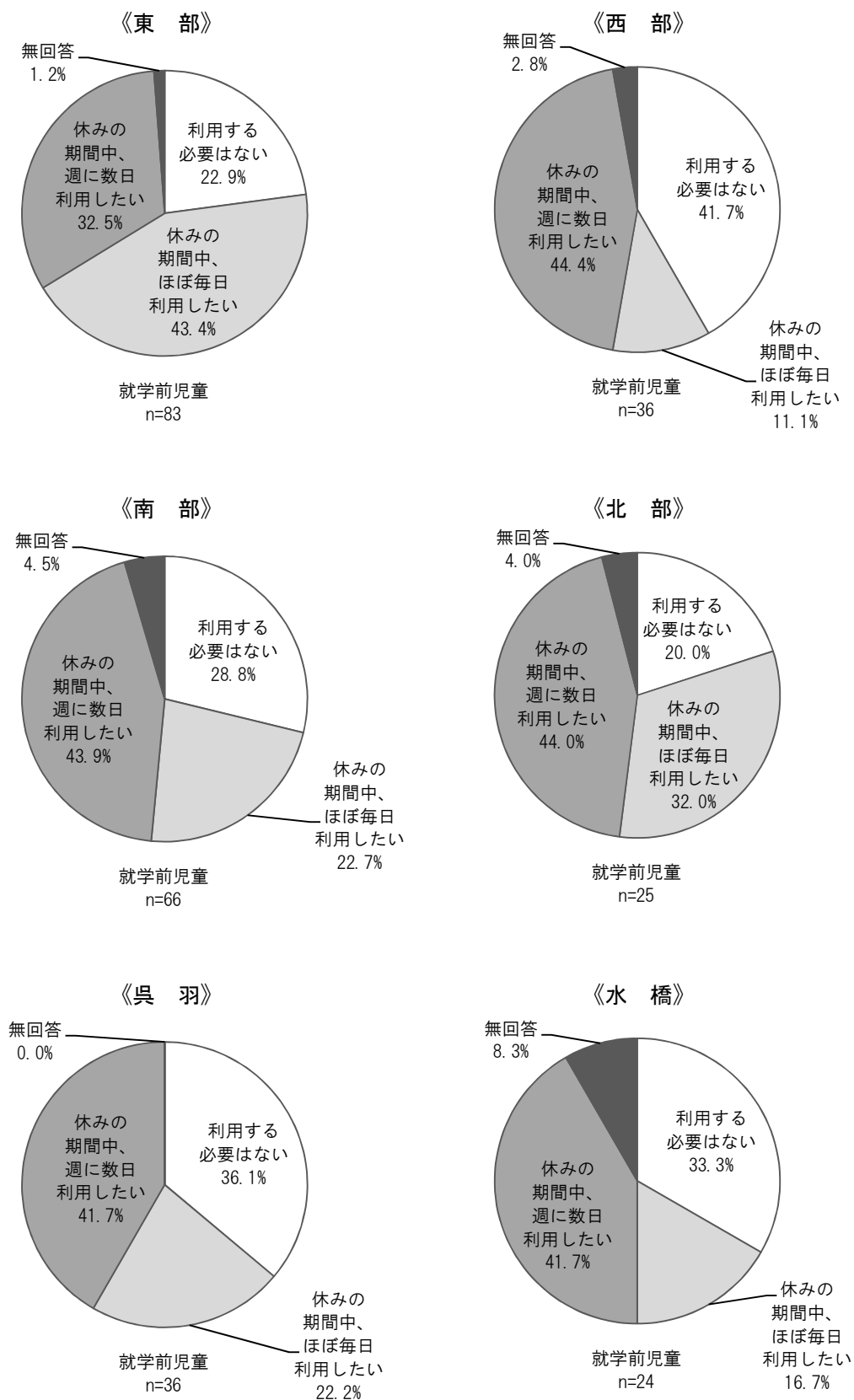
○「利用する必要はない」と回答した方は20.0~41.7%となっています。

(《八尾・山田》は対象者が少数のため、コメントを省略)

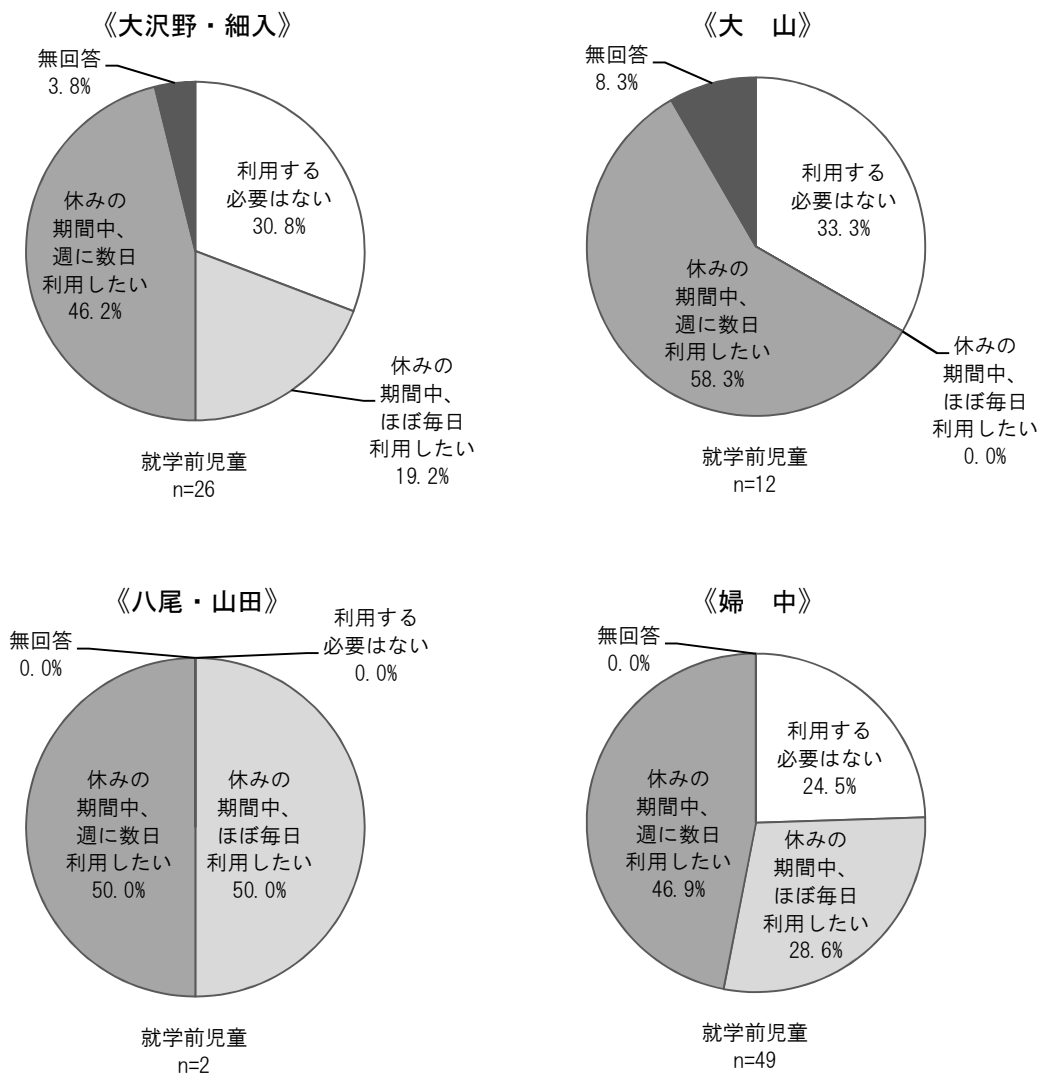
問21 長期休暇中の利用希望 (幼稚園利用者)



問21 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



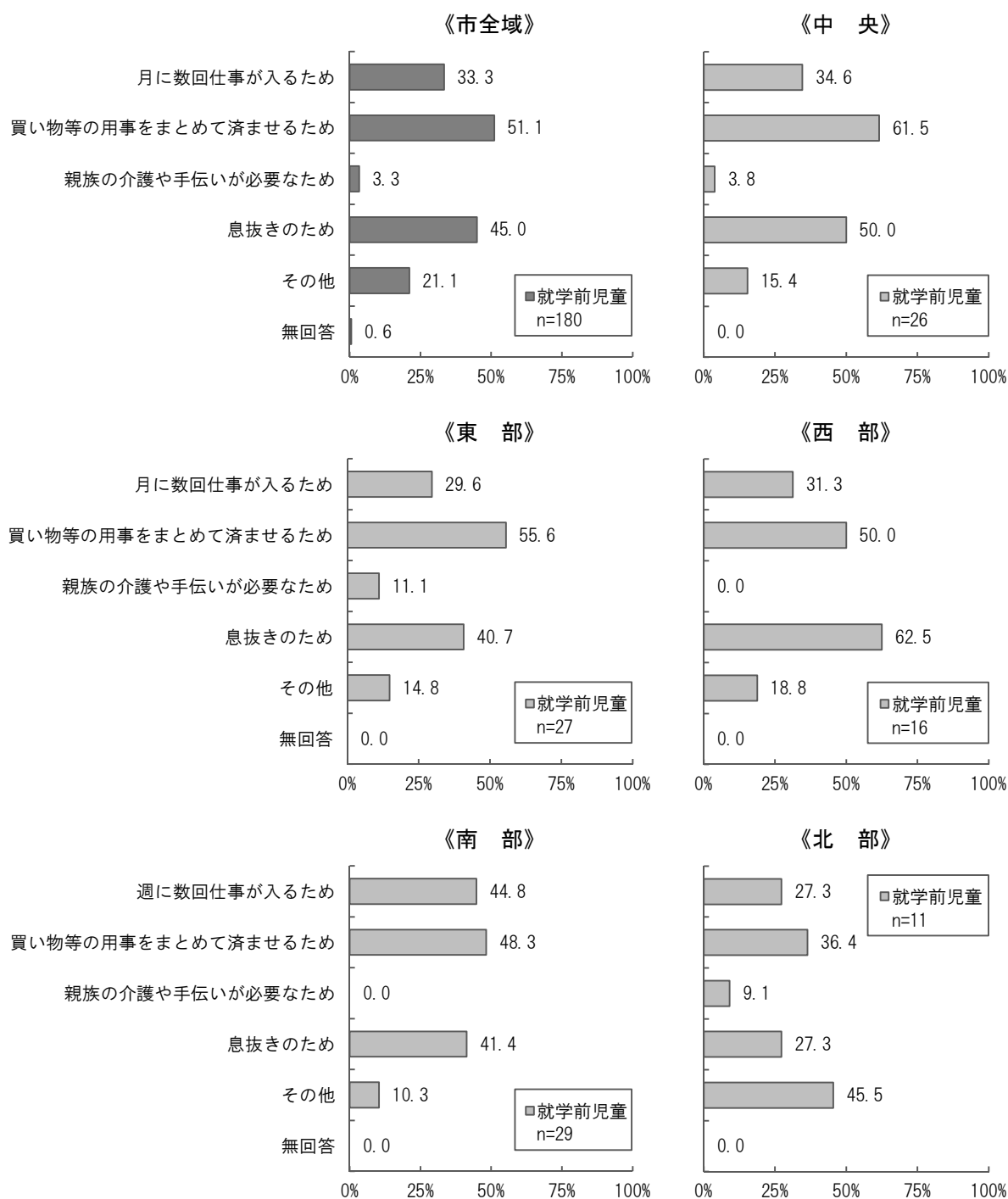
問21 長期休暇中の利用希望（幼稚園利用者）



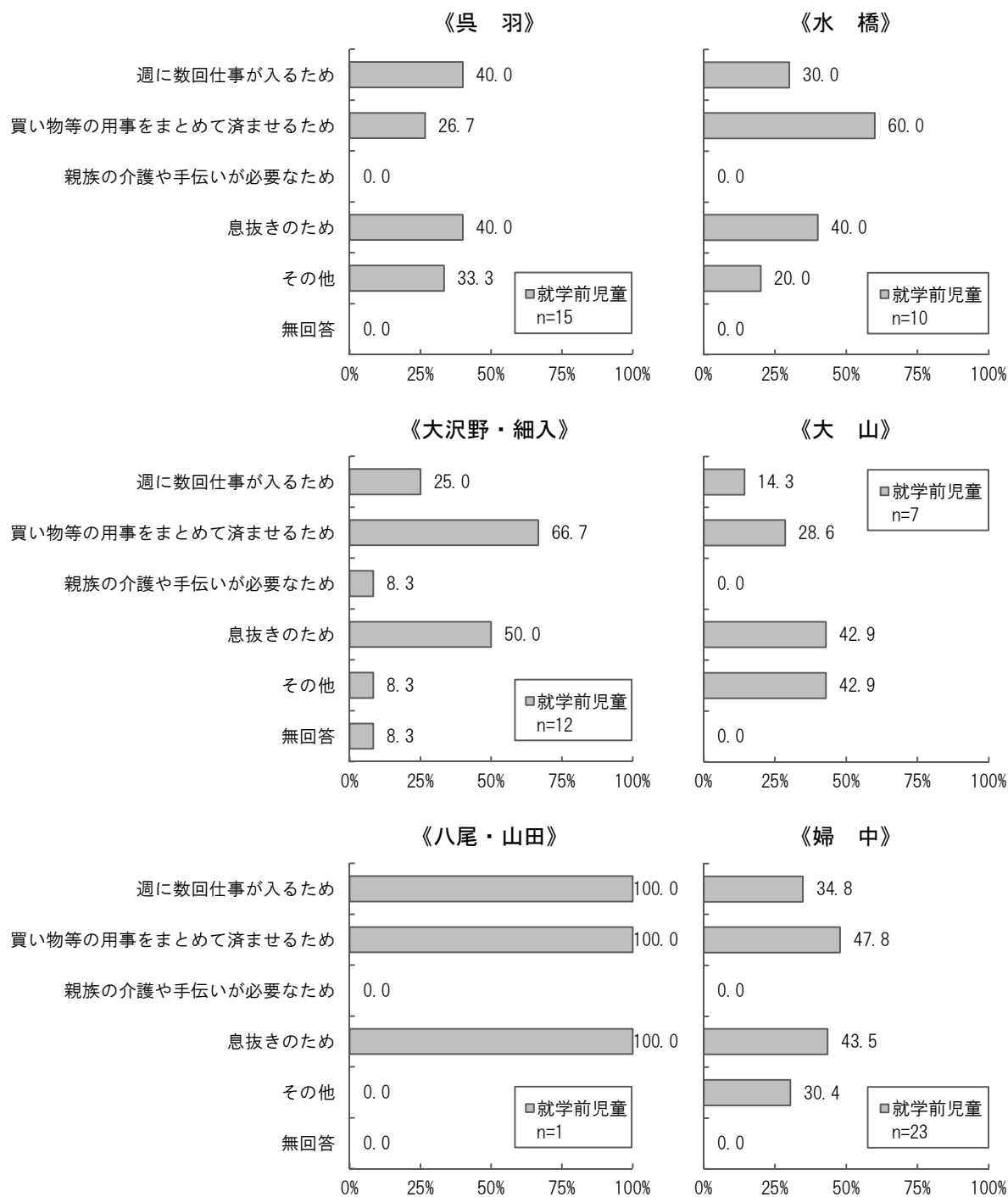
○幼稚園利用者の長期休暇中において「休みの期間中、週に数日利用したい」理由を地域別にみると、全ての地域で「月に数回仕事が入るため」(14.3~44.8%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(26.7~66.7%)、「息抜きのため」(27.3~62.5%)で割合が高くなっています。

○「月に数回仕事が入るため」の割合を地域別でみると、《南部》(44.8%)、《呉羽》(40.0%)、《婦中》(34.8%)、《中央》(34.6%)で市全域を上回り高くなっています。(《八尾・山田》は対象者が少数のため、コメントを省略)

問21-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由（幼稚園利用者）



問21-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由（幼稚園利用者）



### 3 子育て支援事業の現状と今後の利用希望

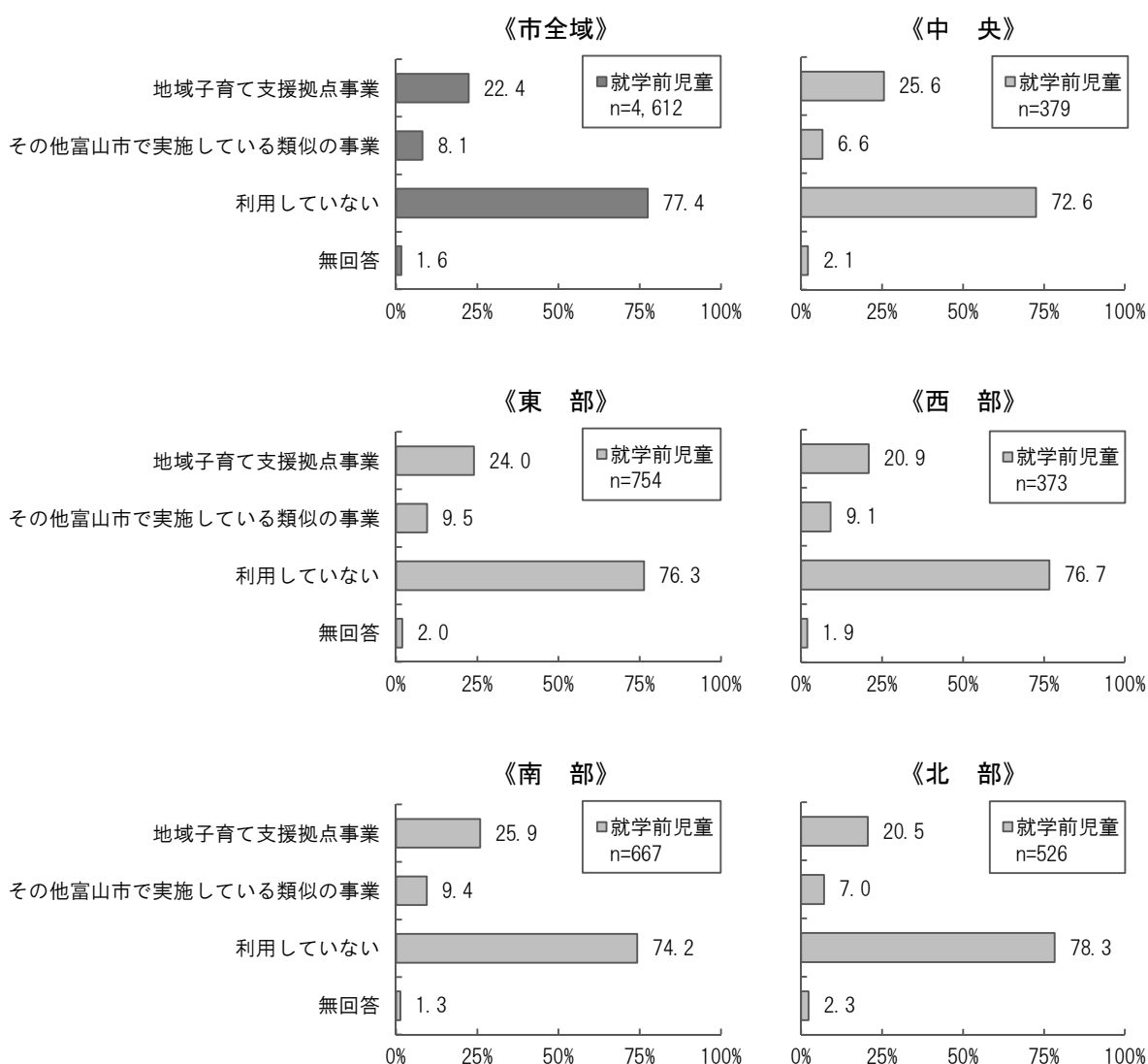
#### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

○地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、《南部》(25.9%)、《中央》(25.6%)、《東部》(24.0%)、《婦中》(22.8%)、《水橋》(22.5%) で市全域を上回り高い割合となっていますが、《呉羽》(18.5%) は最も低い割合となっています。

○その他富山市で実施している類似の事業では、全ての地域で6.5~10.3%と利用者が少ない状況ですが、《水橋》(10.3%)、《東部》(9.5%)、《南部》(9.4%)、《西部》(9.1%) で市全域を上回り高い割合となり、《呉羽》(6.5%) は最も低い割合となっています。

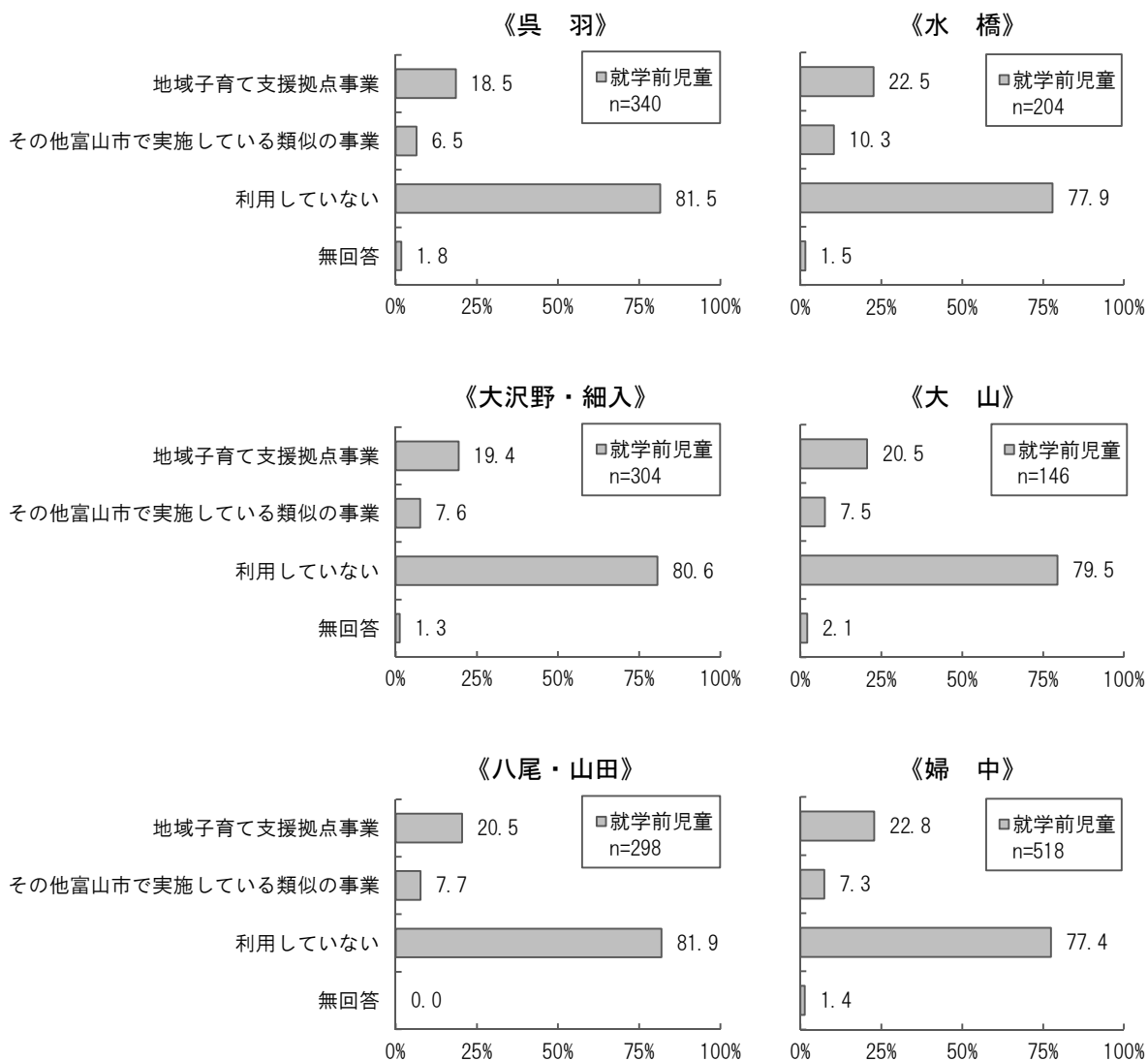
※地域子育て支援拠点事業＝子育て支援センターにおける各種事業

問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況



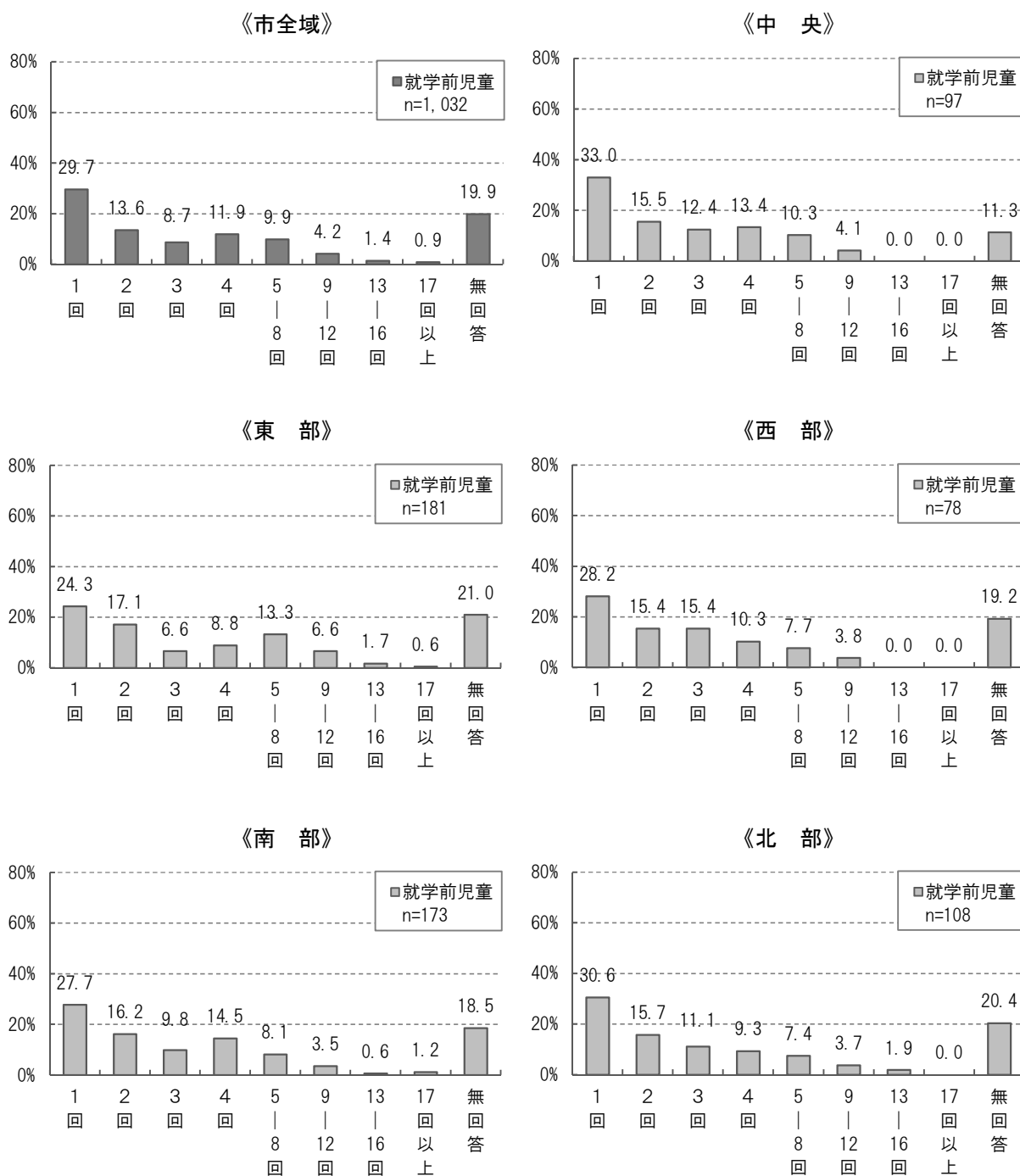


問16 地域子育て支援拠点事業の利用状況



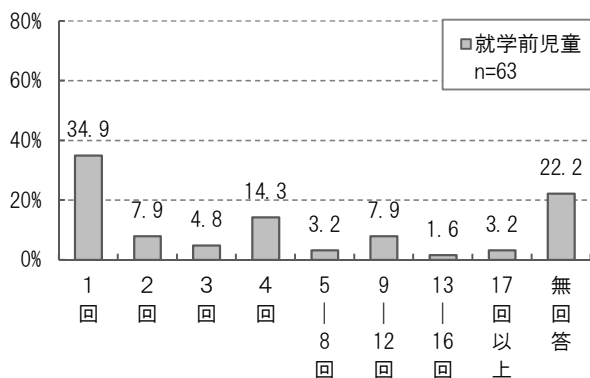
○地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用回数をみると、全ての地域で「1回」(24.3~34.9%)と回答した割合が最も高くなっています。また、《八尾・山田》《呉羽》では13回以上の利用回数の割合が高くなっています。

問16.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1ヶ月当たり）

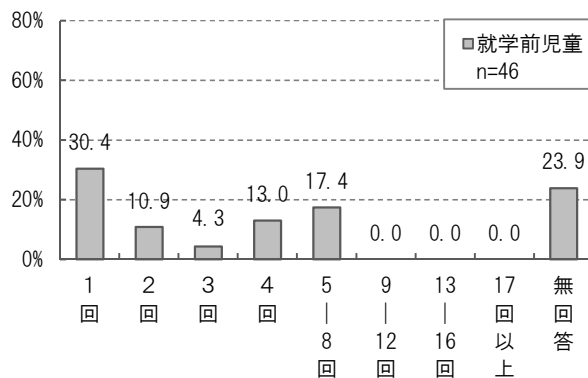


問16.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1ヶ月当たり）

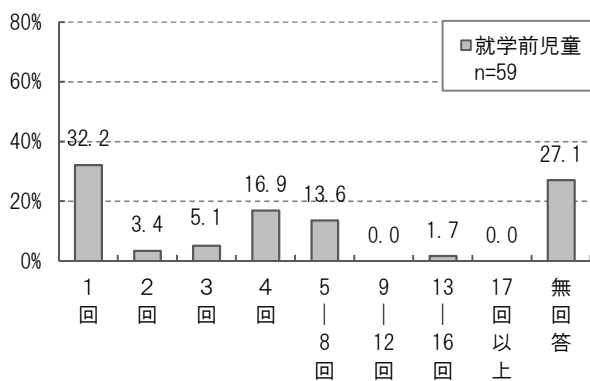
《呉 羽》



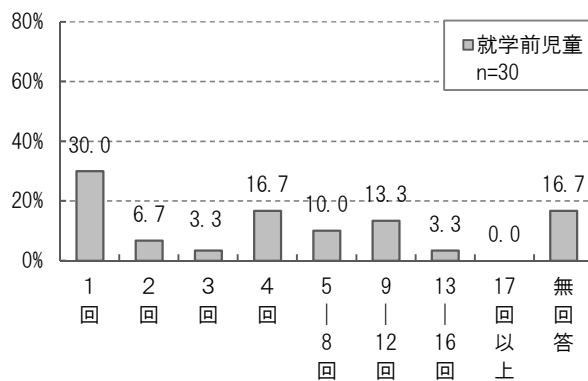
《水 橋》



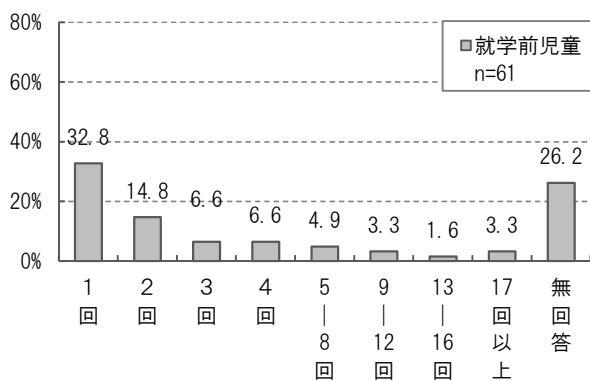
《大沢野・細入》



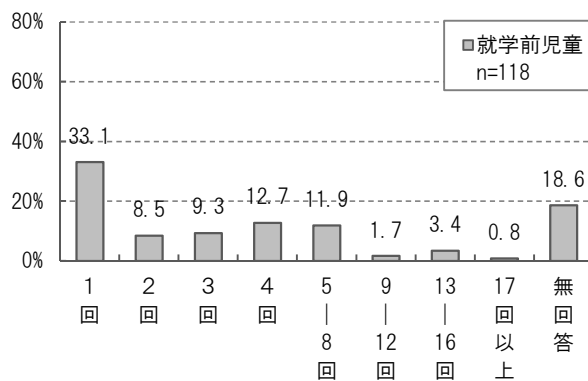
《大 山》



《八尾・山田》

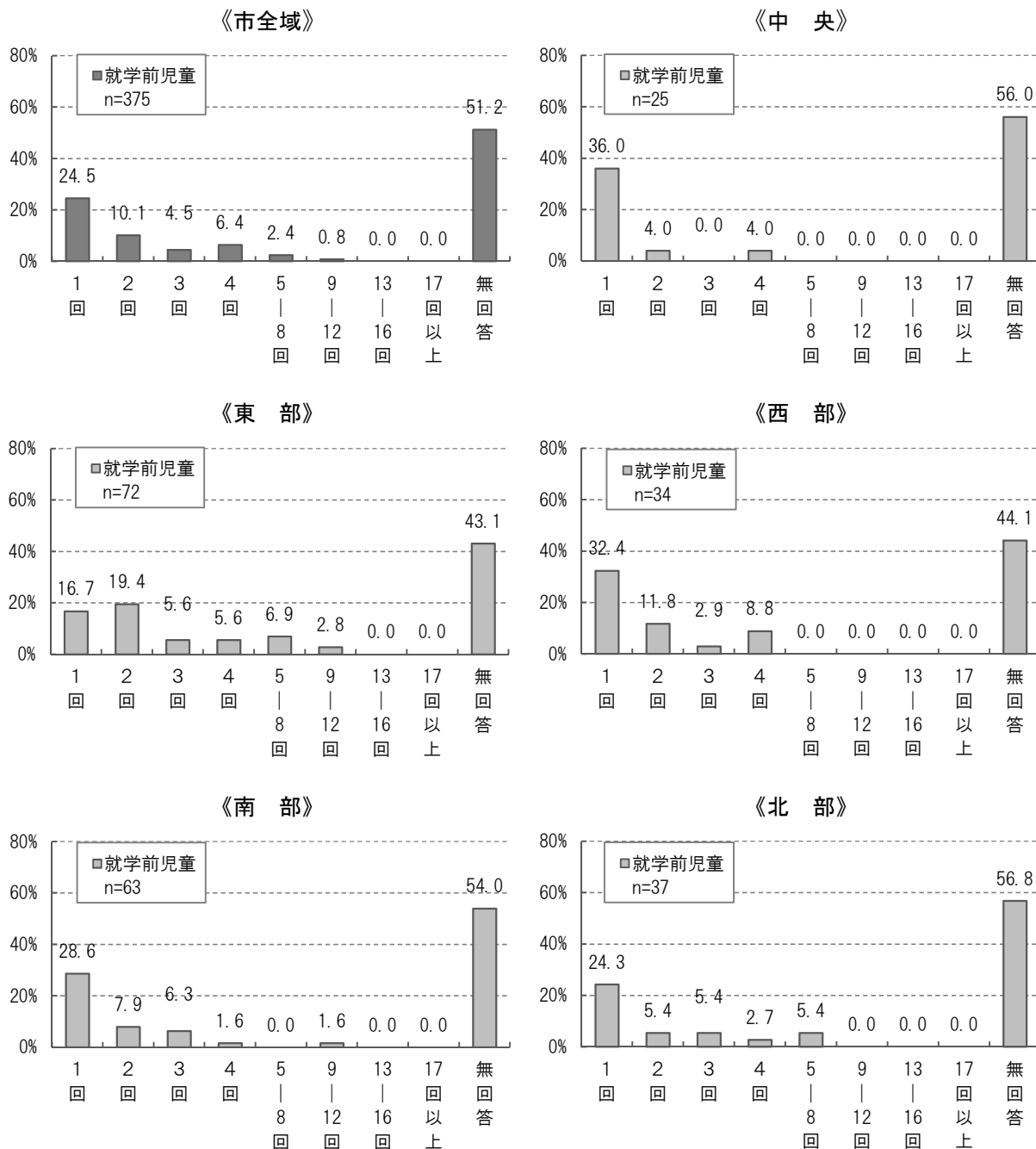


《婦 中》

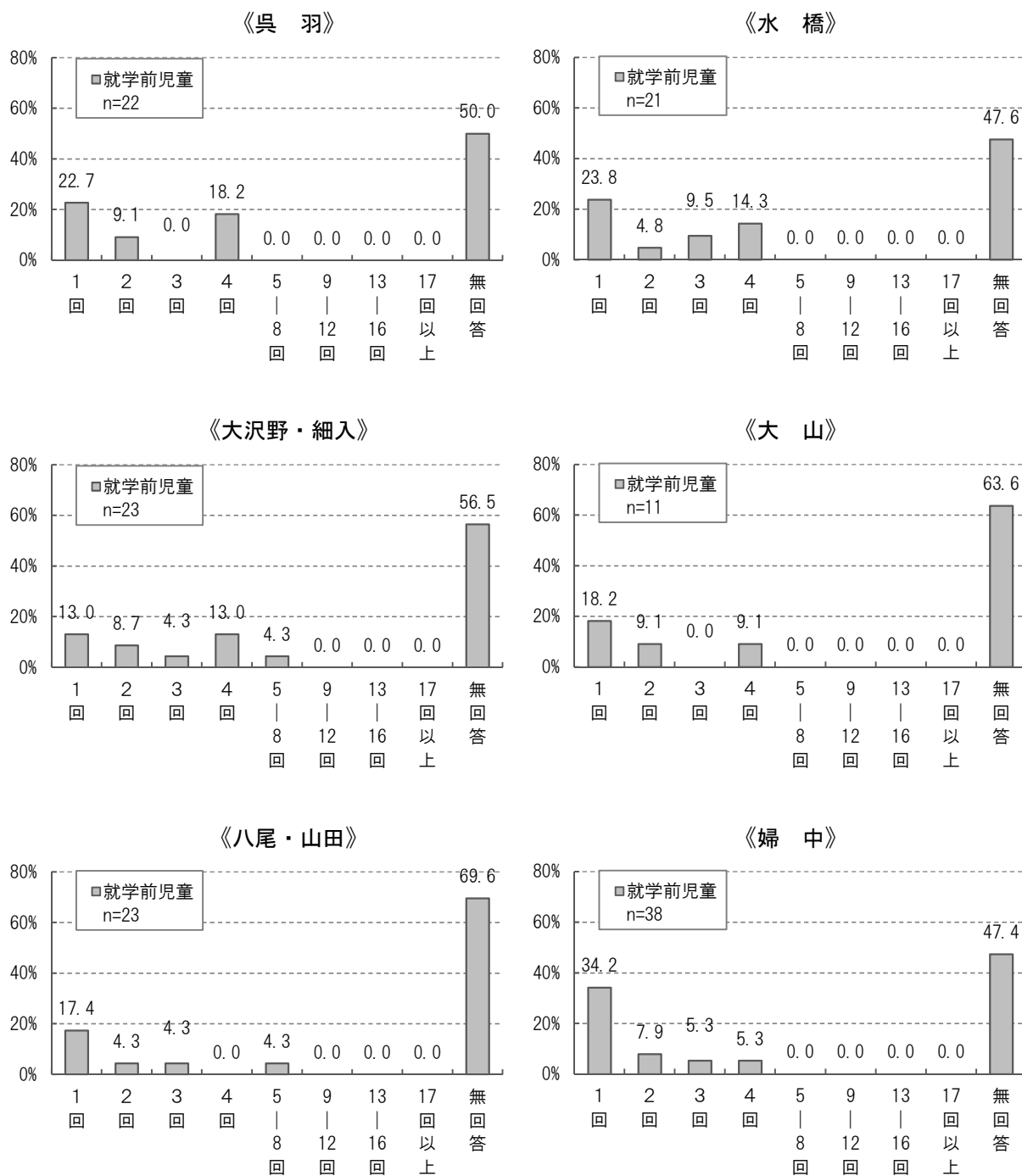


○その他富山市で実施している類似事業の1ヶ月当たりの利用回数は、全ての地域で「1回」(13.0~36.0%)と回答した割合が最も高くなっています。

問16.2 その他富山市で実施している類似の事業の利用回数(1ヶ月当たり)



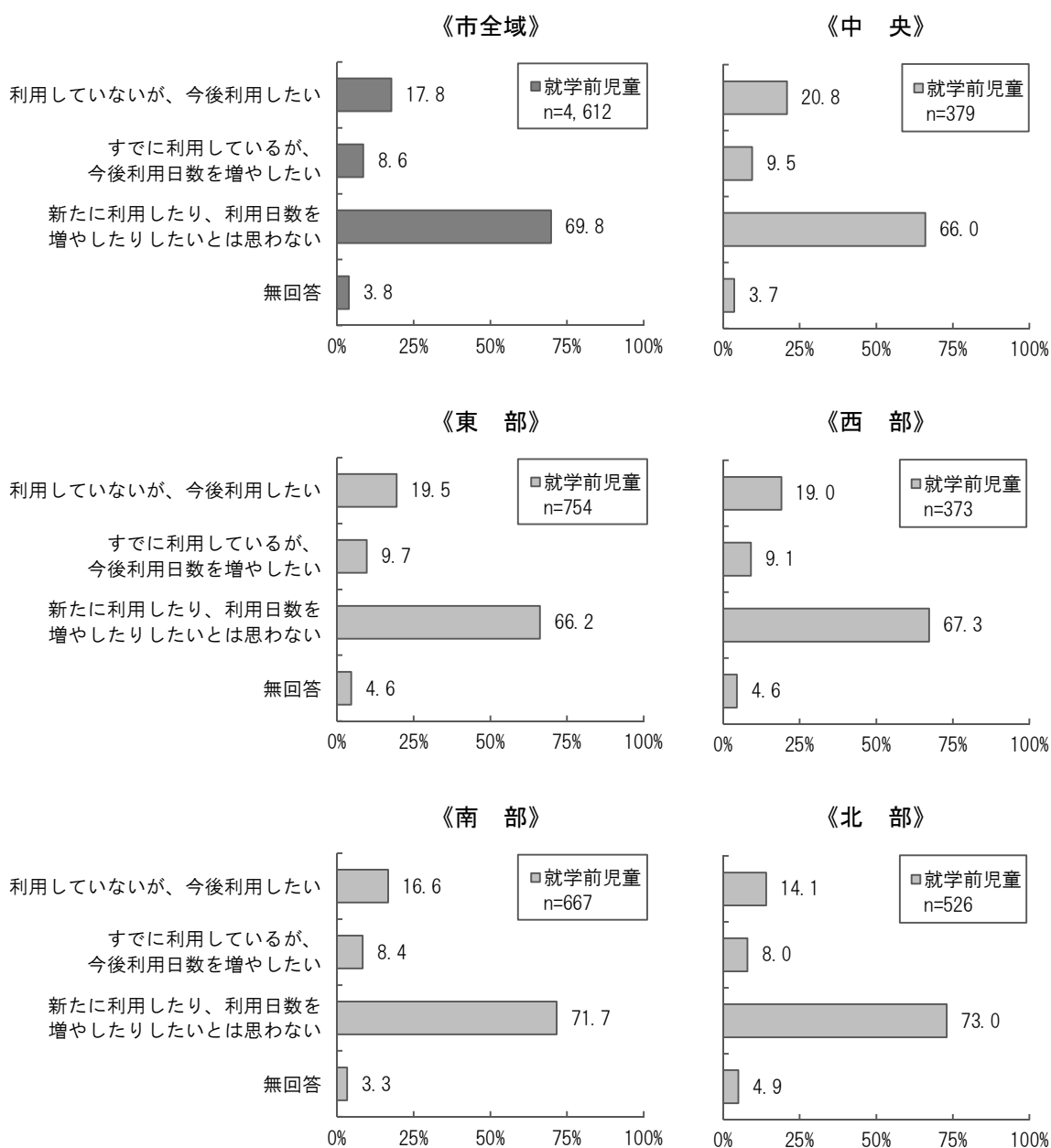
問16.2 その他富山市で実施している類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）



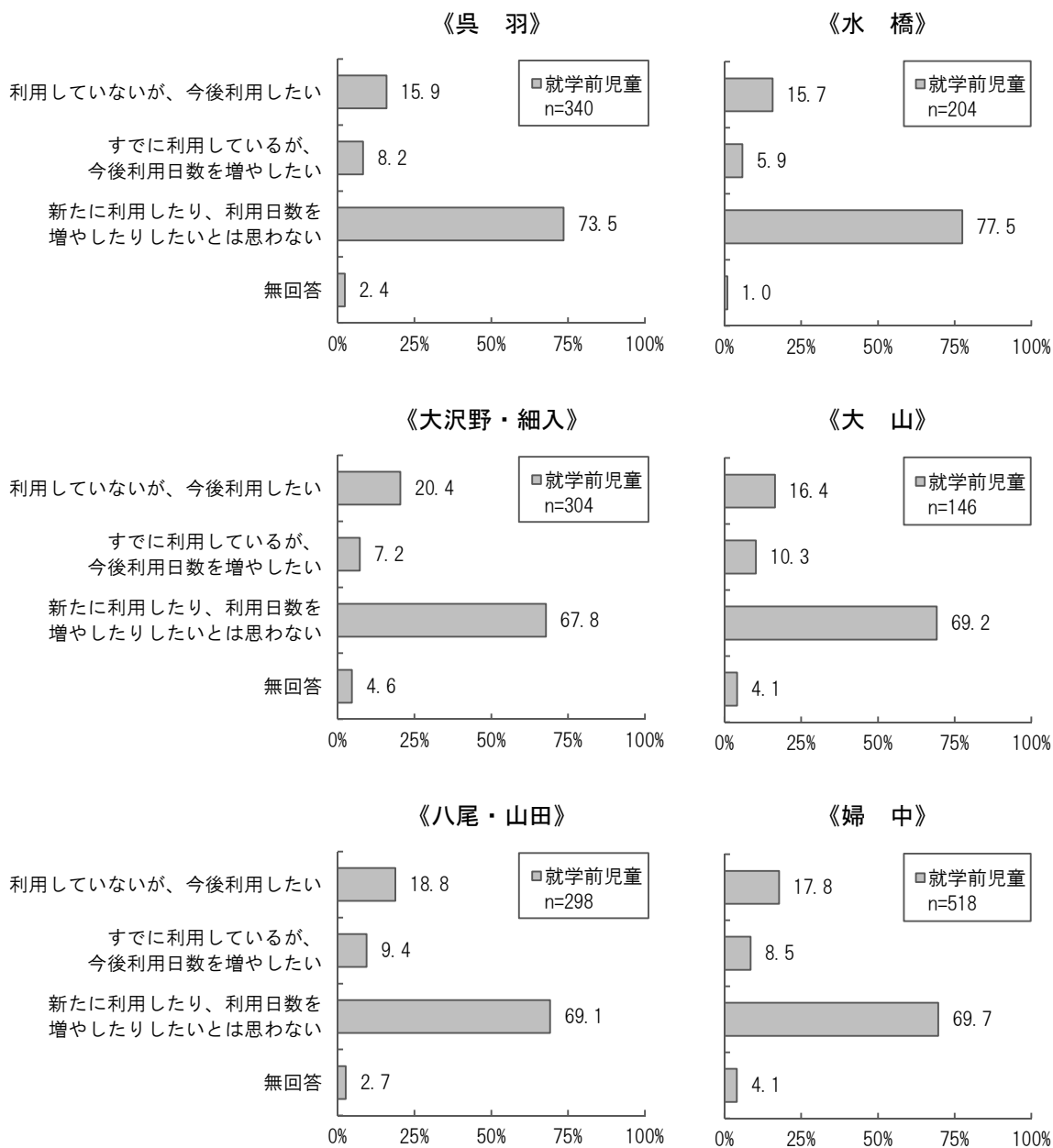
## (2) 今後の利用希望

○地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、全ての地域で「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」(66.0~77.5%)が6~7割台で最も高くなっています。一方、「利用していないが、今後利用したい」「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と利用希望がある割合は、《中央》(30.3%)、《東部》(29.2%)で3割前後と高くなっています。

問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



問17 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



### (3) 地域の子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用希望

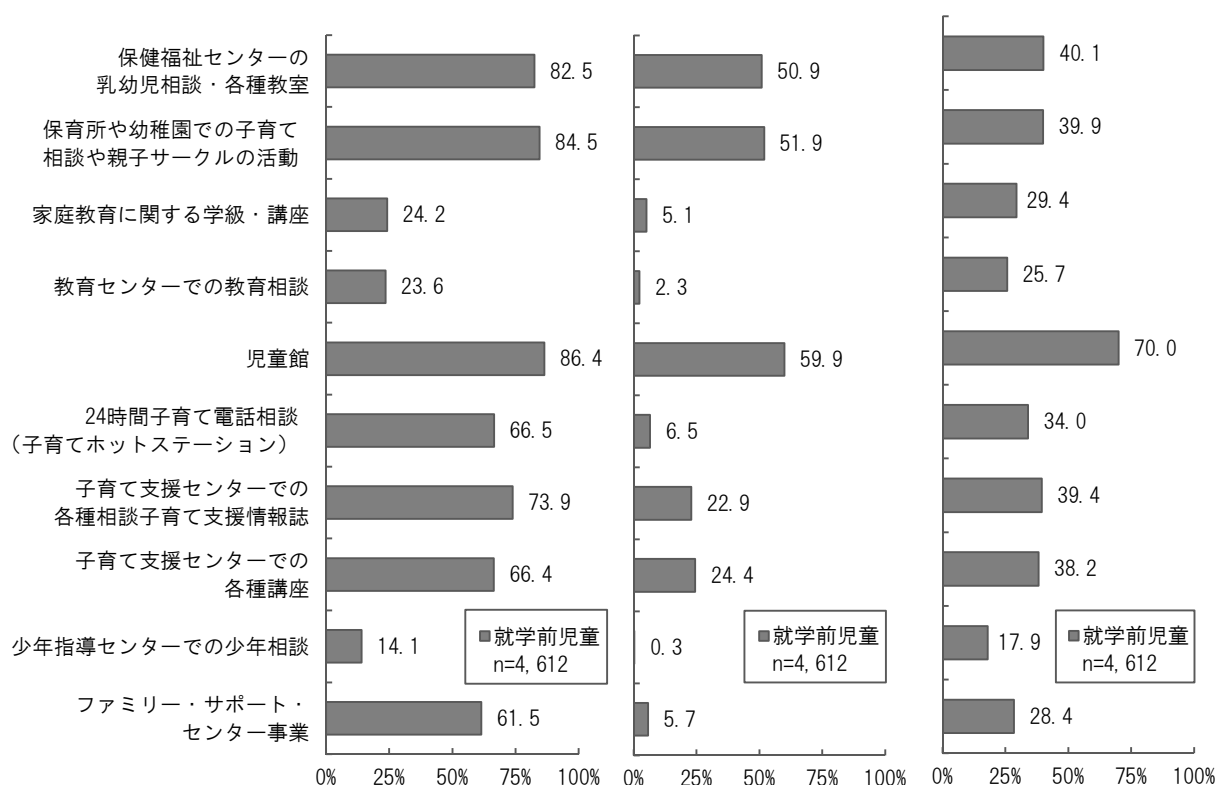
○地域の子育て支援事業の周知度をみると、全ての地域で「保健福祉センターの乳幼児相談・各種教室」(79.5~85.6%)、「保育所や幼稚園での子育て相談や親子サークルの活動」(81.7~88.0%)、「児童館」(76.0~90.7%)が上位を占めています。一方で、「家庭教育に関する学級・講座」(17.8~29.2%)、「教育センターでの教育相談」(21.8~28.2%)、「少年指導センターでの少年相談」(8.2~16.6%)の周知度は低くなっています。

○周知度が高くても利用が少ない事業の利用状況は、全ての地域で「24時間子育て電話相談(子育てホットステーション)」(5.2~7.7%)、「ファミリー・サポート・センター事業」(3.4~10.6%)となっています。

○今後の利用希望が多い事業は、全ての地域で「児童館」(52.7~77.5%)の割合が最も高く、その他の事業は5割未満となっています。

問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したい

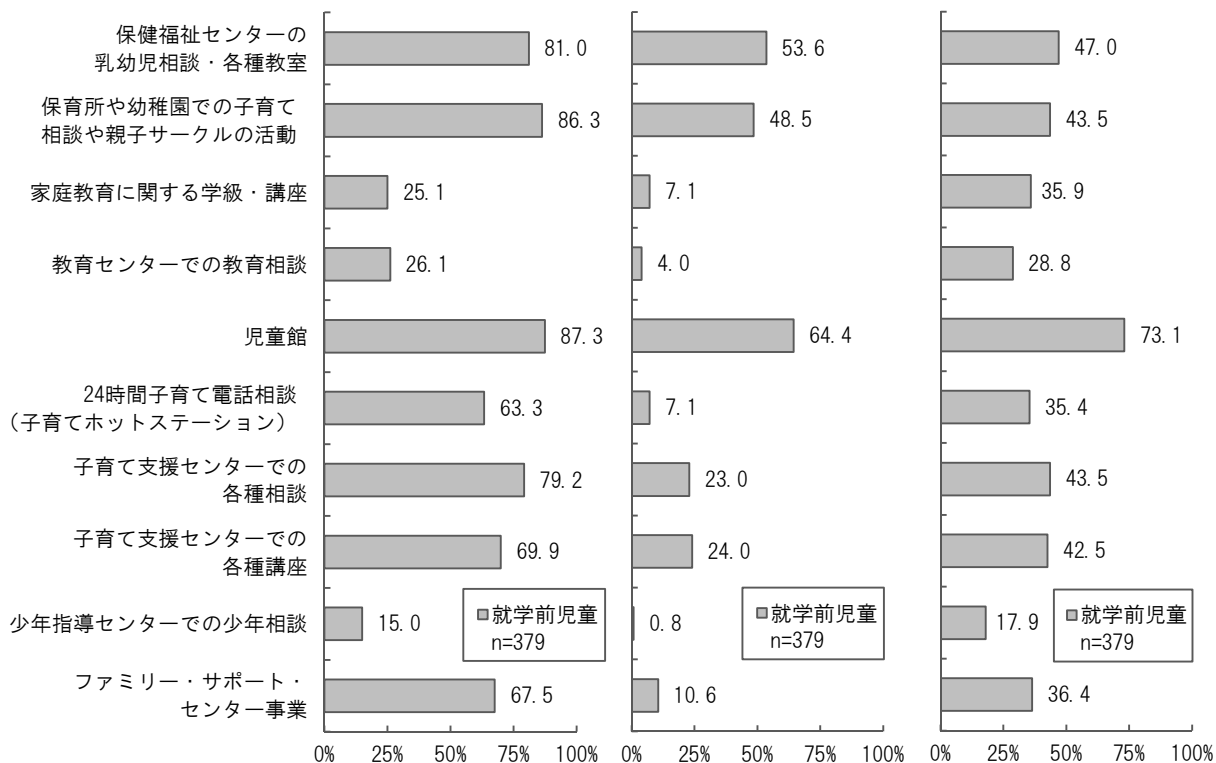
《市全域》



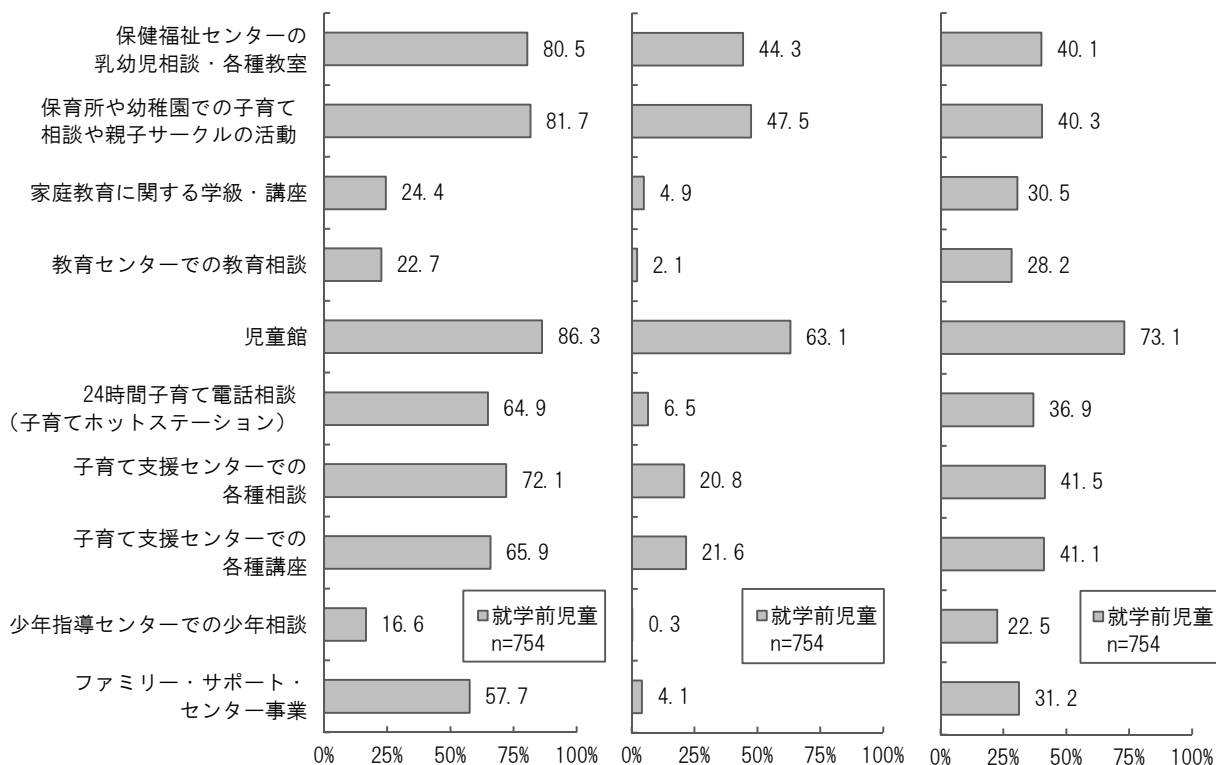


問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したいことがある

《中央》

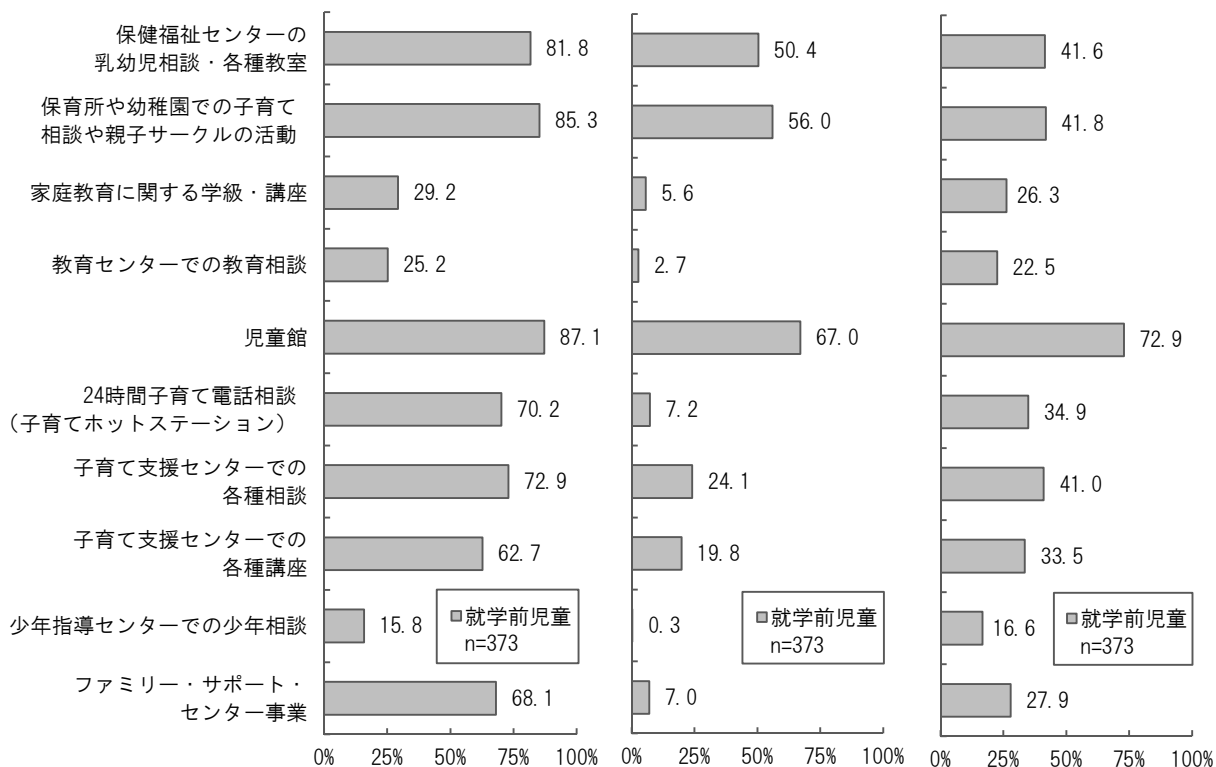


《東部》

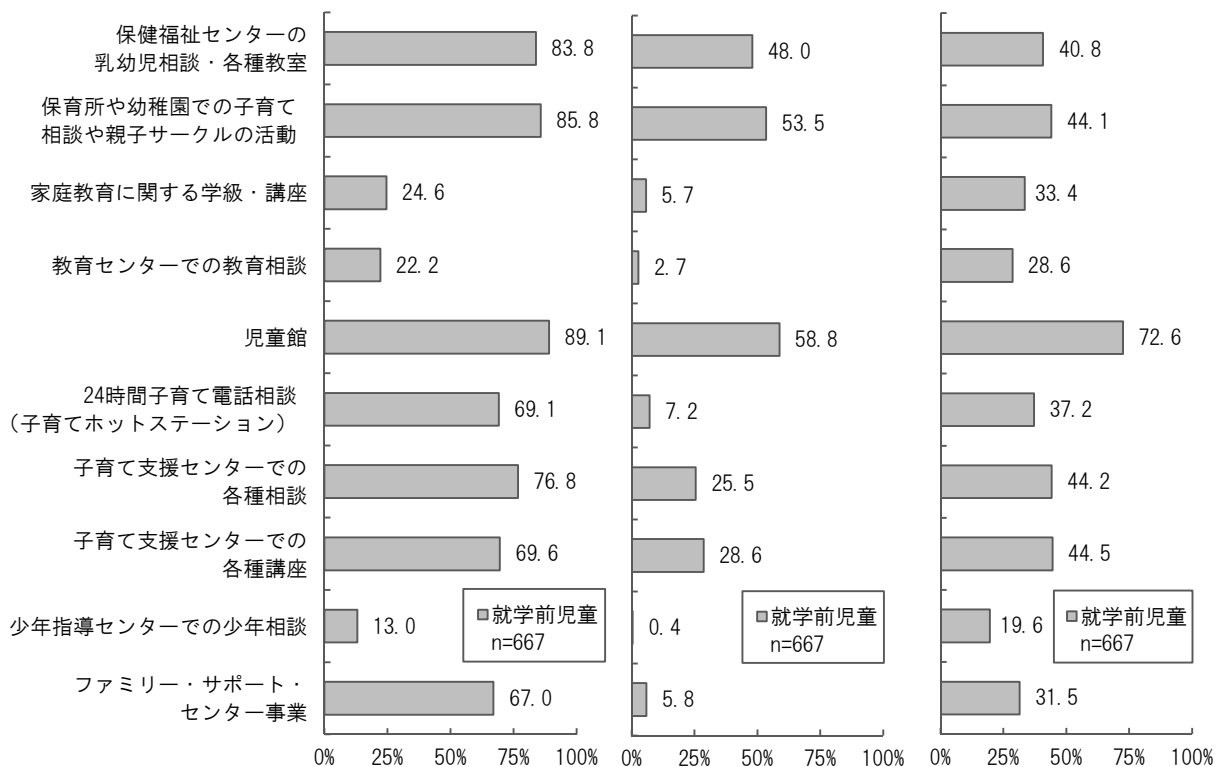


問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したいことがある

《西部》

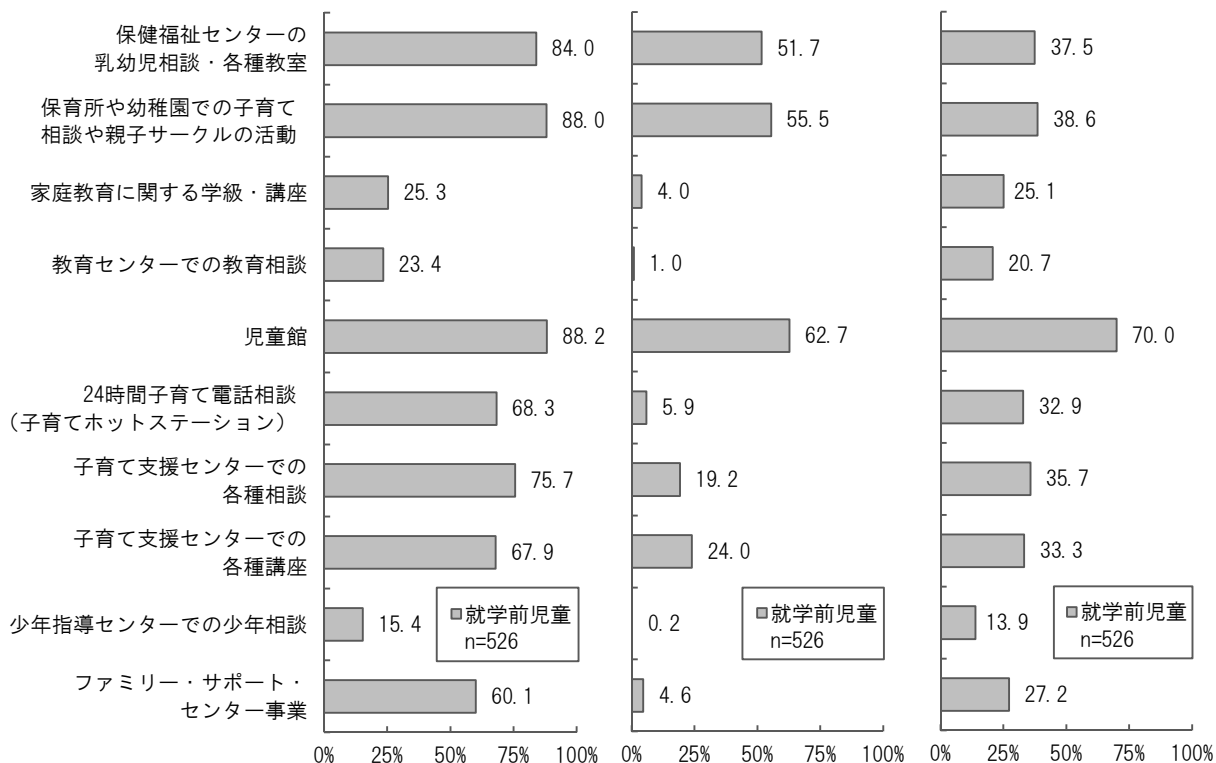


《南部》

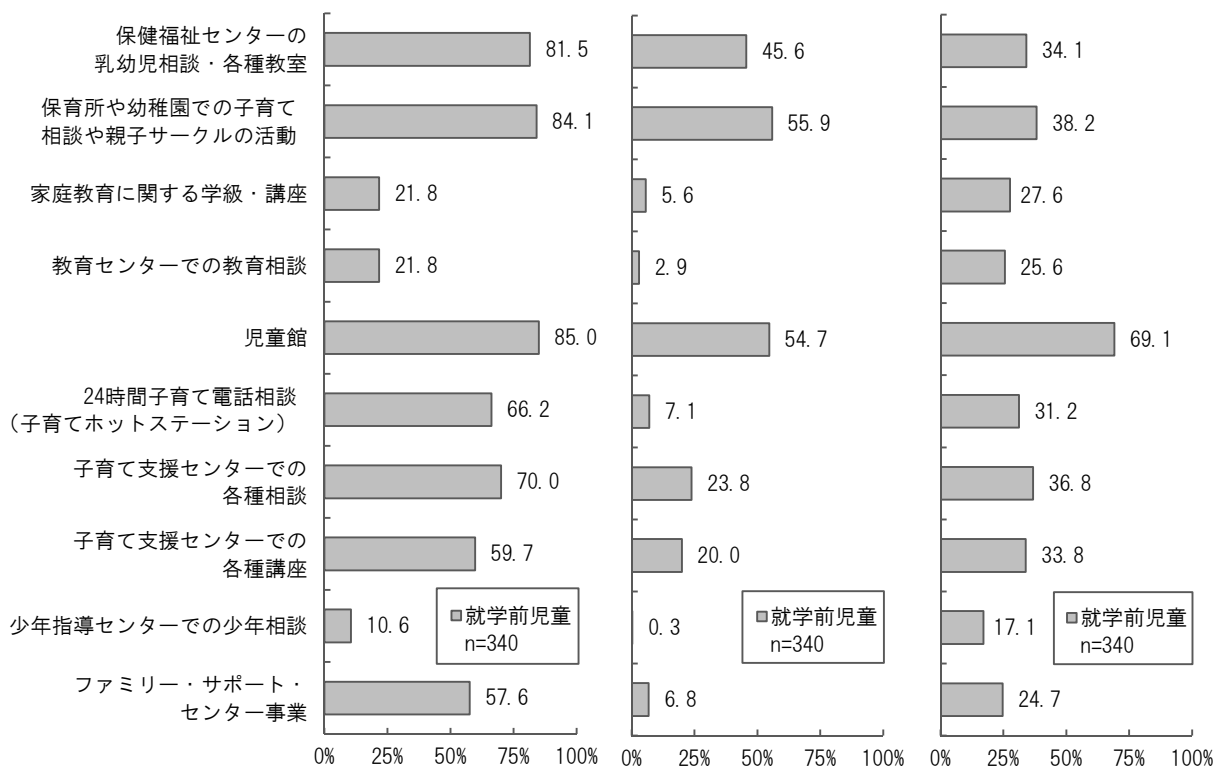


問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したいことがある

《北部》

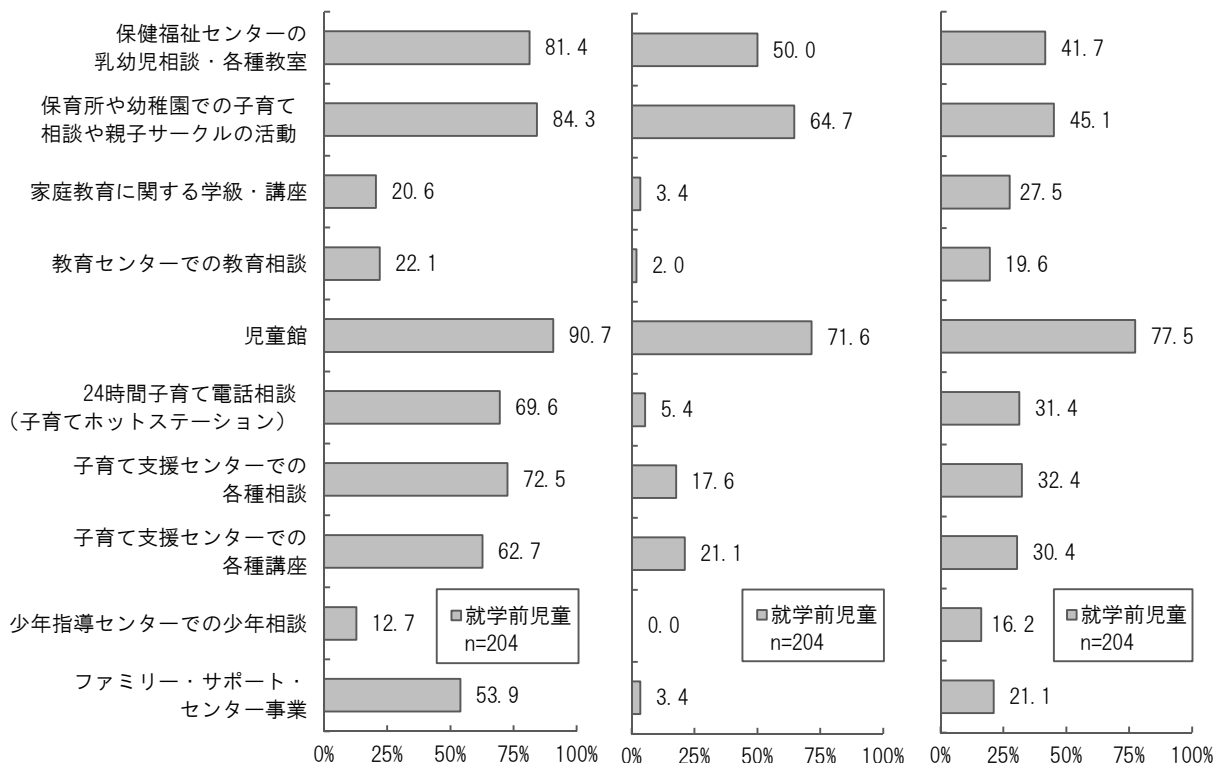


《呉羽》

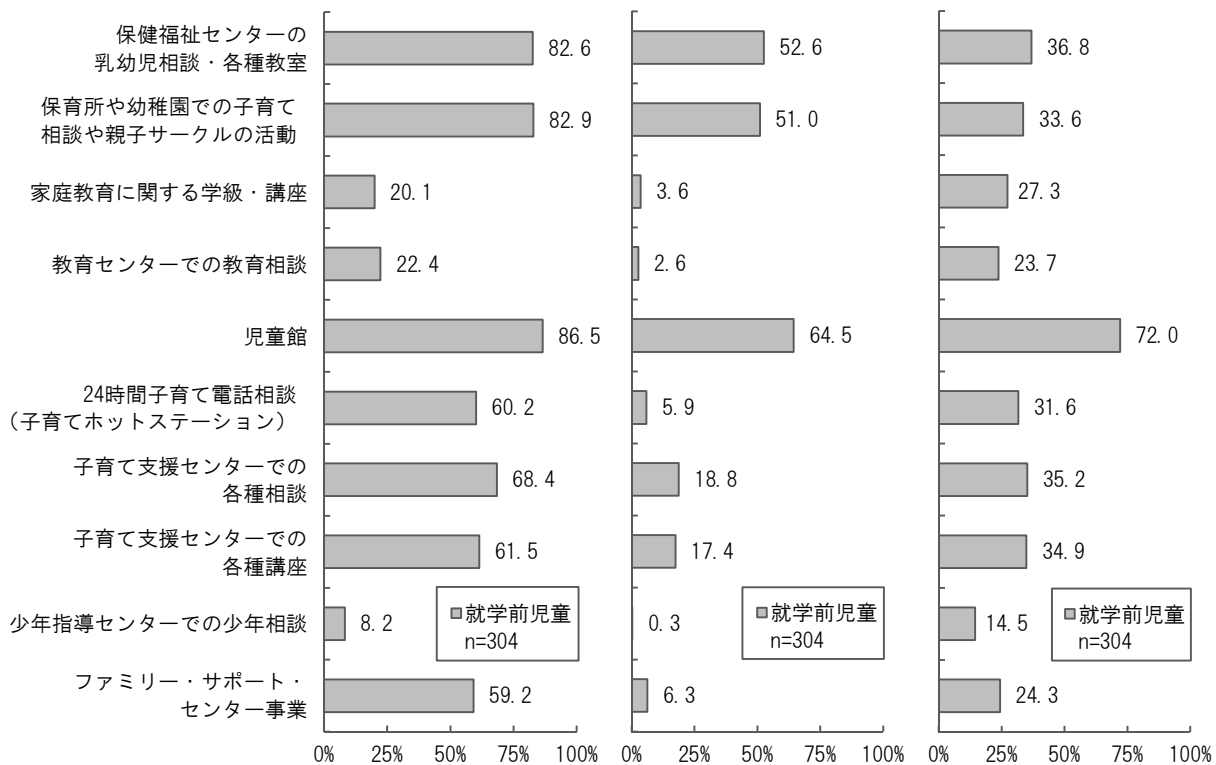


問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したいことがある

《水橋》

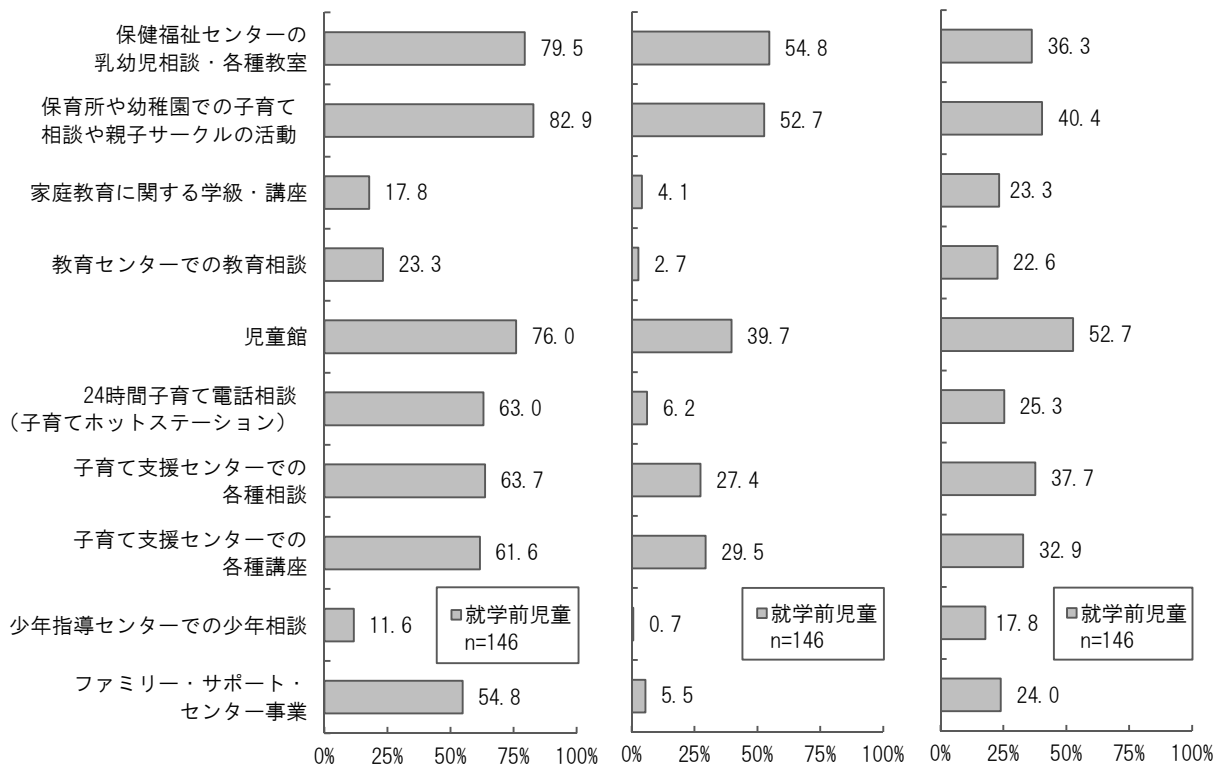


《大沢野・細入》

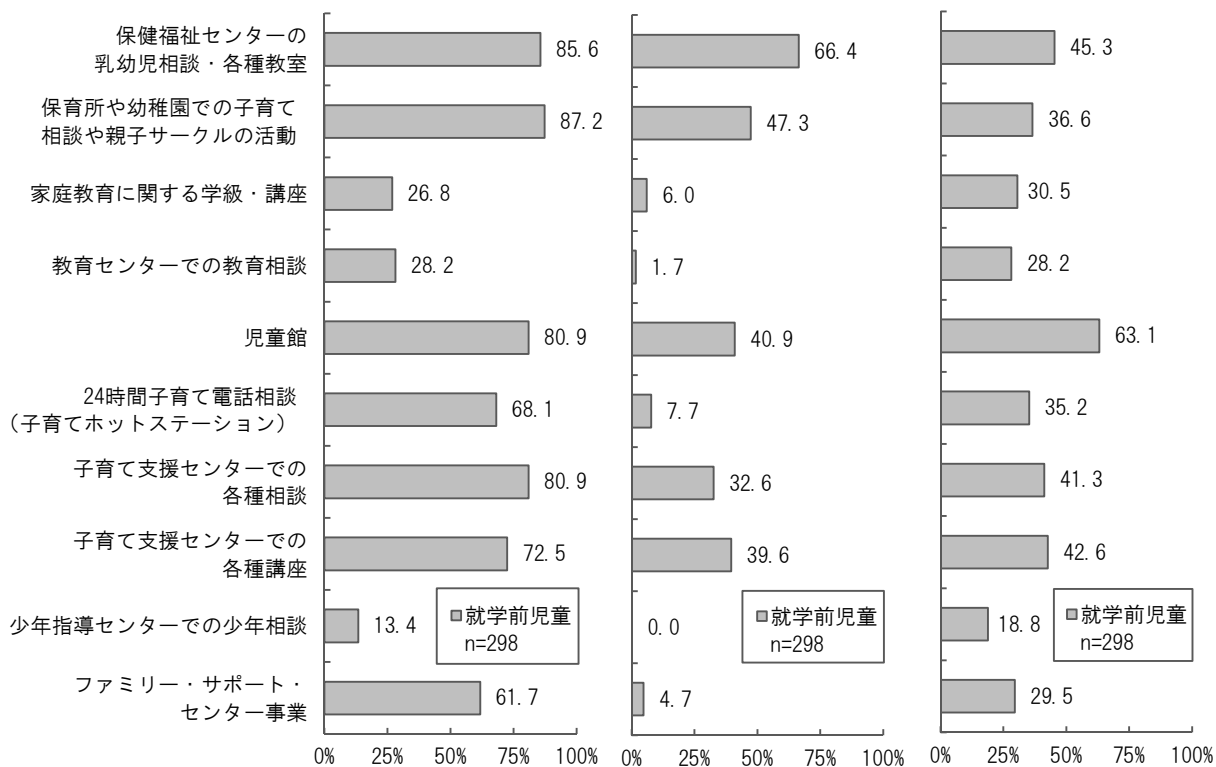


問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したい

《大山》

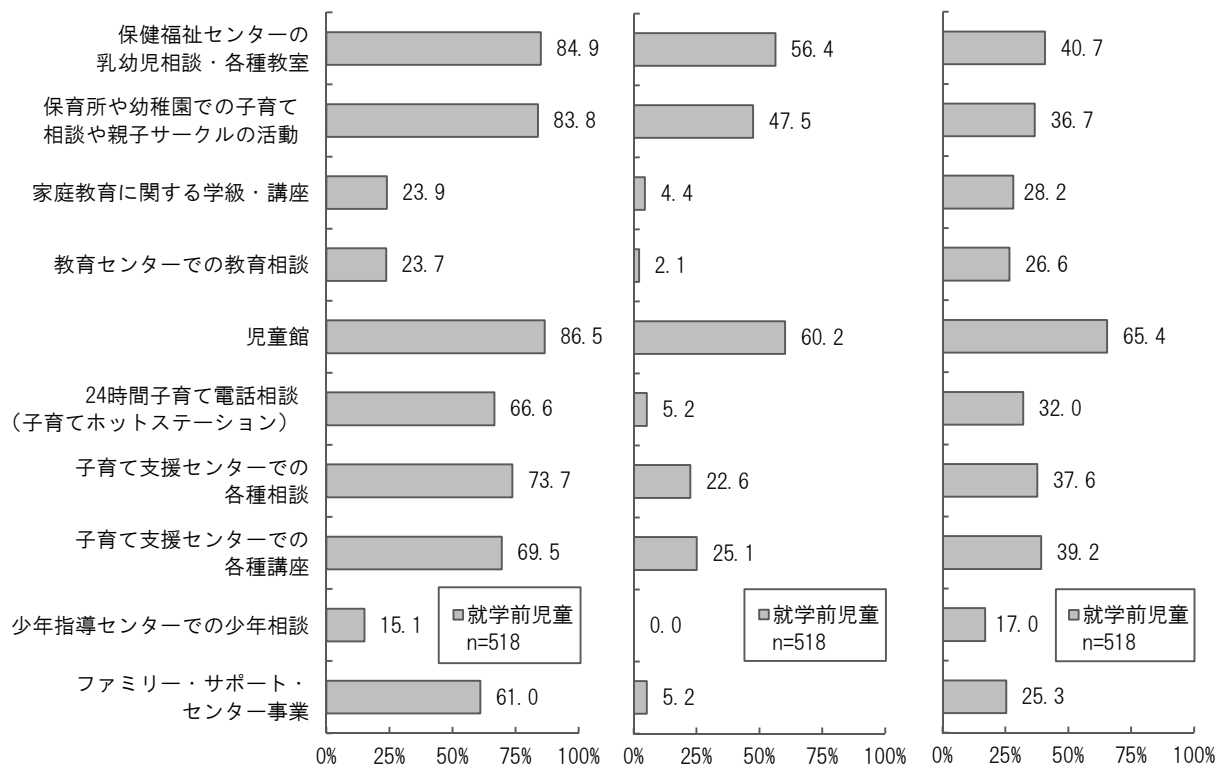


《八尾・山田》



問19 A. 事業を知っている B. これまでに利用したことがある C. 今後利用したいことがある

《婦中》

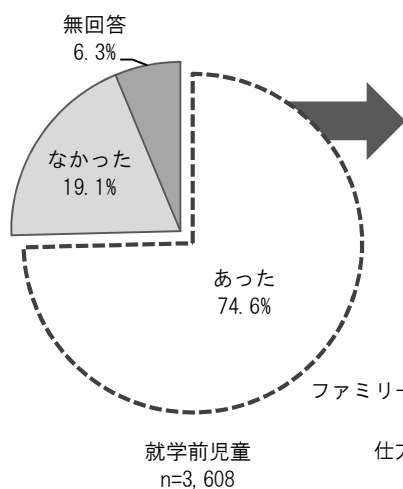


## 4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

### (1) 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できない時の対処

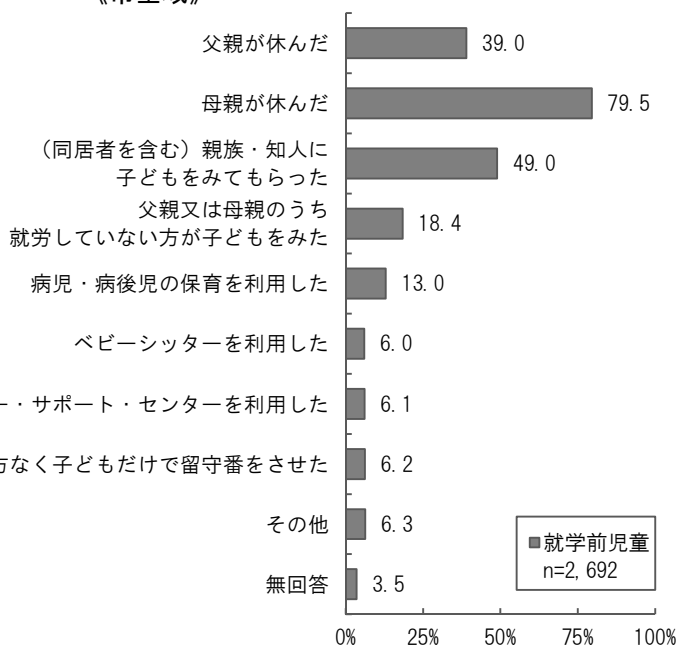
- 病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことが、「あった」方は各地域ともに7割台（70.0～79.1%）となっています。
- その際の対処方法について、各地域ともに「母親が休んだ」割合が最も高くなっていますが、割合が高い地域《大沢野・細入》（88.3%）と、低い地域《中央》（70.0%）で幅があります。
- 「父親が休んだ」割合は、《大沢野・細入》（44.1%）、《西部》《南部》（各42.7%）《婦中》（40.8%）、《呉羽》（40.7%）で高い一方、《大山》（25.3%）で低くなっています。
- また、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」割合は、《呉羽》（57.8%）、《大山》（56.3%）、《大沢野・細入》（52.5%）、《南部》（51.2%）で高い一方、《中央》（39.1%）で低くなっています。

問22 病気やケガで保育所や幼稚園が利用できなかったことの有無

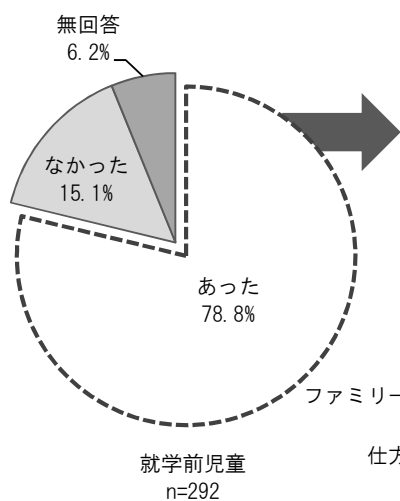


問22-1 この1年間の対処方法

《市全域》

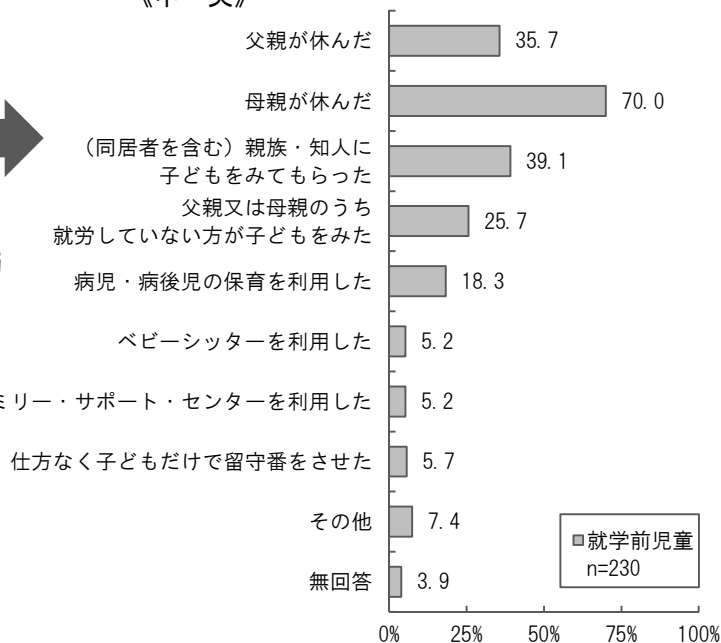


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無

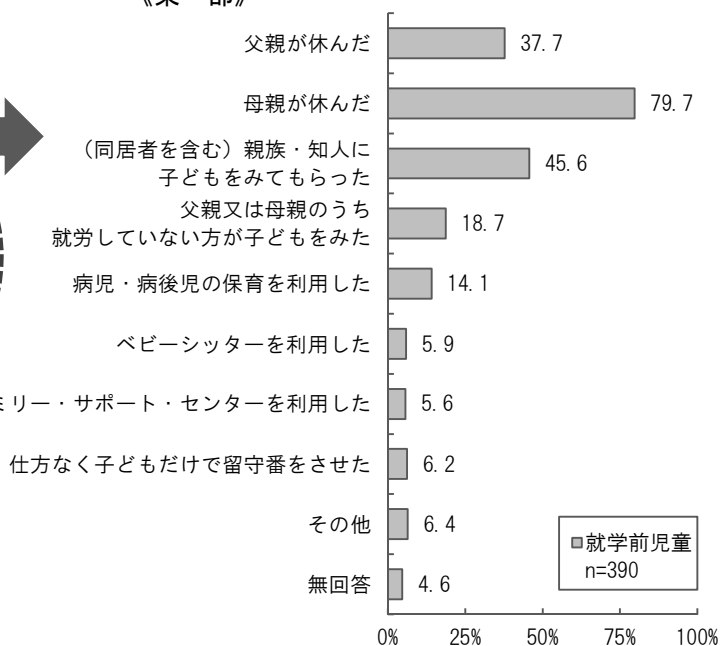
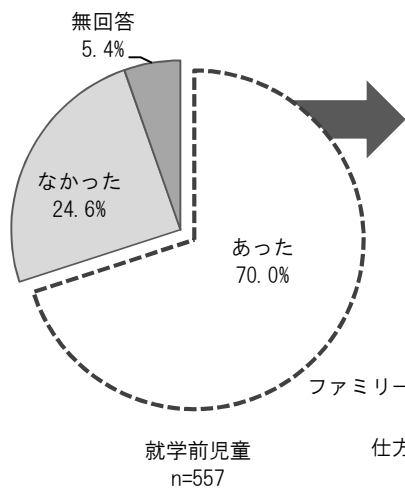


問22-1 この1年間の対処方法

《中央》

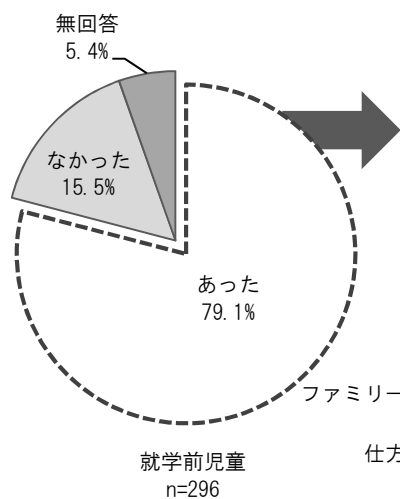


《東 部》



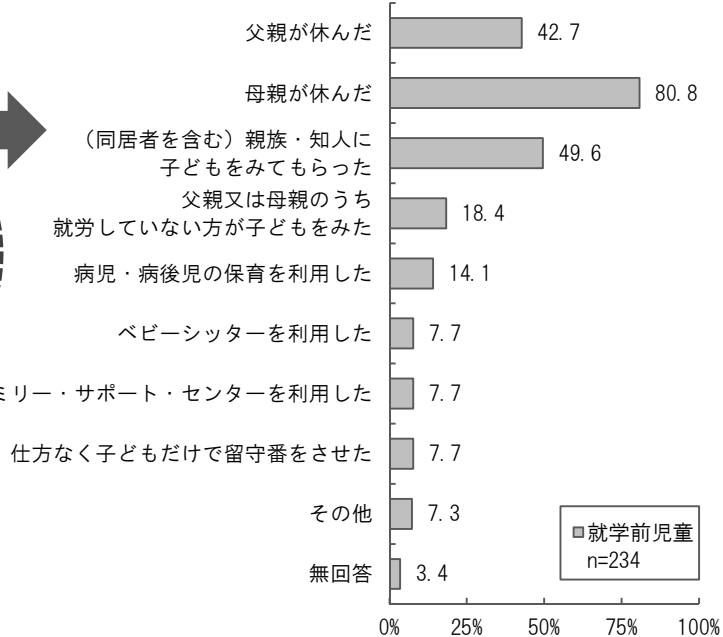


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無

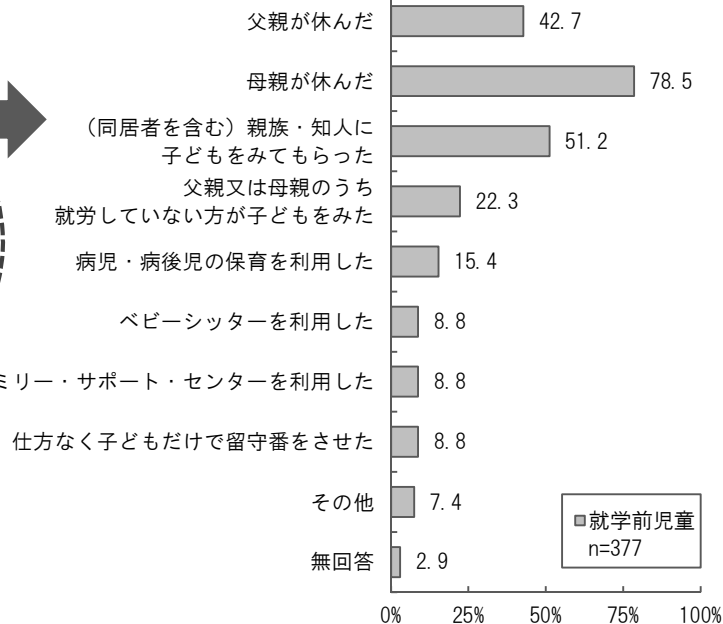
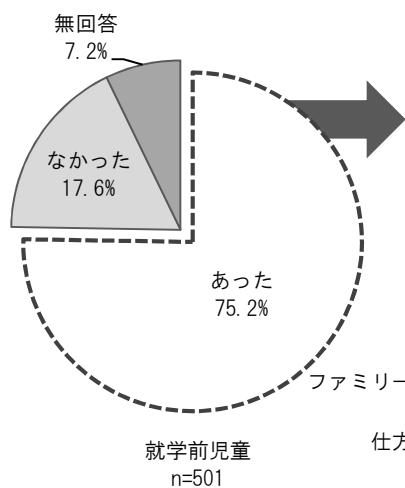


問22-1 この1年間の対処方法

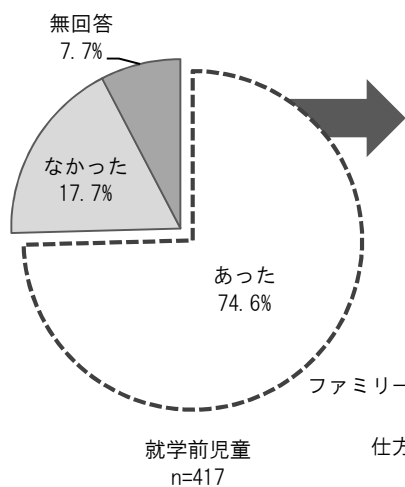
《西部》



《南部》

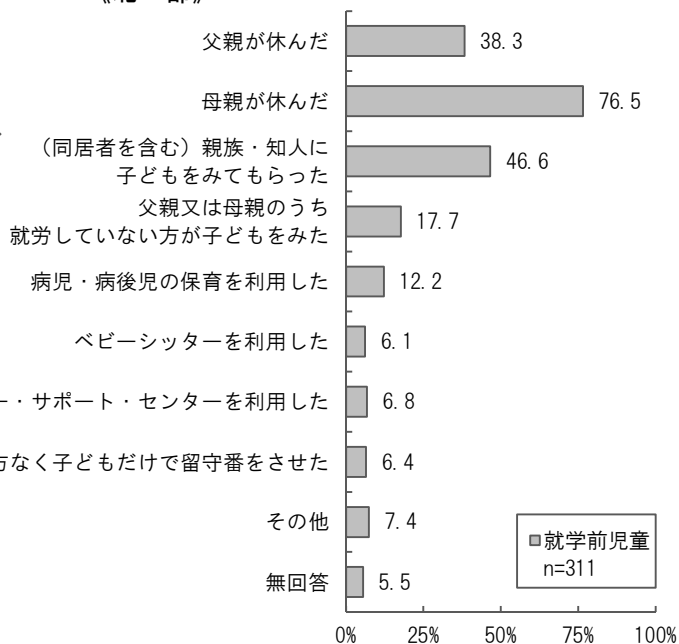


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無

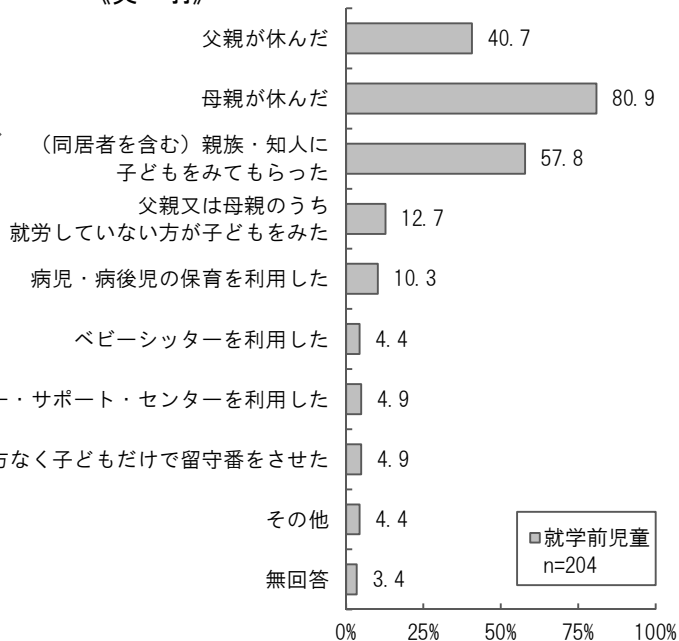
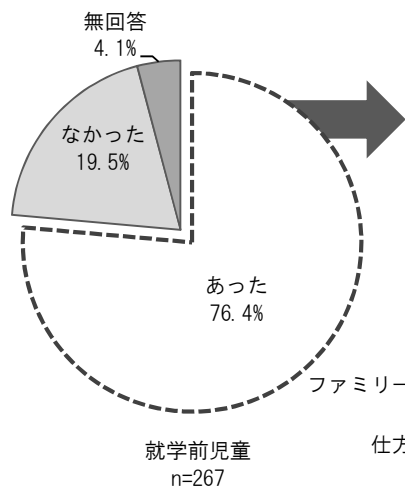


問22-1 この1年間の対処方法

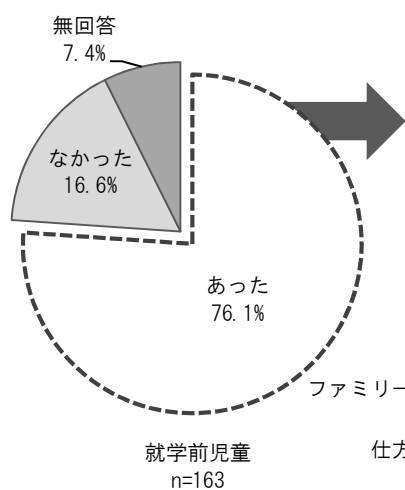
《北 部》



《呉 羽》

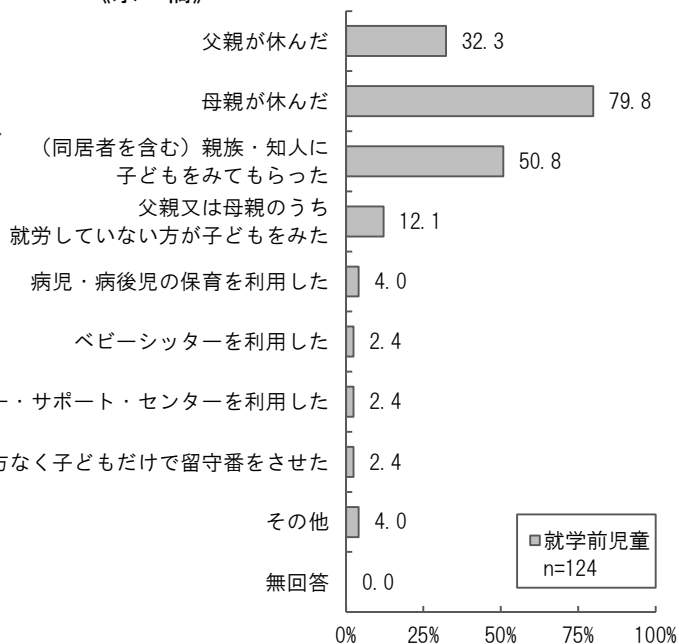


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無

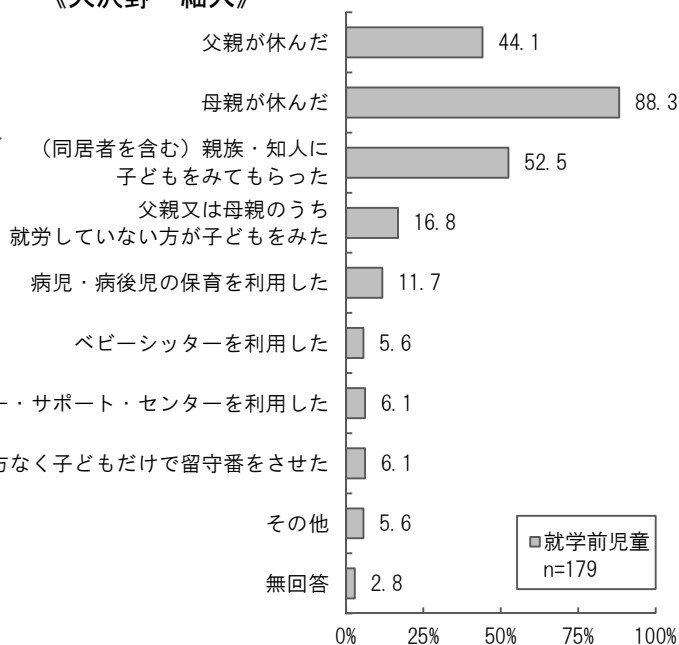
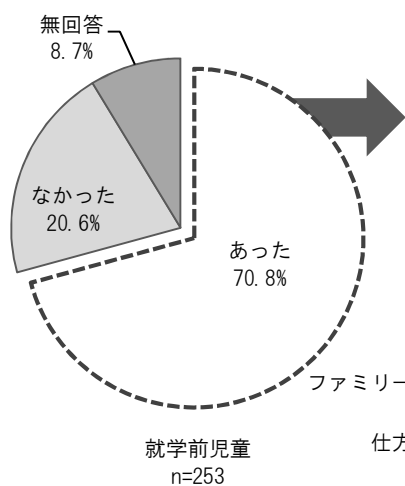


問22-1 この1年間の対処方法

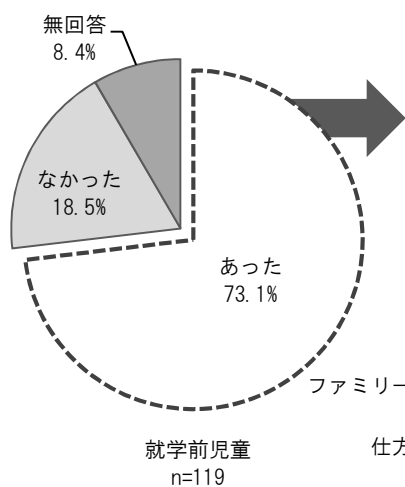
《水 橋》



《大沢野・細入》

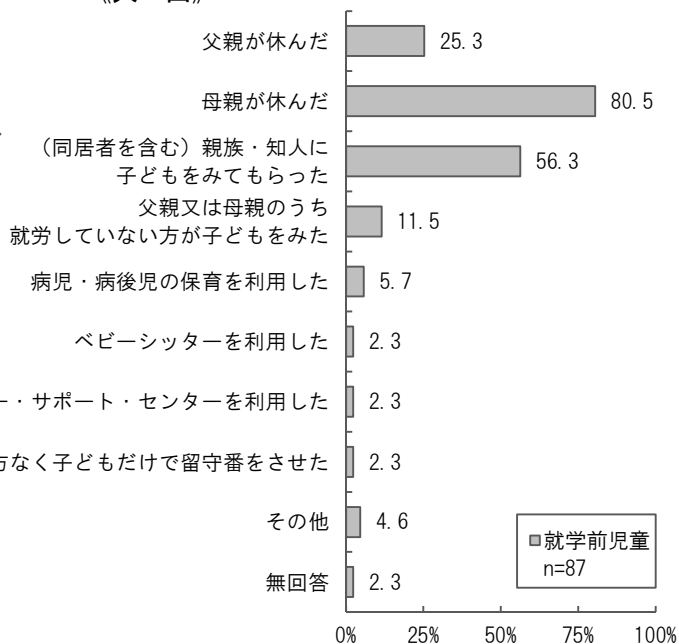


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無

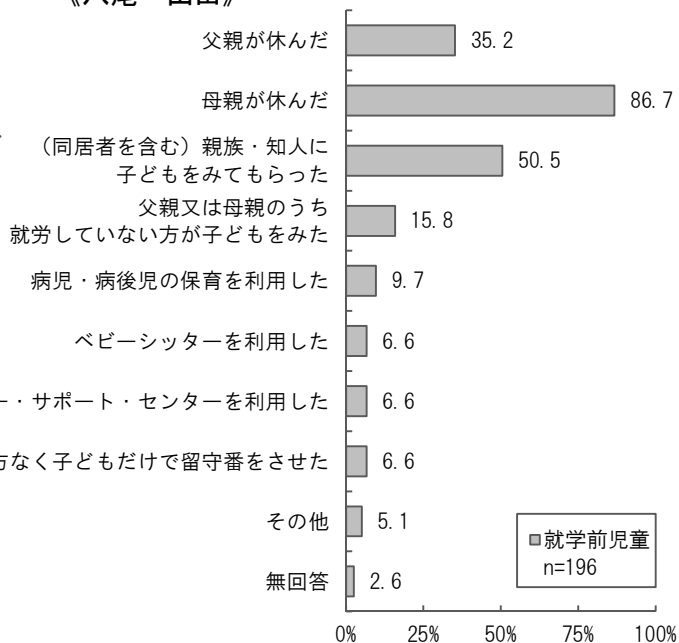
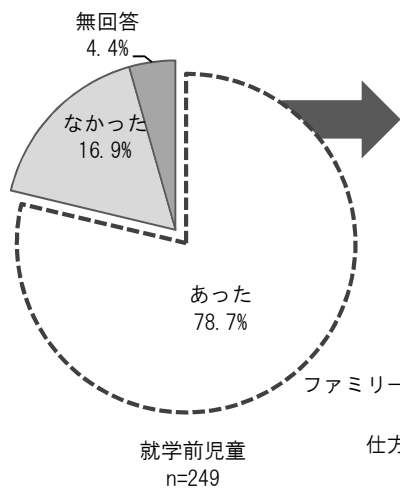


問22-1 この1年間の対処方法

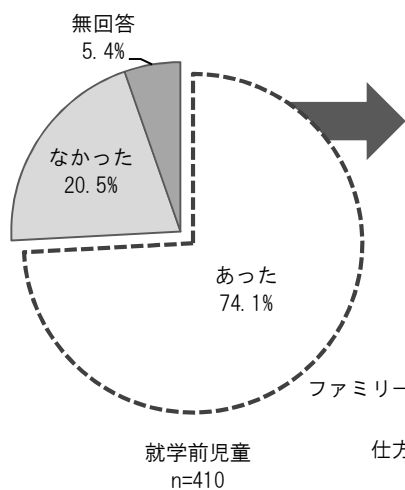
《大山》



《八尾・山田》

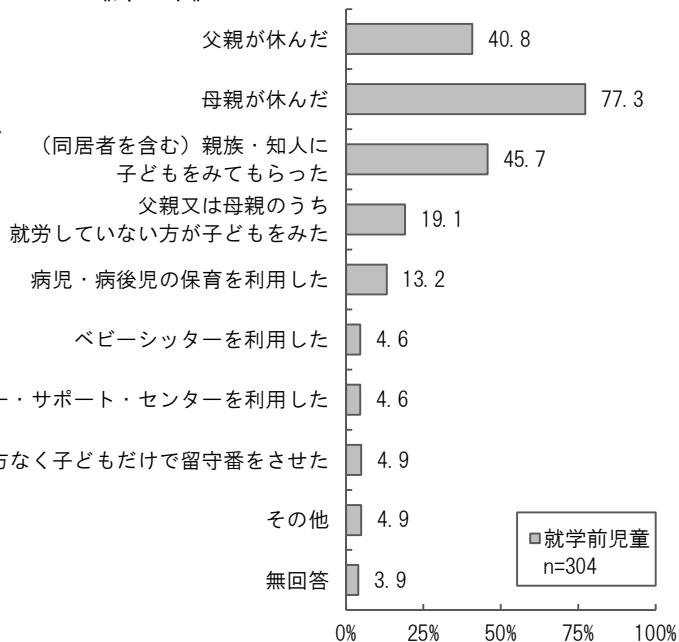


問22 病気やケガで保育所や幼稚園が  
利用できなかったことの有無



問22-1 この1年間の対処方法

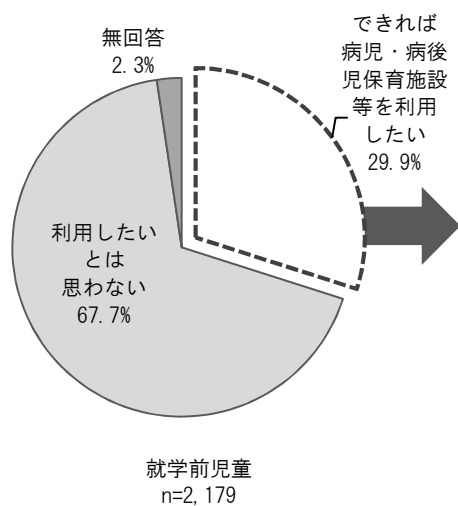
《婦 中》



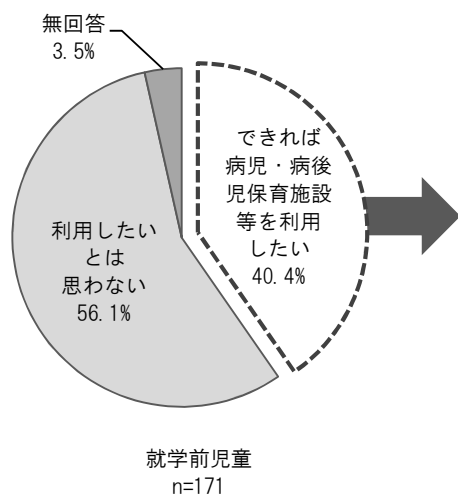
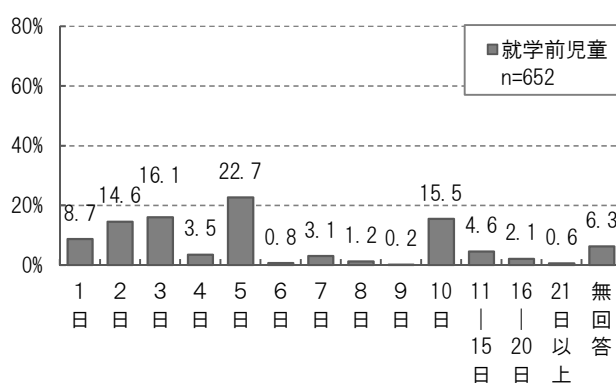
○父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設の利用希望は、《中央》(40.4%)で最も高く、その他の各地域では2～3割台となっています。

○利用日数をみると、「1日」～「5日」を希望する割合が高く、地域別では《大山》で約9割と最も高く、次いで《婦中》で7割台、《南部》《呉羽》《中央》《北部》《八尾・山田》《東部》《西部》で6割台、その他の地域で5割台の方が希望しています。

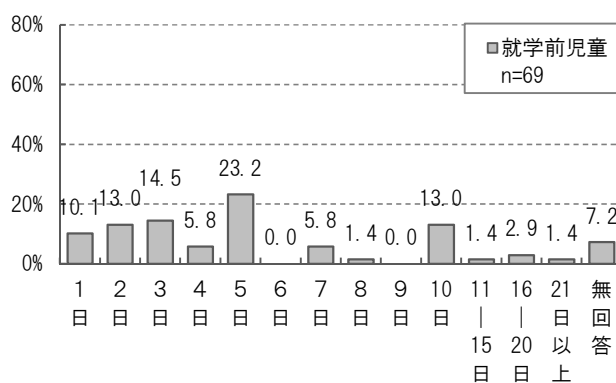
問22-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望  
問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数



《市全域》

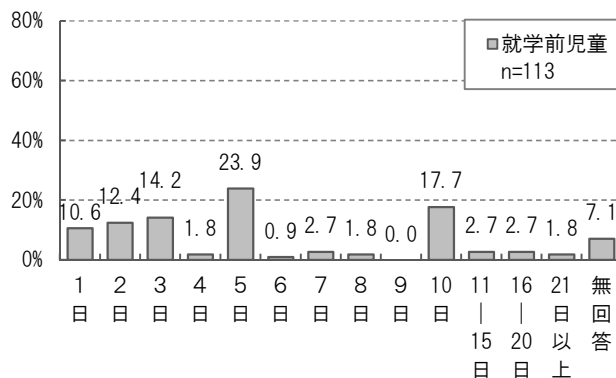
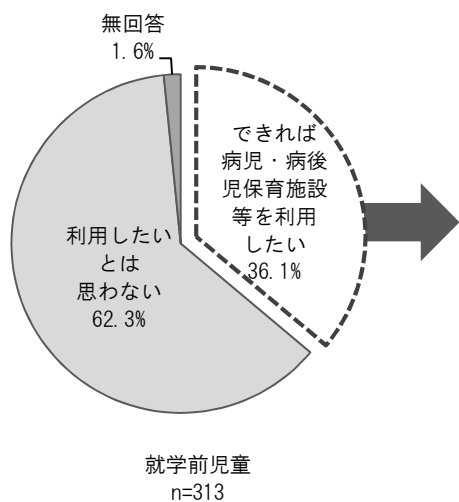


《中 央》

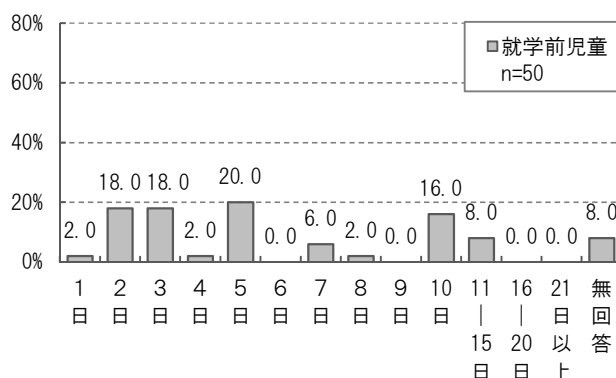
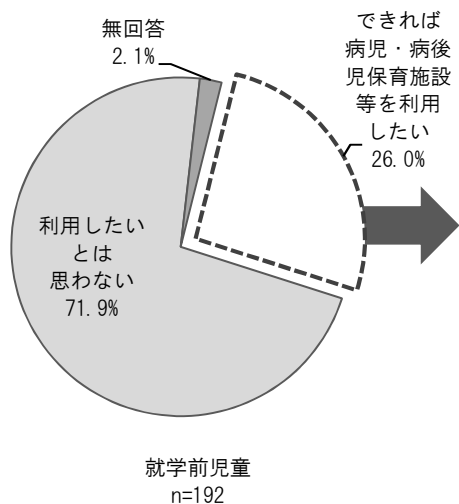


問22-2 父親・母親が休んで対処した方の 病児・病後児保育施設の利用希望  
問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

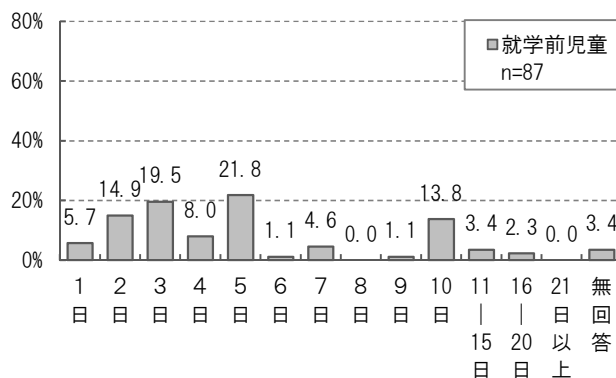
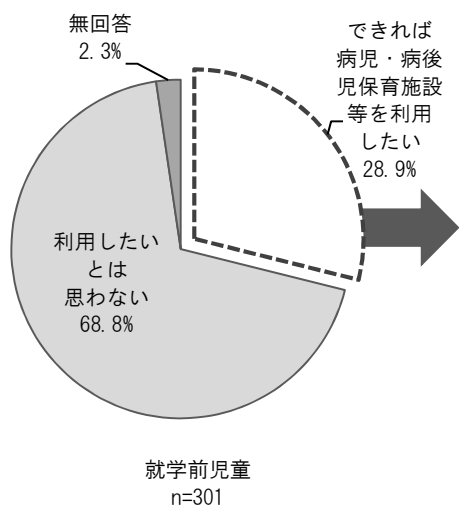
《東 部》



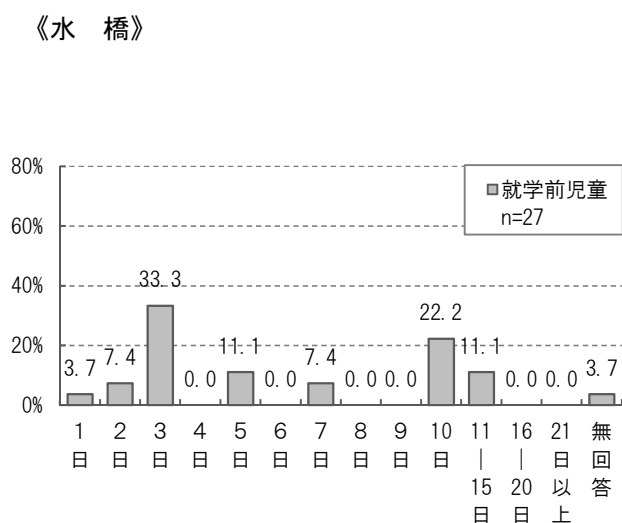
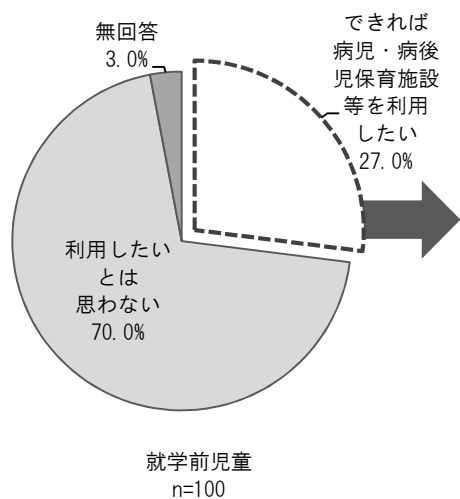
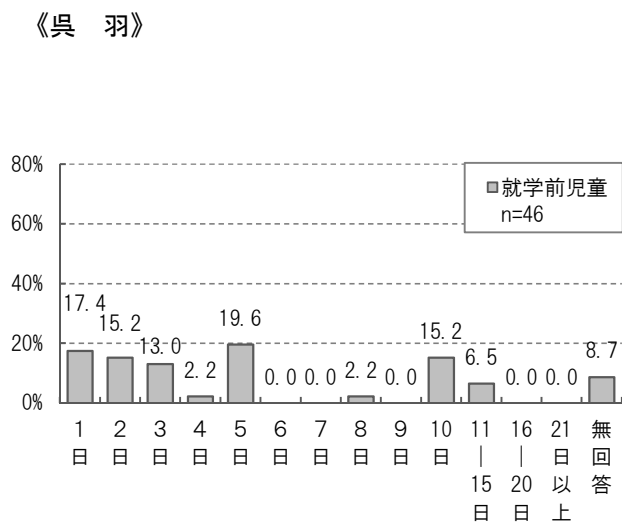
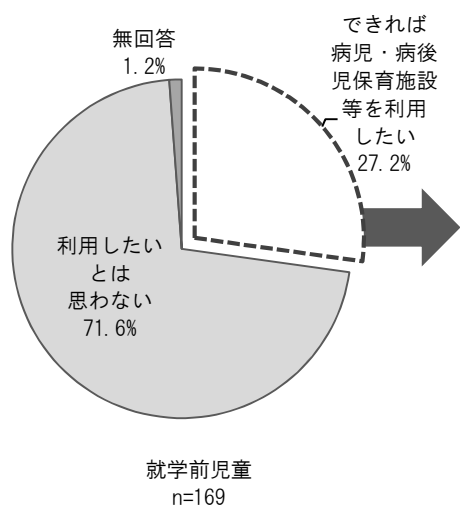
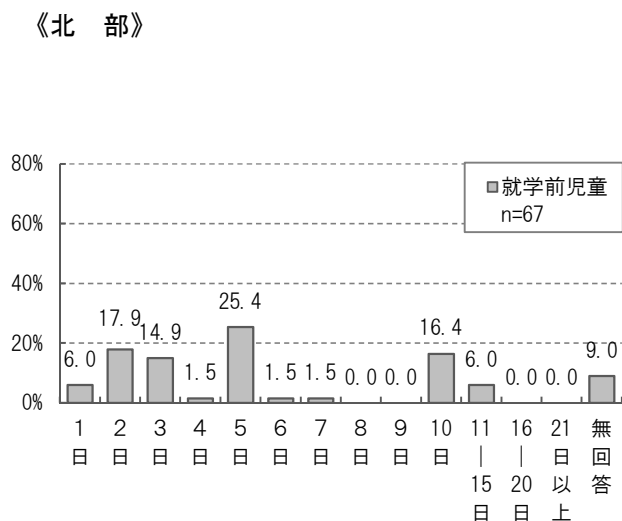
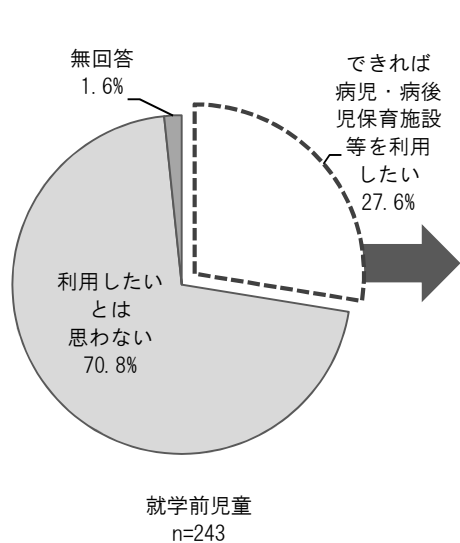
《西 部》



《南 部》



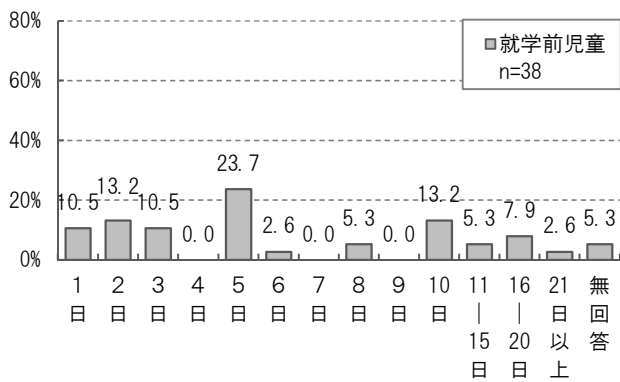
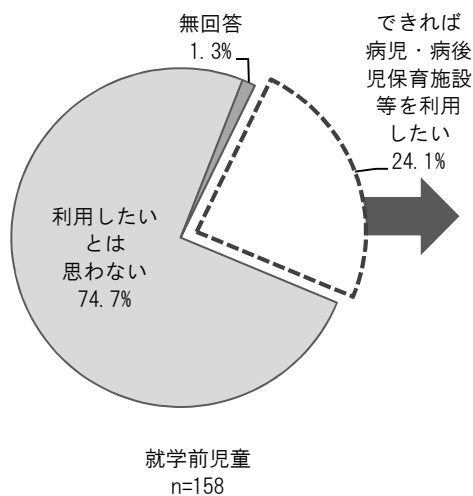
問22-2 父親・母親が休んで対処した方の 病児・病後児保育施設の利用希望  
問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数



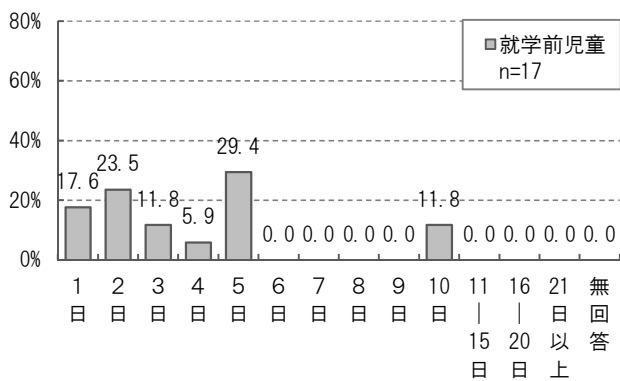
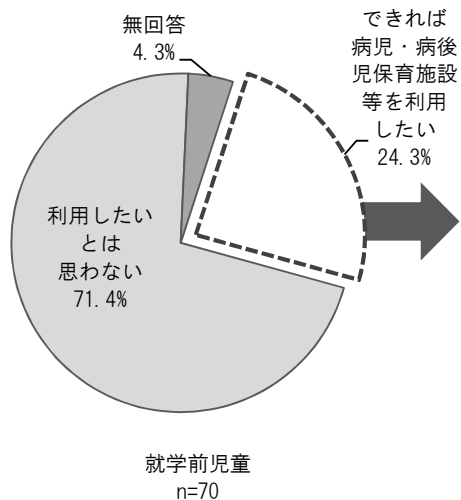


問22-2 父親・母親が休んで対処した方の 病児・病後児保育施設の利用希望  
問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

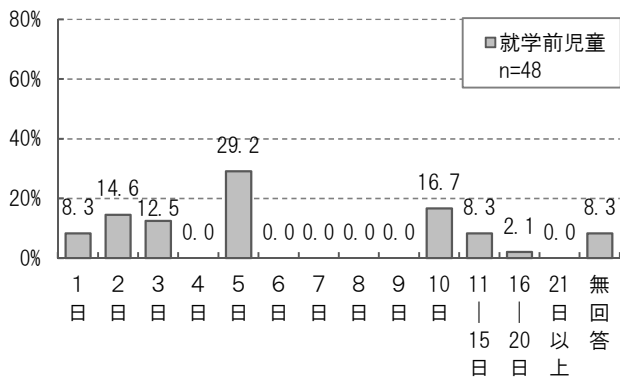
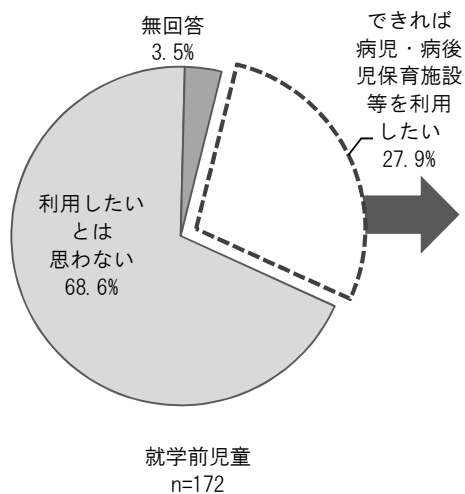
《大沢野・細入》



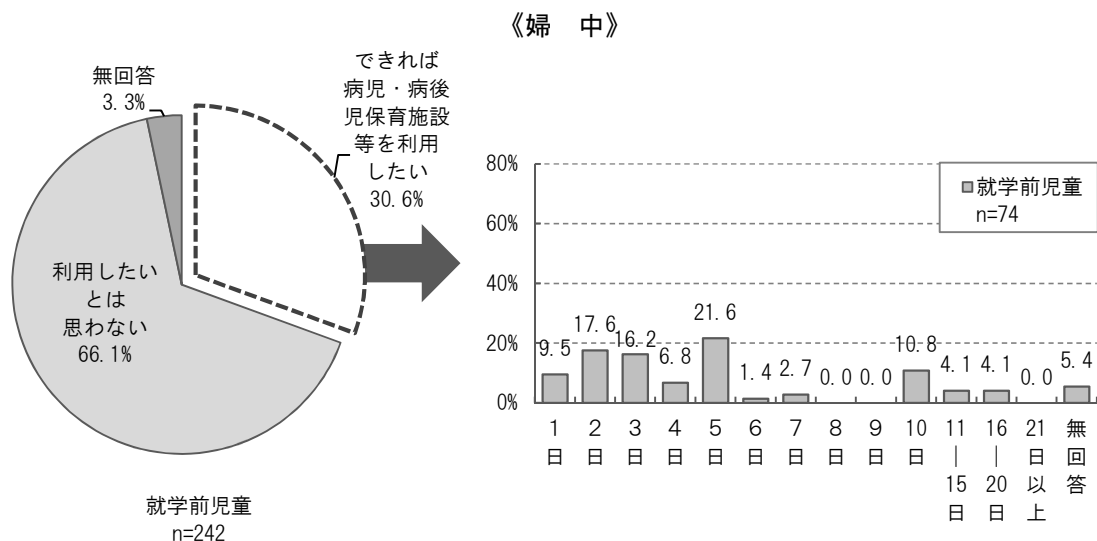
《大 山》



《八尾・山田》

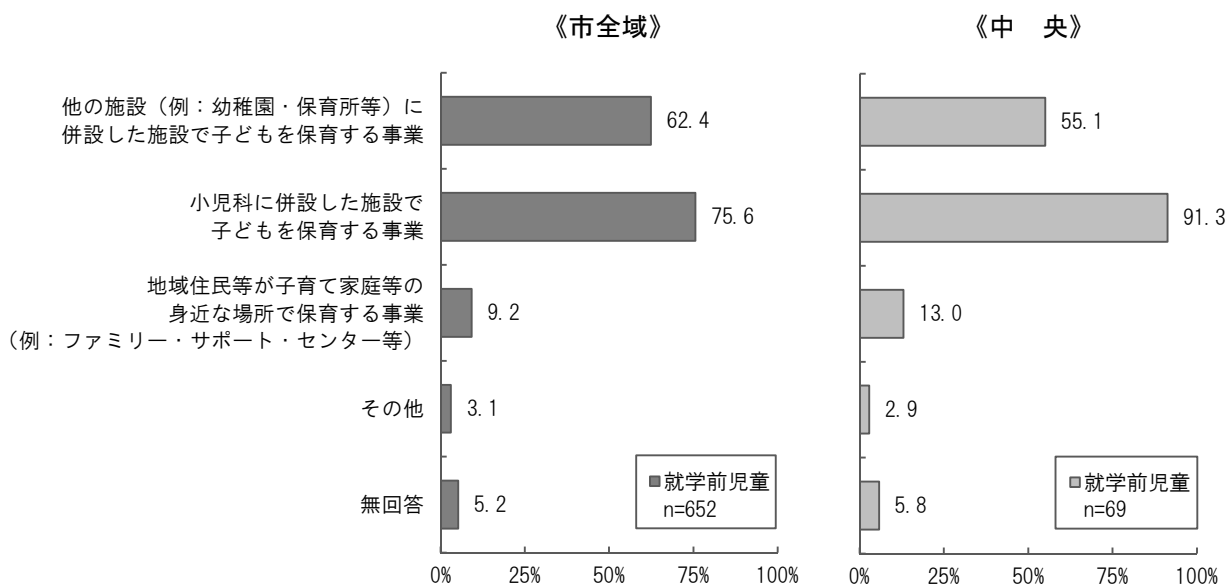


問22-2 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望  
問22-2.1 病児・病後児保育施設の利用希望日数

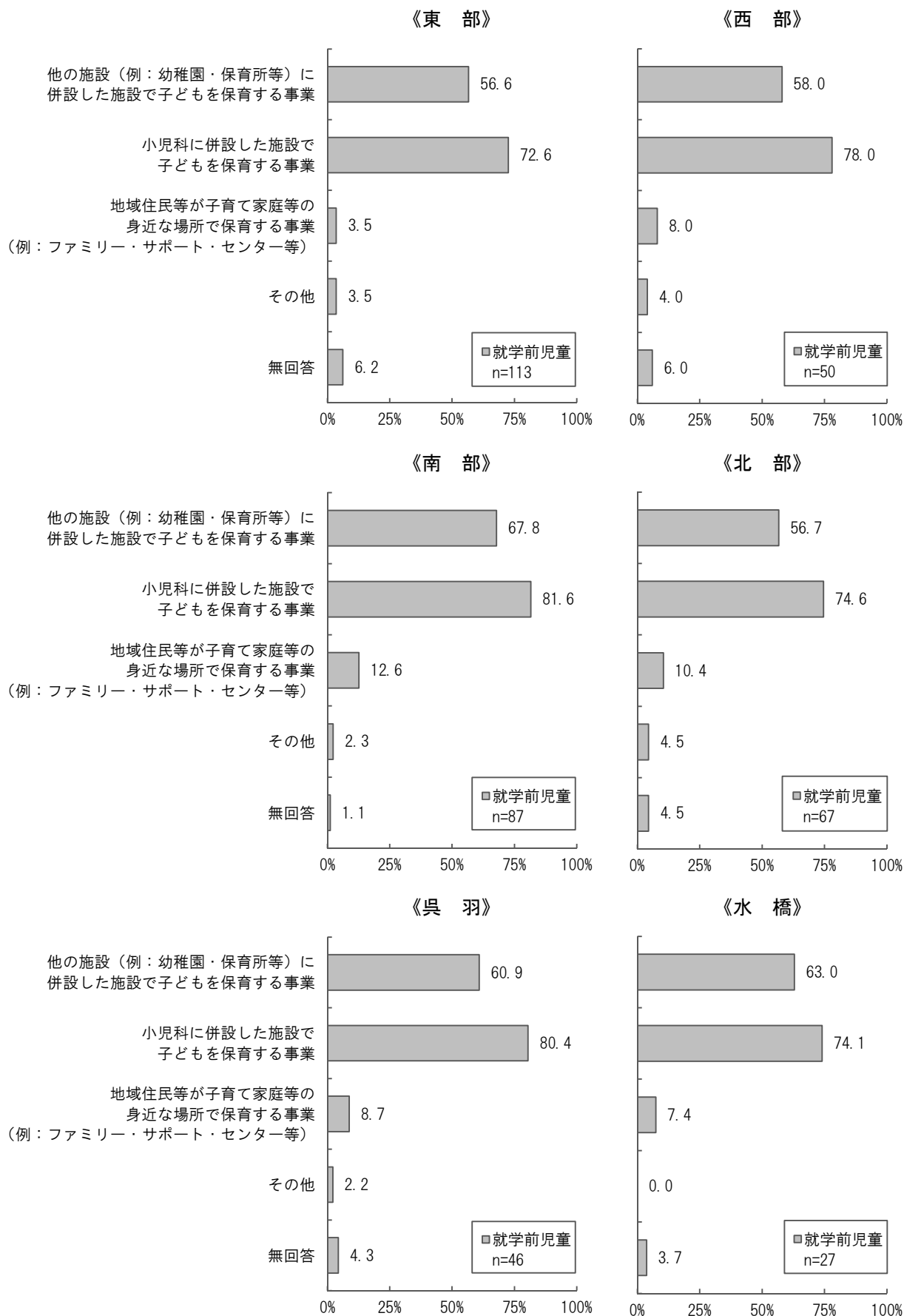


○病児・病後児保育施設に子どもを預ける場合の利用したい事業形態について、地域別にみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合は《中央》《南部》《呉羽》《西部》《北部》《水橋》《東部》(72.6~91.3%)で高く、《大山》《大沢野・細入》では「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も高くなっています。また、《婦中》《八尾・山田》では「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」と「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が同じ割合で高くなっています。

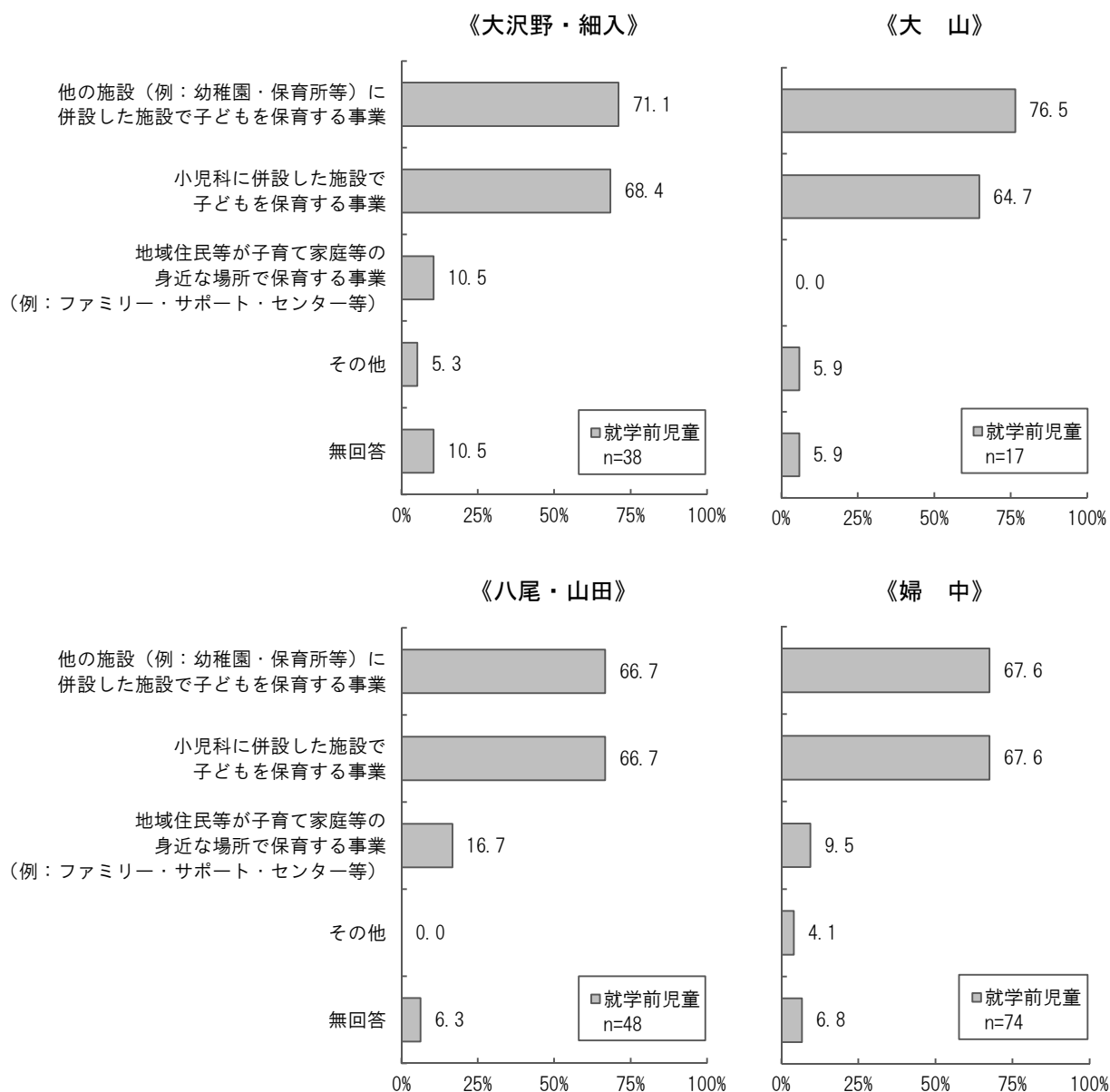
問22-3 病児・病後児保育施設で利用したい事業形態



問22-3 病児・病後児保育施設で利用したい事業形態

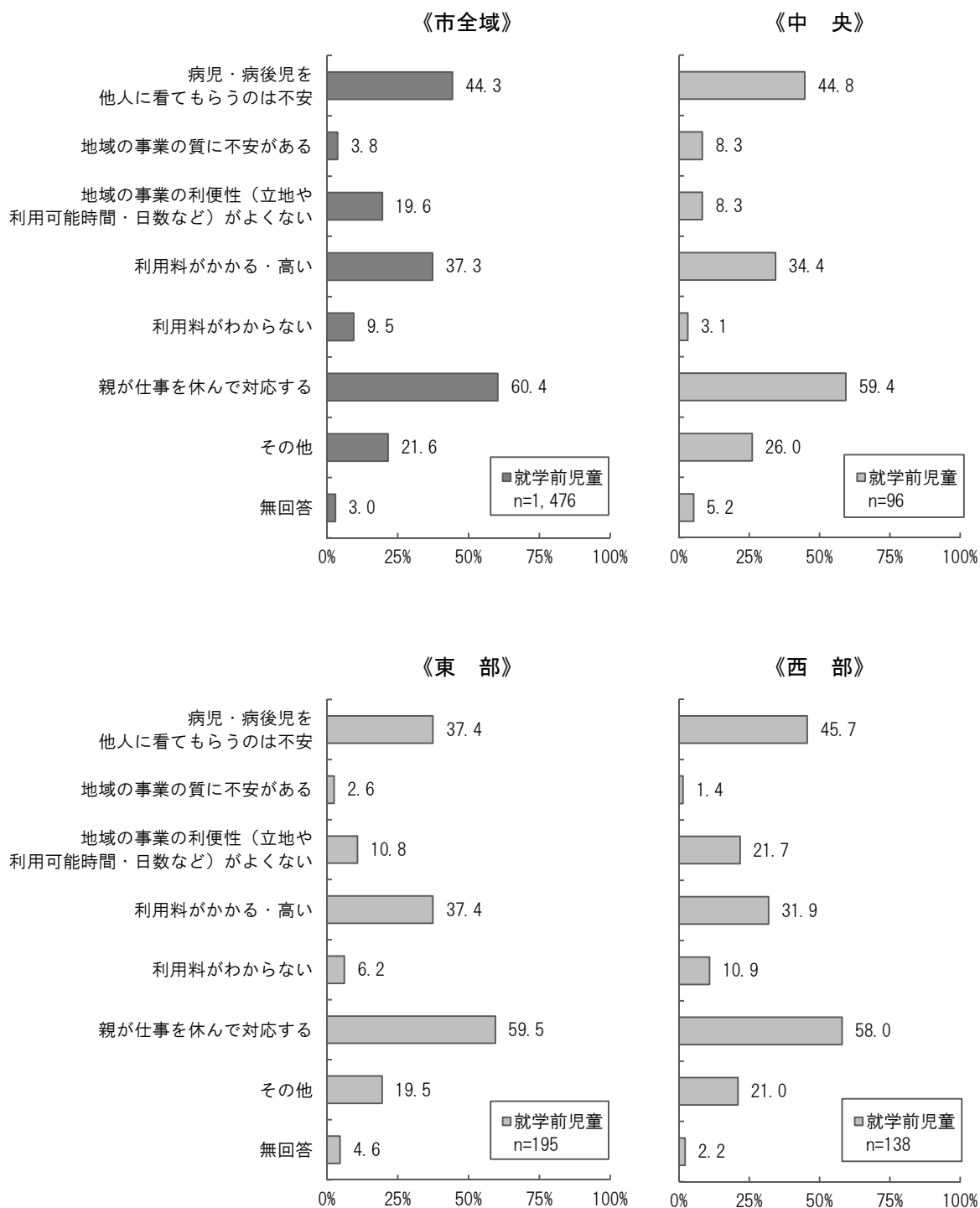


問22-3 病児・病後児保育施設で利用したい事業形態

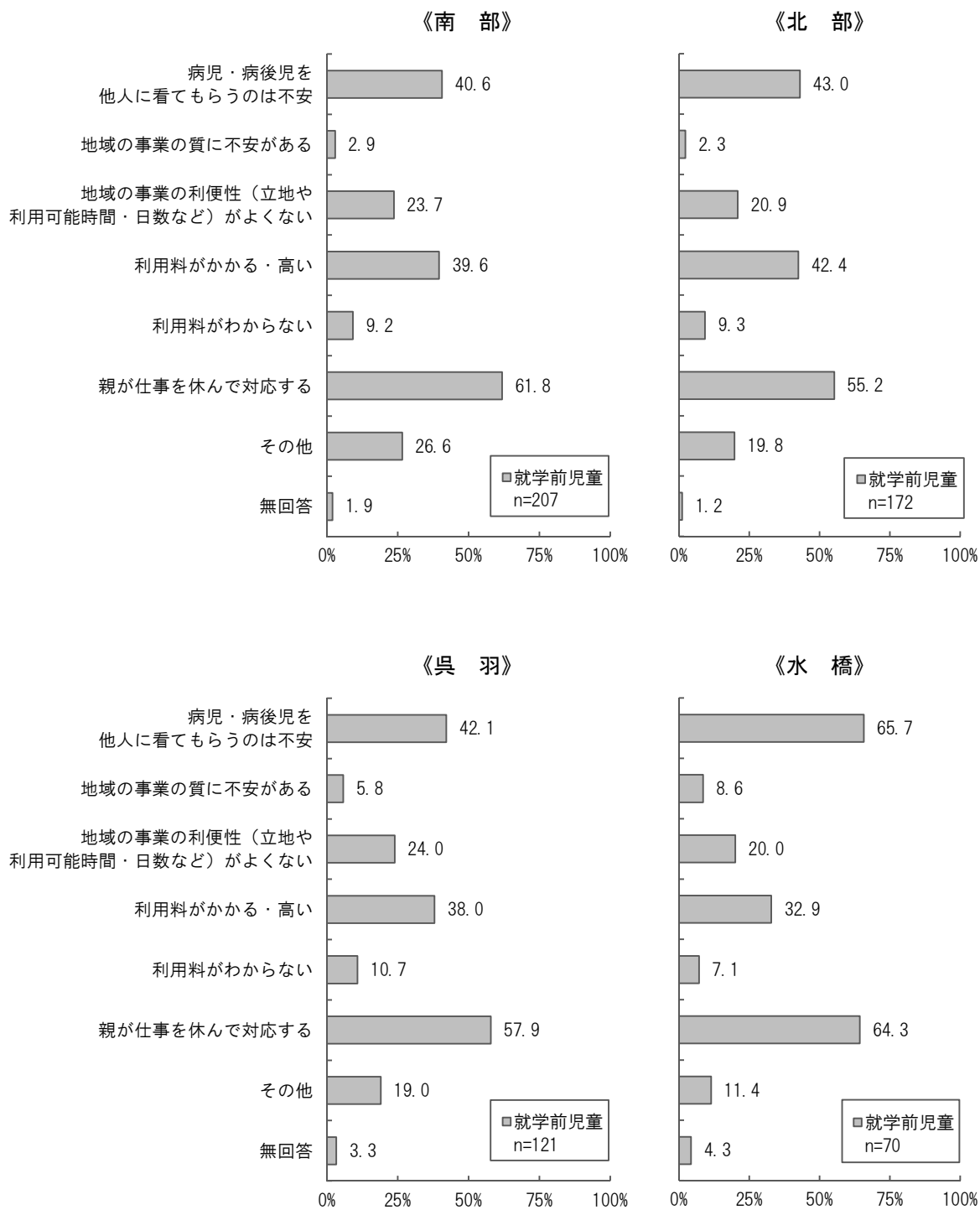


○父親・母親が休んで対処した方について、病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由について、《水橋》を除いた10地域で「親が仕事を休んで対応する」(55.2～64.4%)が最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(37.4～65.7%)と「利用料がかかる・高い」(31.9～44.0%)で割合が高い傾向にあります。

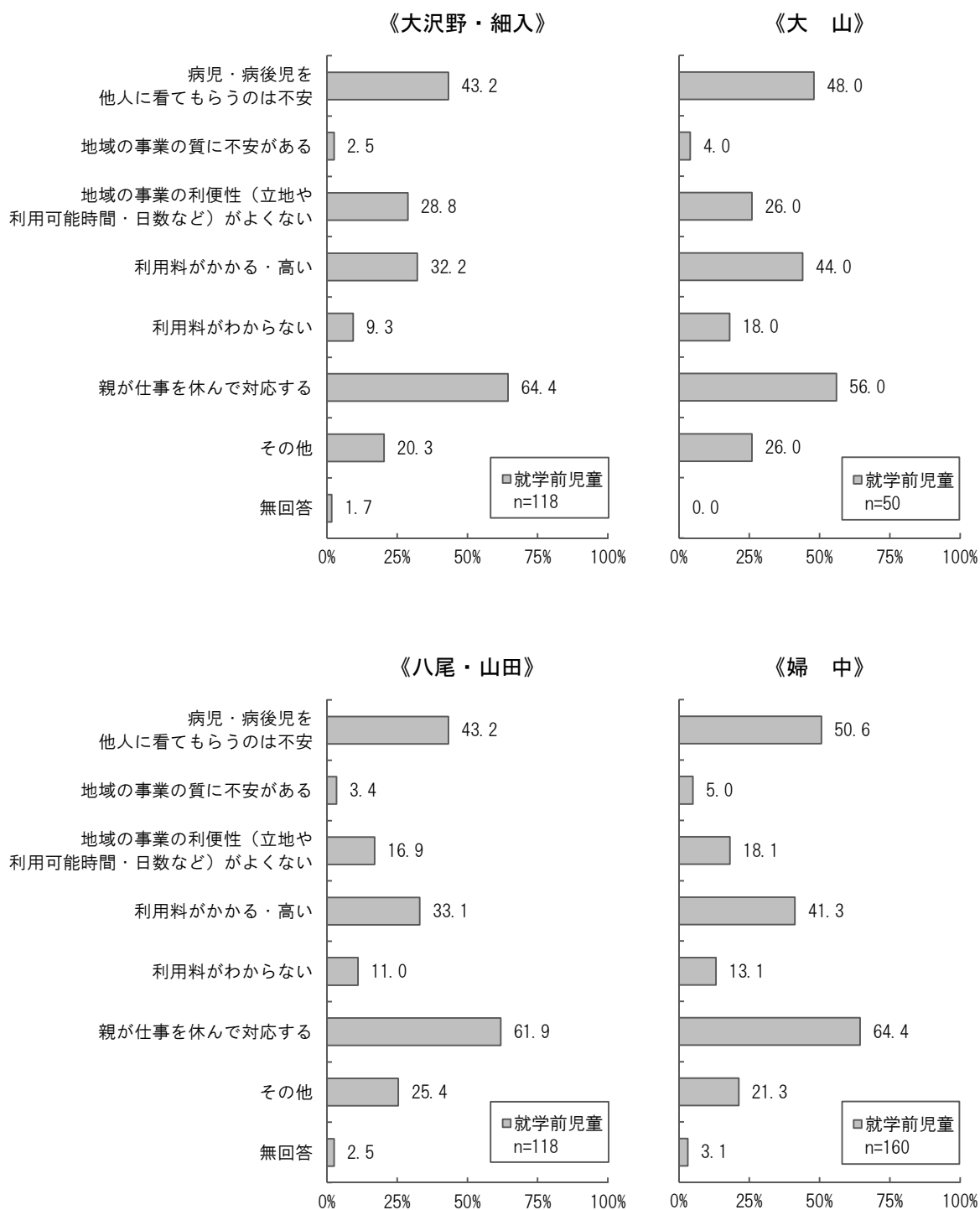
問22-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由



問22-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由

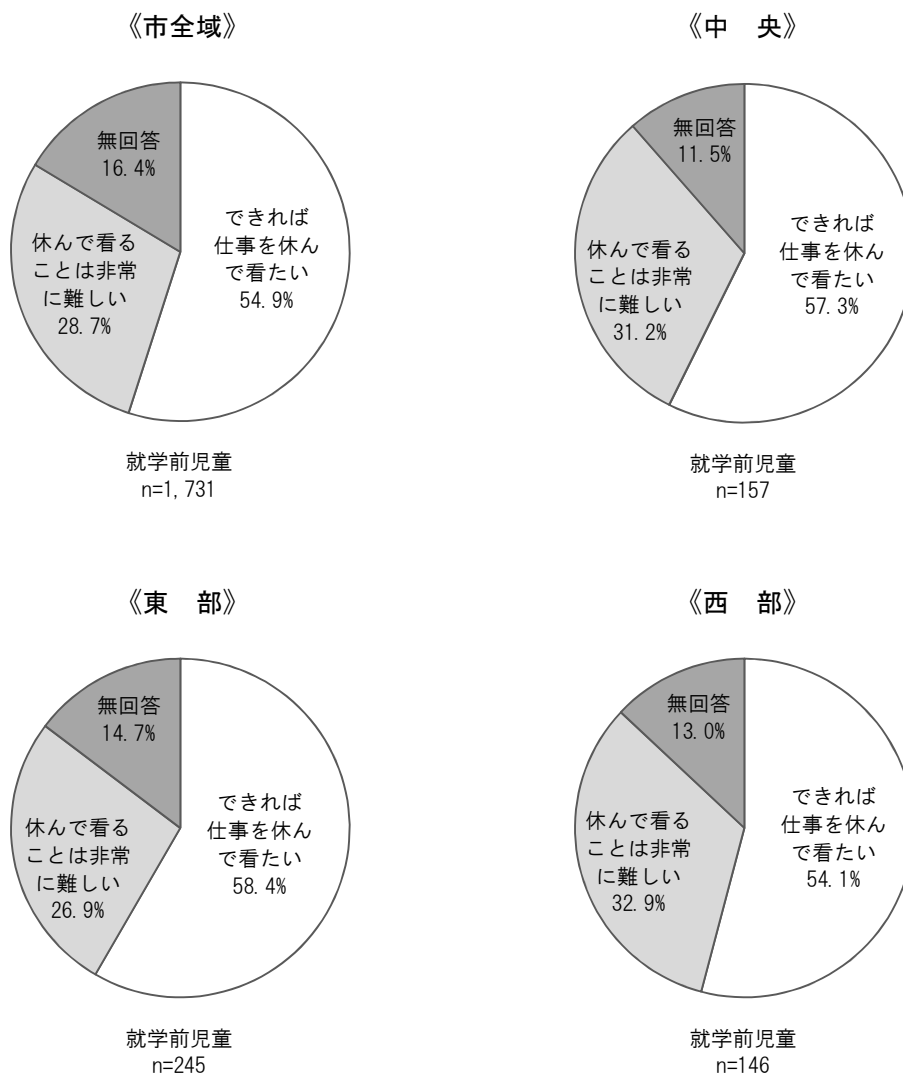


問22-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由



○父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち、各地域とも5割～6割の方が「できれば仕事を休んで看たい」と回答しています。  
 ○一方で、「休んで看ることは非常に難しい」と回答した方は、《西部》《北部》《中央》で3割台、その他の地域で2割台となっています。

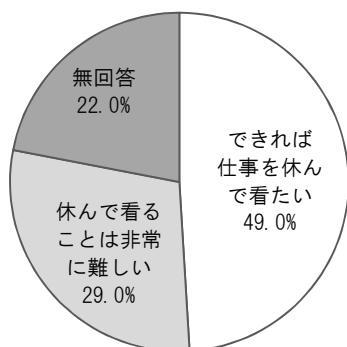
問22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が仕事を休んで看たい」意向





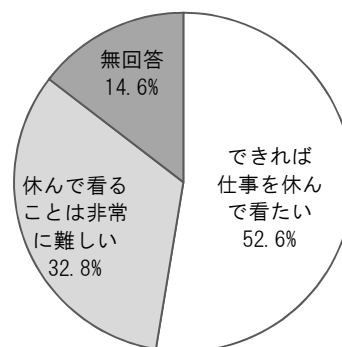
問22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が仕事を休んで看たい」意向

《南部》



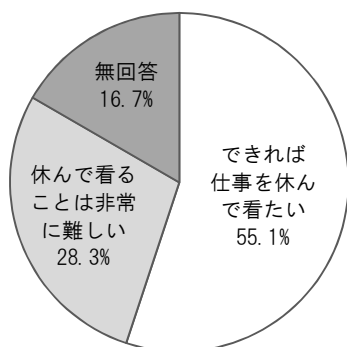
就学前児童  
n=255

《北部》



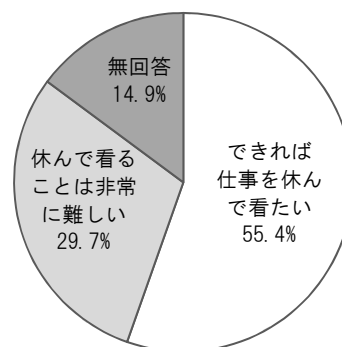
就学前児童  
n=192

《呉羽》



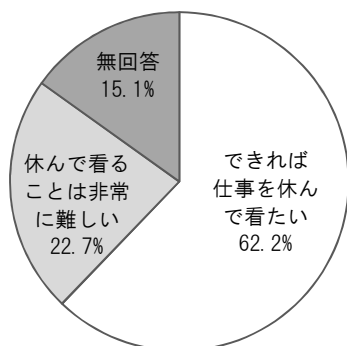
就学前児童  
n=138

《水橋》



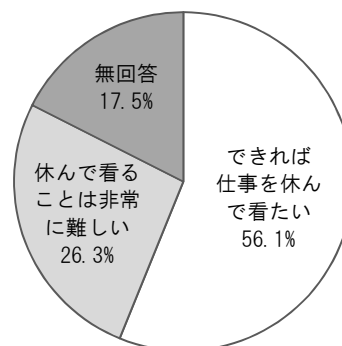
就学前児童  
n=74

《大沢野・細入》



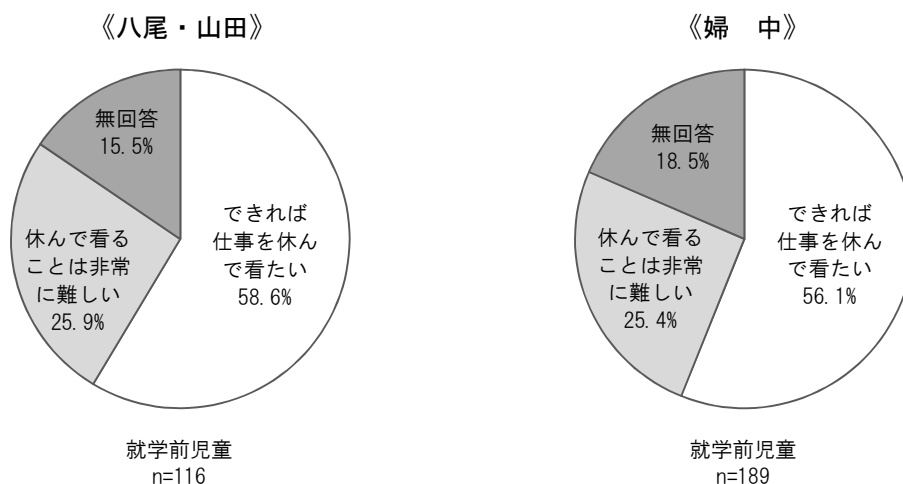
就学前児童  
n=119

《大山》



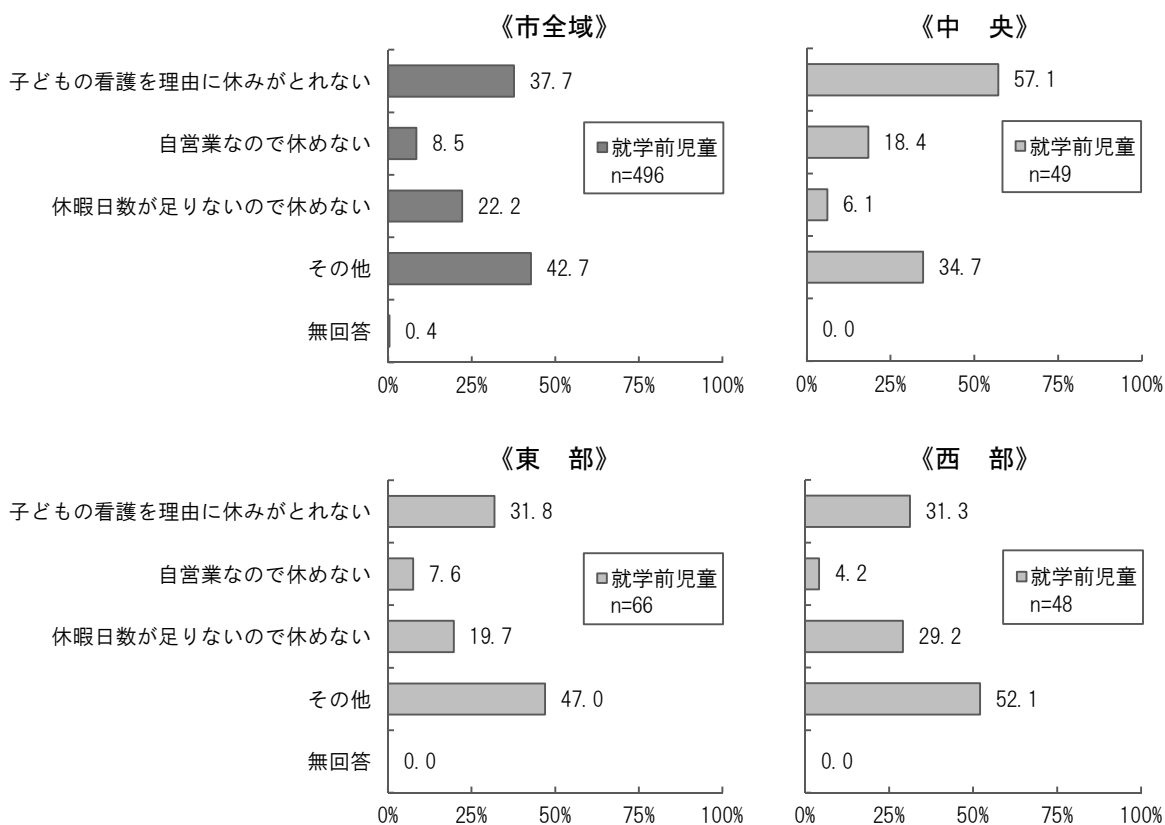
就学前児童  
n=57

問22-5 父母が休む以外の対処方法を選んだ方の「父母が仕事を休んで看たい」意向

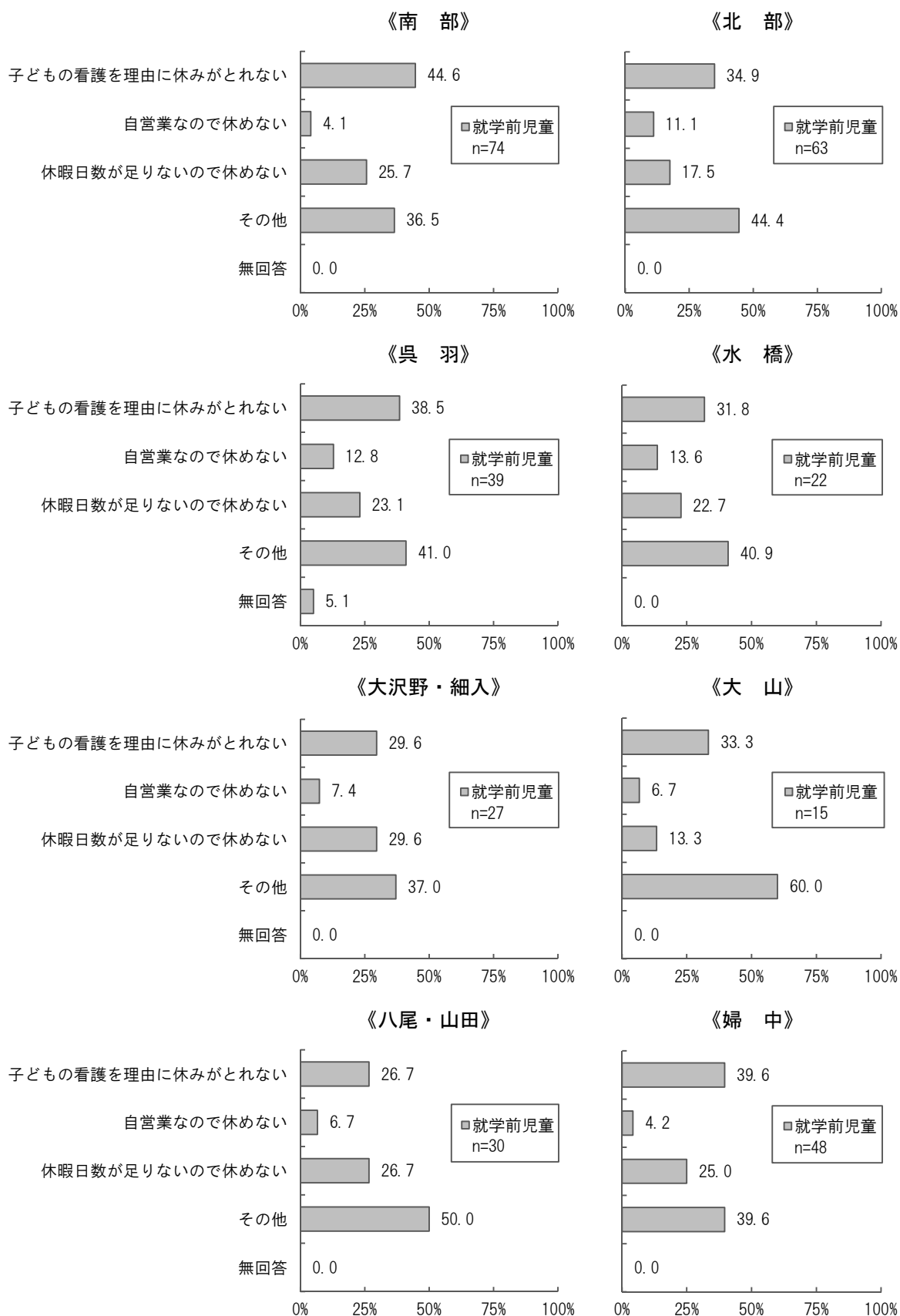


○父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち「休んで看することは非常に難しい」理由として、《大沢野・細入》《八尾・山田》では「子どもの看護を理由に休みがとれない」と「休暇日数が足りないので休めない」（ともに<sup>大沢野・細入</sup>29.6%・<sup>八尾・山田</sup>26.7%）が同じ割合となっており、その他の地域では「子どもの看護を理由に休みが取れない」（31.3～57.1%）の割合が最も高くなっています。なかでも、《中央》の「子どもの看護を理由に休みがとれない」（57.1%）では、市全域を19.4<sup>ポイント</sup>上回り、最も高くなっています。

問22-6 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち「休んで看することは非常に難しい」理由



問22-6 父母が休む以外の対処方法を選んだ方のうち「休んで見ることは非常に難しい」理由

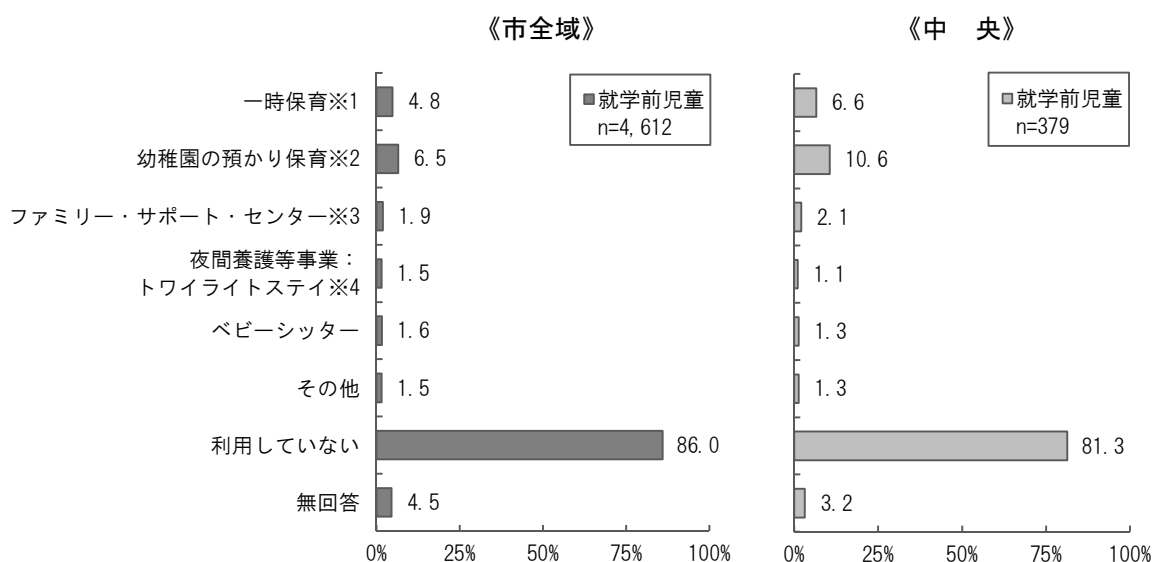


## 5 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等について

### (1) 不定期的に利用している教育・保育事業や一時保育等の状況

- 各事業とも、全ての地域で「利用していない」(81.3~92.6%) 割合が高いものの、事業の利用状況は、《大沢野・細入》《大山》《八尾・山田》を除き、「一時保育」(3.4~6.6%) よりも「幼稚園の預かり保育」(4.8~10.6%) の利用がやや高い割合となっています。
- 「幼稚園の預かり保育」では、《中央》(10.6%)、《南部》(9.7%) で利用者割合が高くなっていますが、《八尾・山田》(2.0%) で最も低い割合となっています。
- 「一時保育」の利用者割合の上位・下位についても「幼稚園の預かり保育」とほぼ同じ傾向です。その他サービスでは、ごく少数の利用となっています。

問23 不定期的に利用している教育・保育事業



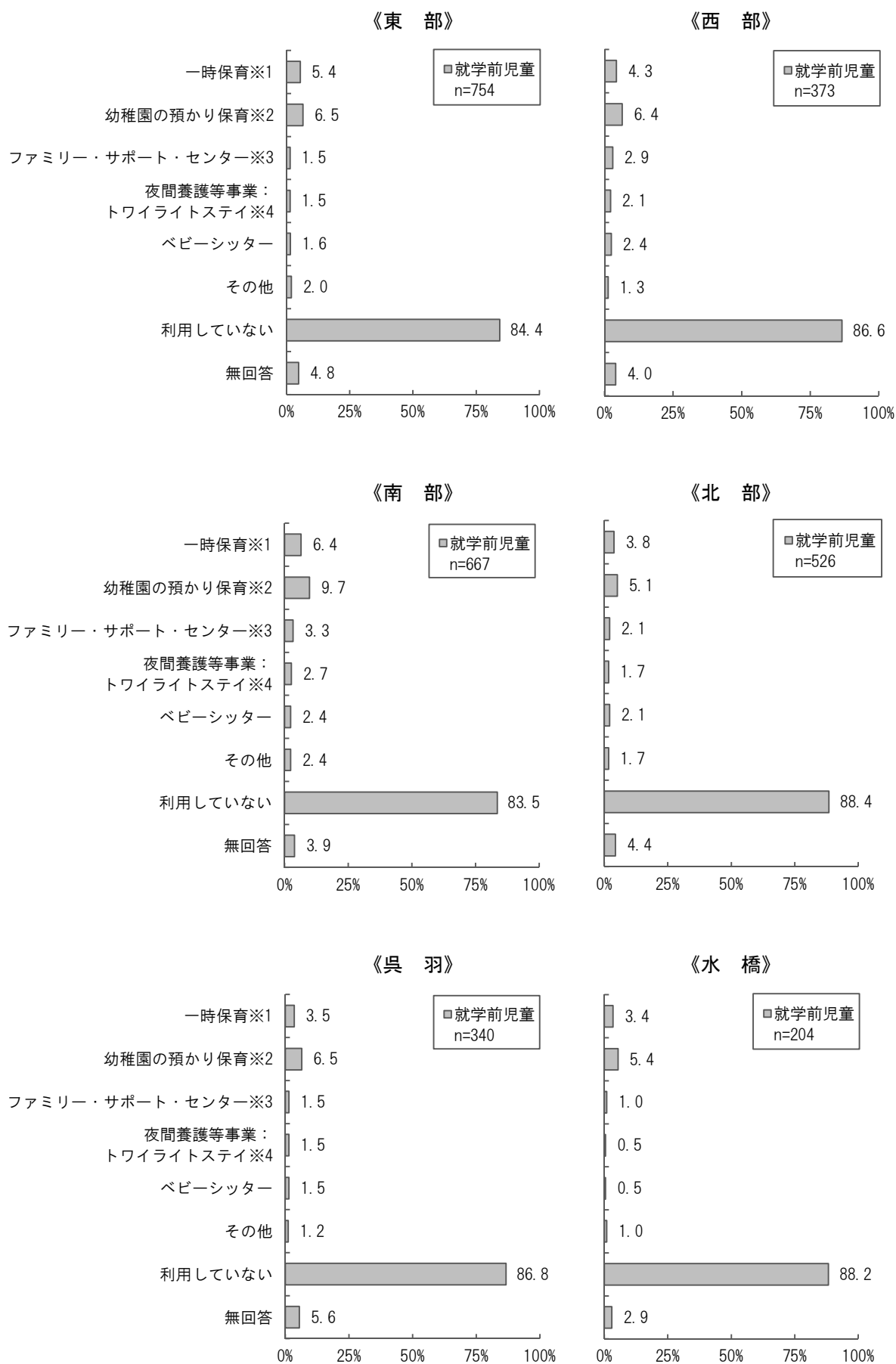
※1 一時保育：私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業

※2 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期的に利用する場合のみ子どもを預かる事業

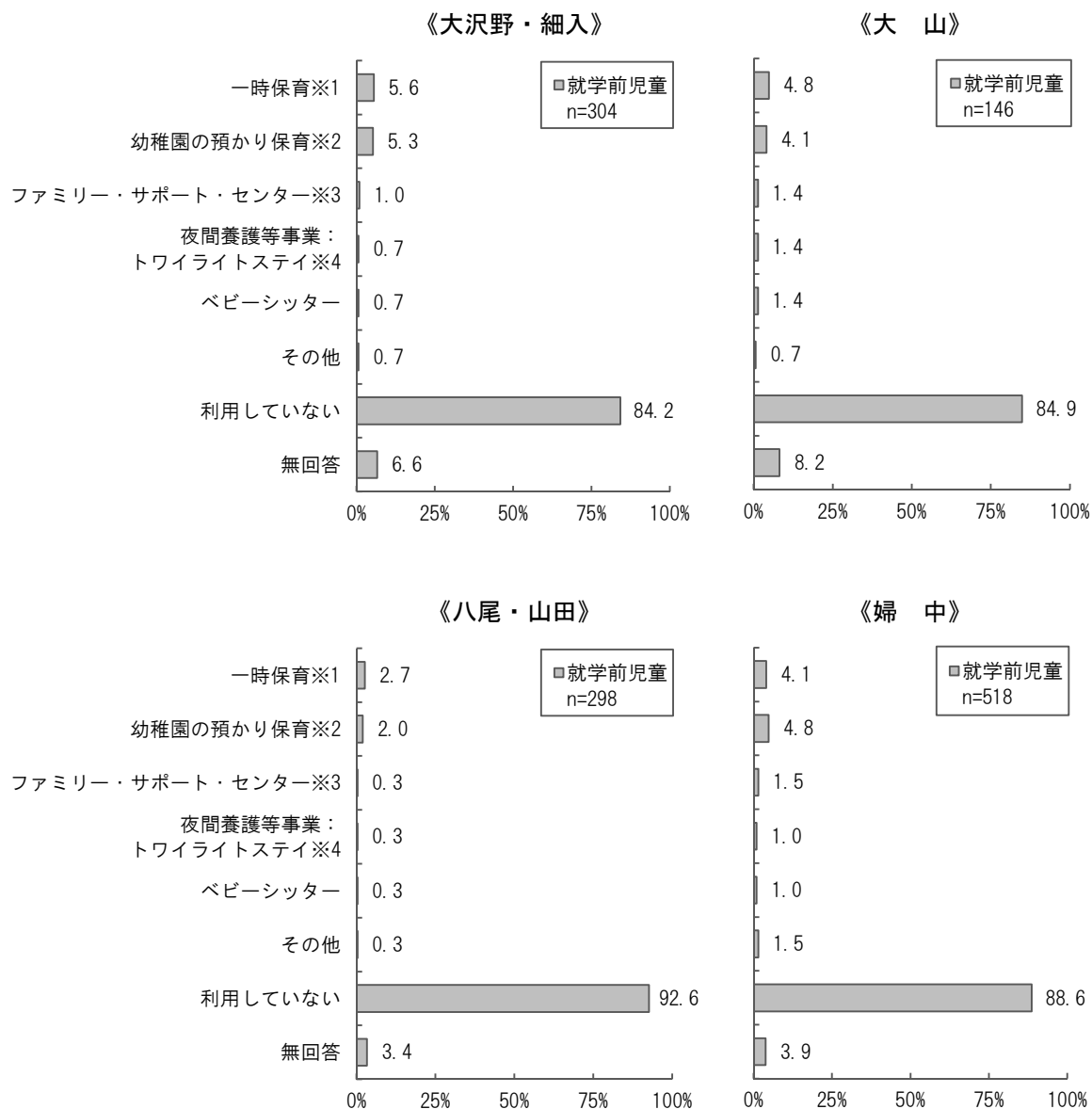
※3 子育てのお手伝いができる方(協力会員)が、子育てを手伝ってほしい方(依頼会員)の子育てをサポートする事業

※4 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

問23 不定期に利用している教育・保育事業

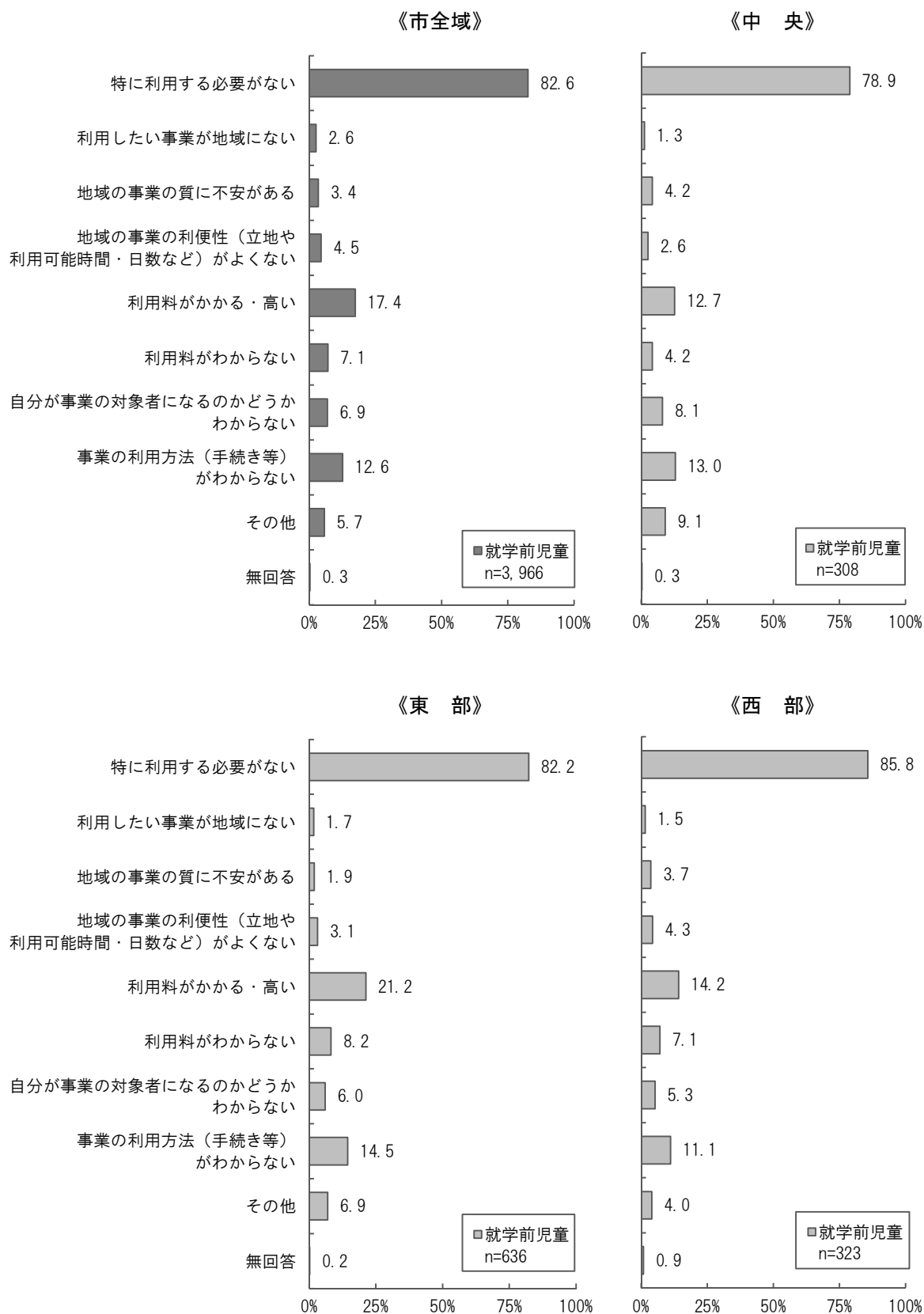


問23 不定期に利用している教育・保育事業

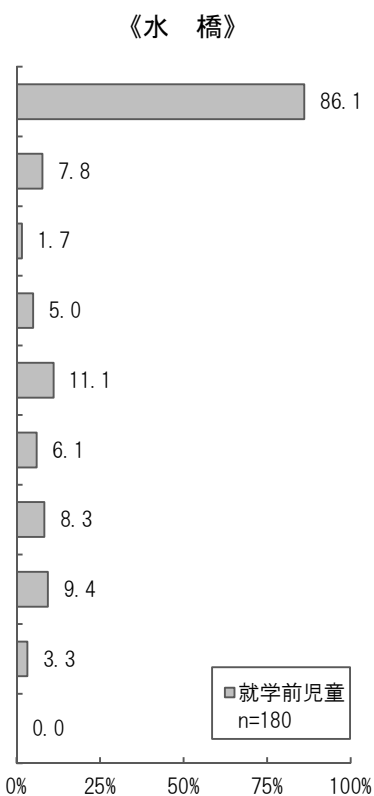
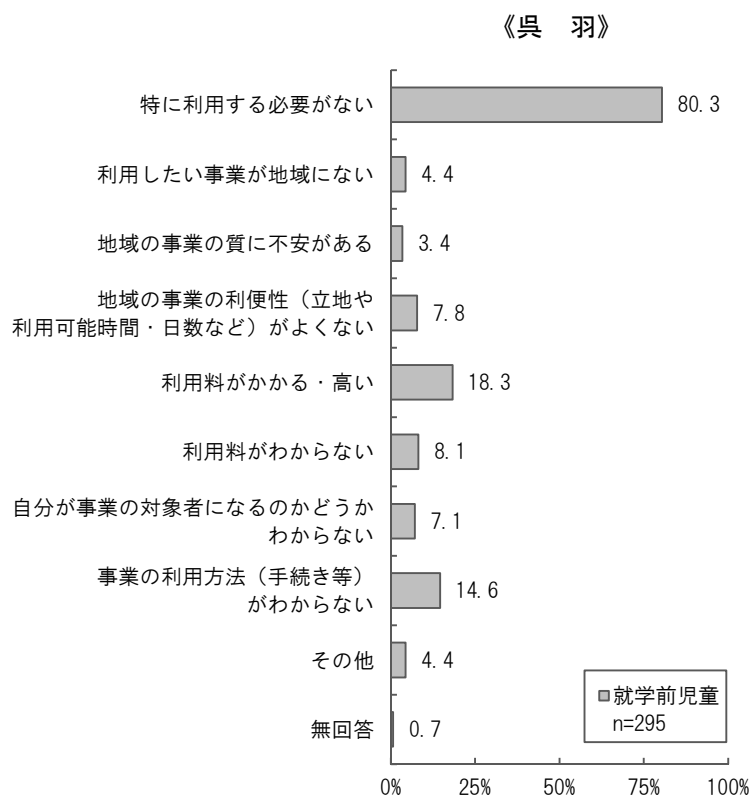
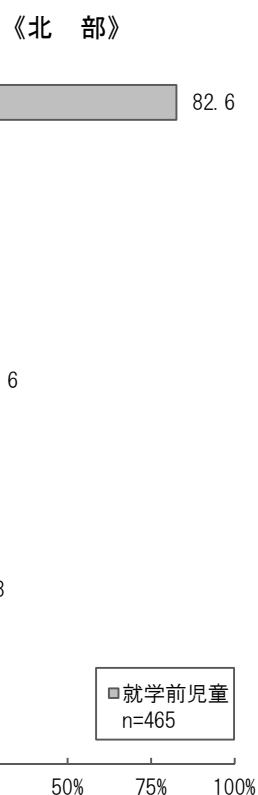
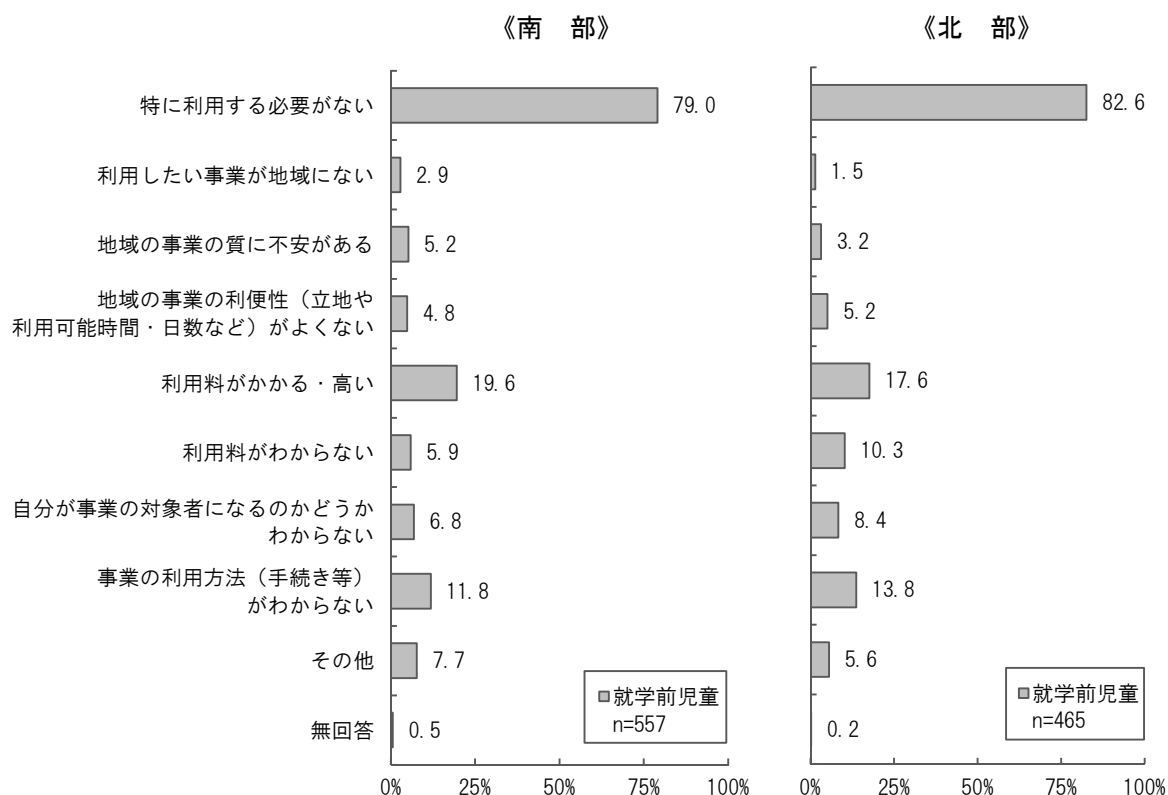


○事業を利用していない理由をみると、全ての地域で「特に利用する必要がない」(78.9～86.3%)と回答した割合が最も高くなっています。

問23-1 現在利用していない理由

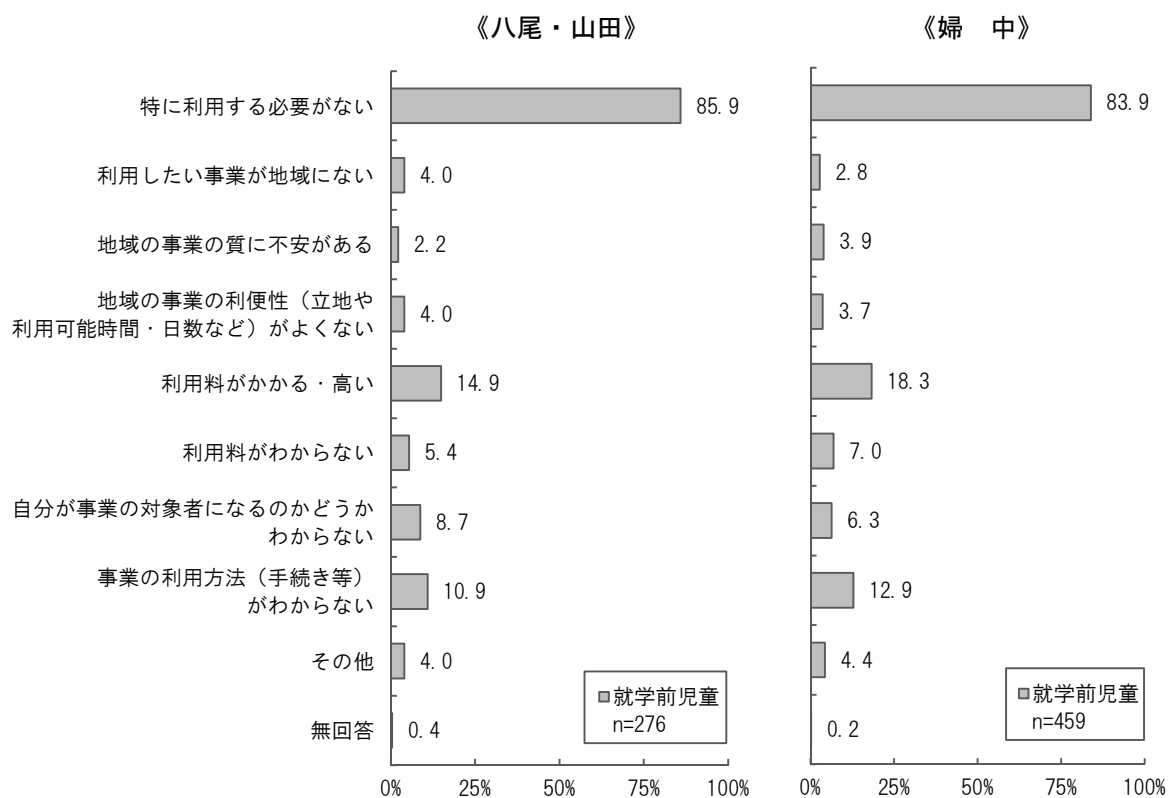
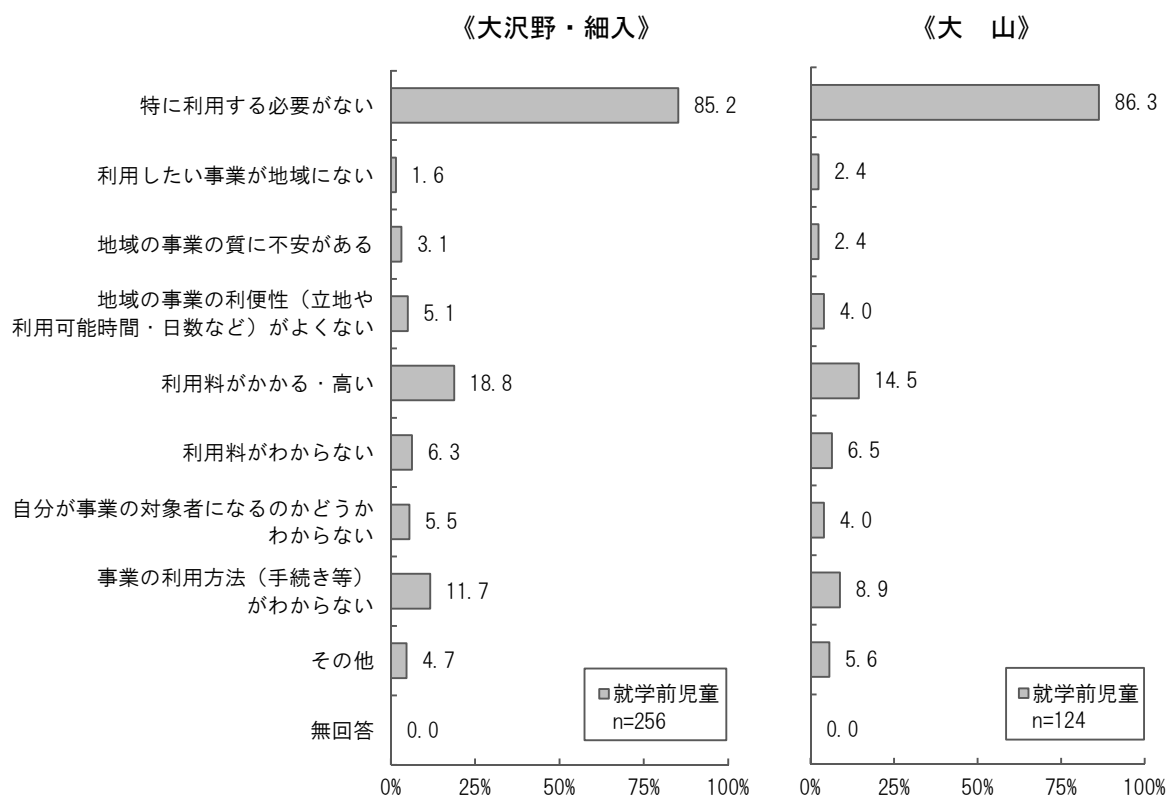


問23-1 現在利用していない理由





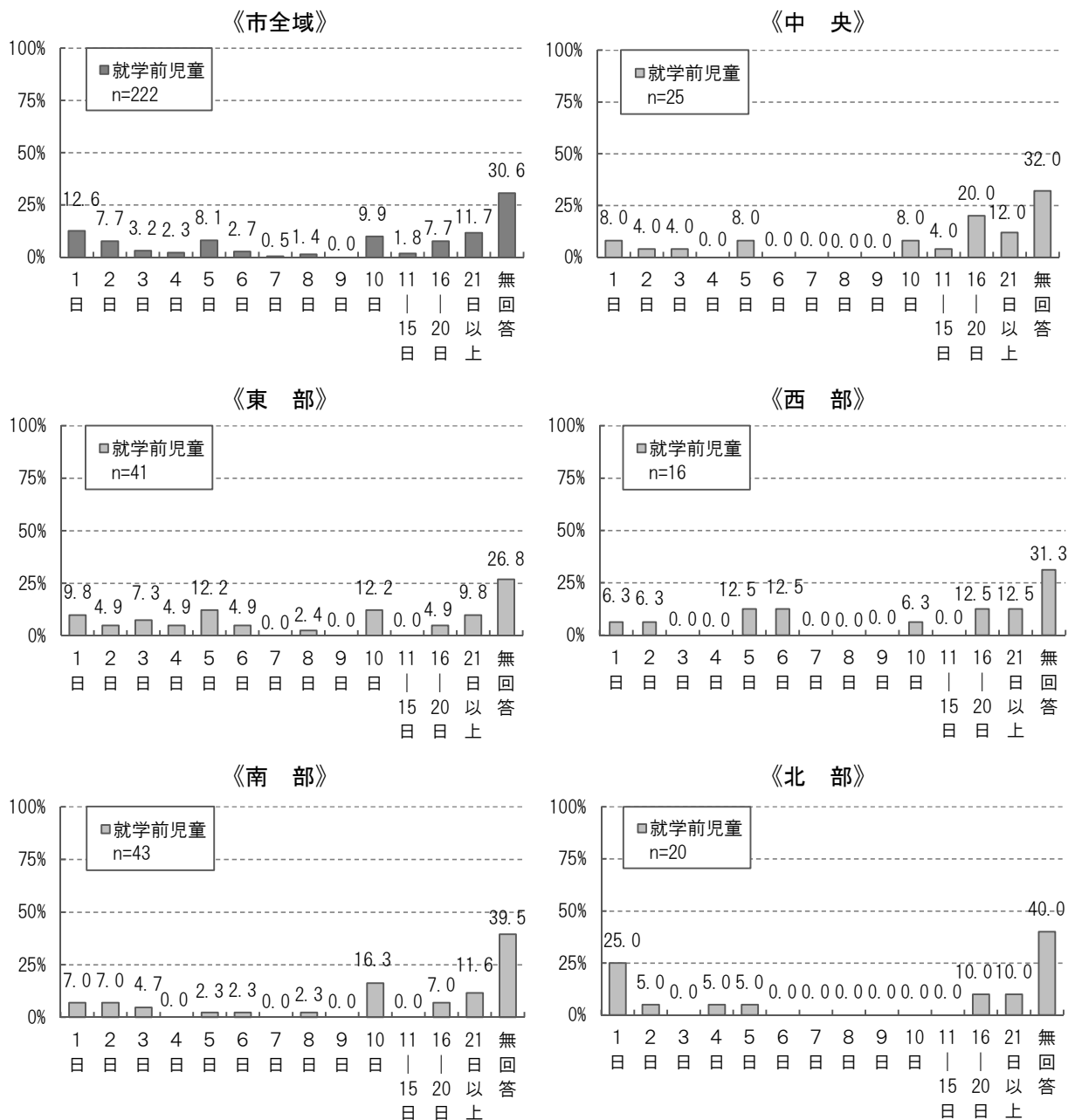
問23-1 現在利用していない理由



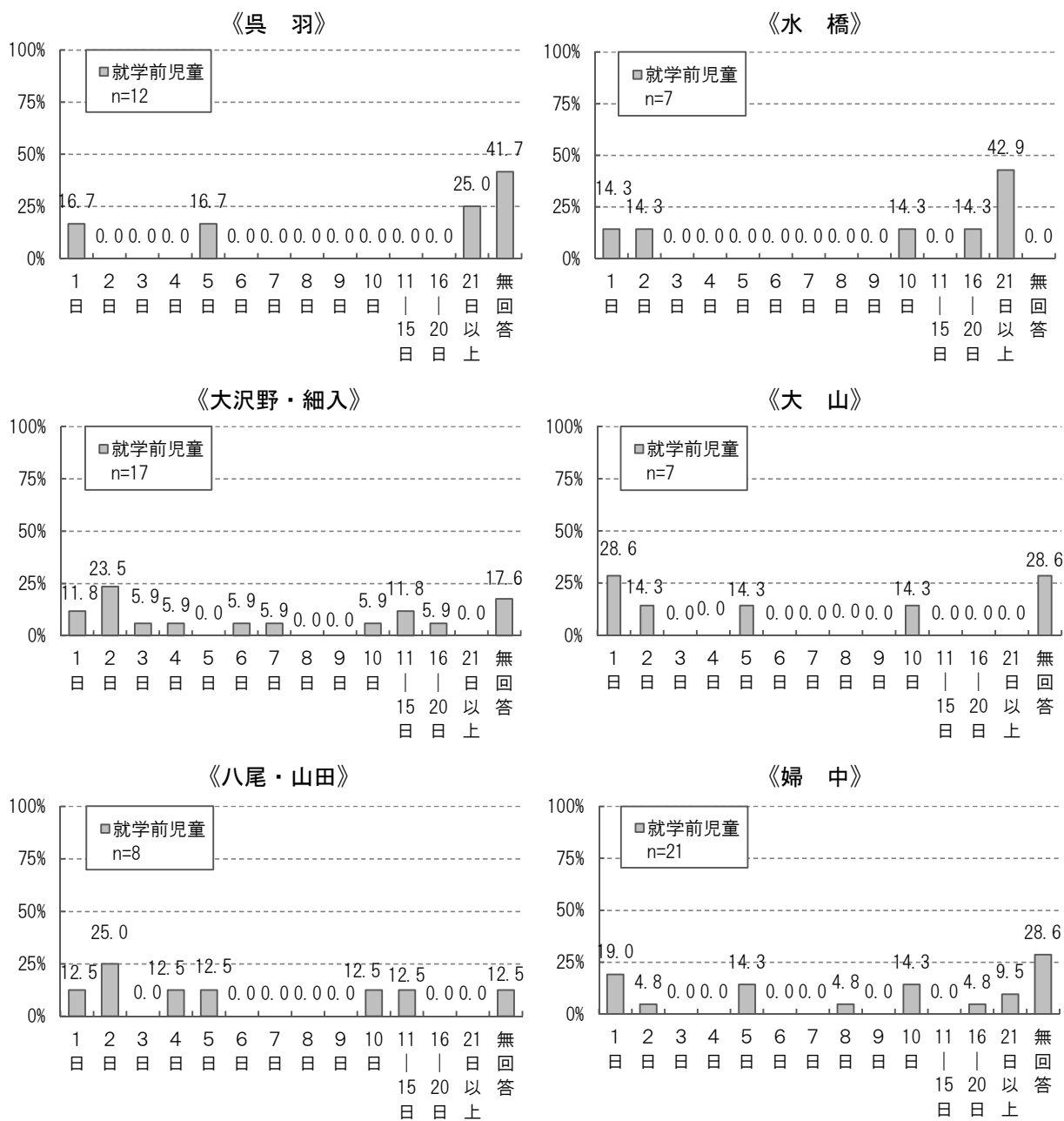
○一時保育の年間利用日数をみると、全ての地域で「1日」～「5日」(21.0～47.1%)の利用が多くなっています。

(《水橋》《大山》《八尾・山田》は対象者が少数のため、コメントを省略します。)

問23.1 「一時保育」年間利用日数



問23.1 「一時保育」年間利用日数

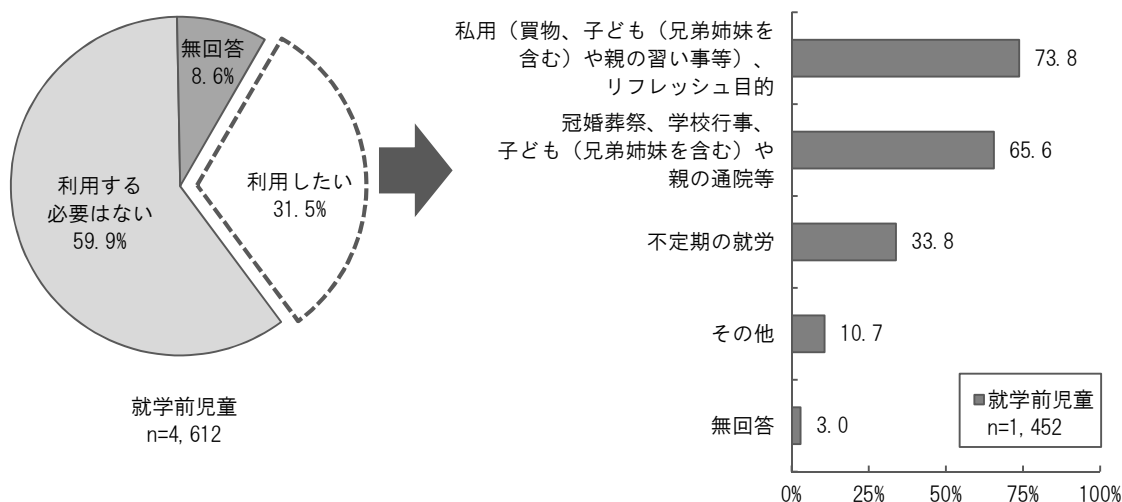


○不定期に利用する事業の利用希望について、「利用したい」割合は《中央》(38.3%)、《南部》(37.2%)、《東部》(33.6%)で高く、その他の地域においても2割以上となっています。

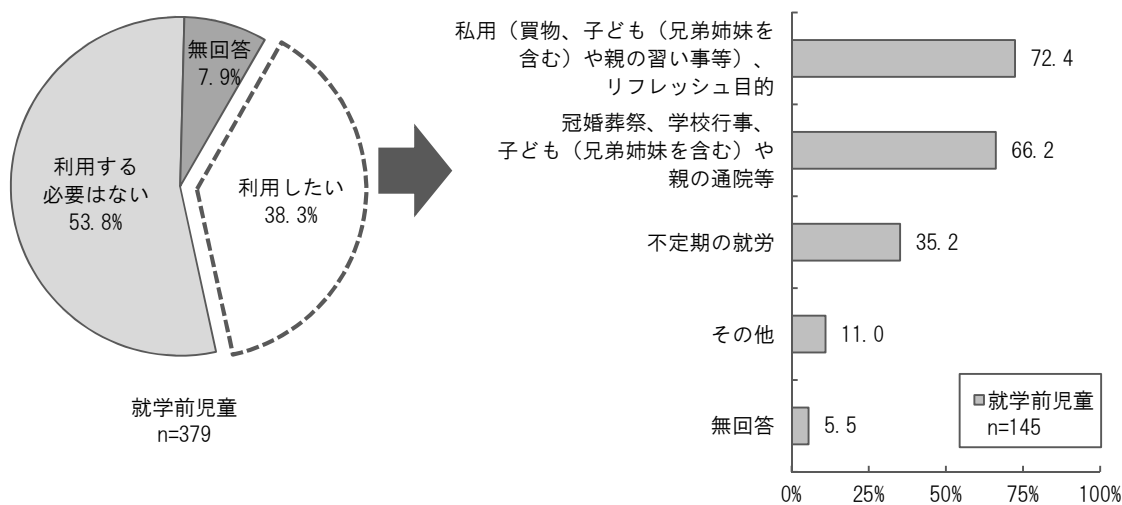
○「利用したい」と回答した方の利用目的をみると、《西部》《大沢野・細入》では「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(76.2%・74.7%)が最も高い割合となっていますが、その他の地域では「私用、リフレッシュ目的」(69.1~80.0%)が最も高い割合となっています。また、「不定期の就労」は各地域ともに29.7~40.4%となっています。

問24 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

《市全域》

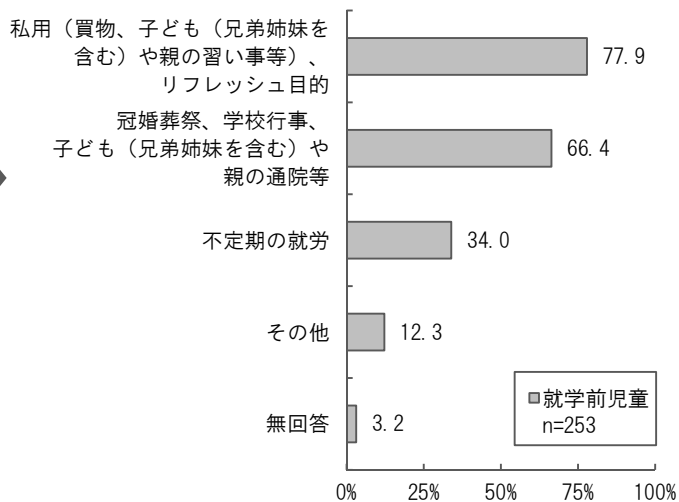
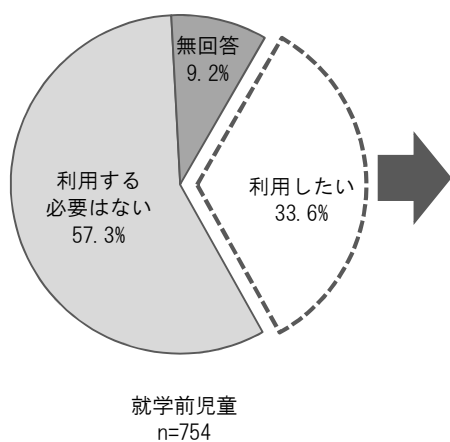


《中 央》

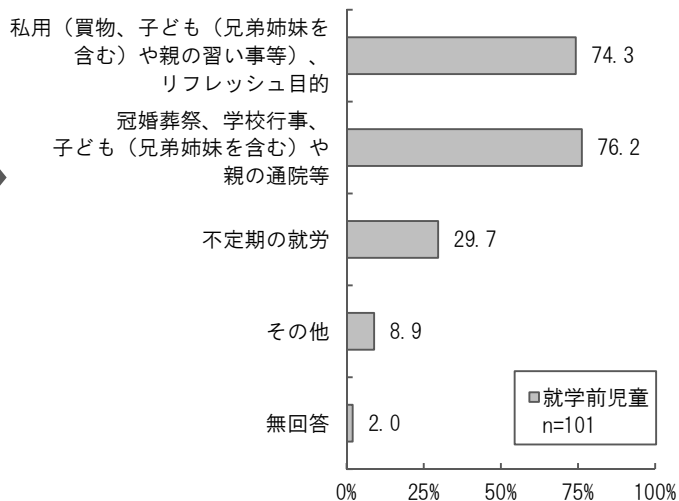
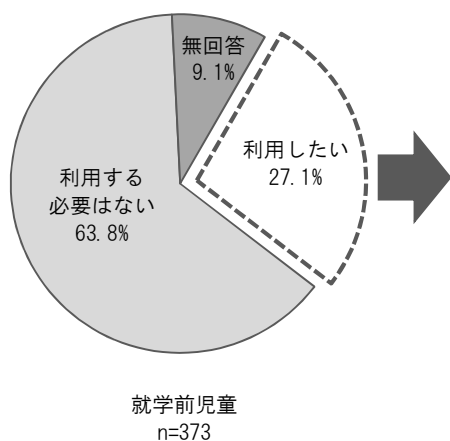


問24 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

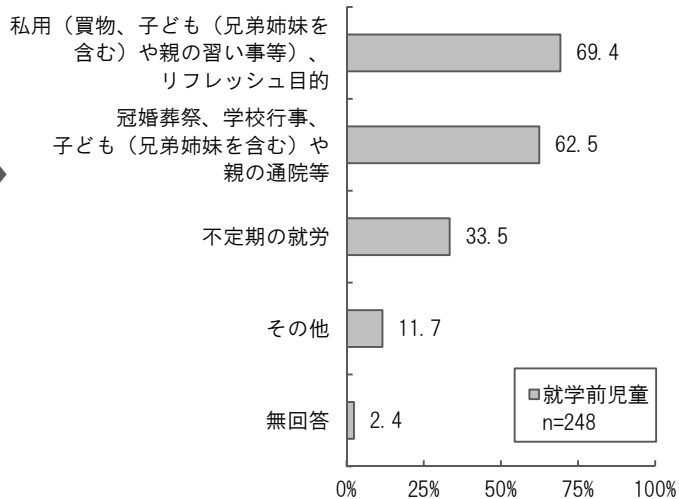
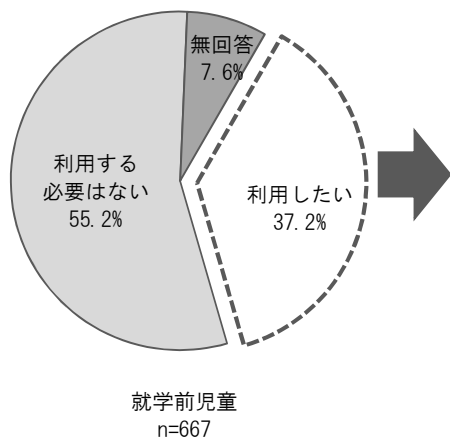
《東 部》



《西 部》

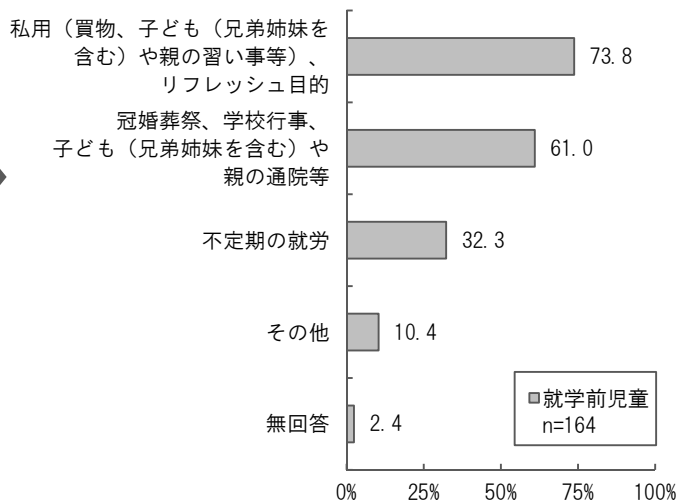
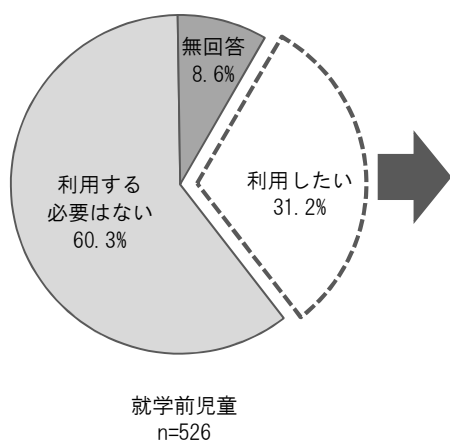


《南 部》

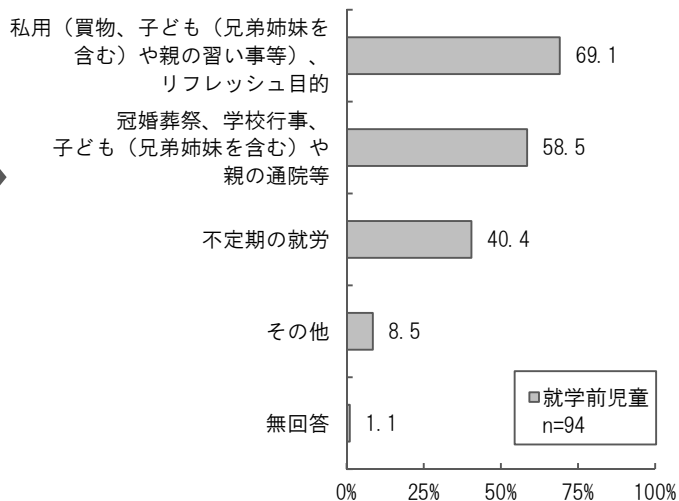
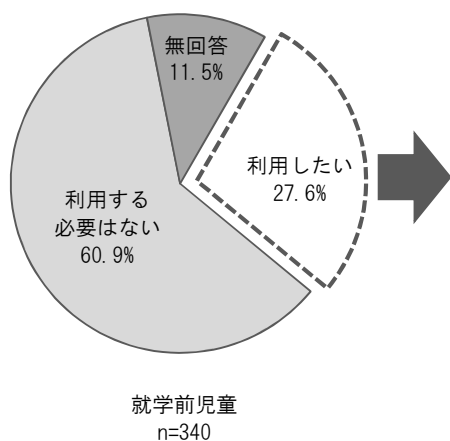


問24 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

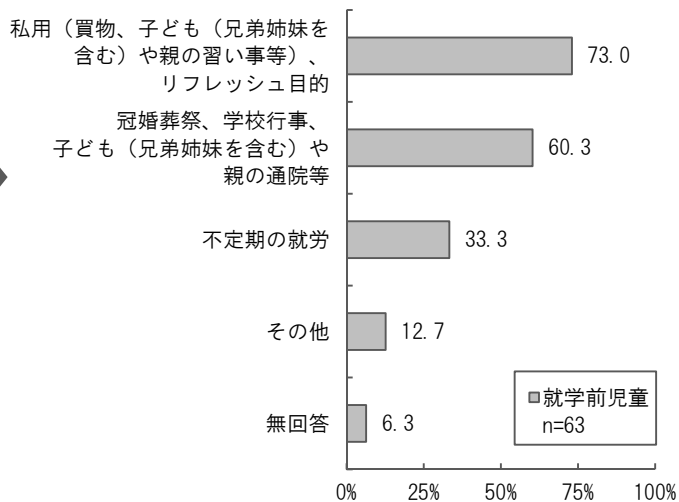
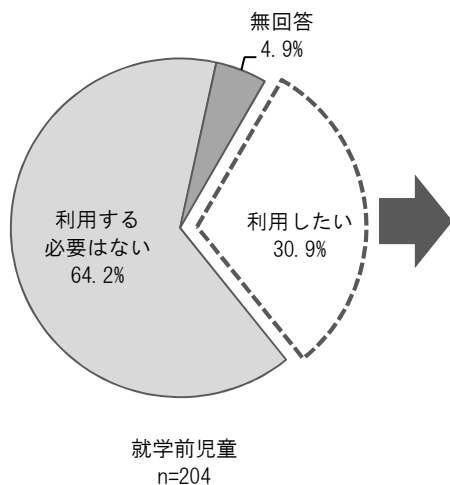
《北 部》



《呉 羽》

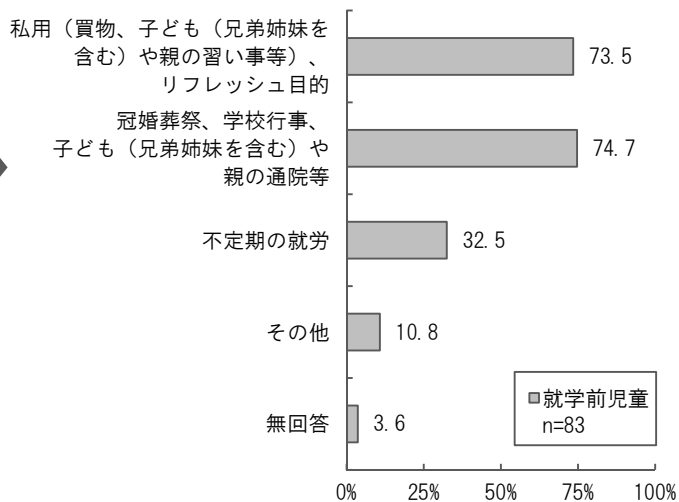
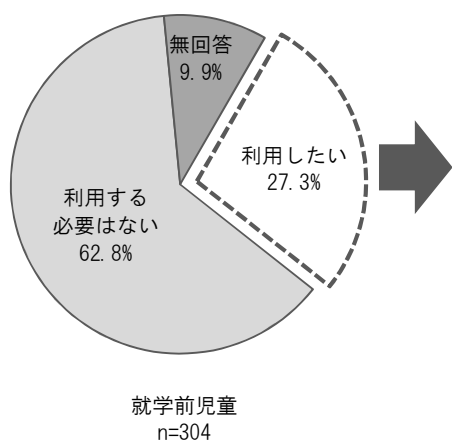


《水 橋》

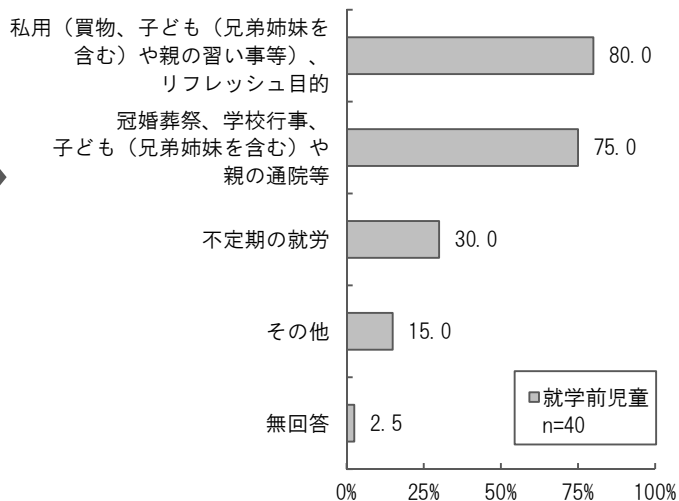
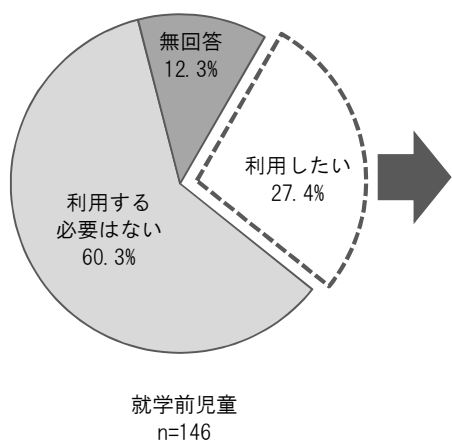


問24 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

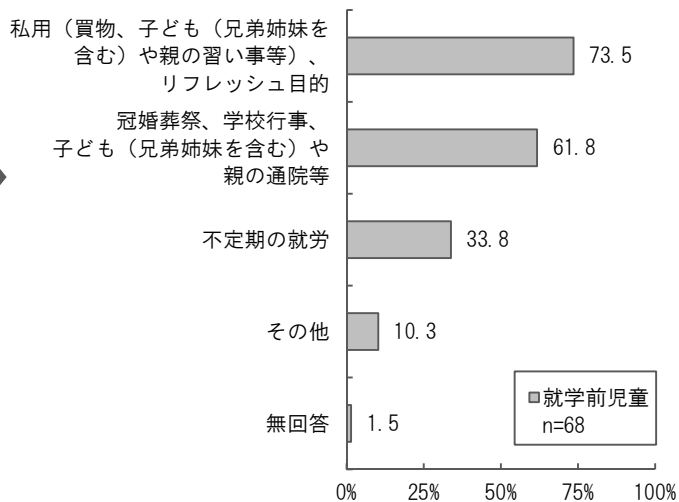
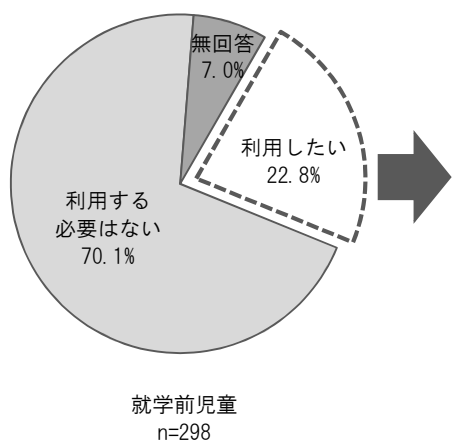
《大沢野・細入》



《大 山》

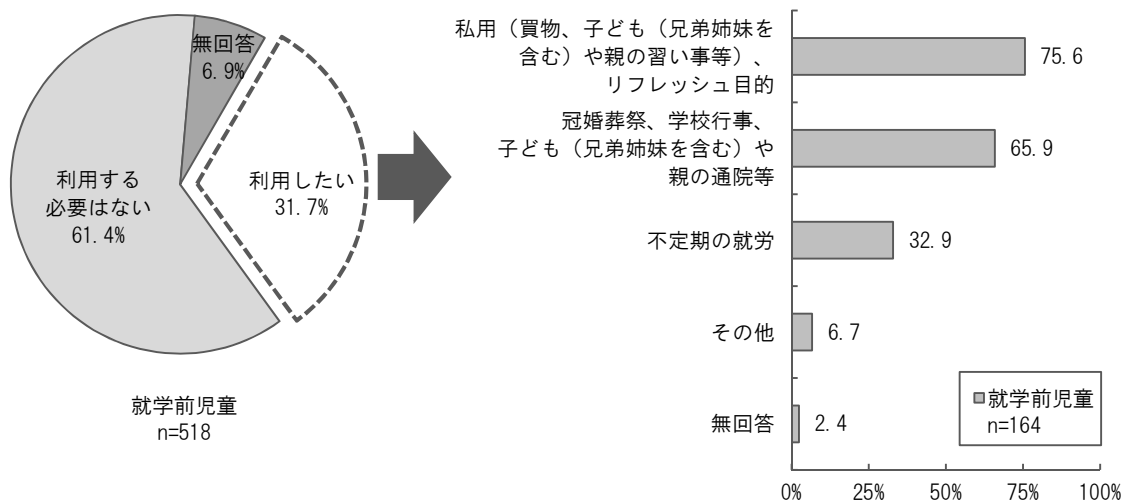


《八尾・山田》



問24 不定期に利用する事業の利用希望とその目的

《婦 中》

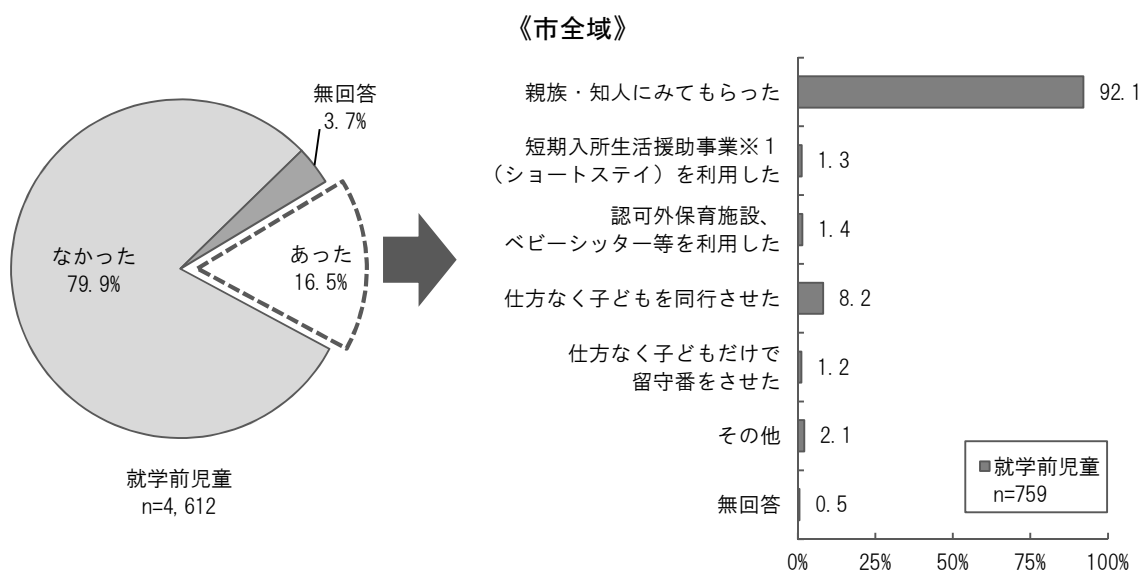


(2) 宿泊を伴う保育の利用状況

○この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族（同居）以外に預けたことが「あった」方のうち、「親族・知人にみてもらった」割合は、全ての地域で8割を超えて最も高くなっており、多くの方が親族や知人の協力を得ながら対応している状況です。地域別でみると《北部》（98.7%）が最も高く、《水橋》（84.8%）で最も低い割合となっています。

問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

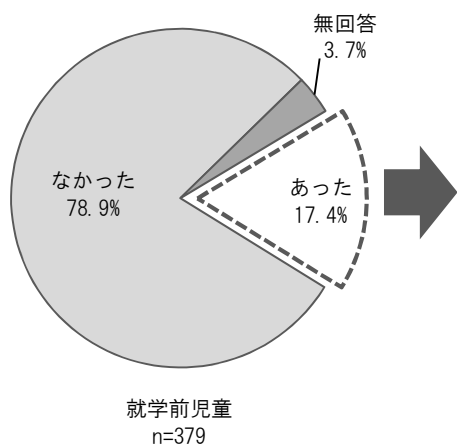
問25.1 1年間の対処方法



※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

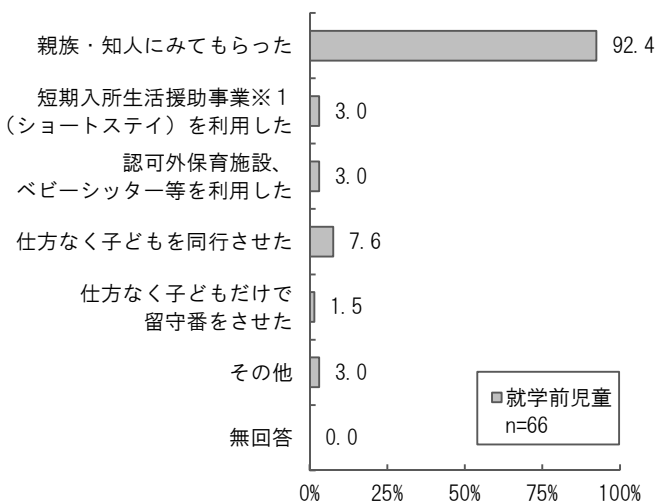


問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

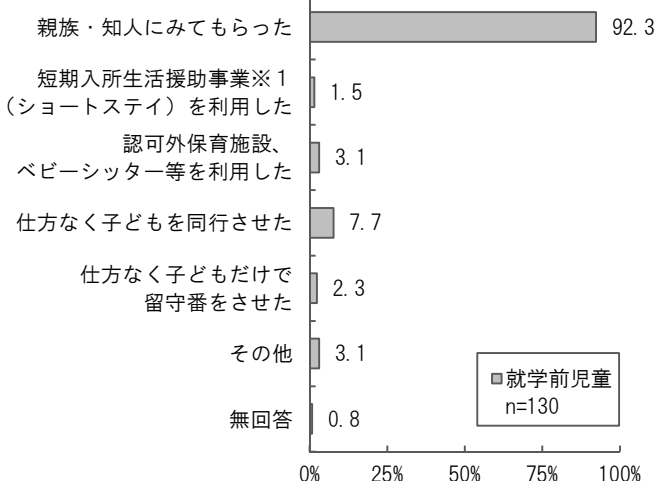
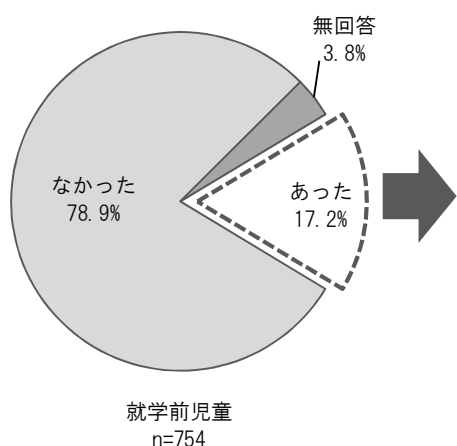


問25.1 1年間の対処方法

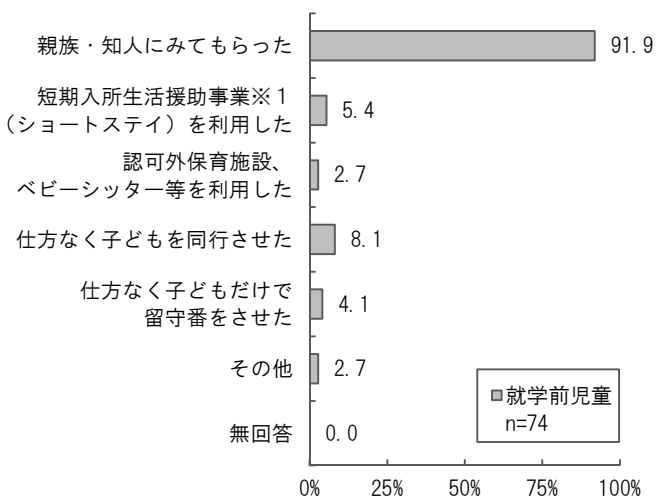
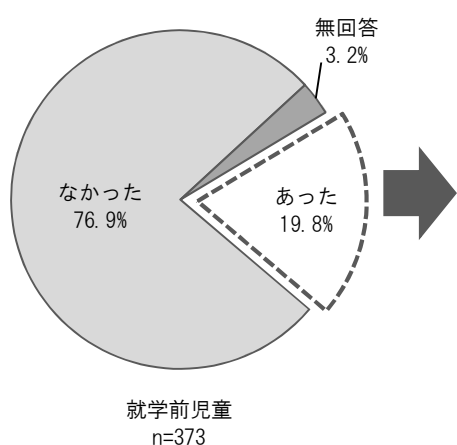
《中央》



《東 部》

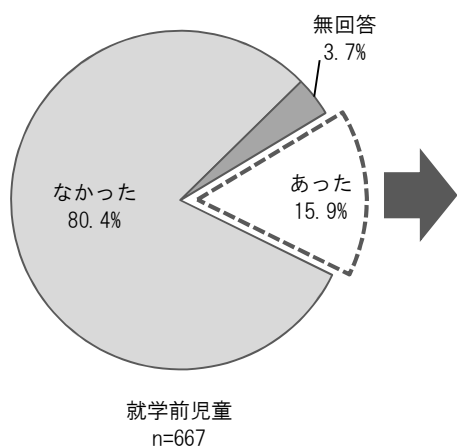


《西 部》



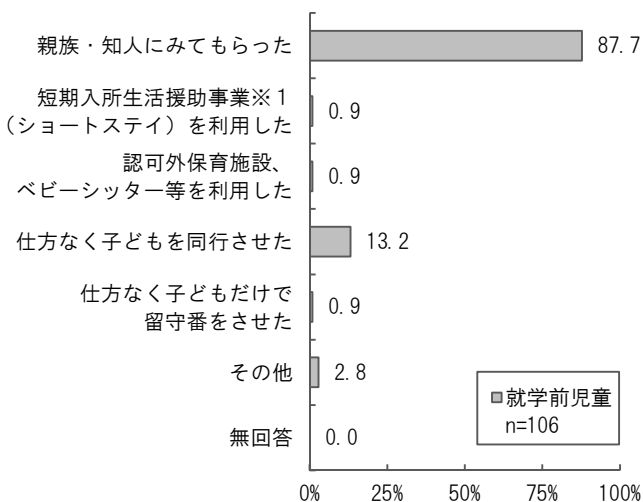
※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

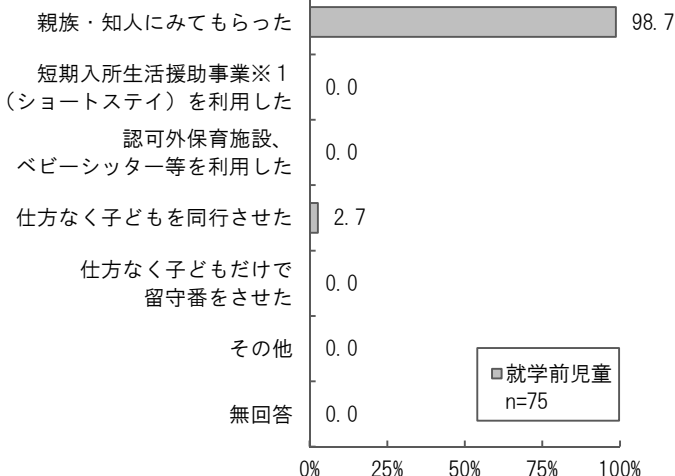
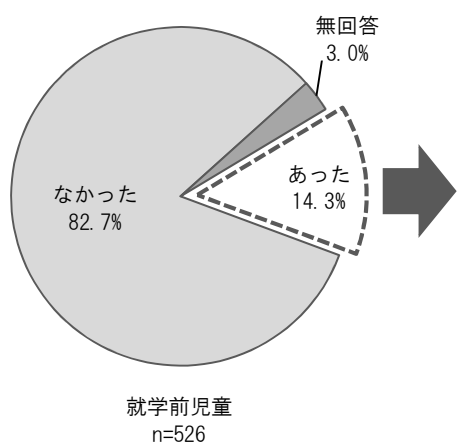


問25.1 1年間の対処方法

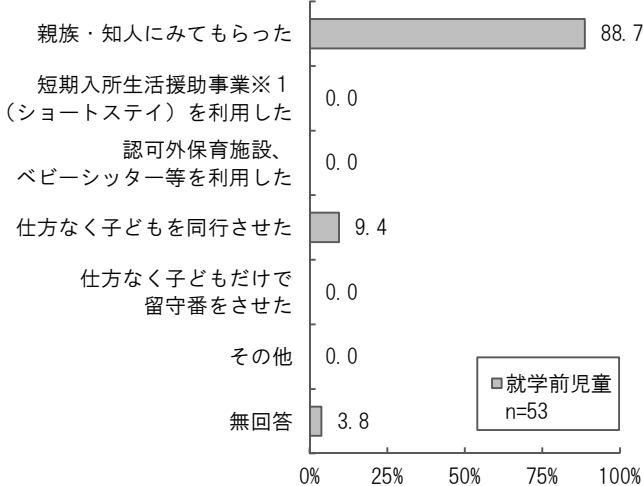
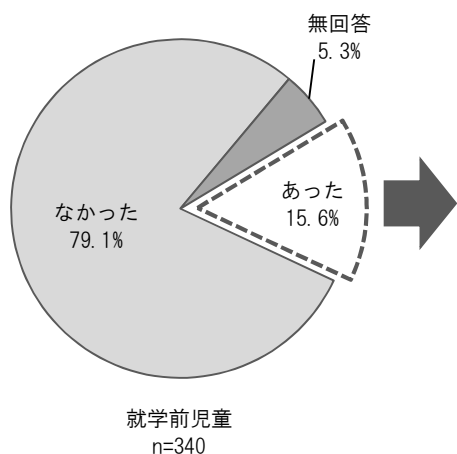
《南 部》



《北 部》

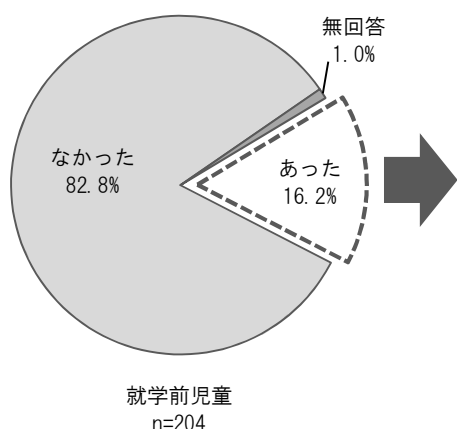


《 呉 羽 》



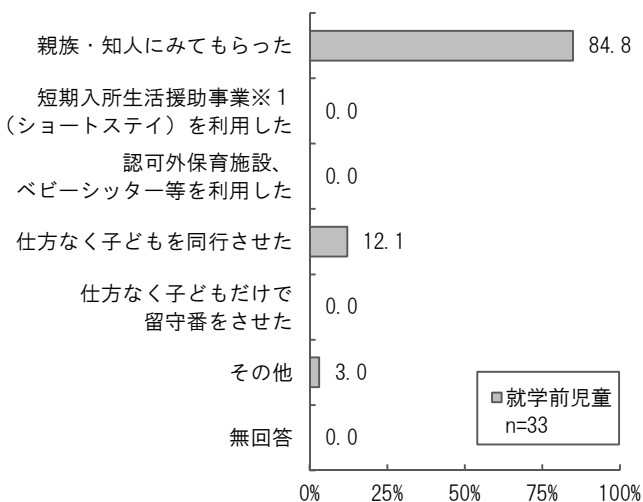
※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

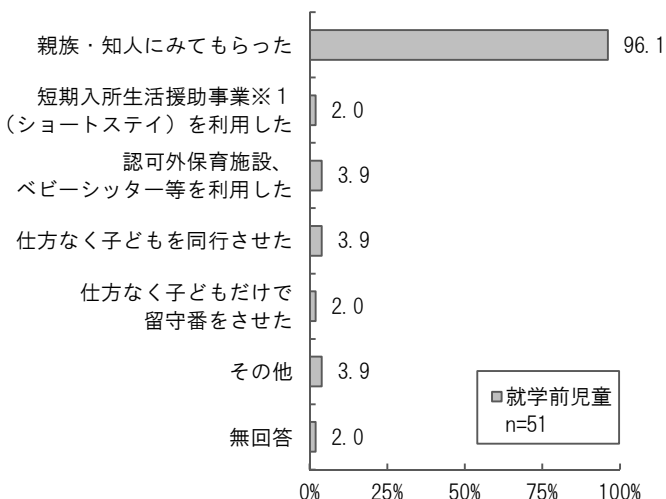
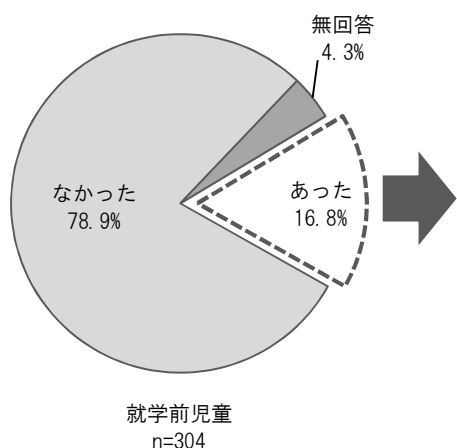


問25.1 1年間の対処方法

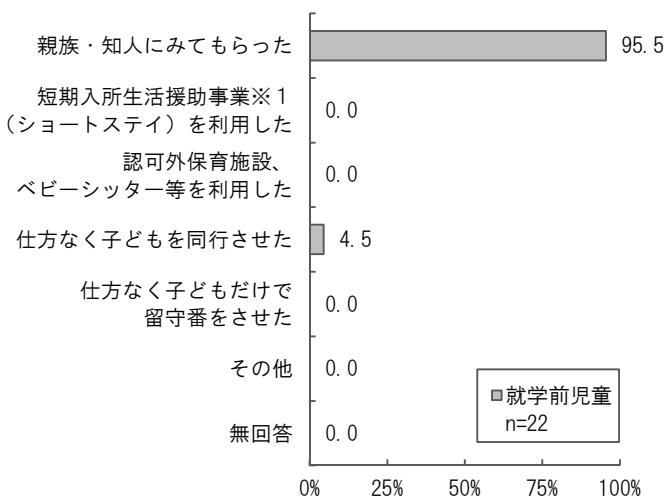
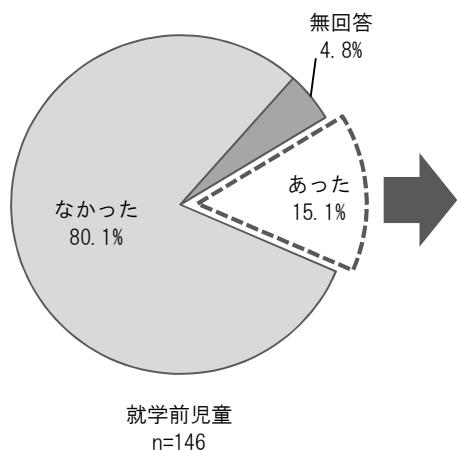
《水 橋》



《大沢野・細入》



《大 山》

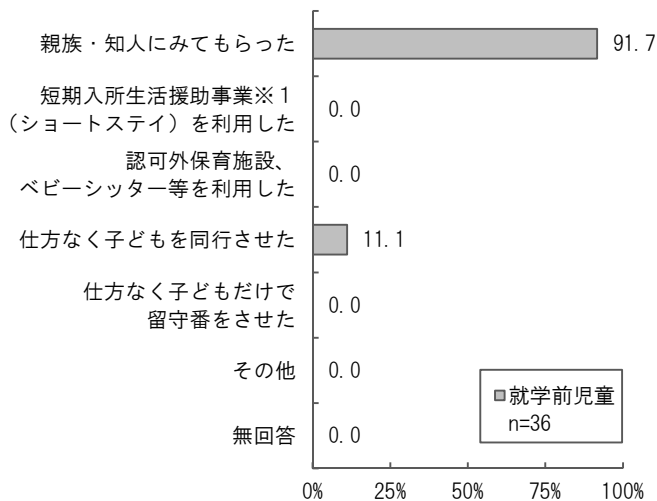
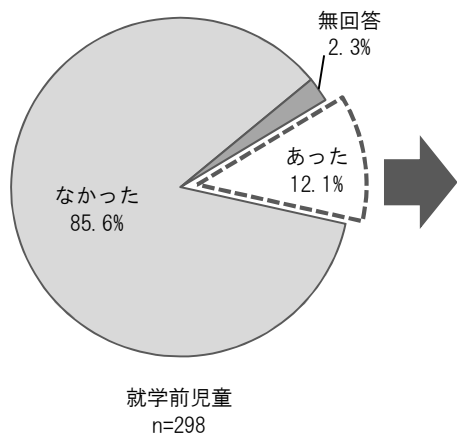


※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

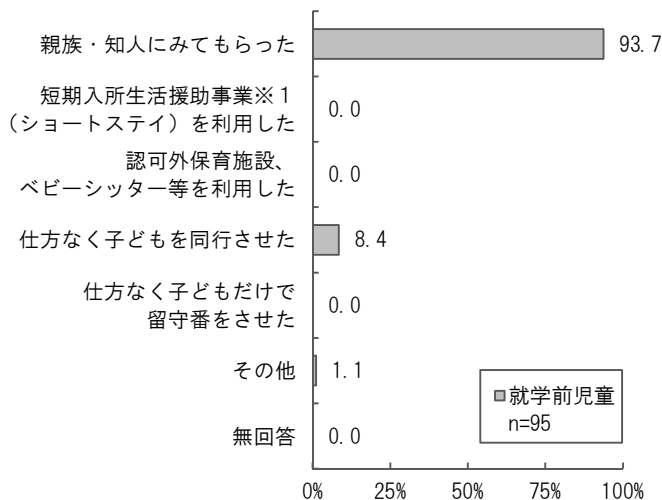
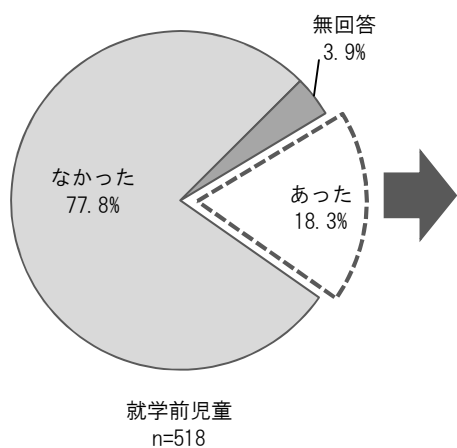
問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無

問25.1 1年間の対処方法

《八尾・山田》



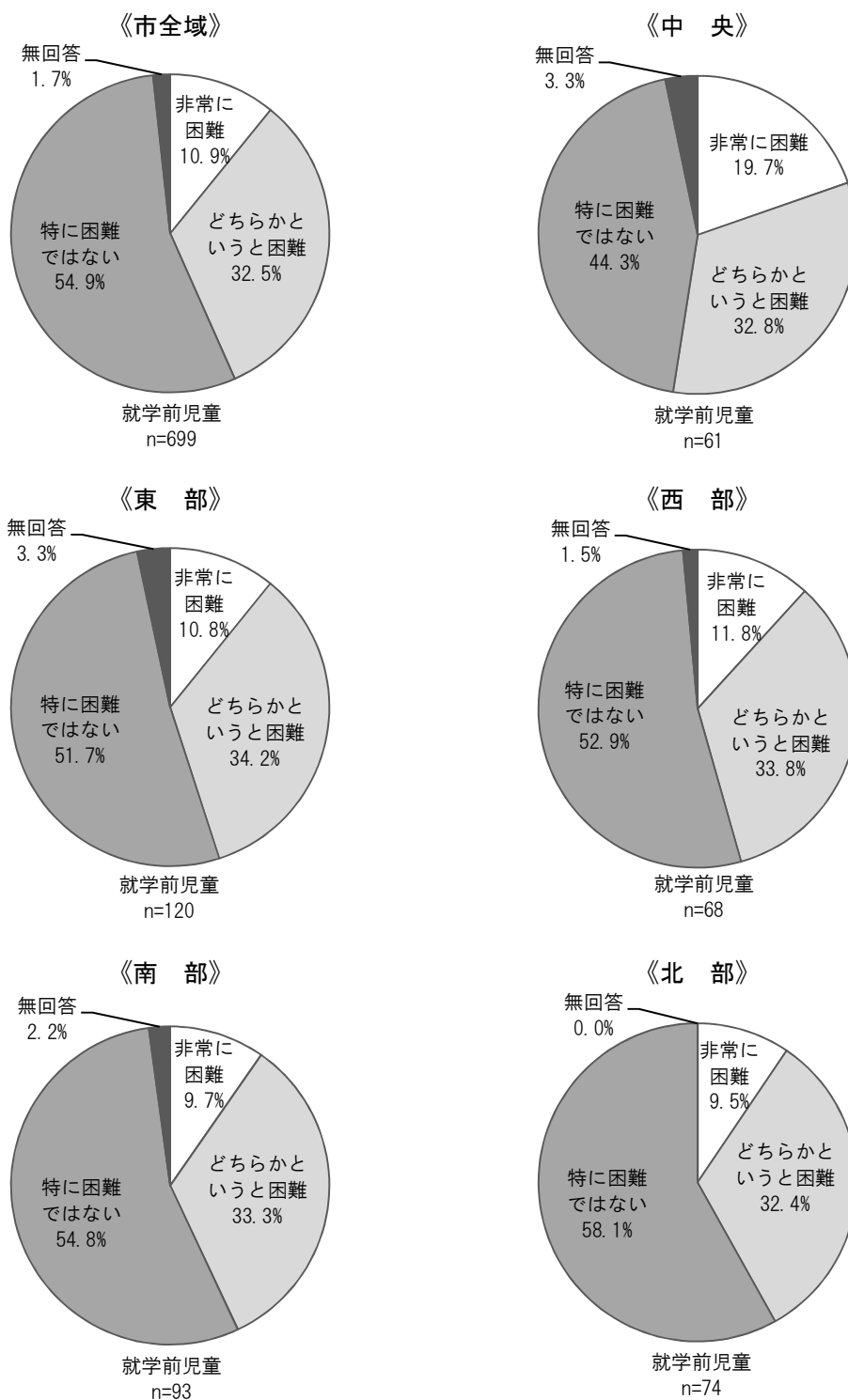
《婦 中》



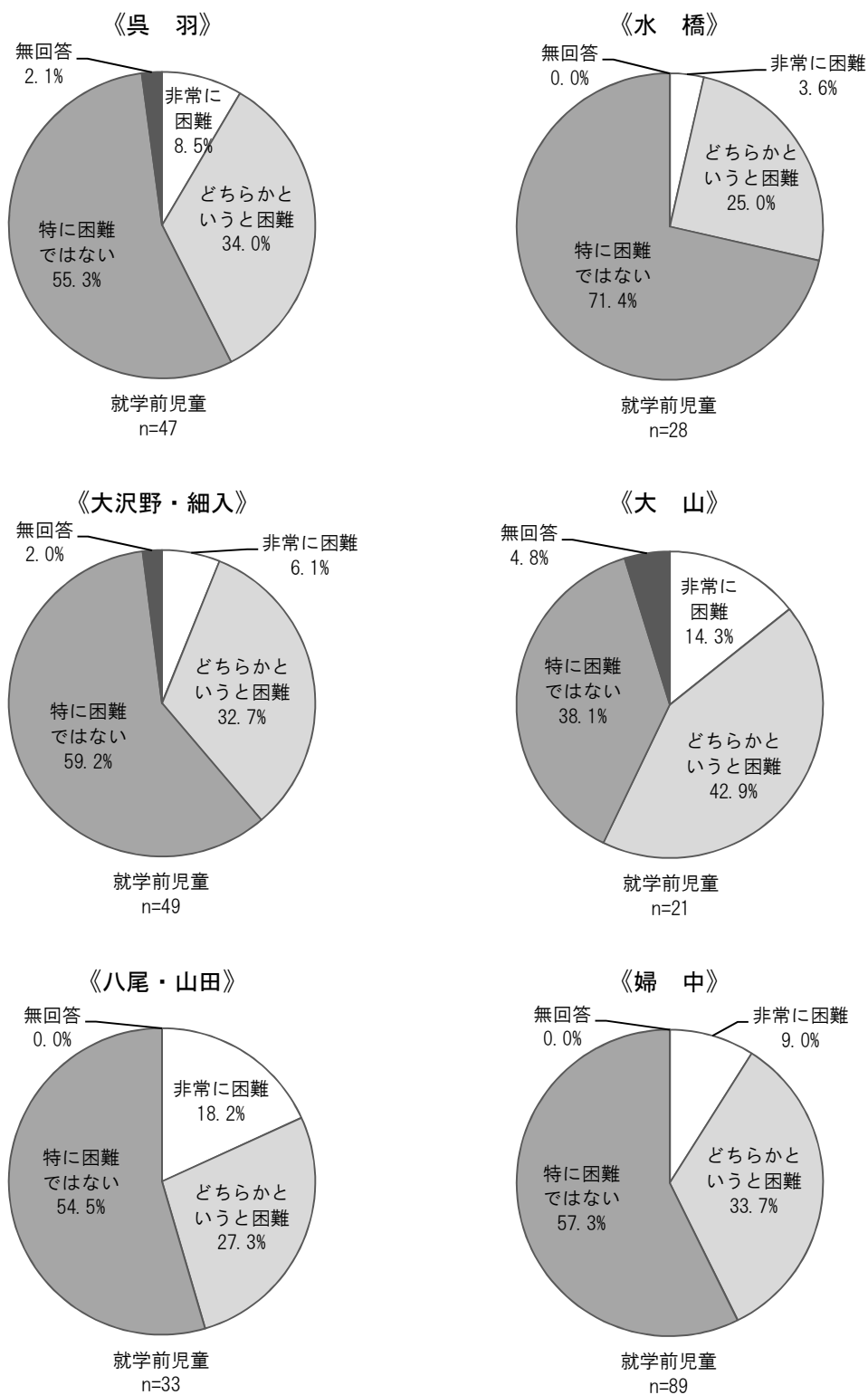
※1 短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業

○また、親族・知人にみてもらう場合の困難度について、地域別にみると「非常に困難」「どちらかという困難」と回答した割合の計は、《大山》(57.2%)、《中央》(52.5%)、《西部》(45.6%)、《八尾・山田》(45.5%)、《東部》(45.0%)で、市全域を上回り高くなっていますが、一方で、《水橋》(28.6%)では市全域を14.8ポイント下回り低くなっています。

問25-1 親族・知人にみてもらう場合の困難度



問25-1 親族・知人にみてもらう場合の困難度



## 6 放課後の過ごし方について

### (1) 平日の放課後の過ごし方

～就学前児童の低学年時期における放課後の過ごし方の希望について～

- 《北部》《大山》《八尾・山田》を除いた地域で、「自宅」(39.6～54.7%)が最も高い割合となっています。
- 「地域児童健全育成事業(子ども会)」は、《北部》(54.9%)、《水橋》(44.8%)で希望割合が高く、《婦中》(19.4%)で低くなっています。
- 「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」は、《八尾・山田》(43.6%)、《大山》(37.5%)で希望割合が高く、《西部》(18.5%)で低くなっています。

～就学前児童の高学年時期における放課後の過ごし方の希望について～

- 《中央》では、1位は「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(67.9%)、2位は「自宅」(62.3%)となっていますが、その他の地域では、1位は「自宅」(49.1～78.5%)、2位は「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(20.8～56.1%)となっています。
- 「地域児童健全育成事業(子ども会)」は、《水橋》(20.7%)、《八尾・山田》(16.4%)で希望割合が高く、《大沢野・細入》(6.3%)で低い割合となっています。
- 「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」は、《八尾・山田》(30.9%)、《西部》(18.5%)で希望割合が高く、《北部》(8.5%)で低い割合となっています。「地域児童健全育成事業(子ども会)」と同様に、低学年時期における希望と比較すると利用希望者の割合は全体的に低くなっています。

～小学校低学年の低学年時期の放課後の過ごし方の希望について～

- 全ての地域で1位は「自宅」(48.5～72.3%)が最も高い割合となっています。
- 「地域児童健全育成事業(子ども会)」は、《呉羽》(45.7%)で希望割合が高く、《婦中》(12.6%)で低くなっています。
- 「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」は、《八尾・山田》(29.5%)で希望割合が高く、《水橋》(4.1%)で低くなっています。

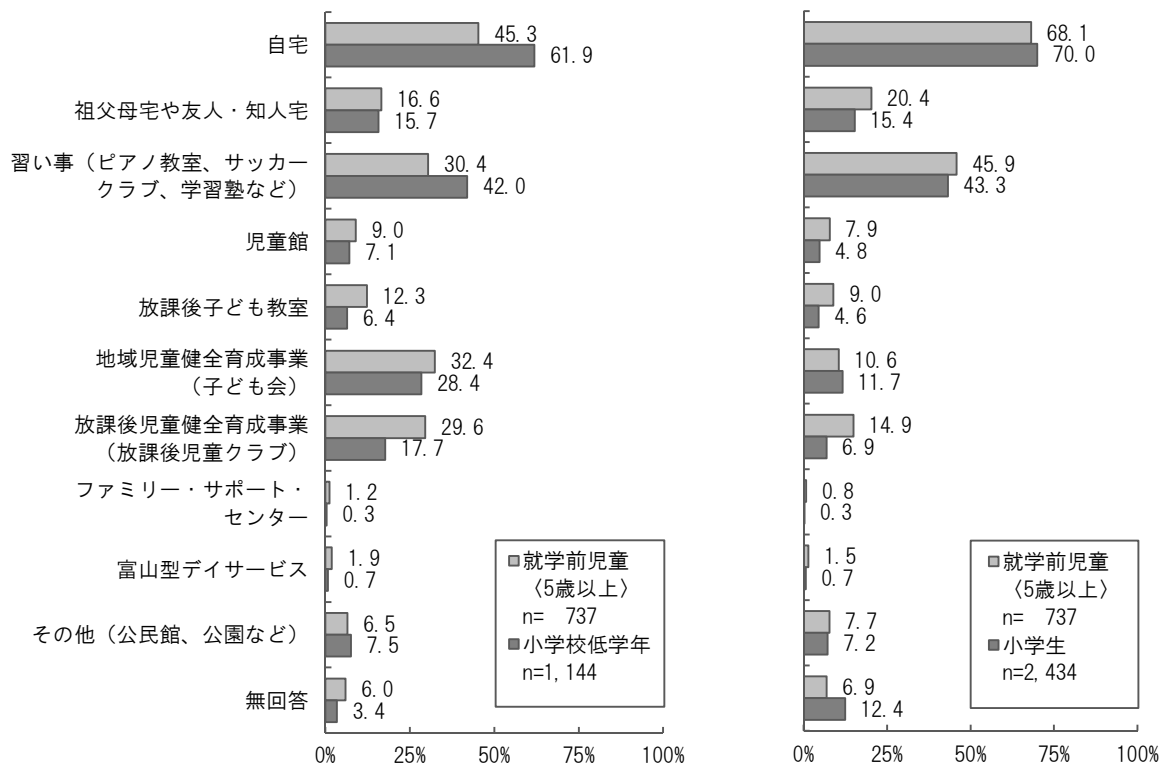
～小学生(1～6年生)の高学年時期における放課後の過ごし方の希望について～

- 各地域ともに1位は「自宅」(63.6～74.7%)、2位は「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(32.3～58.6%)となっています。
- 「地域児童健全育成事業(子ども会)」は、《呉羽》(19.3%)で希望割合が高く、《婦中》(8.0%)で低くなっています。
- 「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」は、《大山》(15.1%)、《八尾・山田》(13.8%)、《大沢野・細入》(13.6%)で1割台となっていますが、その他の地域では1割未満となっています。「地域児童健全育成事業(子ども会)」と同様に、低学年時期における希望と比較すると利用希望者の割合は全体的に低くなっています。

問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方      小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《市全域》





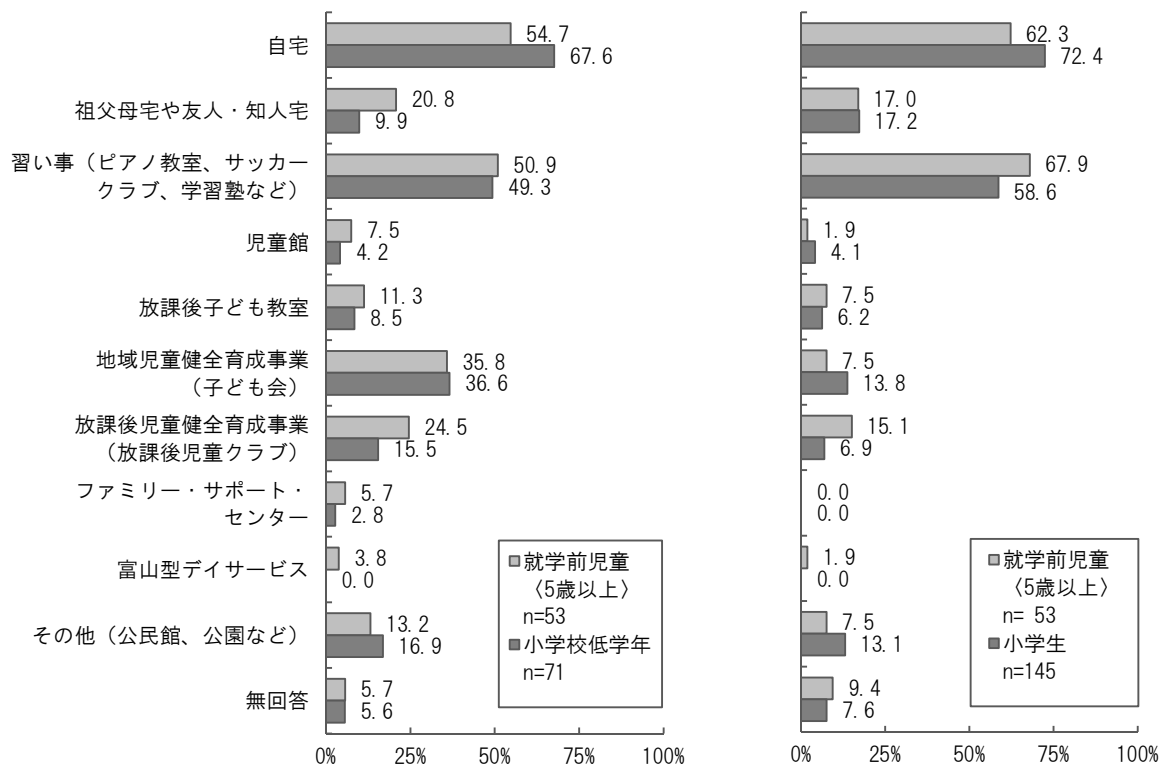
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

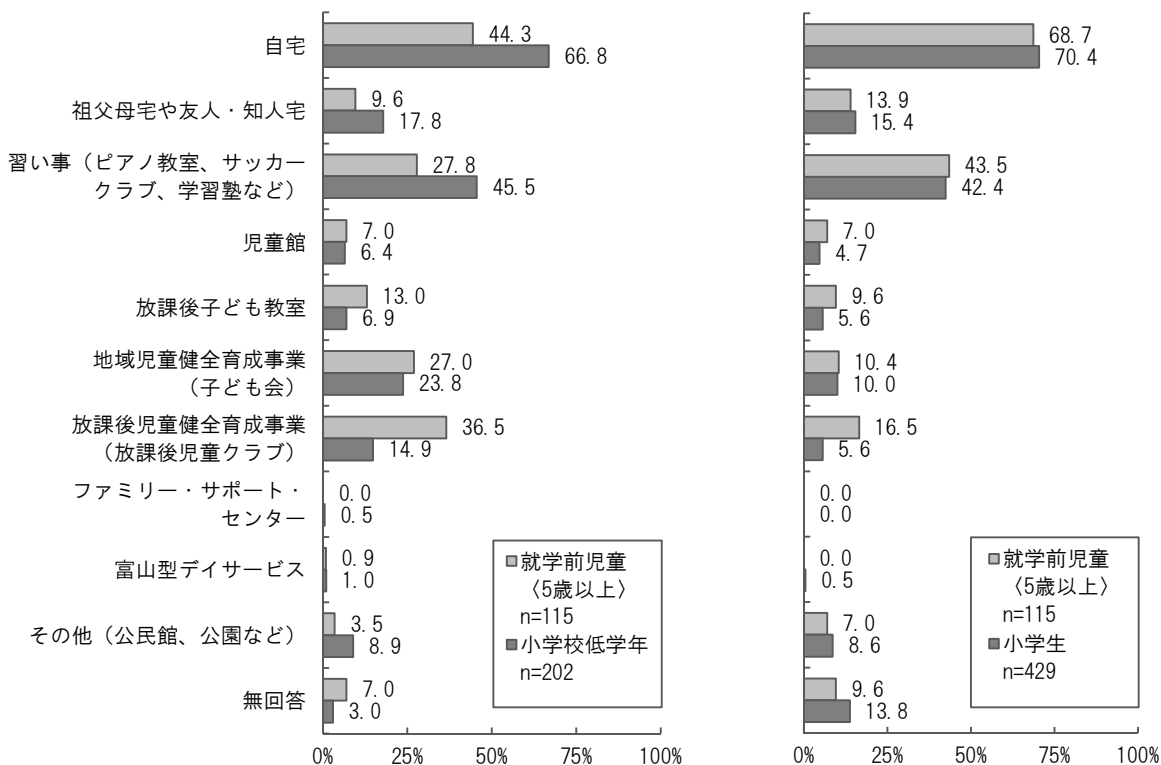
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《中央》



《東 部》



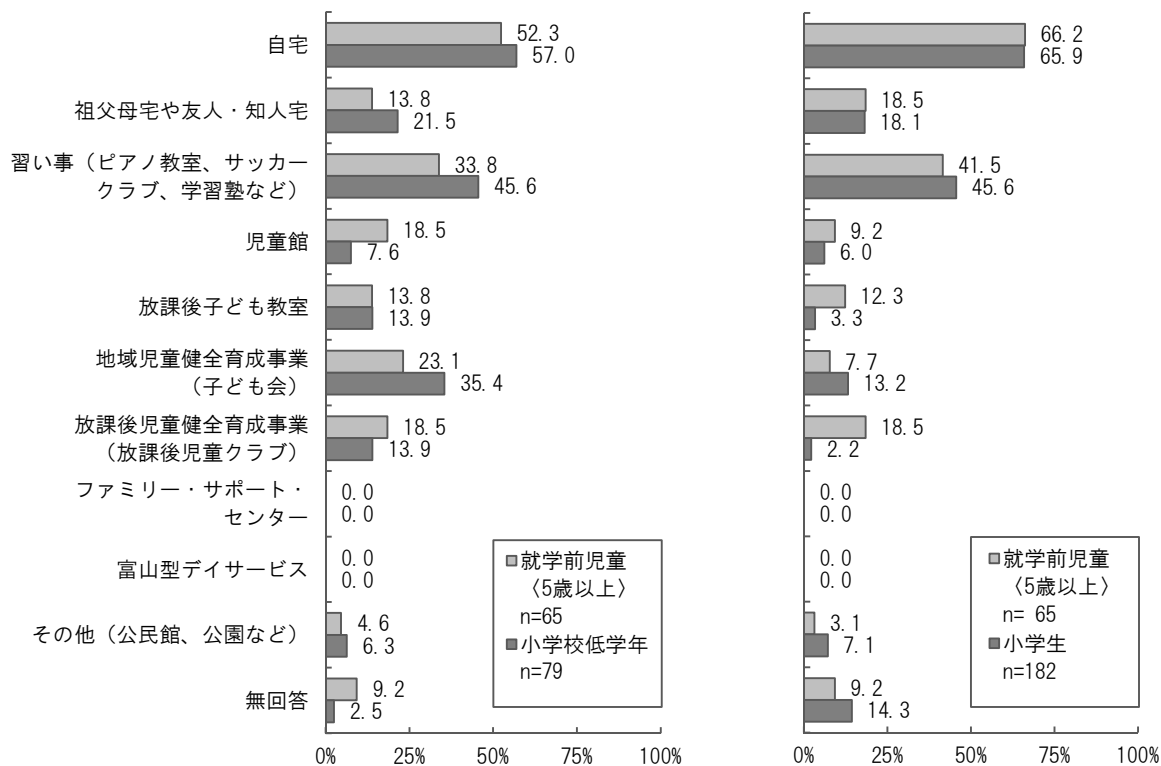
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

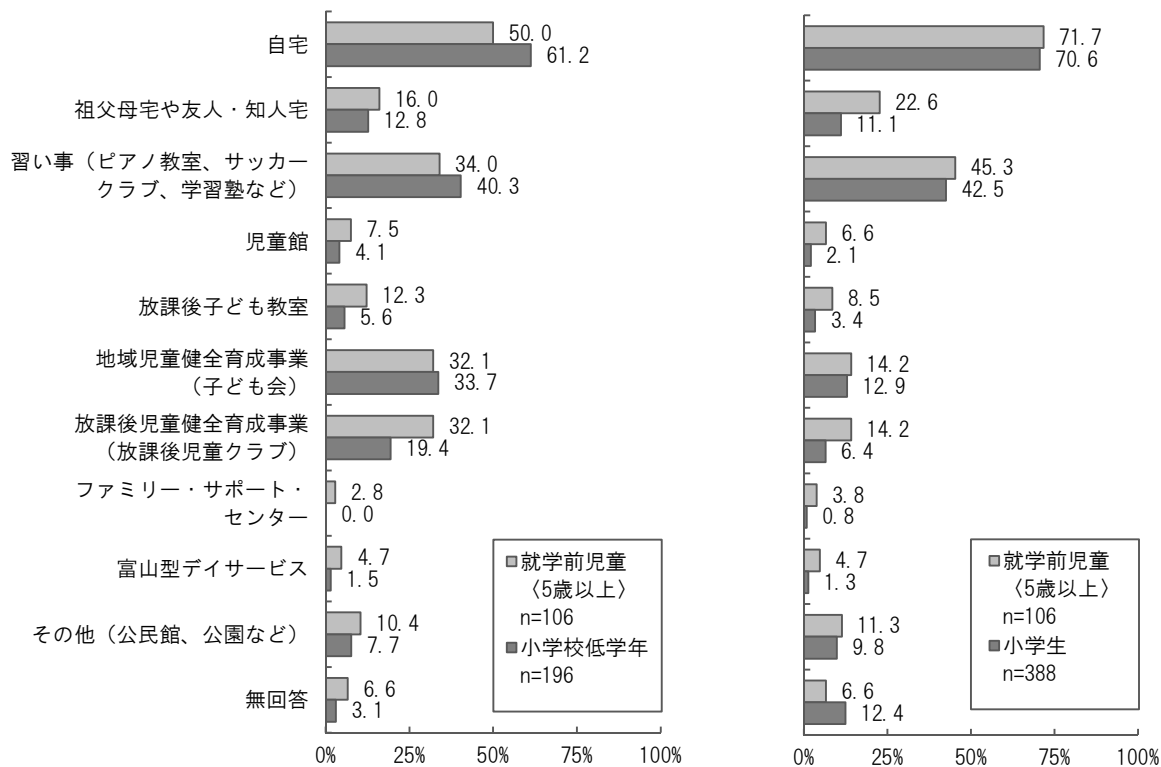
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

#### 《西 部》



#### 《南 部》



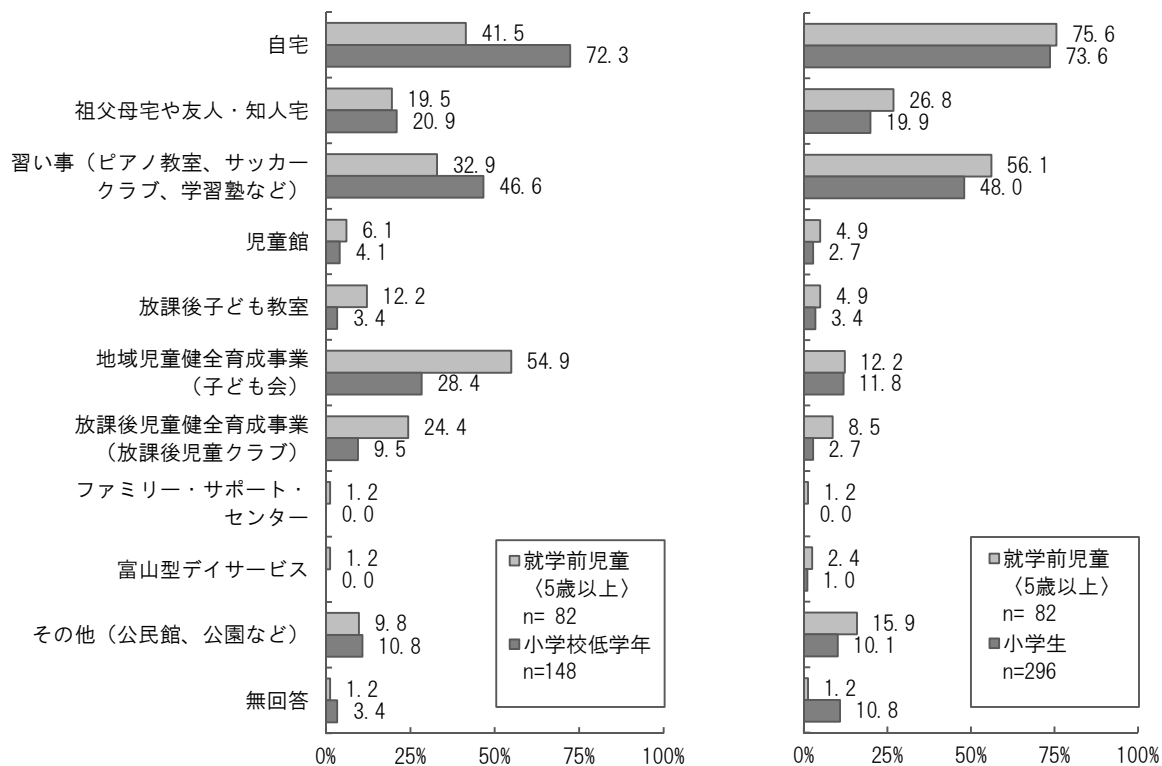
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

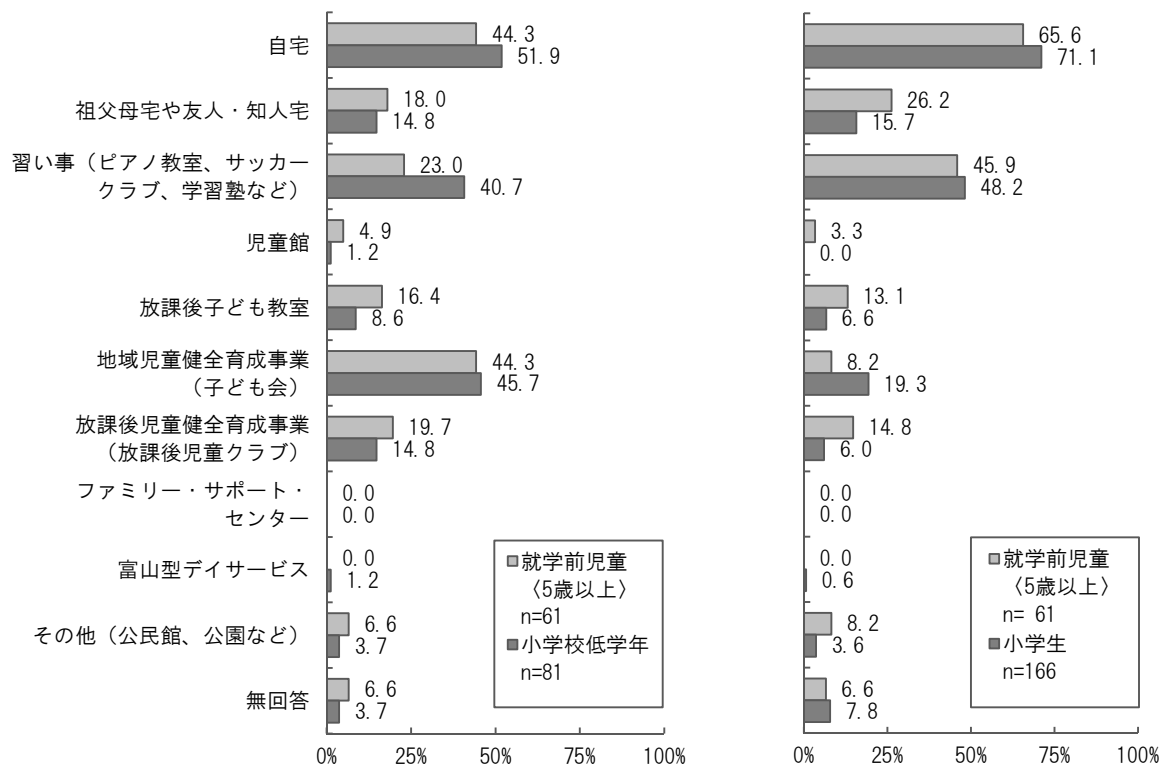
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

#### 《北 部》



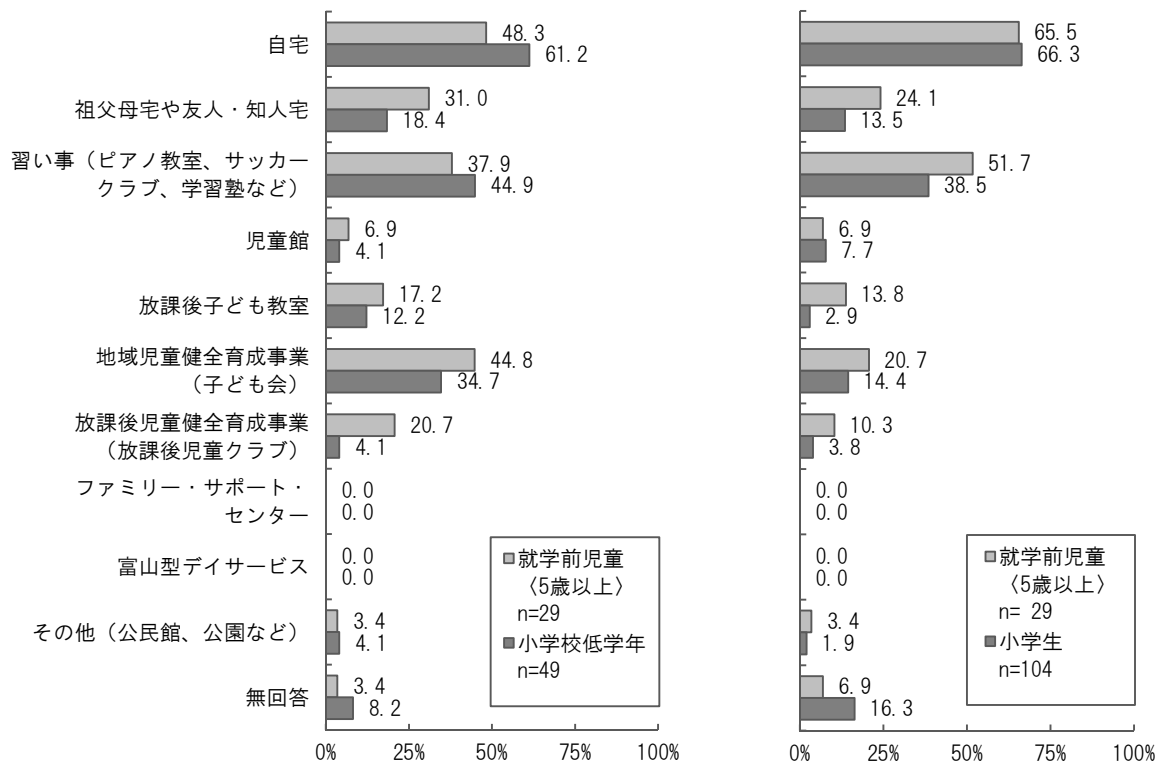
#### 《呉 羽》



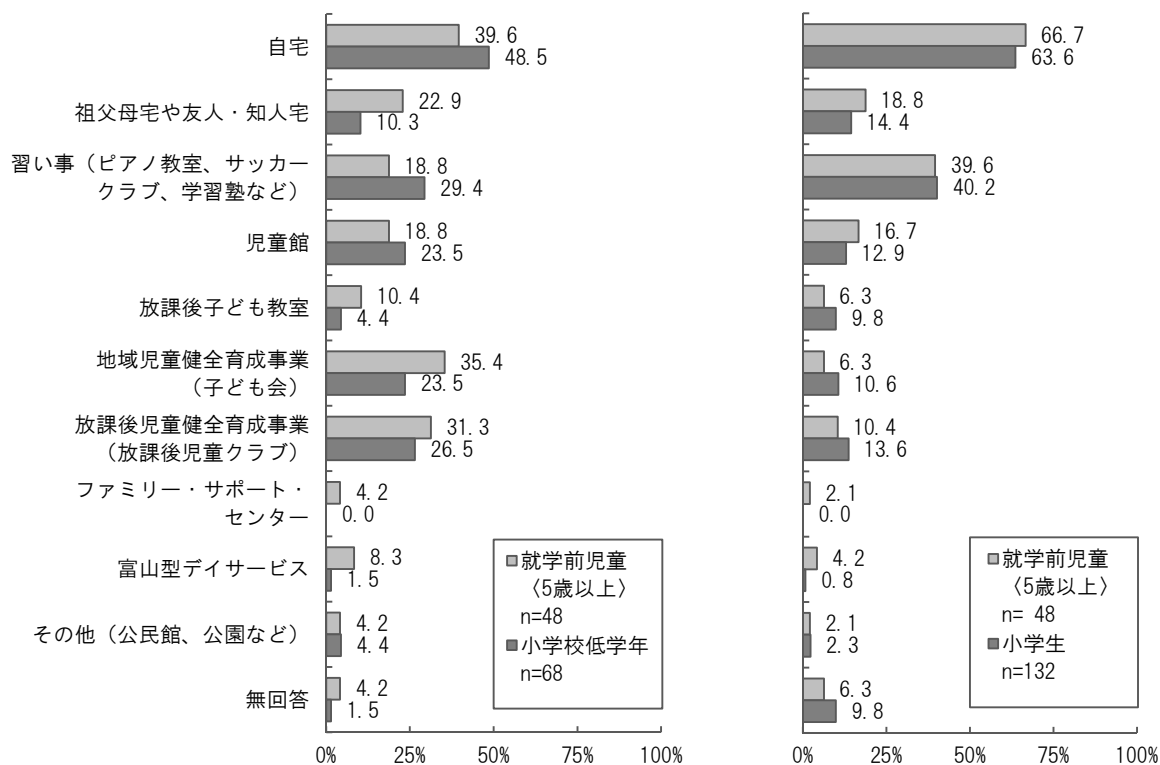
問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方      小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《水 橋》



《大沢野・細入》



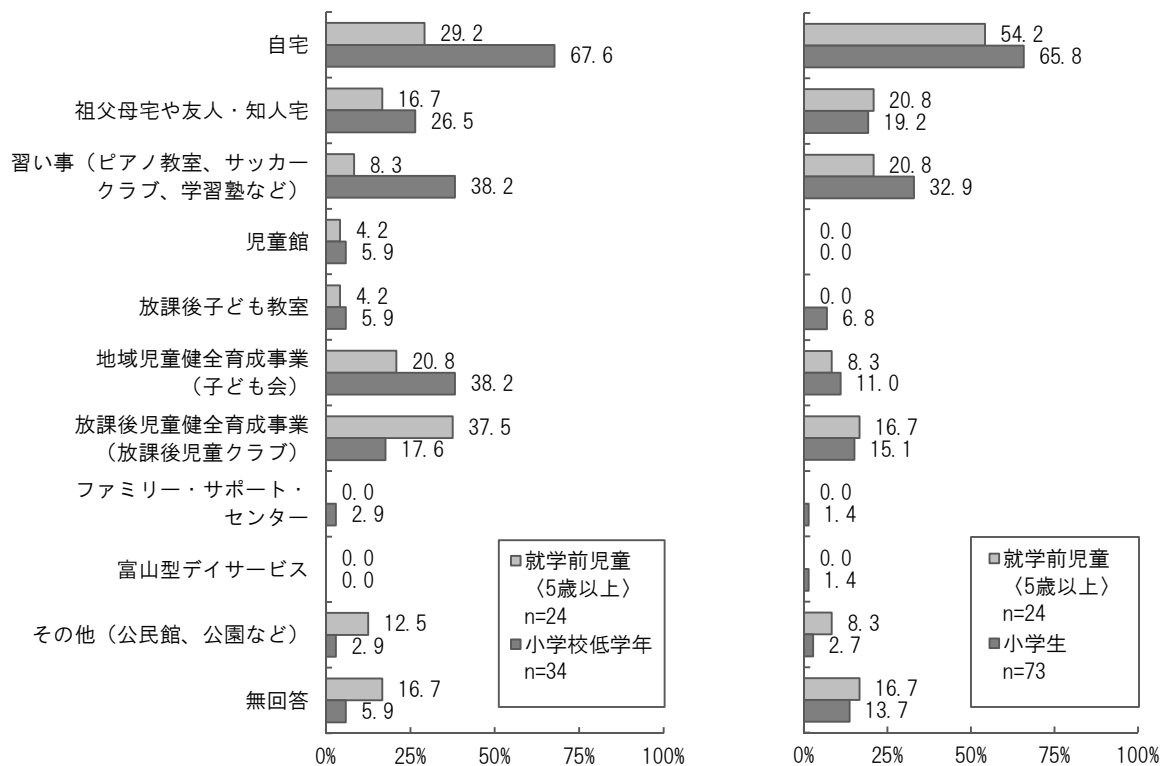
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

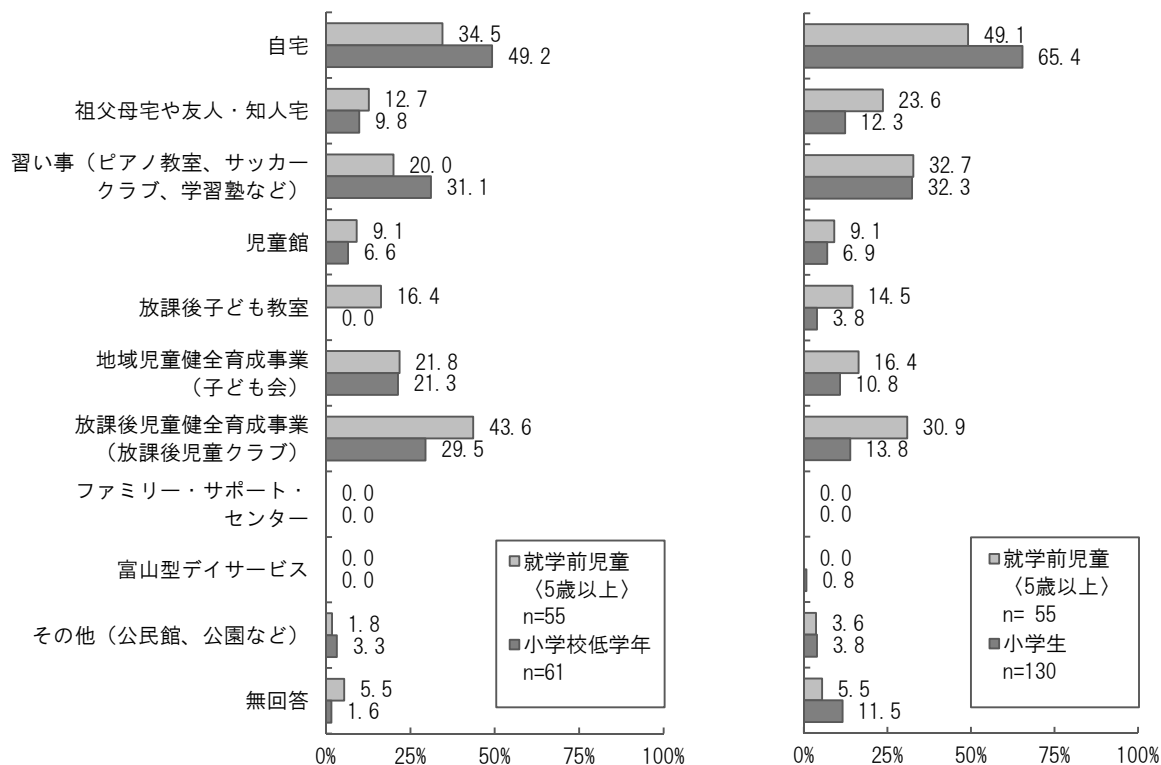
小学校低学年（になった場合）の過ごし方

小学校高学年（になった場合）の過ごし方

#### 《大 山》



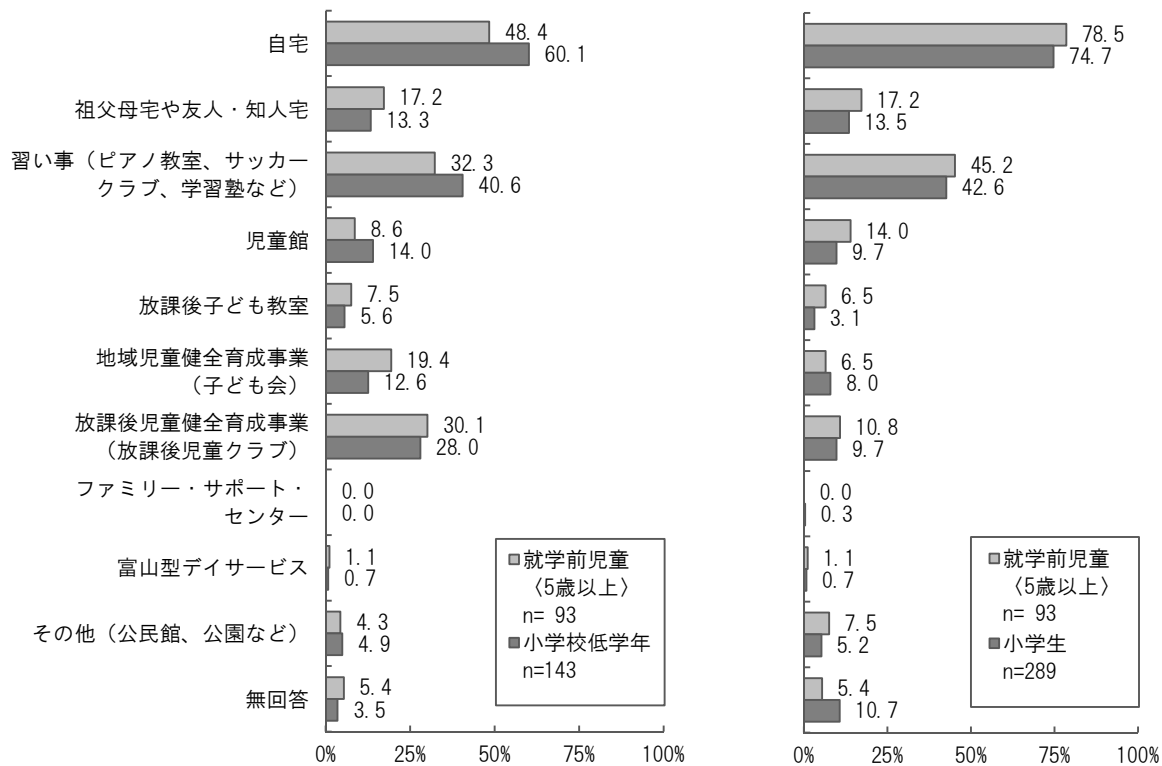
#### 《八尾・山田》



問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望

小学校低学年（になった場合）の過ごし方      小学校高学年（になった場合）の過ごし方

《婦 中》



## (2) 土曜日、日曜・祝日、長期休暇期間中の地域児童健全育成事業・放課後児童健全育成事業の利用希望

～就学前児童の土曜日の利用希望について～

○「低学年の間は利用したい」と回答した方をみると、《婦中》(31.8%)、《北部》(31.6%)で希望割合が高く、《八尾・山田》(12.1%)で低くなっています。

○また、「高学年まで利用したい」と回答した方は、《水橋》(18.8%)、《中央》(12.0%)で希望割合が高く、《大山》で利用希望者がいませんでした。

～就学前児童の日曜・祝日の利用希望について～

○「低学年の間は利用したい」と回答した方をみると、《婦中》(13.6%)、《呉羽》(13.2%)で希望割合が高く、《水橋》《大山》では利用希望者がいませんでした。

○また、「高学年まで利用したい」と回答した方は、《水橋》(12.5%)、《呉羽》(5.3%)希望割合が高く、《大沢野・細入》《大山》《八尾・山田》では利用希望者がいませんでした。

～小学生の土曜日の利用希望について～

○「3年生まで利用したい」と回答した方をみると、《中央》(17.5%)で希望割合が高く、《八尾・山田》(4.3%)で低くなっています。

○また、「4～6年生まで利用したい」と回答した方は、《婦中》(29.2%)で希望割合が高く、《大山》(7.1%)で低くなっています。

～小学生の日曜・祝日の利用希望について～

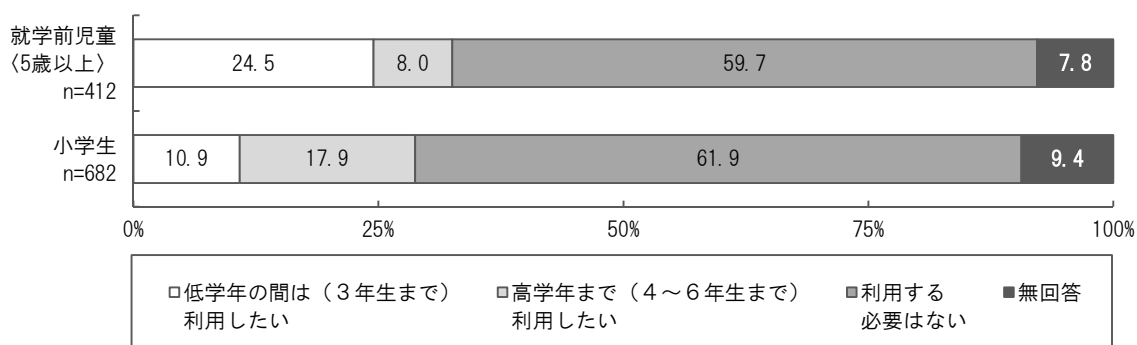
○「3年生まで利用したい」と回答した方をみると、《水橋》(10.3%)で希望割合が高く、《八尾・山田》では利用希望者がいませんでした。

○また、「4～6年生まで利用したい」と回答した方は、《婦中》(12.5%)で希望割合が高く、《水橋》(3.4%)で低くなっています。

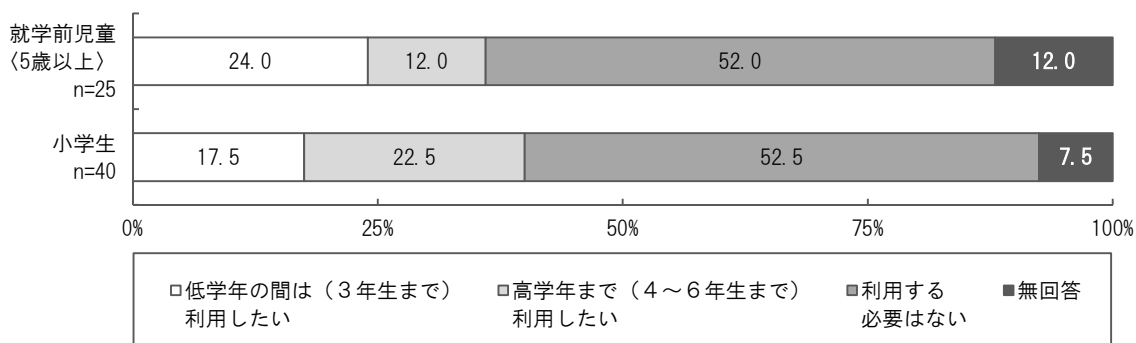
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問28(1) [問12(1)] 土曜日の利用希望

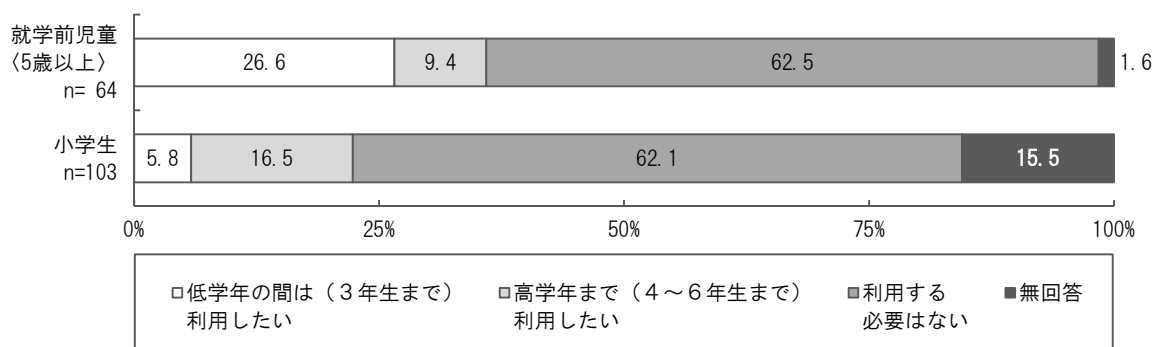
#### 《市全域》



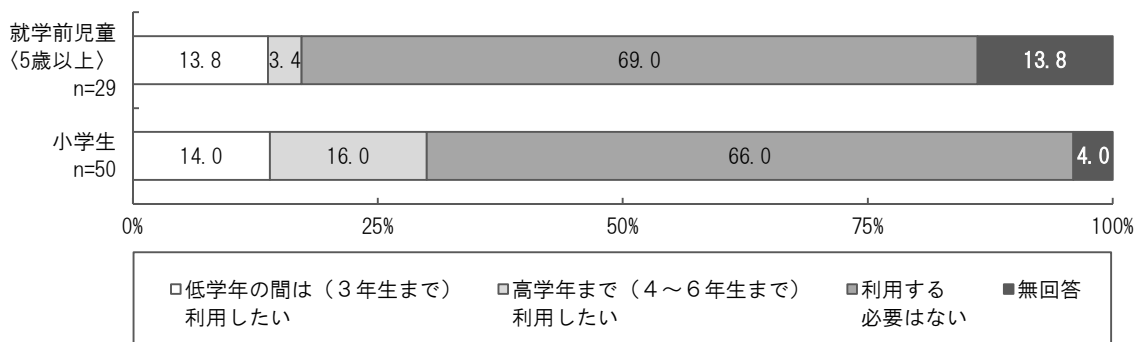
#### 《中央》



#### 《東部》



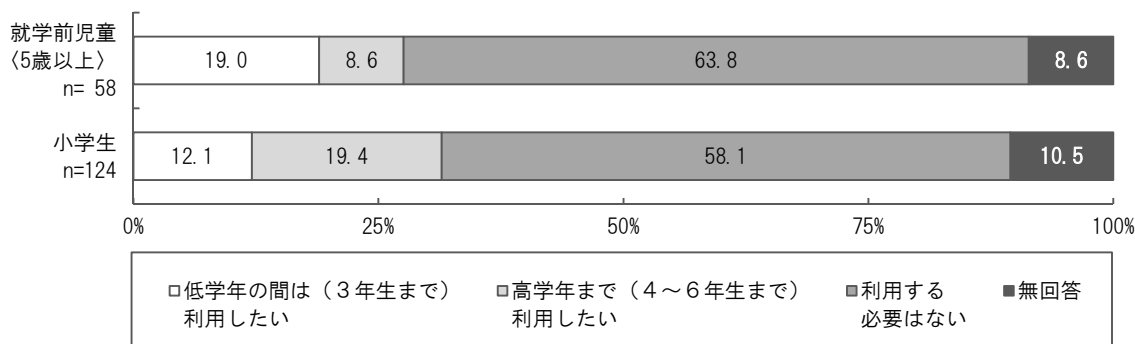
#### 《西部》



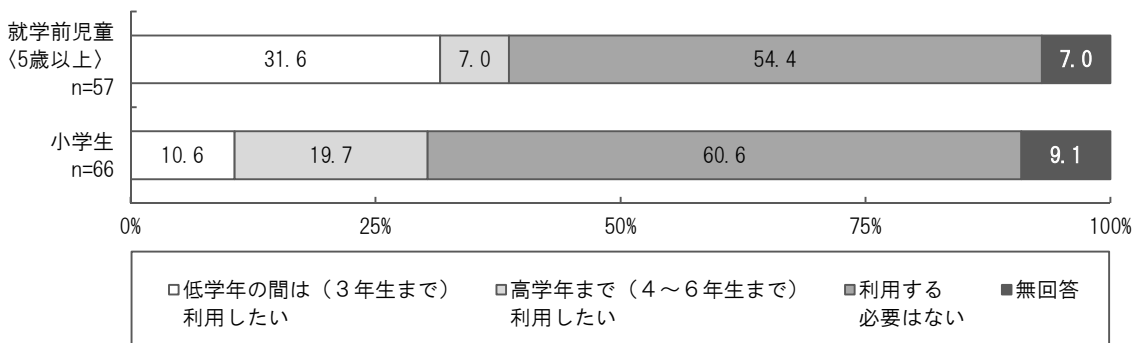


問28(1) [問12(1)] 土曜日の利用希望

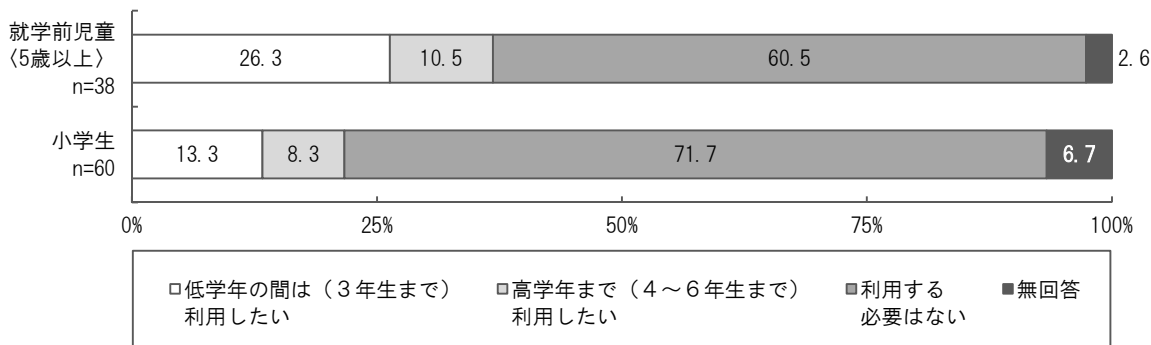
《南部》



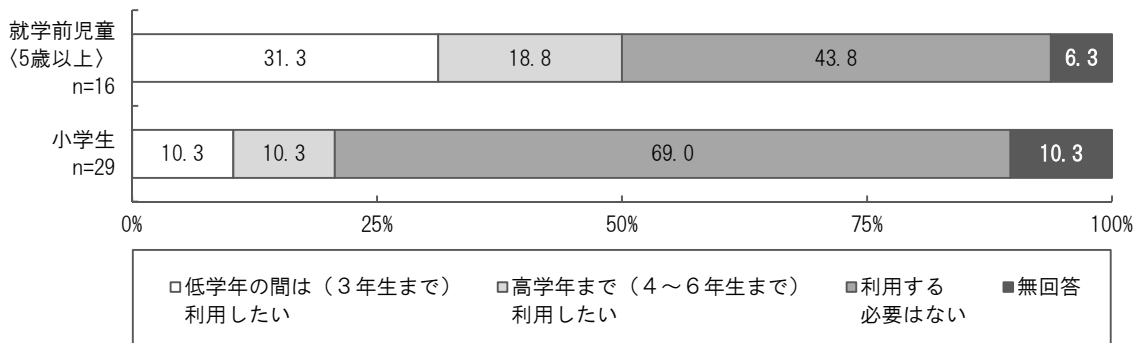
《北部》



《呉羽》

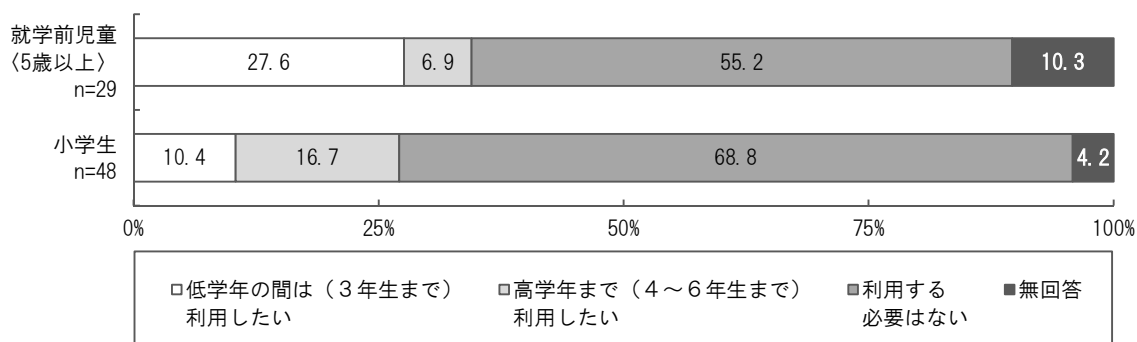


《水橋》

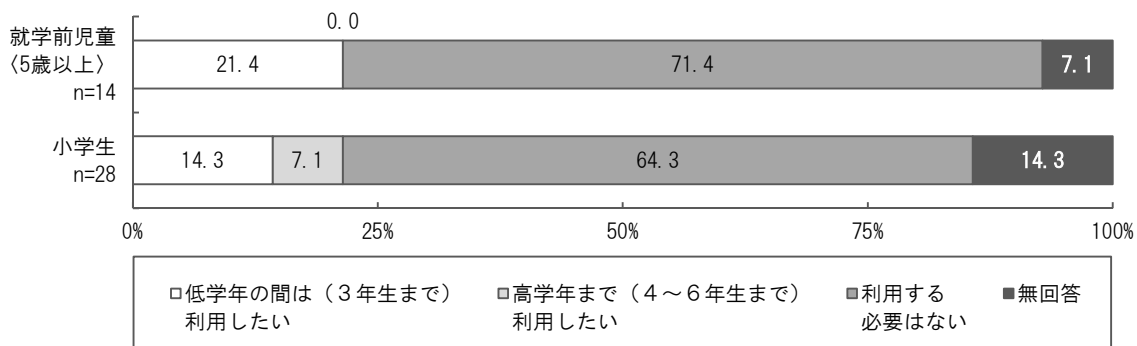


問28(1) [問12(1)] 土曜日の利用希望

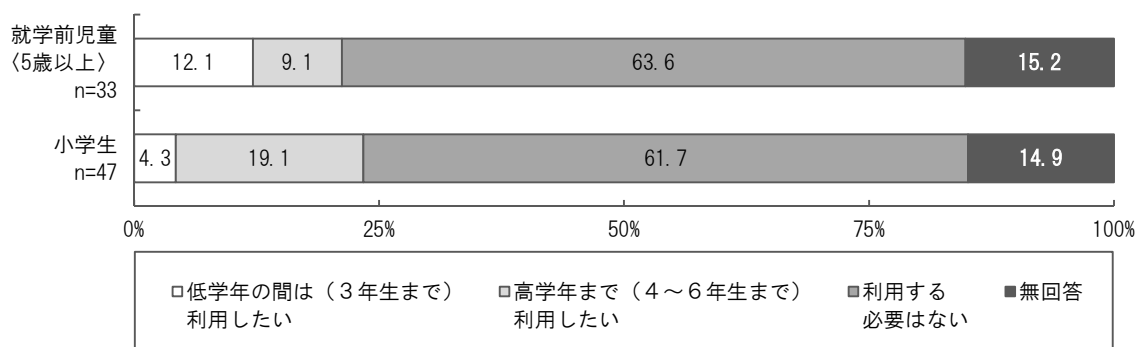
《大沢野・細入》



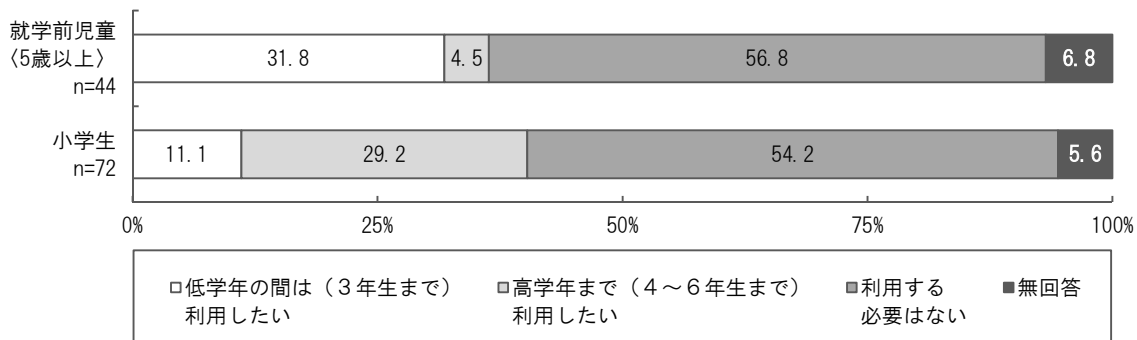
《大山》



《八尾・山田》



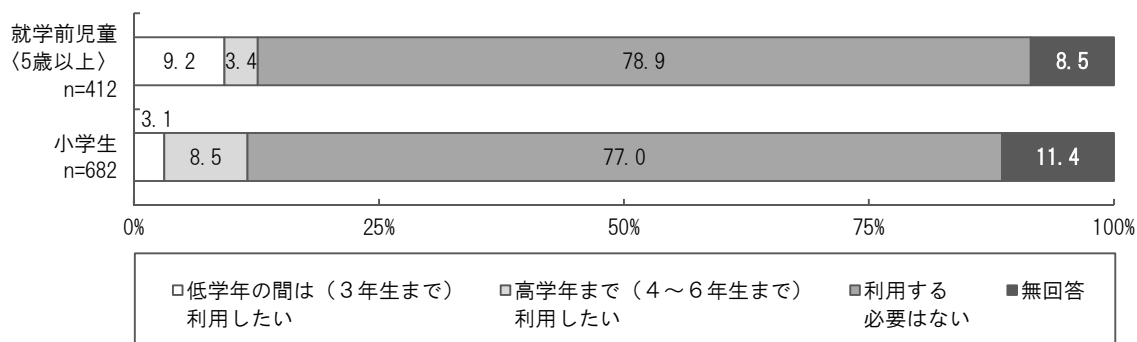
《婦中》



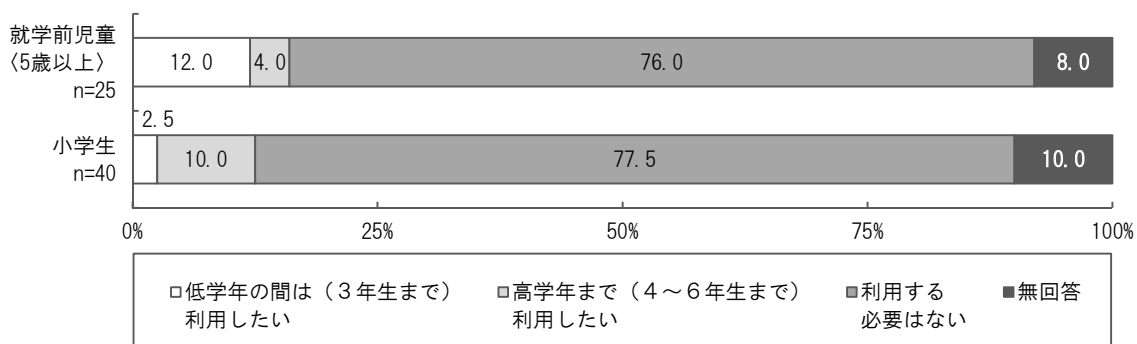
## 第2章 地域別の子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

### 問28(2) [問12(2)] 日曜・祝日の利用希望

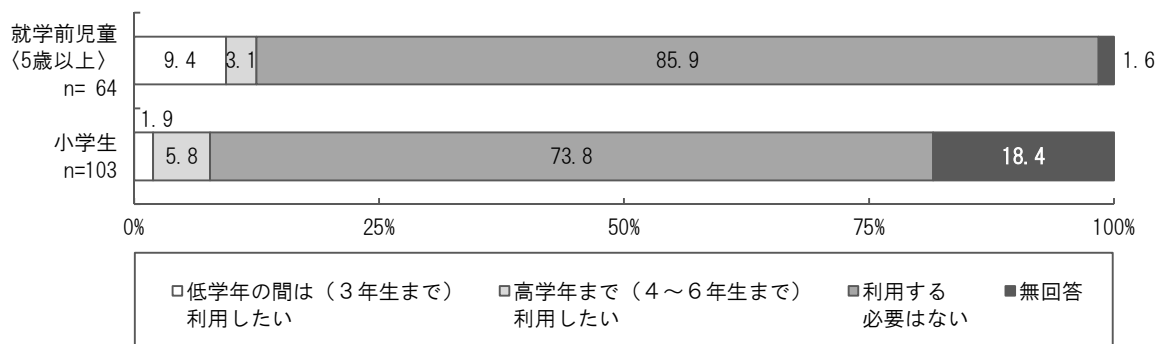
#### 《市全域》



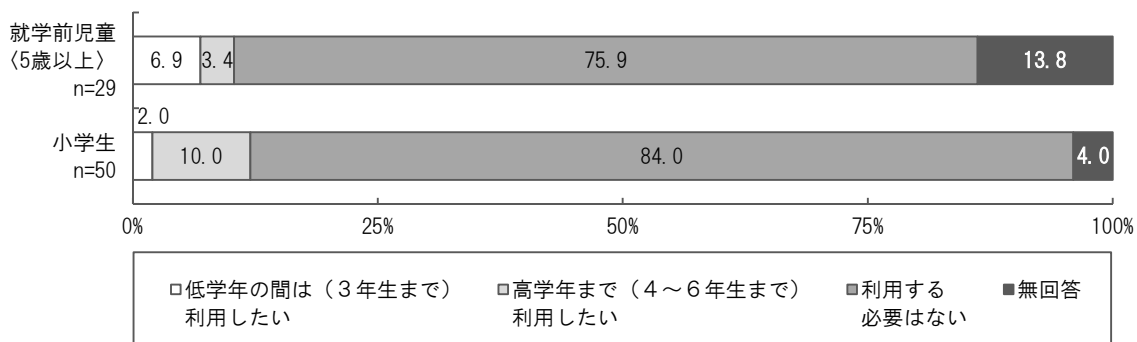
#### 《中央》



#### 《東部》

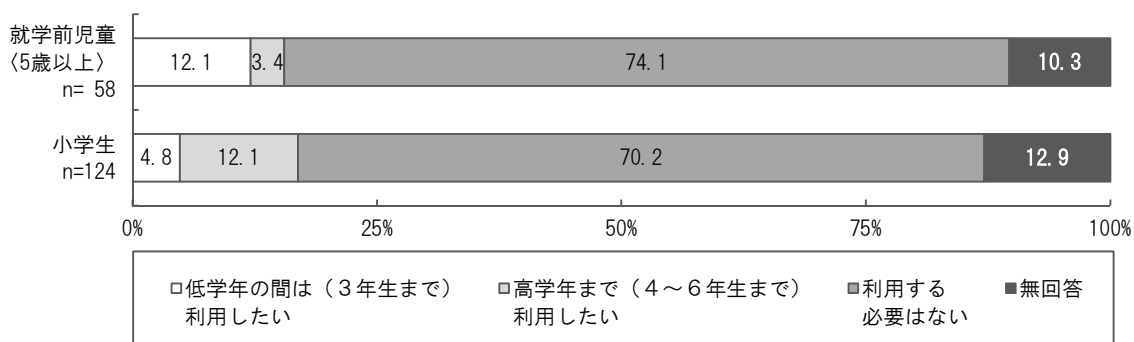


#### 《西部》

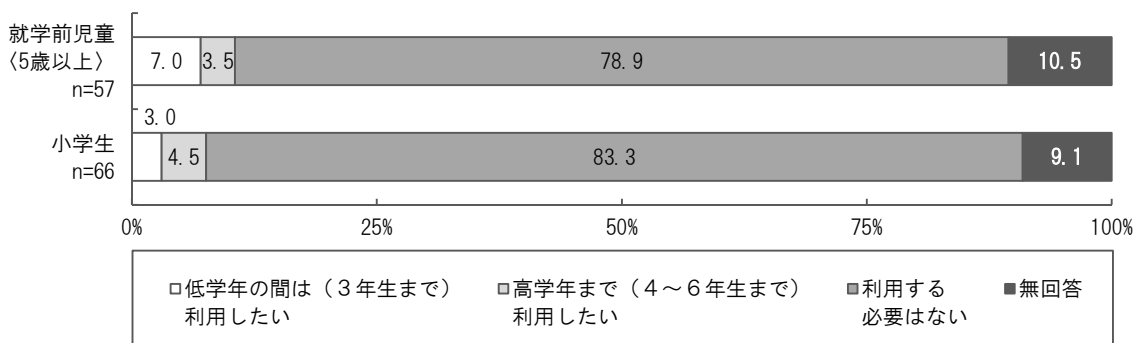


問28(2) [問12(2)] 日曜・祝日の利用希望

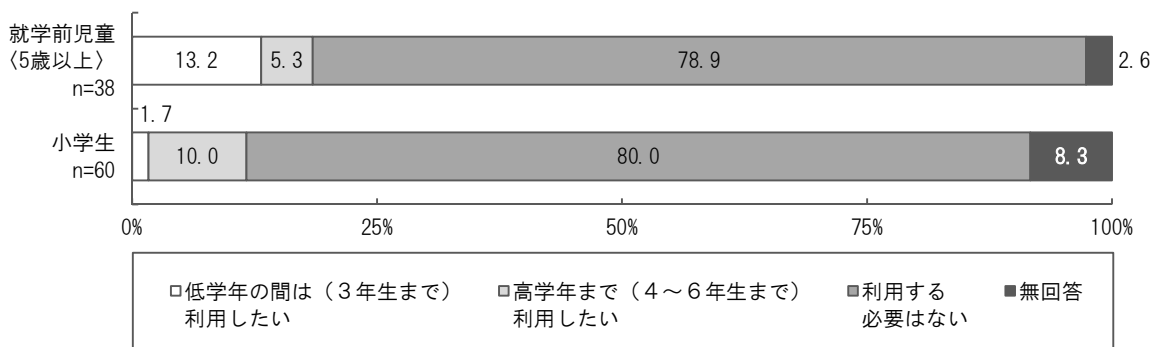
《南部》



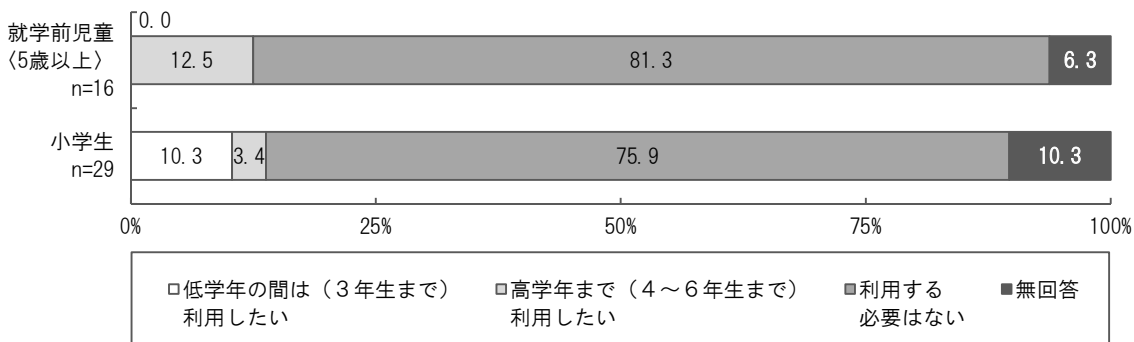
《北部》



《呉羽》

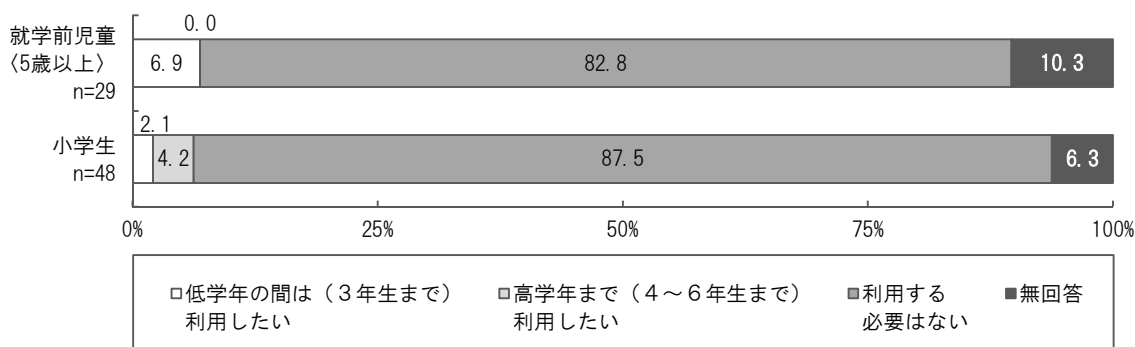


《水橋》

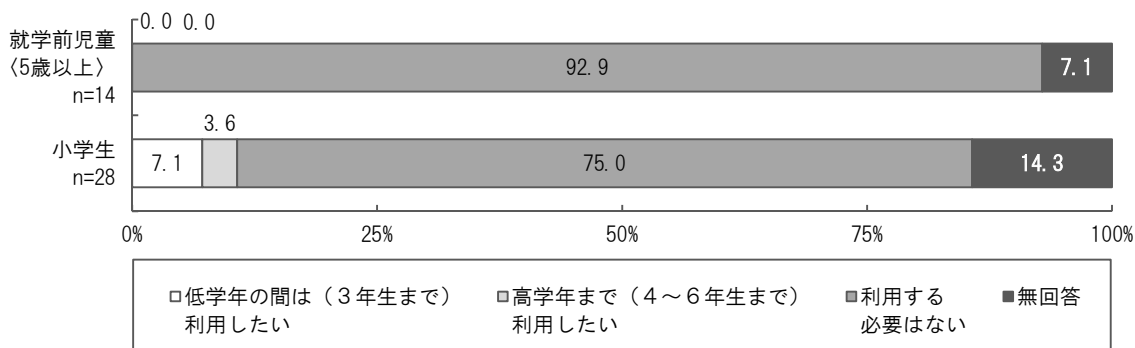


問28(2) [問12(2)] 日曜・祝日の利用希望

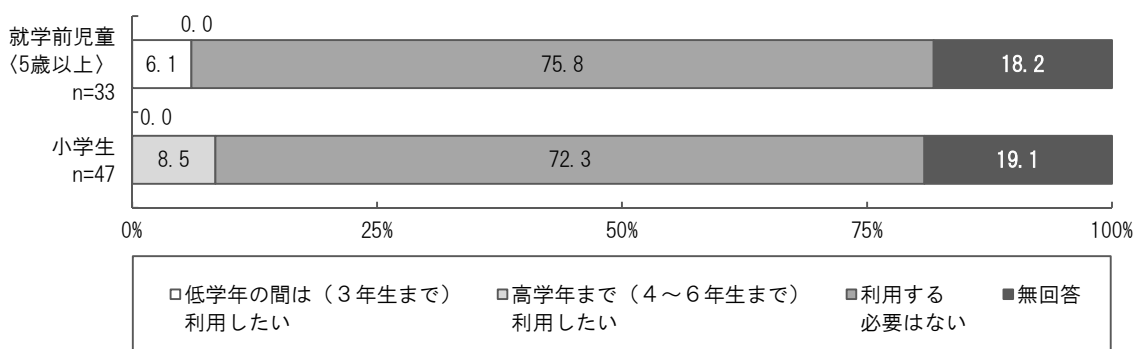
《大沢野・細入》



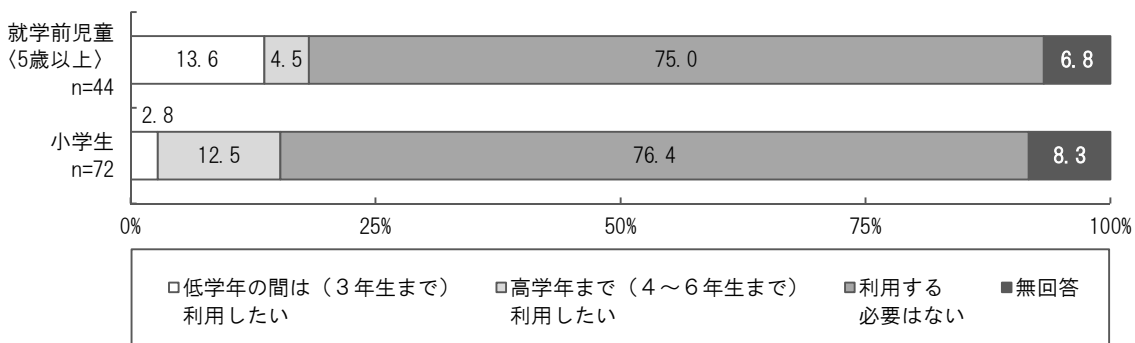
《大山》



《八尾・山田》



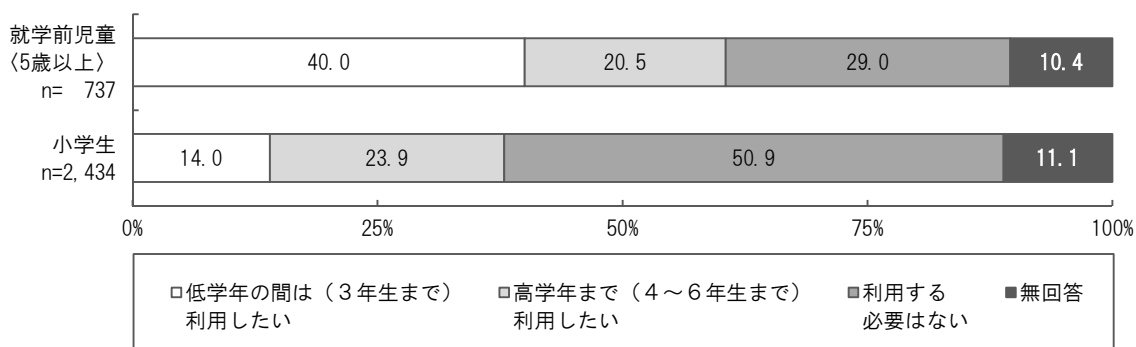
《婦中》



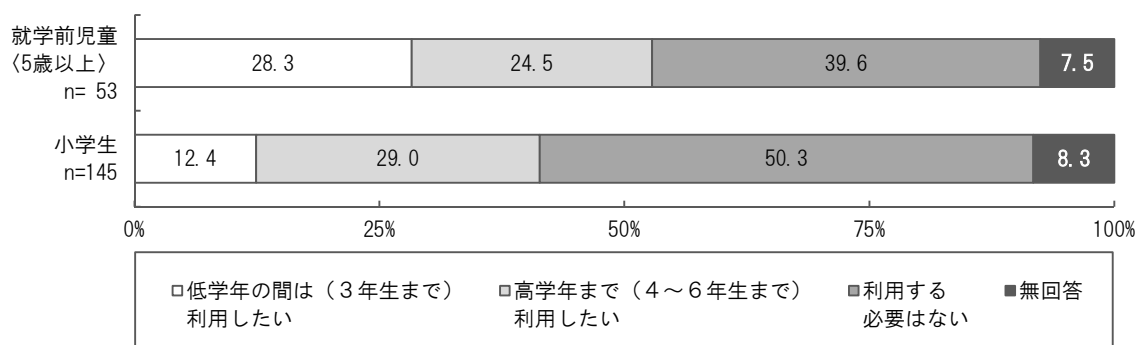
- 就学前児童の地域児童健全育成事業（子ども会）、放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の長期休暇中の利用希望について、「低学年の間は利用したい」割合は、《大山》（50.0%）、《北部》（48.8%）で高く、《中央》（28.3%）で低くなっています。
- また、「高学年まで利用したい」割合は、《水橋》（31.0%）、《八尾・山田》（27.3%）で高く、《大山》（12.5%）、《婦中》（12.9%）で低く、「低学年の間は利用したい」と回答した割合と比較すると、《水橋》は同程度、その他の地域では低くなっています。
- 小学生の長期休暇中の利用希望について、「3年生まで利用したい」割合が、《大沢野・細入》（25.8%）で高く、《婦中》（9.7%）で低くなっています。
- また、「4～6年生まで利用したい」割合は、《大山》（30.1%）、《中央》（29.0%）で高く、《東部》（19.8%）で低く、「3年生まで利用したい」と回答した割合と比較すると、《大沢野・細入》は同程度、その他の地域では高くなっています。

問29[問13] 長期休暇期間中の利用希望

《市全域》

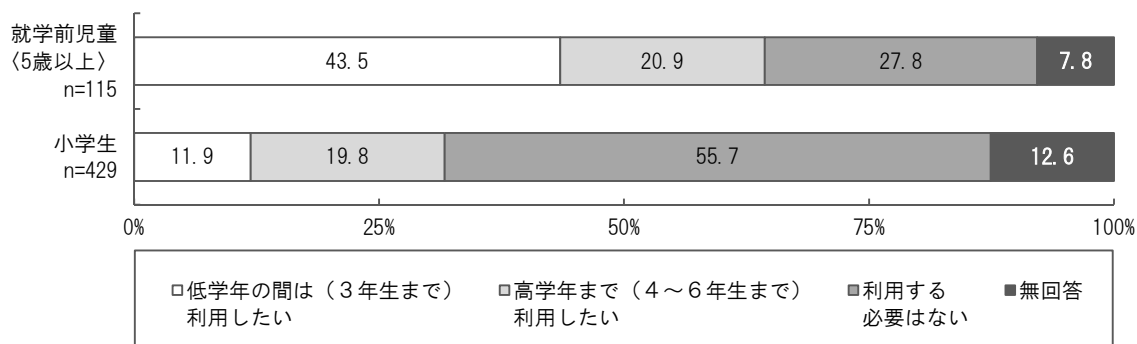


《中央》

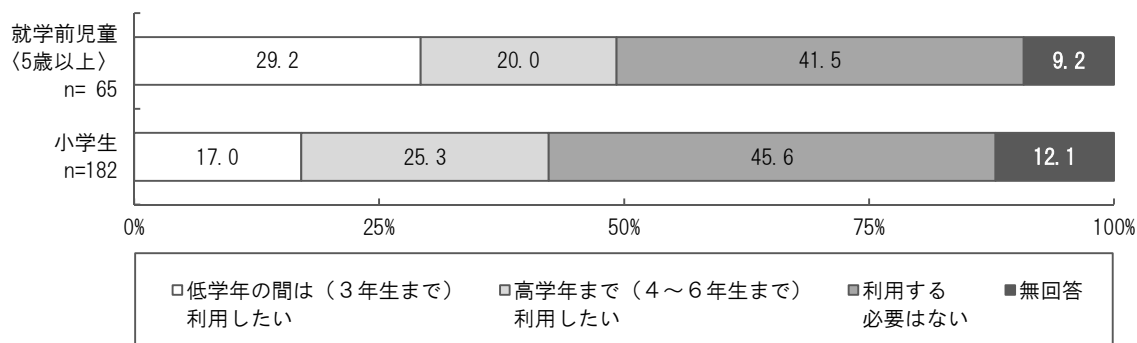


問29[問13] 長期休暇期間中の利用希望

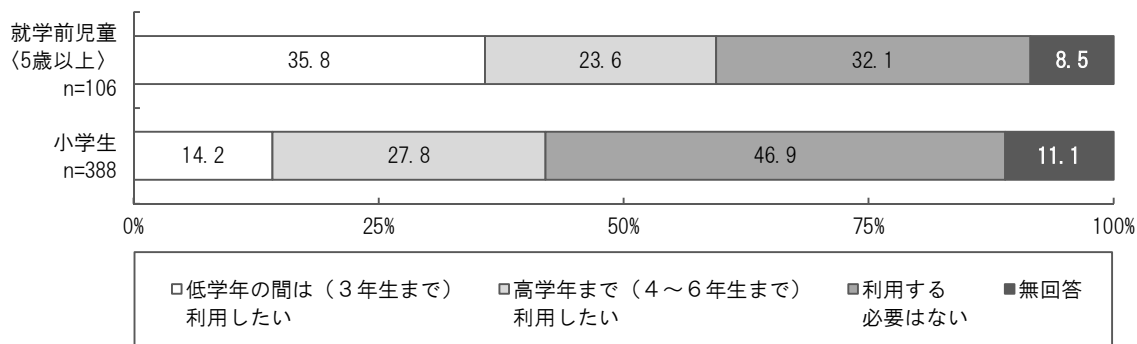
《東部》



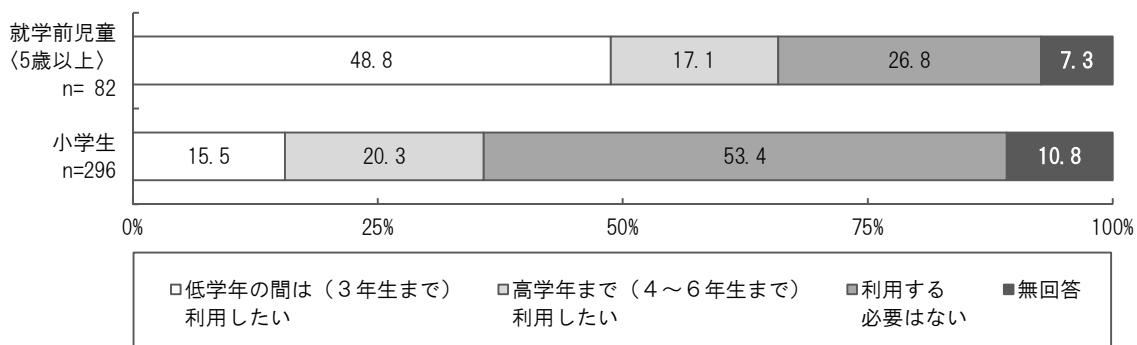
《西部》



《南部》

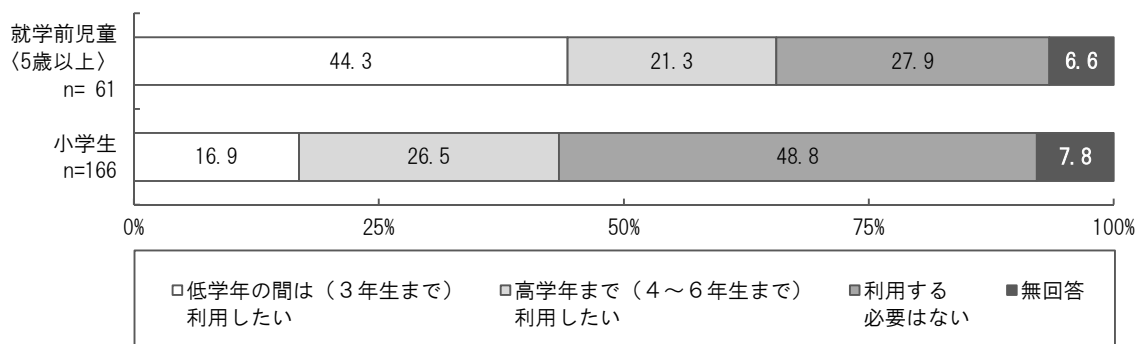


《北部》

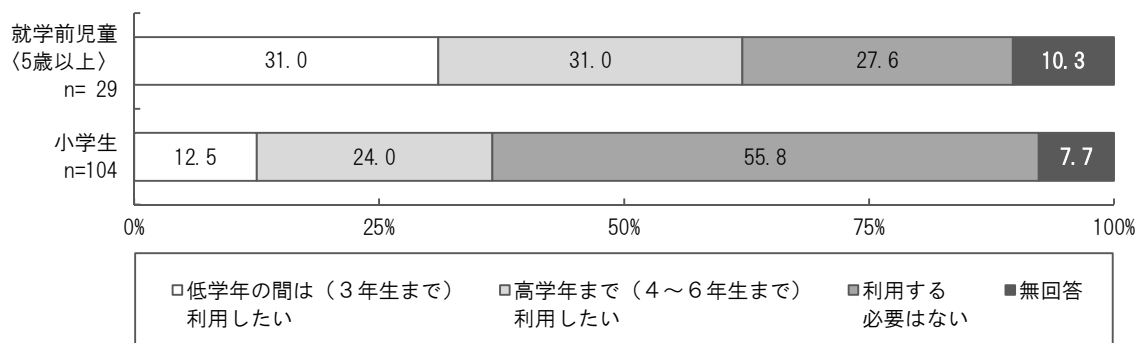


問29[問13] 長期休暇期間中の利用希望

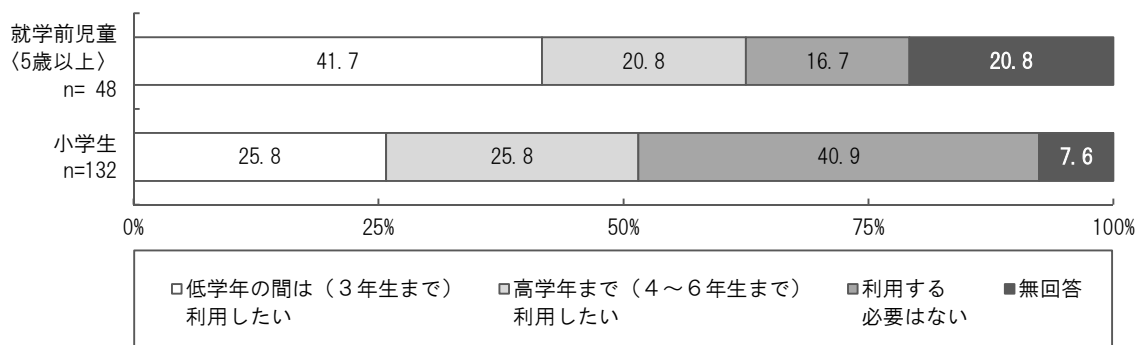
《呉羽》



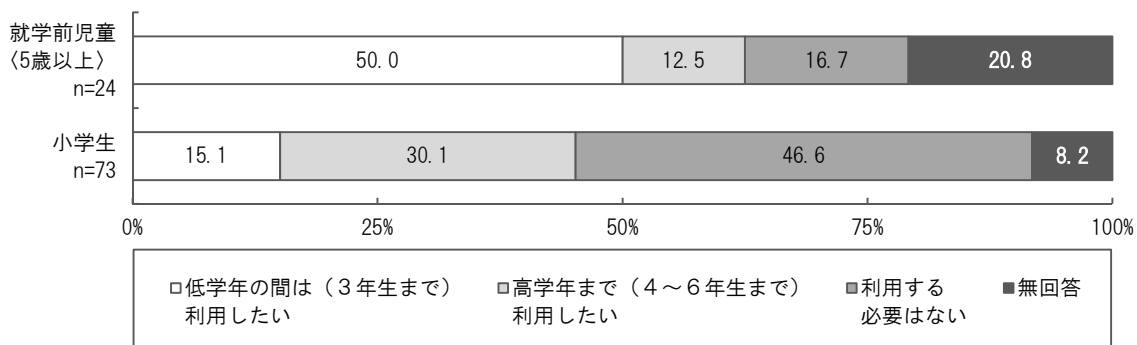
《水橋》



《大沢野・細入》



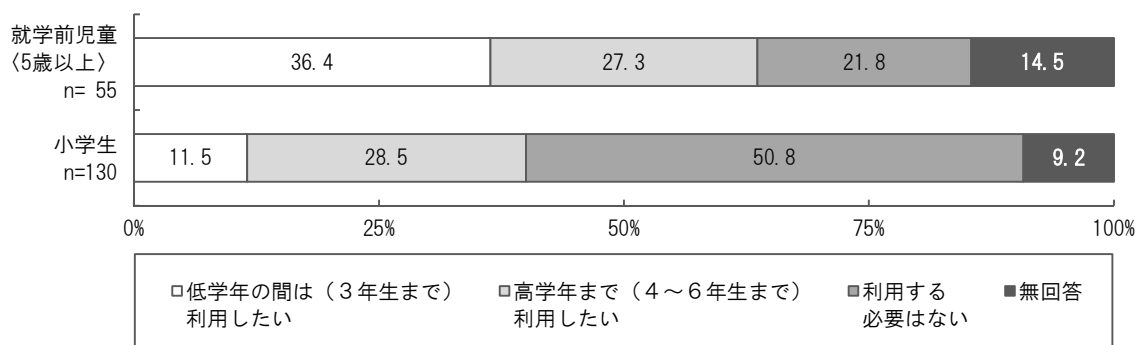
《大山》





問29[問13] 長期休暇期間中の利用希望

《八尾・山田》



《婦中》

